

向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会

次第（令和5年度第1回）

と き 令和5年8月7日（月）

13：30～

ところ 市役所本館 第7会議室

1 開会

2 議題

- (1) 委員長・副委員長の選任について
- (2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等の結果について
- (3) 計画の策定スケジュール等について
- (4) その他

3 閉会

<資 料>

■事前配布資料

議題（１）委員長・副委員長の選任について	
【資料１－１】	向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員名簿
【資料１－２】	向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会設置要綱
議題（２）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等の結果について	
【資料２－１】	「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」「介護支援専門員調査」報告書
【資料２－２】	「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」「在宅介護実態調査」「介護支援専門員調査」報告書 概要版
議題（３）計画の策定スケジュール等について	
【資料３－１】	こうふくプラン向日（第 10 次向日市高齢者福祉計画及び第 9 期向日市介護保険事業計画）策定スケジュール（案）

向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員名簿

委員任期 令和5年5月19日～令和8年5月18日まで

役職	氏名 (敬称略・順不同)	所属及び職名
委員	清 家 理	立命館大学スポーツ健康科学部教授 京都大学院農学研究科生物資源経済学専攻教育研究機関研究員 国立研究開発法人国立長寿医療研究センターもの忘れセンター外来研究員
委員	清 水 陽 一	社会福祉法人向日市社会福祉協議会 会長
委員	若 江 武	一般社団法人乙訓医師会 代表
委員	出 射 靖 生	医療法人回生会 理事長
委員	高 桑 勝	社会福祉法人向陽福社会 理事長
委員	小 林 和 子	向日市民生児童委員協議会 代表
委員	橋 本 正 治	向日市老人クラブ連合会 代表
委員	太 田 英 樹	市民公募委員
委員	阿 達 健 児	京都府山城広域振興局 健康福祉部 乙訓保健所 企画調整課長
委員	山 田 栄 次	向日市市民サービス部長

(幹事)

所長	安 田 知 之	向日市市民サービス部 福祉事務所長 兼 副部長
課長	谷 口 大 樹	向日市市民サービス部 医療保険課長
所長	西 村 和 子	向日市市民サービス部 老人福祉センター所長
課長	小 畑 由 美 子	向日市市民サービス部 高齢介護課長

○向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会設置要綱

平成10年7月17日

告示第43号

改正 平成12年6月29日告示第44号

平成15年3月27日告示第16号

平成16年6月30日告示第48号

平成20年3月31日告示第26号

平成22年3月31日告示第36号

平成23年3月31日告示第24号

平成24年3月30日告示第33号

(設置)

第1条 高齢者の総合的な福祉施策の計画的な推進及び介護保険制度の円滑な運営を目的として、老人福祉法(昭和38年法律第133号)第20条の8の規定に基づく高齢者福祉計画及び介護保険法(平成9年法律第123号)第117条の規定に基づく介護保険事業計画を策定するため、向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しに関する研究
- (2) 高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しに係る立案

(組織)

第3条 委員会は、20人以内の委員をもつて組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 知識経験を有する者
- (2) 関係団体の代表者
- (3) 行政関係者
- (4) その他市長が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長1人を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長がその議長となる。

(意見の聴取)

第7条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を委員会の会議に出席させ、説明をさせ、又は意見を聴くことができる。

(分科会)

第8条 委員会に計画の進行管理及び点検体制に関する分科会を設置する。

2 分科会に会長及び副会長1人を置く。

(幹事)

第9条 委員会に幹事を置き、市職員のうちから、市長が任命する。

2 幹事は、委員長の命を受け、委員会の所掌事項について、委員を補佐する。

(庶務)

第10条 委員会の庶務は、高齢介護課において処理する。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

1 この要綱は、平成10年7月17日から施行する。

(向日市老人保健福祉計画策定委員会設置要綱の廃止)

2 向日市老人保健福祉計画策定委員会設置要綱(平成5年告示第4号)は、廃止する。

附 則(平成12年6月29日告示第44号)

この告示は、平成12年6月29日から施行する。

附 則(平成15年3月27日告示第16号)

この告示は、平成15年3月28日から施行する。

附 則(平成16年6月30日告示第48号)

この告示は、平成16年7月1日から施行する。

附 則(平成20年3月31日告示第26号)

この告示は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月31日告示第36号)

この告示は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成23年3月31日告示第24号)

この告示は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月30日告示第33号)

この告示は、平成24年4月1日から施行する。

「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査」
「在宅介護実態調査」「介護支援専門員調査」
報告書

令和5年（2023年）3月

目 次

1. 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の種類等	1
(3) 各調査の回収結果の概要.....	1
2. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	2
(1) 問1 あなたのご家族や生活状況について	4
(2) 問2 からだを動かすことについて	8
(3) 問3 食べることについて	14
(4) 問4 毎日の生活について	20
(5) 問5 地域での活動について	31
(6) 問6 たすけあいについて	33
(7) 問7 健康について	40
(8) 問8 認知症にかかる相談窓口の把握について	45
(9) 問9 成年後見制度について	47
(10) ニーズ調査結果からうかがえる高齢者の心身機能の状況.....	48
3. 在宅介護実態調査.....	57
(1) A票 調査対象者本人について	57
(2) B票 主な介護者について	66
(3) 調査結果からうかがえる在宅介護の状況.....	72
4. 介護支援専門員調査.....	78
(1) あなた自身のことについて	78
(2) ケアプランの作成状況について	80
(3) 介護予防・日常生活支援総合事業について	92
(4) 高齢者の権利擁護について	102
(5) 認知症について	104
(6) 介護離職について	107
(7) その他	108
(8) 調査結果からうかがえる地域包括ケアの状況	110

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、「第10次向日市高齢者福祉計画・第9期向日市介護保険事業計画（計画期間：令和6年度～令和8年度）」を策定するための基礎資料を得るために、市内にお住まいの高齢者を対象に実施しました。

(2) 調査の種類等

調査の種類	調査の対象等	調査期間
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	①65歳以上の介護保険未認定者 (令和4年12月1日現在) ・標本調査(無作為抽出)	令和5年1月13日(金) ～令和5年1月30日(月)
	②介護予防・日常生活支援総合事業対象者 (令和4年12月1日現在) ・全数調査	
	③要支援認定者(要支援1・2) (令和4年12月1日現在) ・全数調査	
在宅介護実態調査	在宅の要支援・要介護認定者(要支援1～2、要介護1～5) (令和4年12月1日現在) ・標本調査(無作為抽出)	
介護支援専門員調査	市内居宅介護支援事業所又は介護予防支援事業所に勤務する介護支援専門員 (令和4年12月1日現在) ・全数調査	

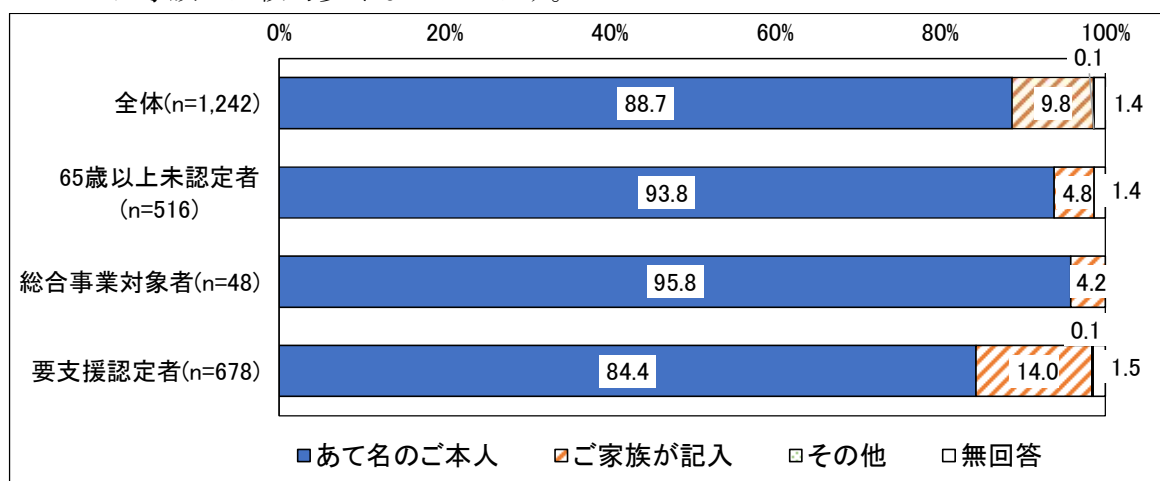
(3) 各調査の回収結果の概要

調査の種別	配布数	有効回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,856	1,242	66.9%
65歳以上介護保険未認定者	800	516	64.5%
総合事業対象者	62	48	77.4%
要支援認定者	994	678	68.2%
在宅介護実態調査	1,400	856	61.1%
介護支援専門員調査	52	33	63.5%

2. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

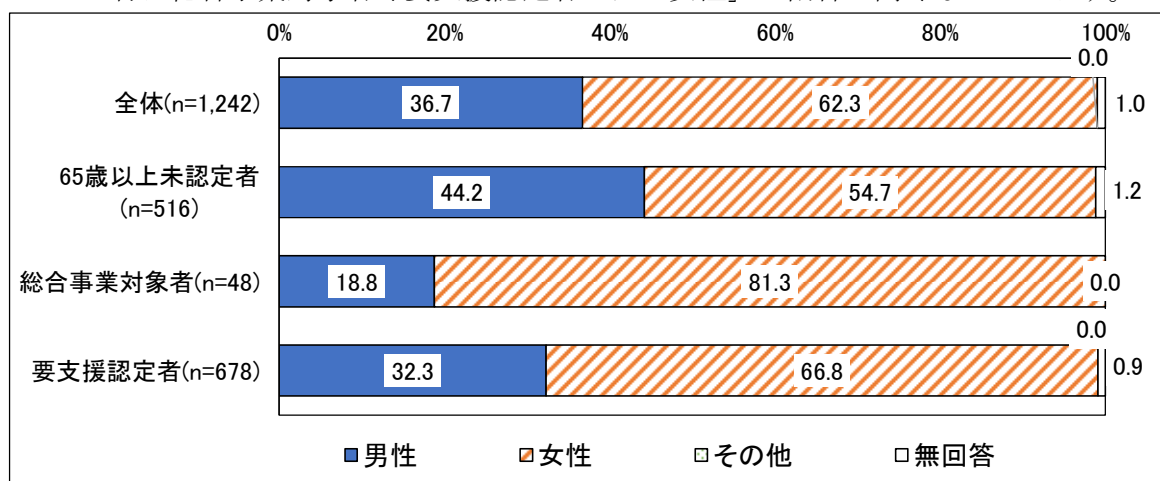
■調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- 【回答者】 本人の回答が 88.7% となっています。
- 65 歳以上未認定者や総合事業対象者では本人が多くなっていますが、要支援認定者では家族が比較的多くなっています。

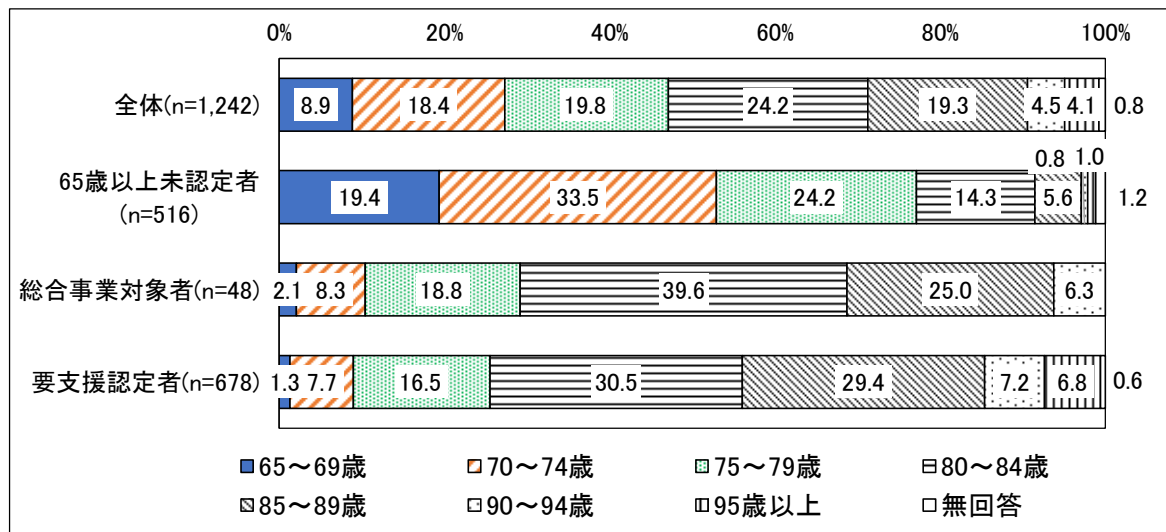


はじめに、あなた（あて名のご本人）の性別についておうかがいします。

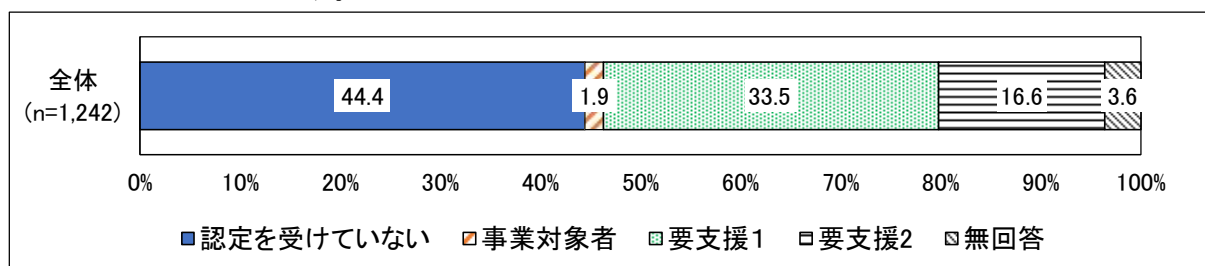
- 【性別】 「女性」が 62.3% となっています。
- 特に総合事業対象者や要支援認定者では「女性」の割合が高くなっています。



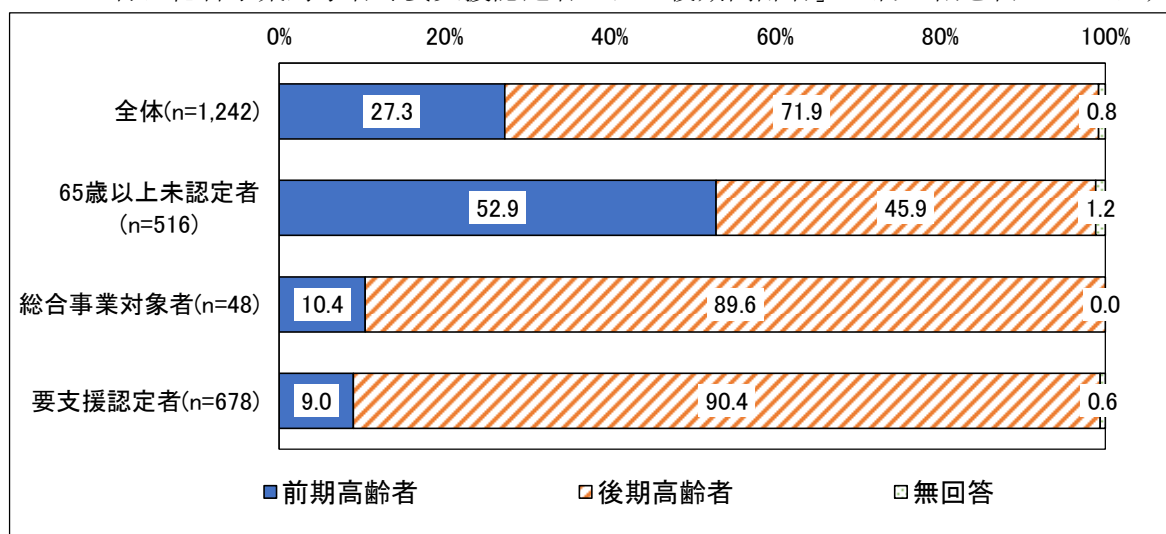
- 【年齢 区分 1 (94歳まで5歳区分)】総合事業対象者や要支援認定者では80歳以上の割合が高くなっています。



- 【要支援認定】「受けていない」が44.4%、「要支援」(要支援1と要支援2)が50.1%となっています。



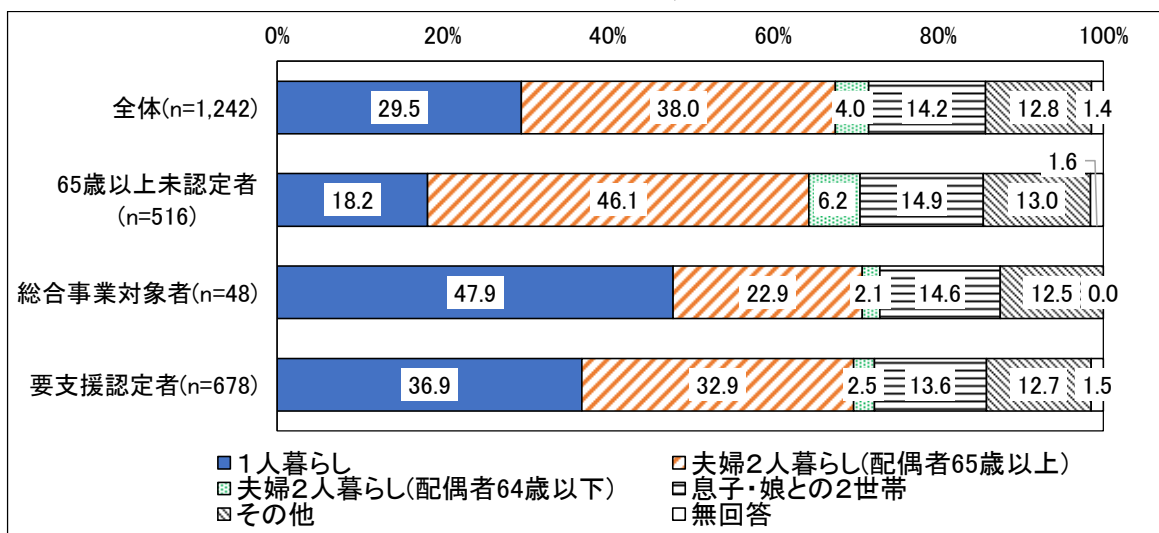
- 【年齢 区分 2】「後期高齢者」が71.9%となっています。
- 特に総合事業対象者や要支援認定者では「後期高齢者」が約9割を占めています。



(1) 問1 あなたのご家族や生活状況について

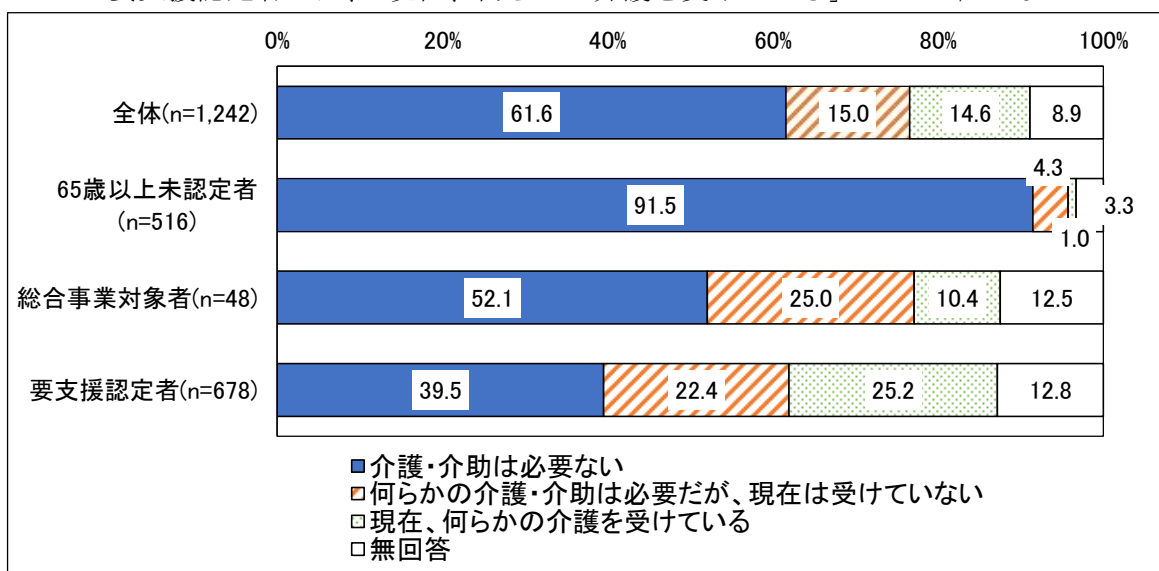
問1-1 家族構成をお教えてください

- 夫婦が65歳以上の高齢世帯が38.0%で最も高く、次いで、一人暮らしが29.5%となっています。
- 総合事業対象者や要支援認定者では、一人暮らしが多くなっています。



問1-2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

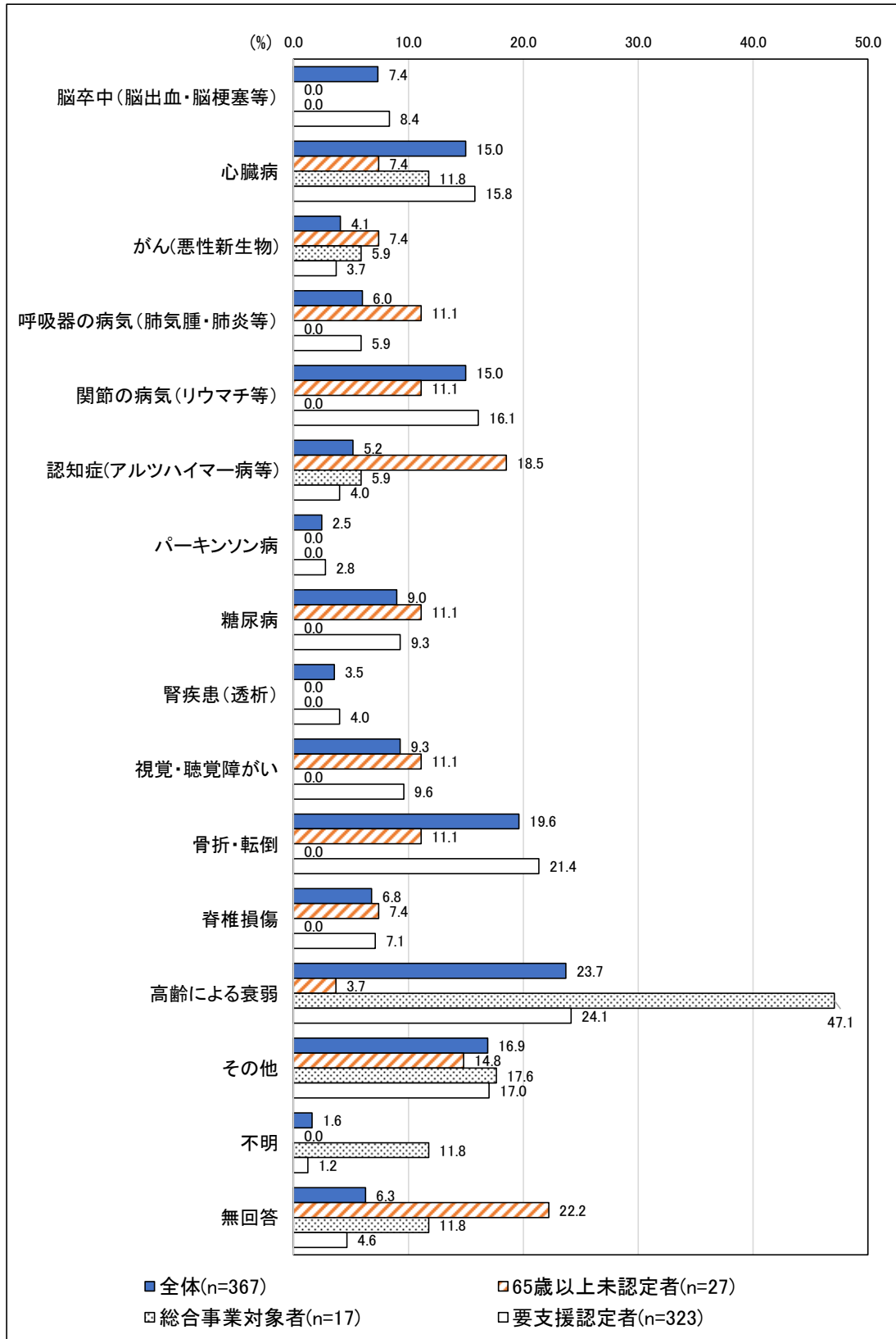
- 「介護・介助は必要ない」が61.6%で最も高くなっています。
- 要支援認定者では、「現在、何らかの介護を受けている」が25.2%となっています。



【問1-2において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問1-2① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

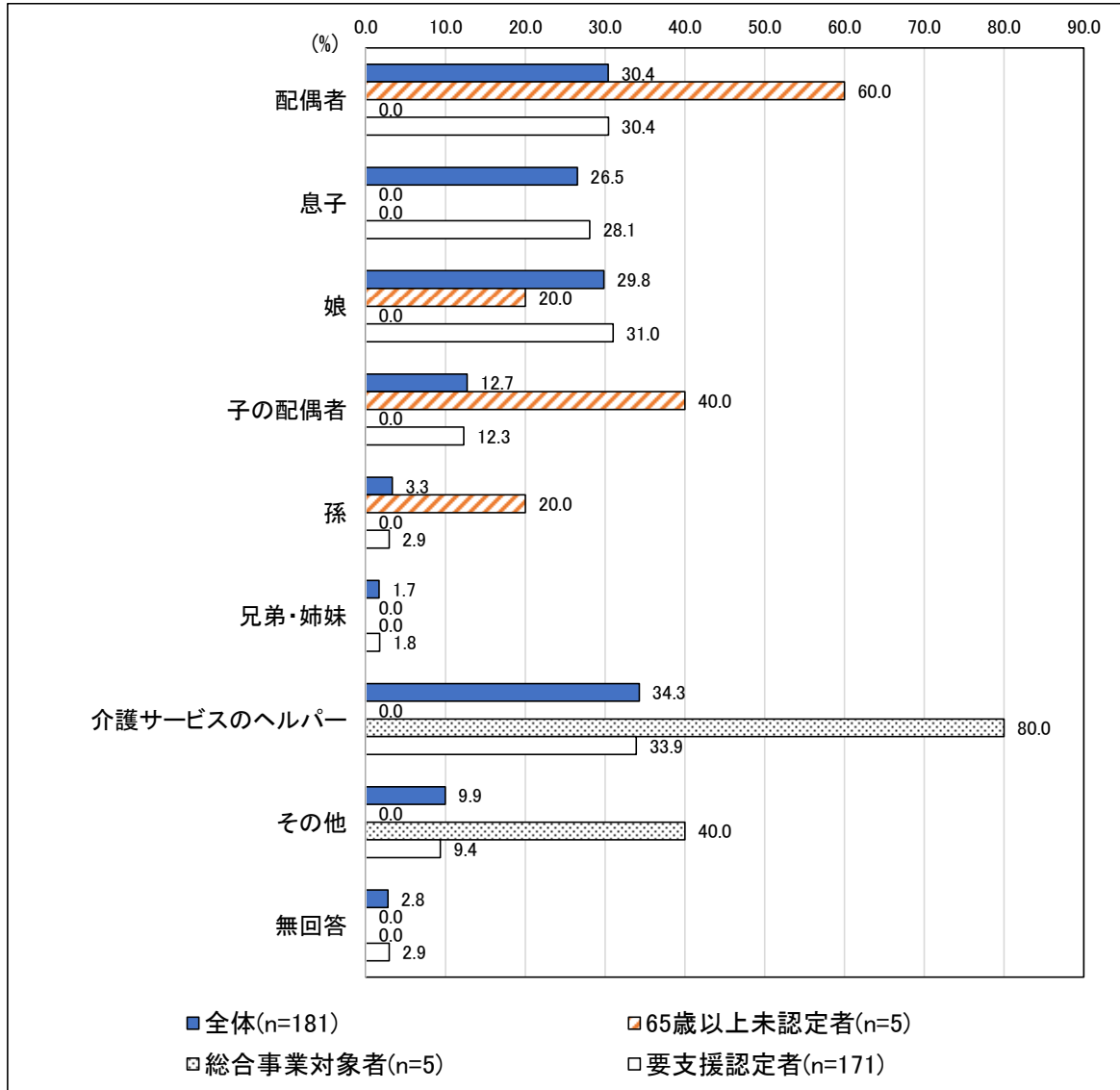
- 「高齢による衰弱」が23.7%で最も高く、次いで、「骨折・転倒」(19.6%)、「関節の病気(リウマチ等)」(15.0%)、「心臓病」(15.0%)となっています。
- 総合事業対象者では特に「高齢による衰弱」が47.1%と高くなっています。



【問1-2において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

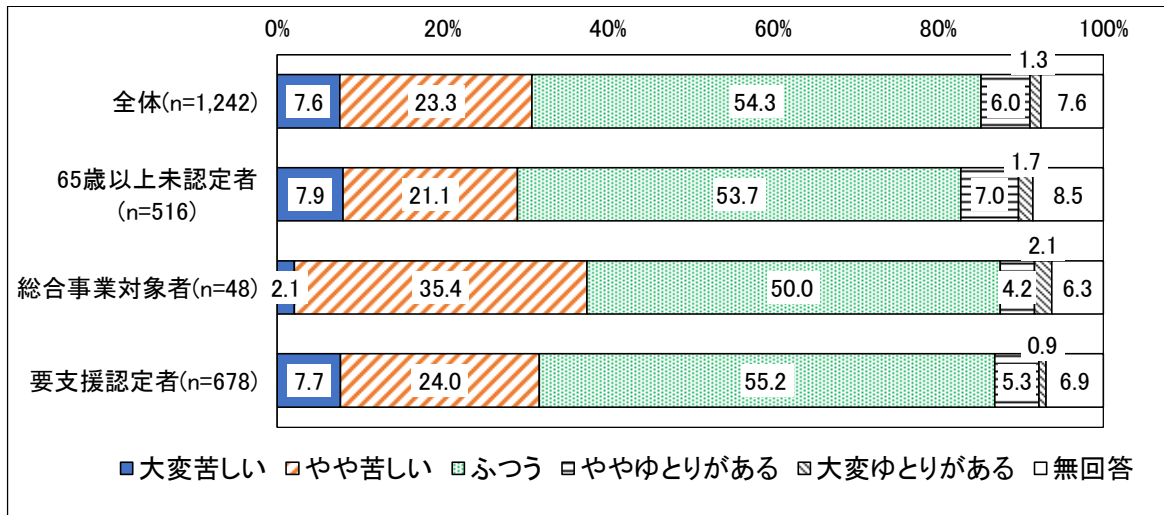
問1-2② 主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）

- 「介護サービスのヘルパー」が34.3%で最も高く、次いで、「配偶者」(30.4%)、「娘」(29.8%)となっています。
- 要支援認定者では、「介護サービスのヘルパー」(33.9%)に次いで、「娘」(31.0%)、「配偶者」(30.4%)となっています。



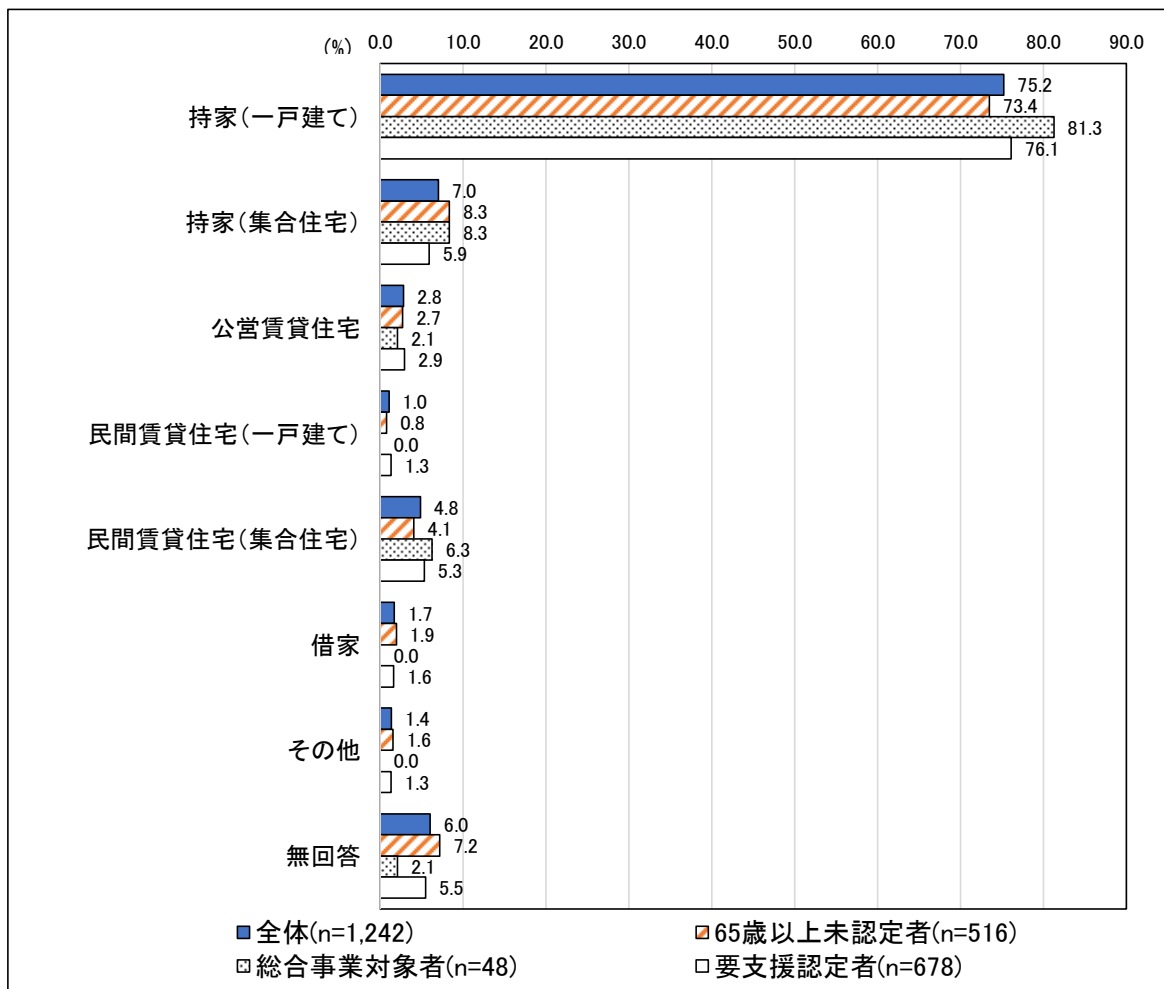
問1-3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- 「ふつう」が54.3%で最も高く、次いで、「やや苦しい」(23.3%)となっています。
- 『苦しい』(大変苦しい+やや苦しい)が30.9%に対して、『ゆとりがある』(ややゆとりがある+大変ゆとりがある)は7.3%となっています。



問1-4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

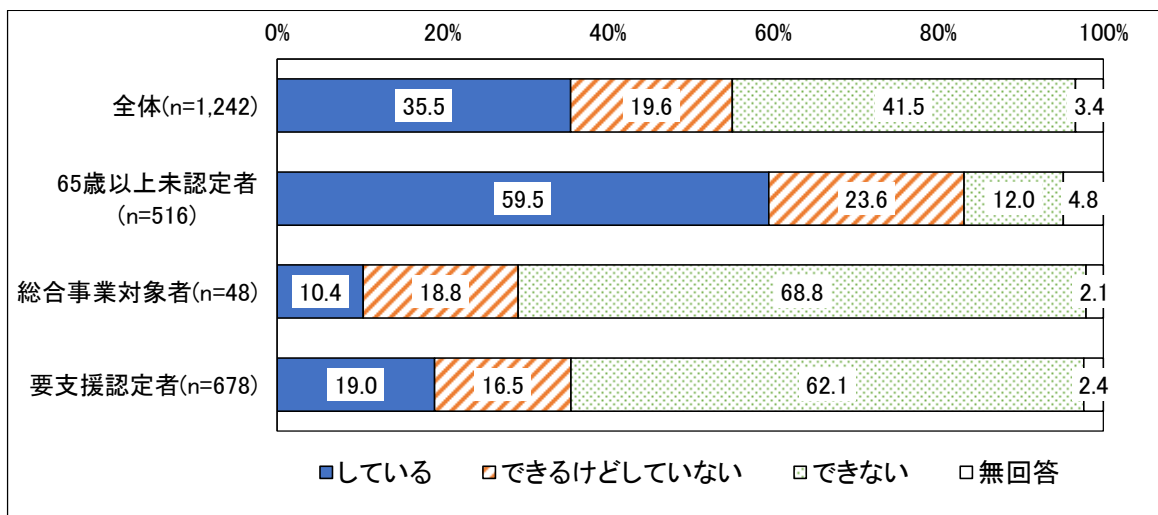
- 「持家(一戸建て)」が75.2%と特に高くなっています。



(2) 問2 からだを動かすことについて

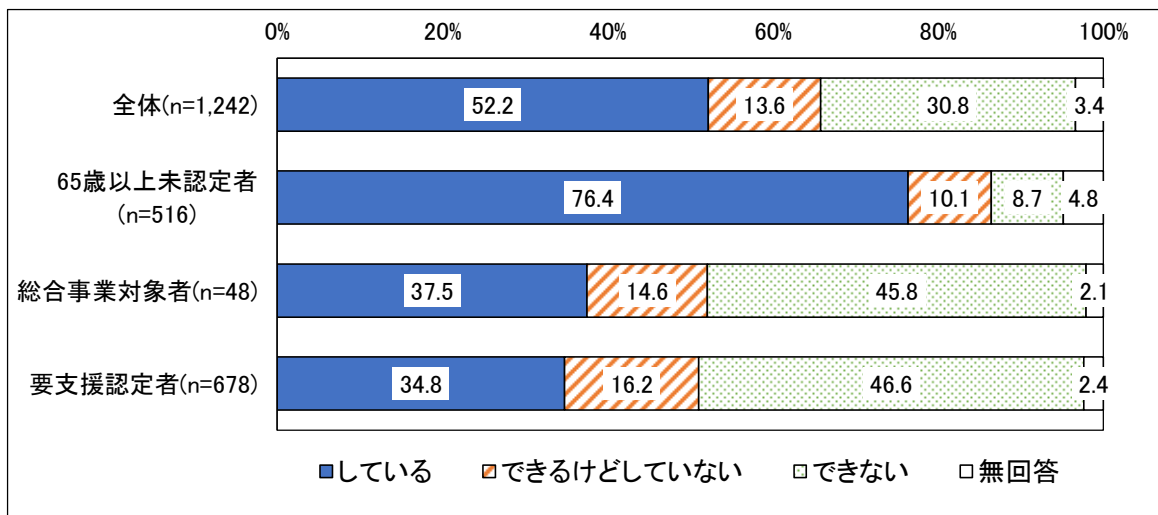
問2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

- ・ 「できない」が41.5%で最も高くなっています。
- ・ 「できない」が、特に総合事業対象者では68.8%、要支援認定者では62.1%と高くなっています。



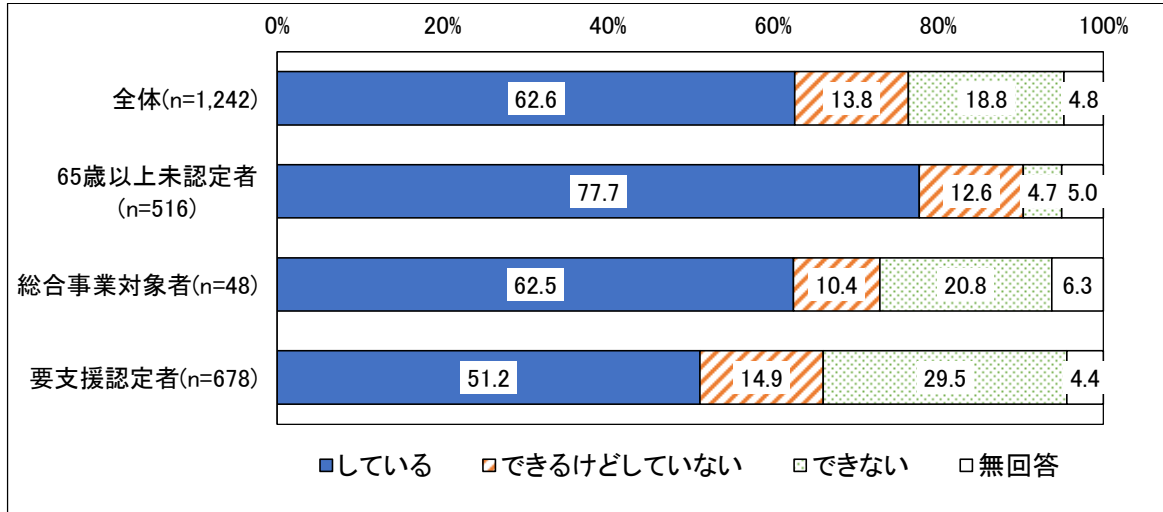
問2-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

- ・ 「している」が52.2%で最も高くなっています。
- ・ 「している」は、総合事業対象者では37.5%、要支援認定者では34.8%と低くなっています。



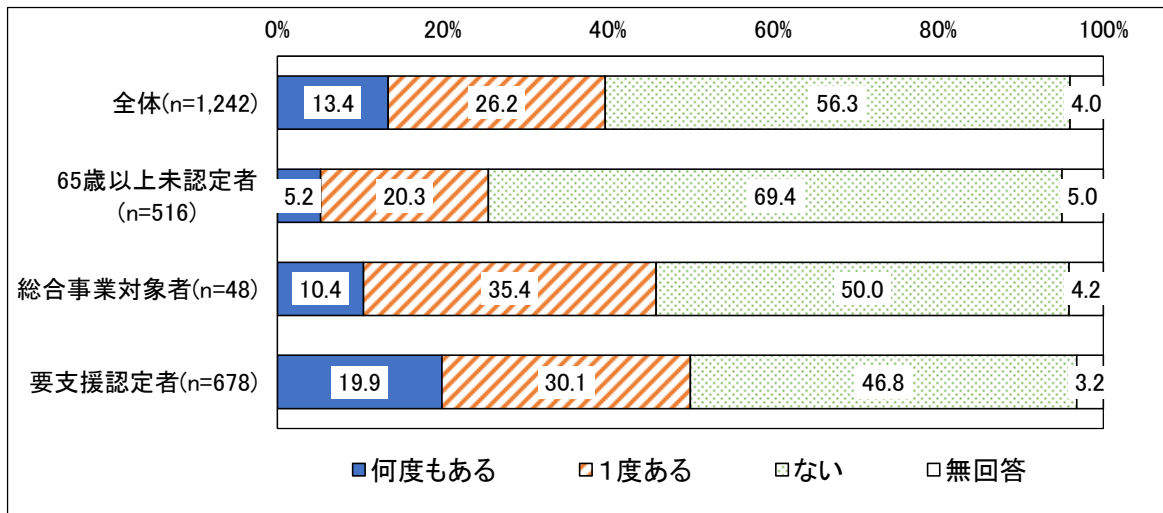
問2-3 15分位続けて歩いていますか

- 「している」が62.6%で最も高くなっています。
- 要支援認定者では「している」が51.2%と比較的低く、「できない」が29.5%となっています。



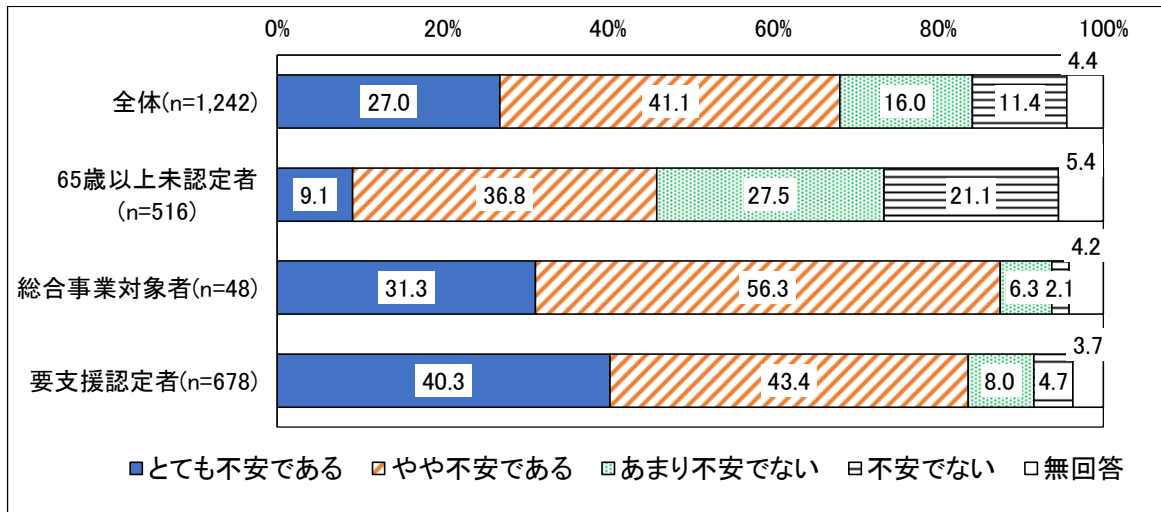
問2-4 過去1年間に転んだ経験がありますか

- 「ない」が56.3%で最も高くなっています。
- 「ない」が、総合事業対象者では50.0%、要支援認定者では46.8%と比較的低くなっています。



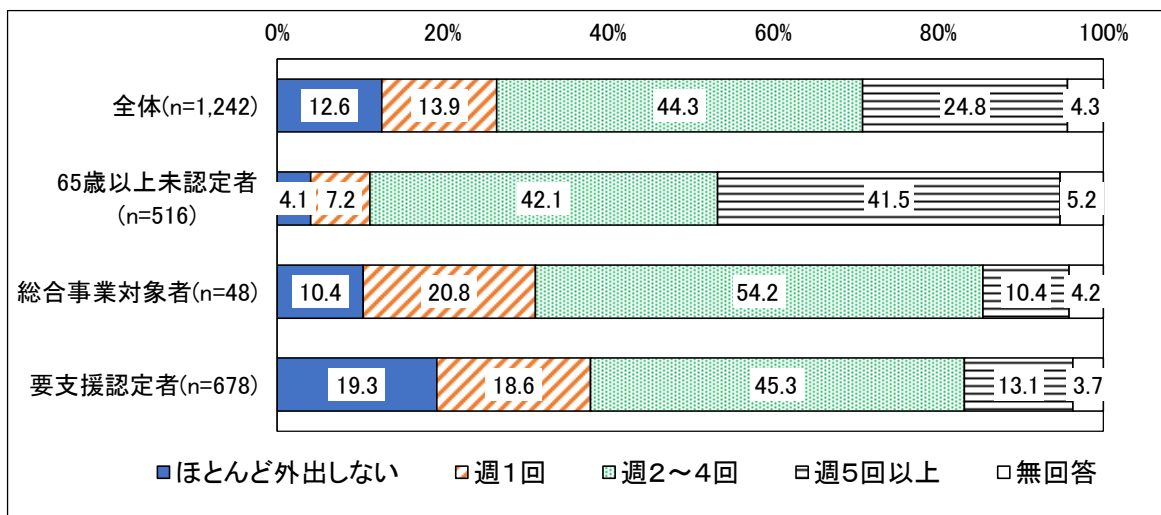
問2-5 転倒に対する不安は大きいですか

- 「やや不安である」が41.1%で最も高くなっています。
- 『不安である』（とても不安である+やや不安である）が68.1%に対して、『不安でない』（あまり不安でない+不安でない）は27.4%となっています。
- 『不安である』（とても不安である+やや不安である）は、65歳以上未認定者では45.9%となっているのに対し、総合事業対象者では87.6%、要支援認定者では83.7%と高くなっています。



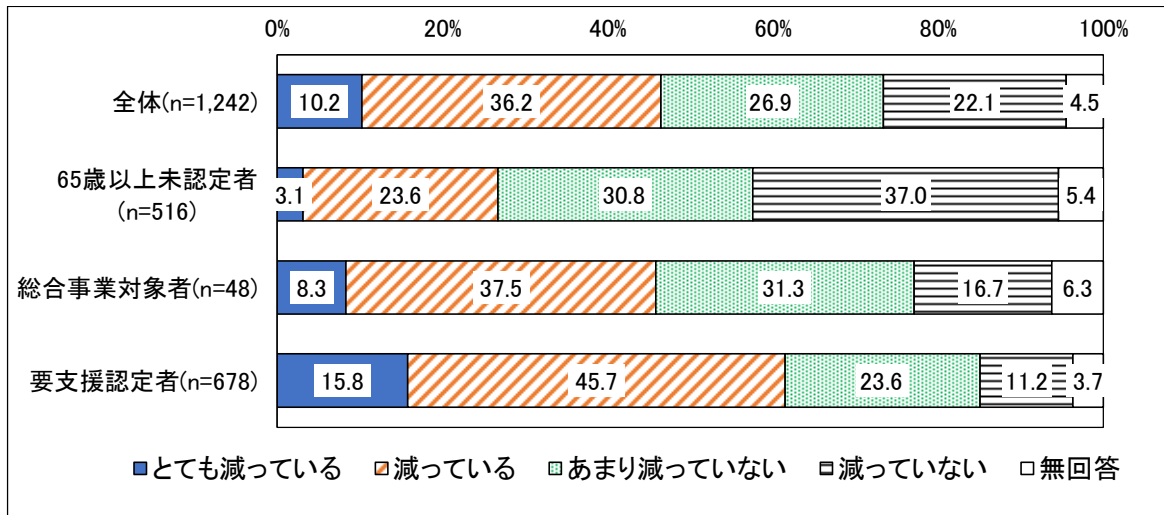
問2-6 週に1回以上は外出していますか

- 「週2~4回」が44.3%で最も高く、次いで、「週5回以上」(24.8%)となっています。
- 「ほとんど外出しない」は12.6%となっていますが、総合事業対象者では10.4%、要支援認定者では19.3%と比較的高くなっています。



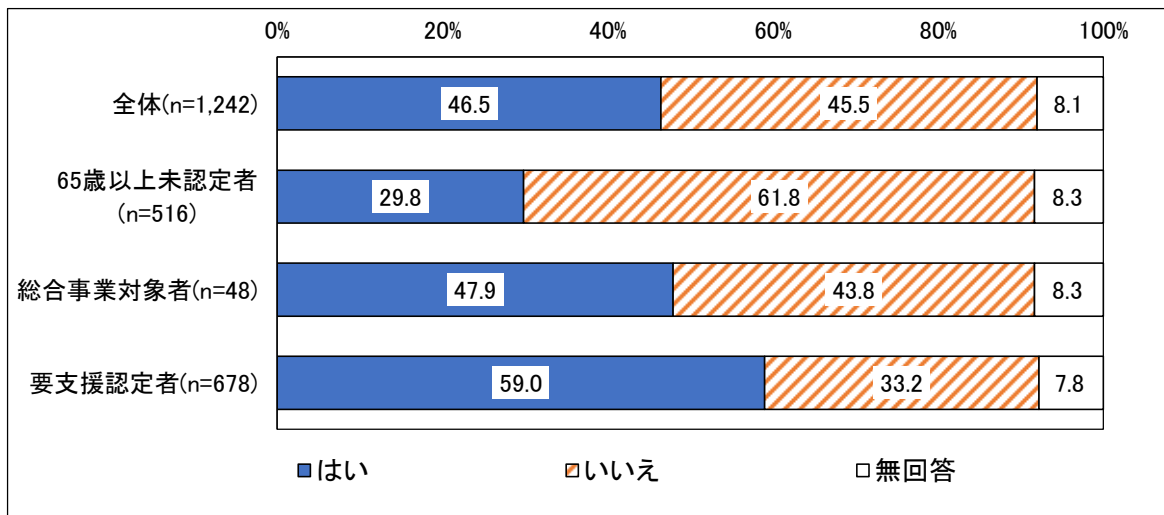
問 2-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

- 「減っている」が 36.2%で最も高くなっています。
- 『減っている』(とても減っている+減っている)が 46.4%に対して、『減っていない』(あまり減っていない+減っていない)は 49.0%となっています。
- 『減っている』(とても減っている+減っている)は、65 歳以上未認定者では 26.7%となっているのに対し、総合事業対象者では 45.8%、要支援認定者では 61.5%と高くなっています。



問 2-8 外出を控えていますか

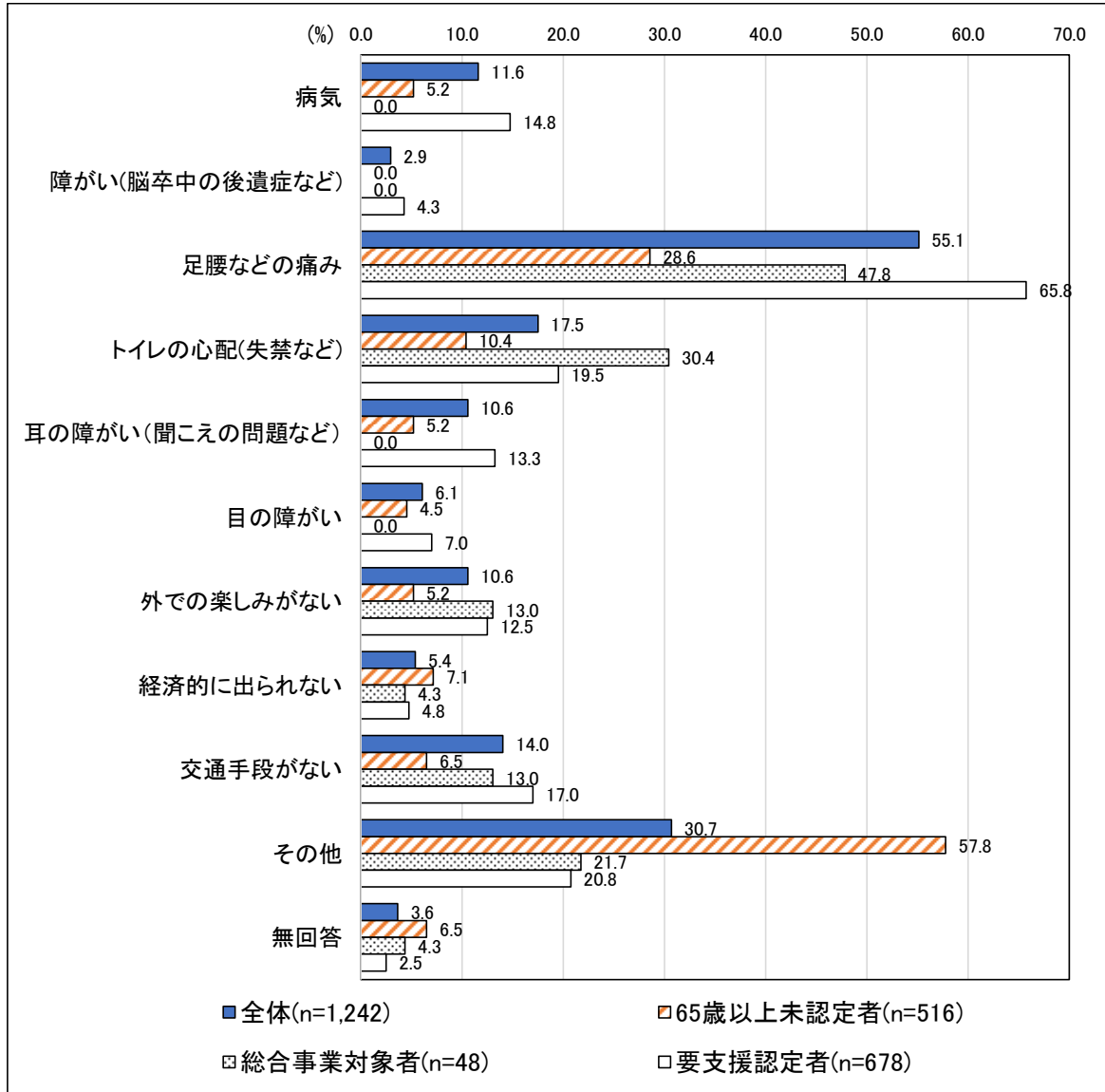
- 「はい」が 46.5%と高くなっています。
- 「はい」は、65 歳以上未認定者では 29.8%となっているのに対し、総合事業対象者では 47.9%、要支援認定者では 59.0%と高くなっています。



【問2-8において「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

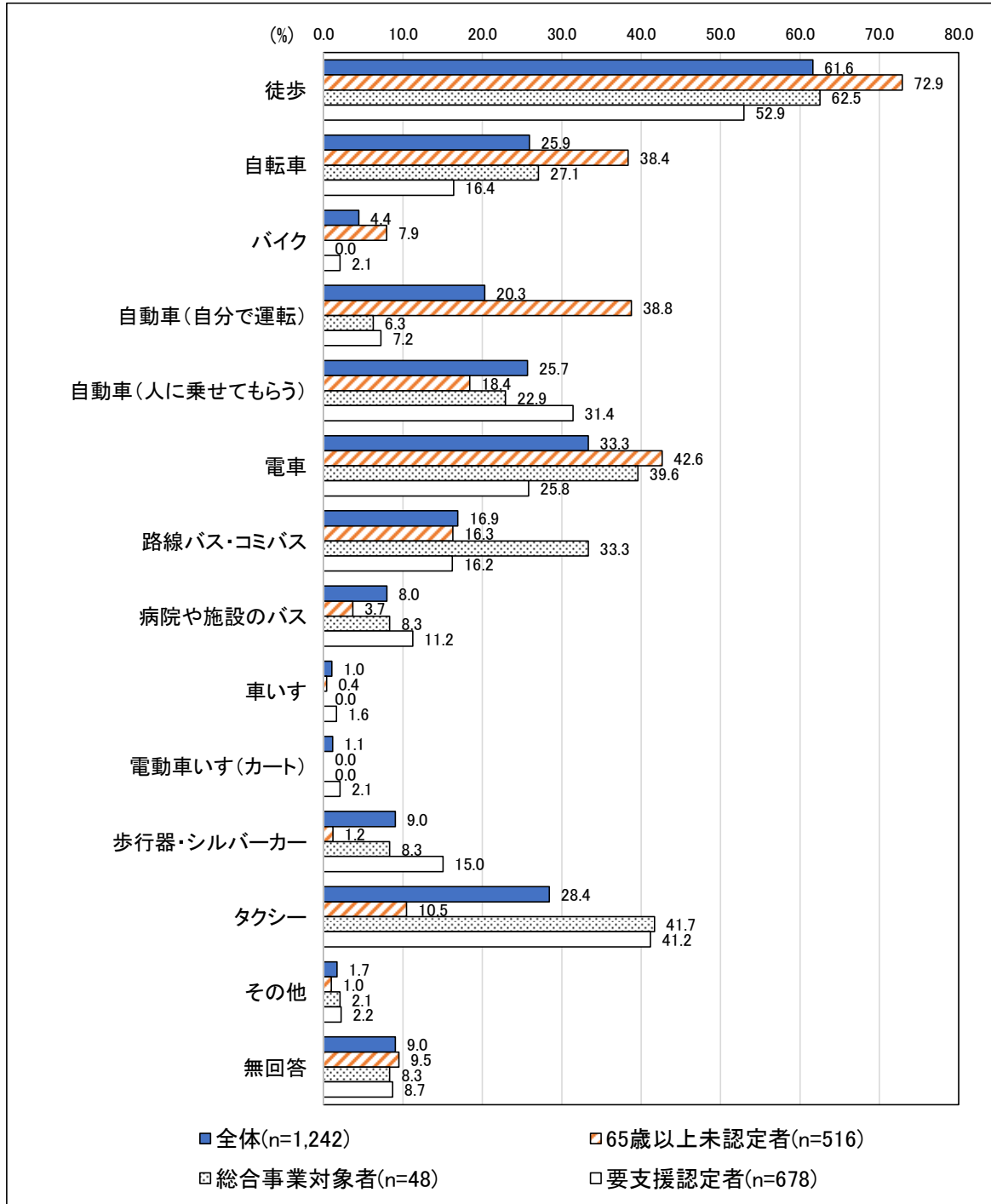
問2-8① 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

- 「足腰などの痛み」が55.1%で特に高くなっています。
- 特に要支援認定者では、「足腰などの痛み」が65.8%と高くなっています。



問2-9 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

- 「徒歩」が61.6%で最も高く、次いで、「電車」(33.3%)、「タクシー」(28.4%)、「自転車」(25.9%)となっています。
- 「タクシー」は、65歳以上未認定者では10.5%となっているのに対し、総合事業対象者では41.7%、要支援認定者では41.2%と高くなっています。

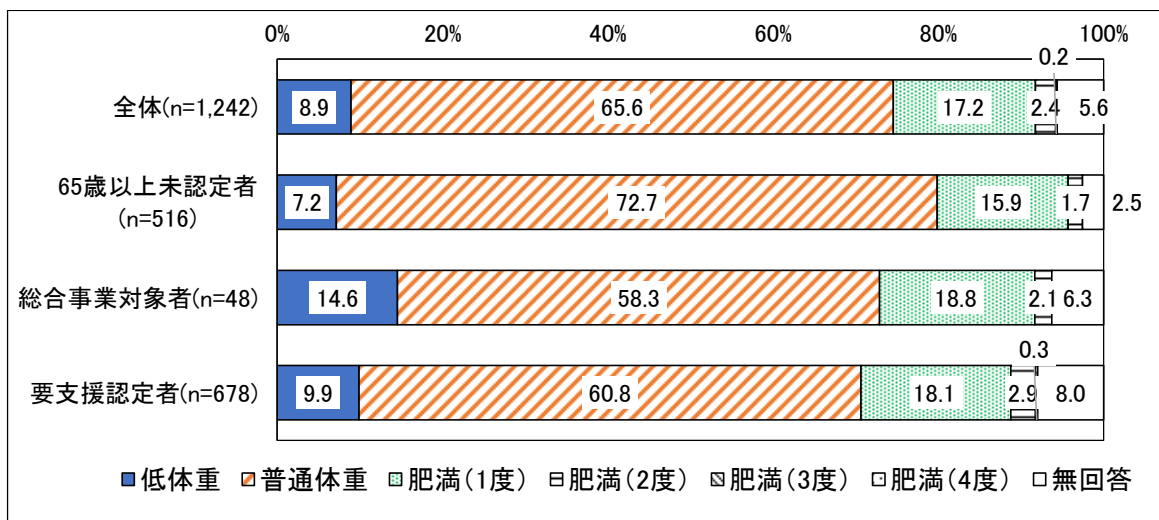


(3) 問3 食べることについて

問3-1 身長・体重

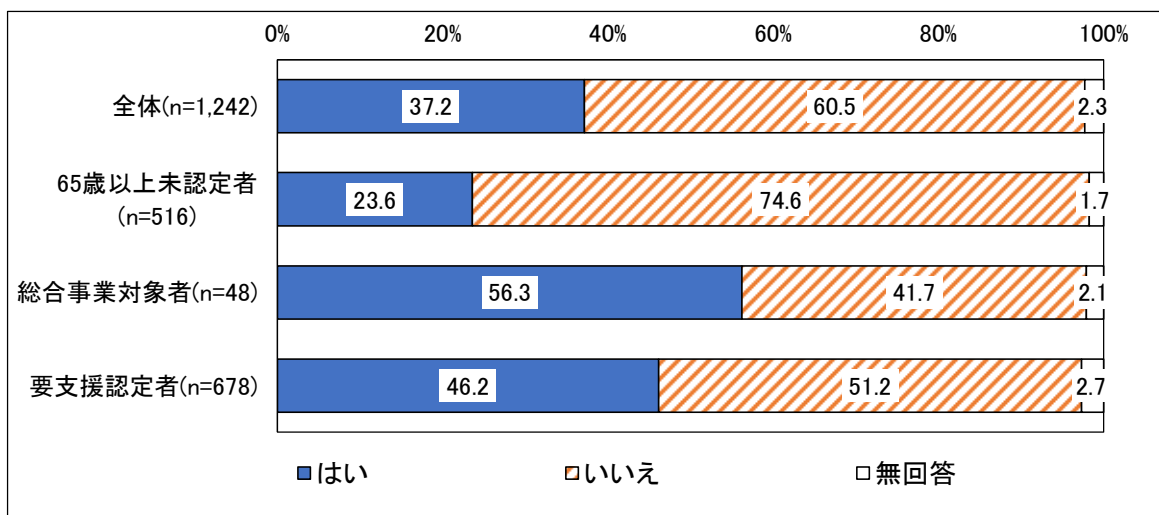
身長・体重から、BMIを算出し、「低体重」～「肥満（4度）」で表示します。

- 「普通体重」が65.6%で最も高くなっています。
- 「低体重」は、65歳以上未認定者では7.2%となっているのに対し、総合事業対象者では14.6%、要支援認定者では9.9%と若干高くなっています。



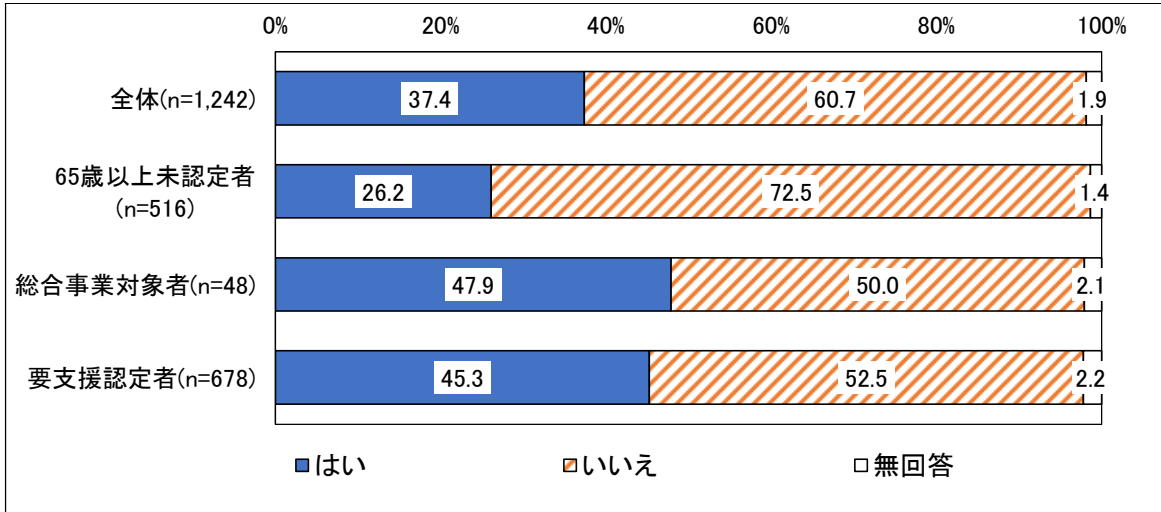
問3-2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（〇はひとつ）

- 「いいえ」が60.5%と高くなっています。
- 「はい」は、65歳以上未認定者では23.6%となっているのに対し、総合事業対象者では56.3%、要支援認定者では46.2%と高くなっています。



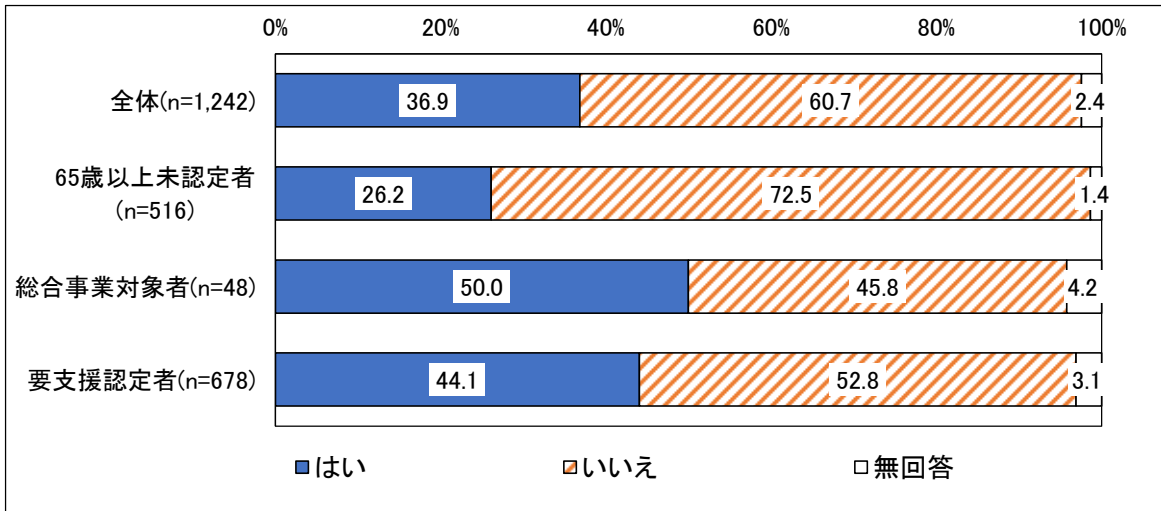
問3-3 お茶や汁物等でむせることがありますか (○はひとつ)

- 「いいえ」が60.7%と高くなっています。
- 「はい」は、65歳以上未認定者では26.2%となっているのに対し、総合事業対象者では47.9%、要支援認定者では45.3%と高くなっています。



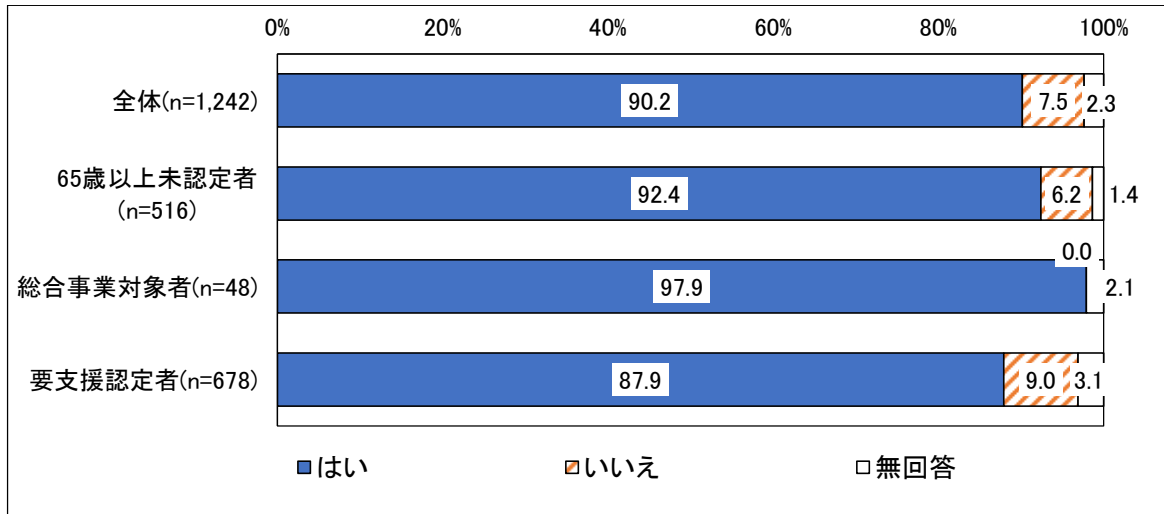
問3-4 口の渇きが気になりますか (○はひとつ)

- 「いいえ」が60.7%と高くなっています。
- 「はい」は、65歳以上未認定者では26.2%となっているのに対し、総合事業対象者では50.0%、要支援認定者では44.1%と高くなっています。



問3-5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

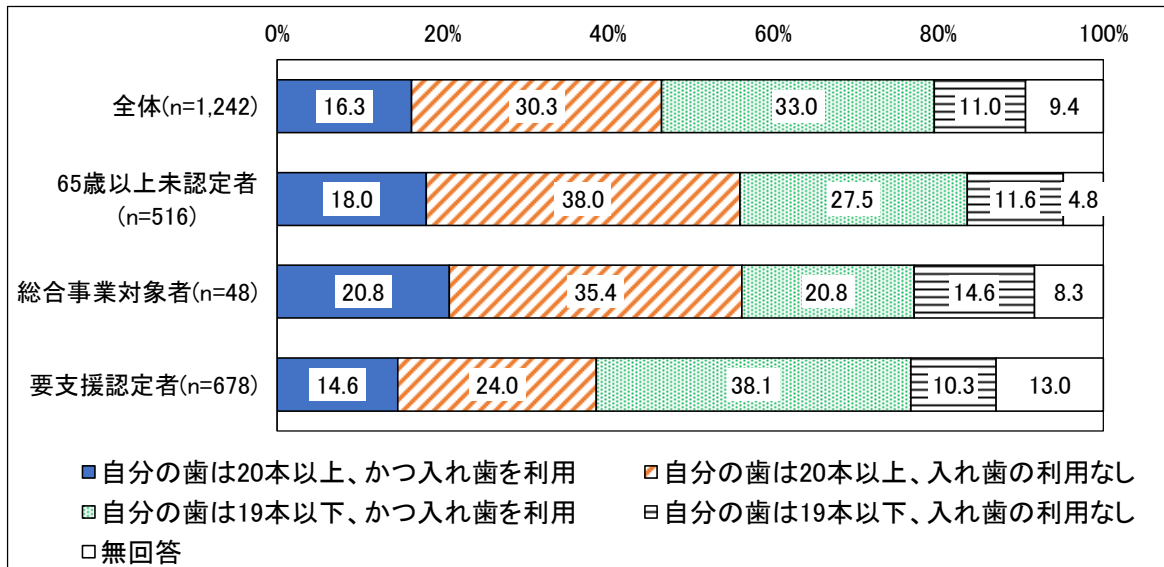
- 「はい」が90.2%となっています。



問3-6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

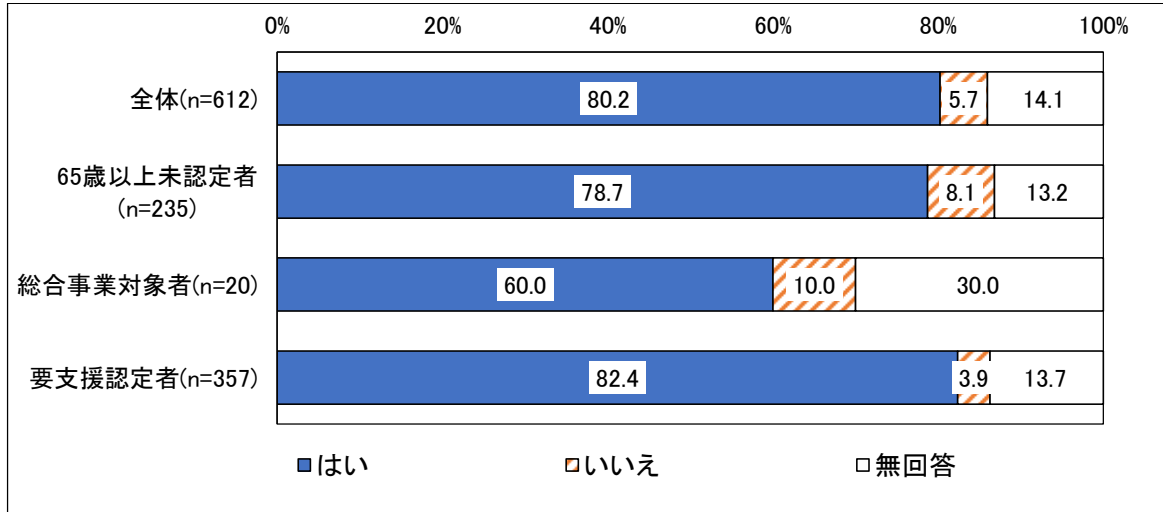
- 「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が33.3%で最も高く、次いで、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が30.3%となっています。



【問3-6で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

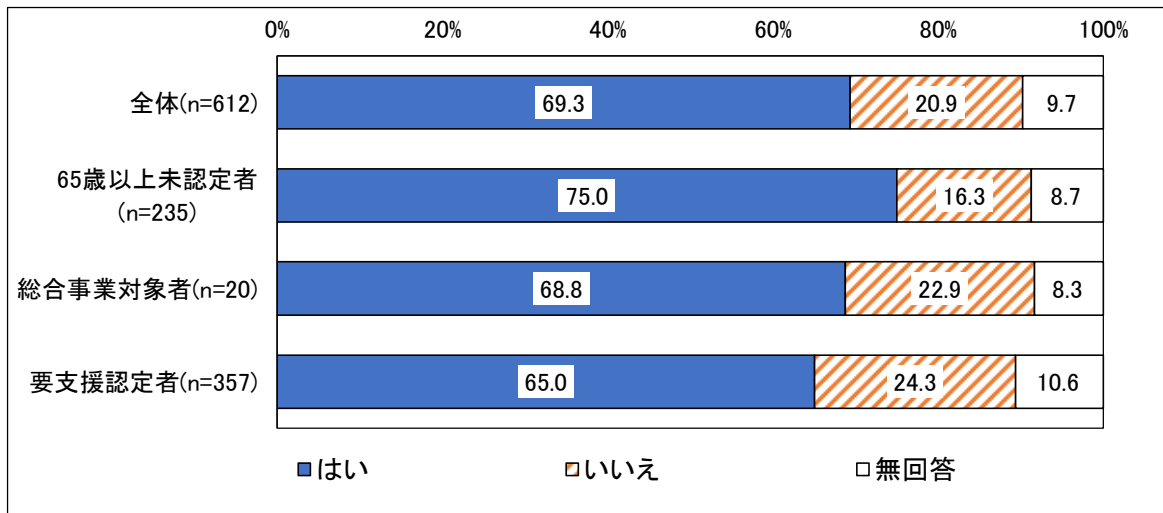
問3-7① 毎日入れ歯の手入れをしていますか

- 「はい」が80.2%となっています。



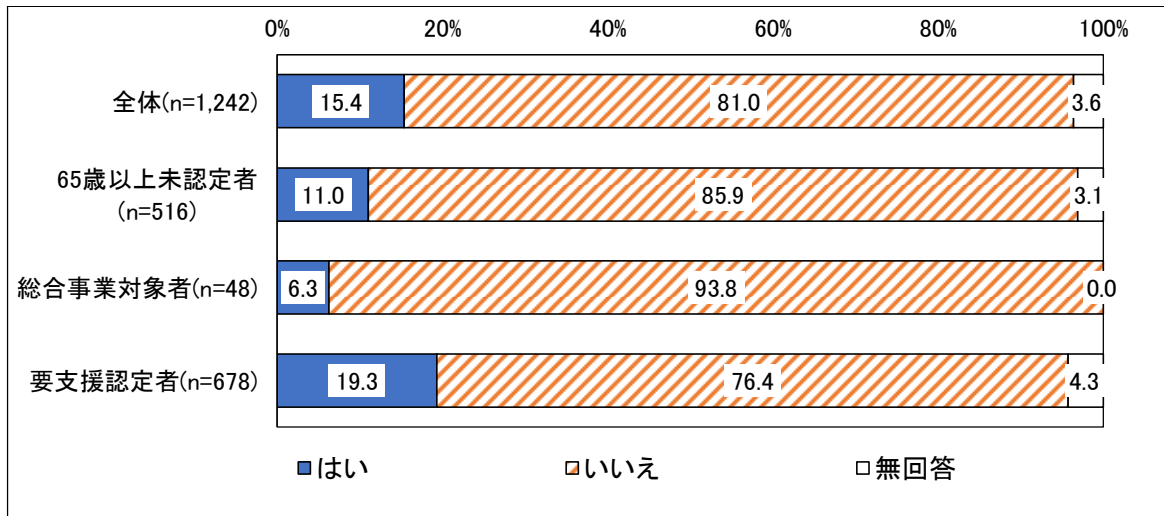
問3-7② 噛み合わせは良いですか

- 「はい」が69.3%となっています。
- 「いいえ」は、65歳以上未認定者では16.3%となっているのに対し、総合事業対象者では22.9%、要支援認定者では24.3%と高くなっています。



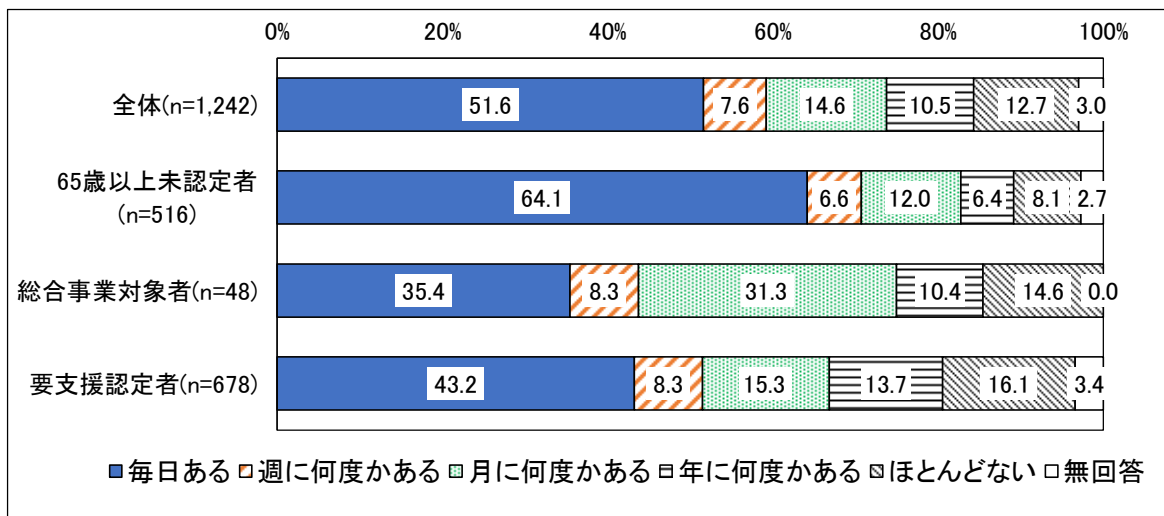
問3-8 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

- 「いいえ」が81.0%となっています。
- 要支援認定者では、「はい」が19.3%で、比較的高くなっています。



問3-9 どなたかと食事をとる機会がありますか

- 「毎日ある」が51.6%と最も高くなっています。
- 総合事業対象者や要支援認定者では、65歳以上未認定者に比べて「毎日ある」が低くなっています。



問3-10 一日の食事の回数は何回ですか

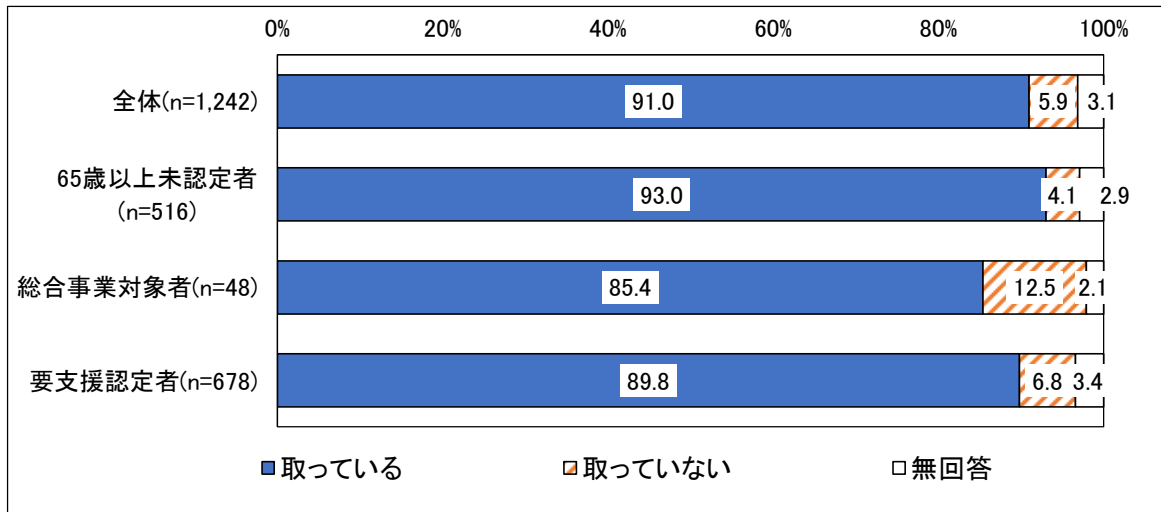
- 「朝昼晩の3食」が89.6%と特に高くなっています。

(単位：%)

	朝昼晩の 3食	朝晩の 2食	朝昼の 2食	昼晩の 2食	1食	その他	無回答
全体(n=1,242)	89.6	3.9	0.8	2.7	0.4	0.2	2.4
65歳以上未認定者(n=516)	89.9	4.3	1.2	1.4	0.4	0.4	2.5
総合事業対象者(n=48)	93.8	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1
要支援認定者(n=678)	89.1	3.7	0.6	3.8	0.4	0.0	2.4

問3-11 毎日の食事でタンパク質（肉・魚・卵・大豆製品）を取っていますか

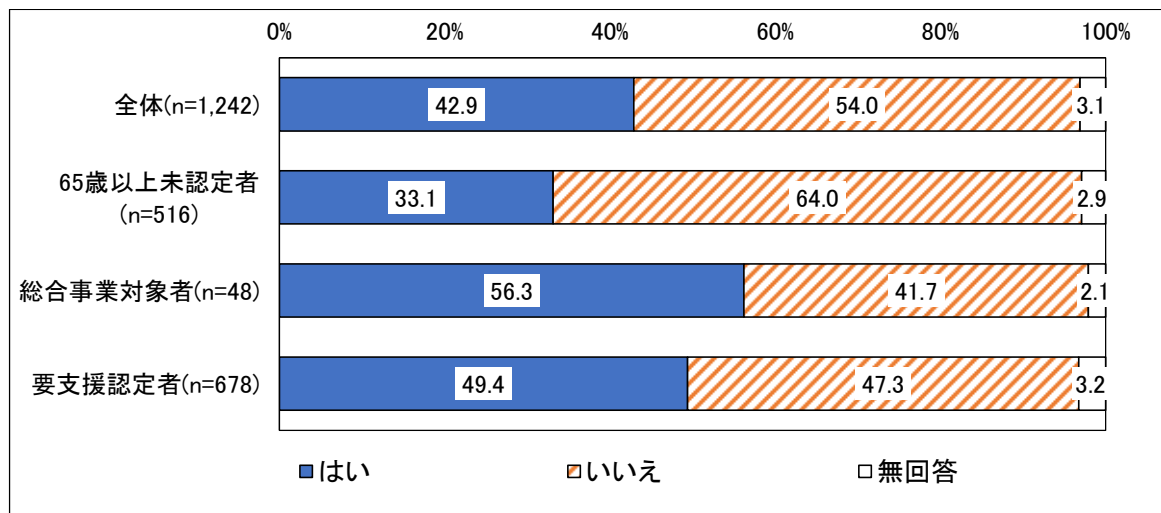
- 「取っている」が91.0%となっています。
- 総合事業対象者では「取っていない」が12.5%と比較的高くなっています。



(4) 問4 毎日の生活について

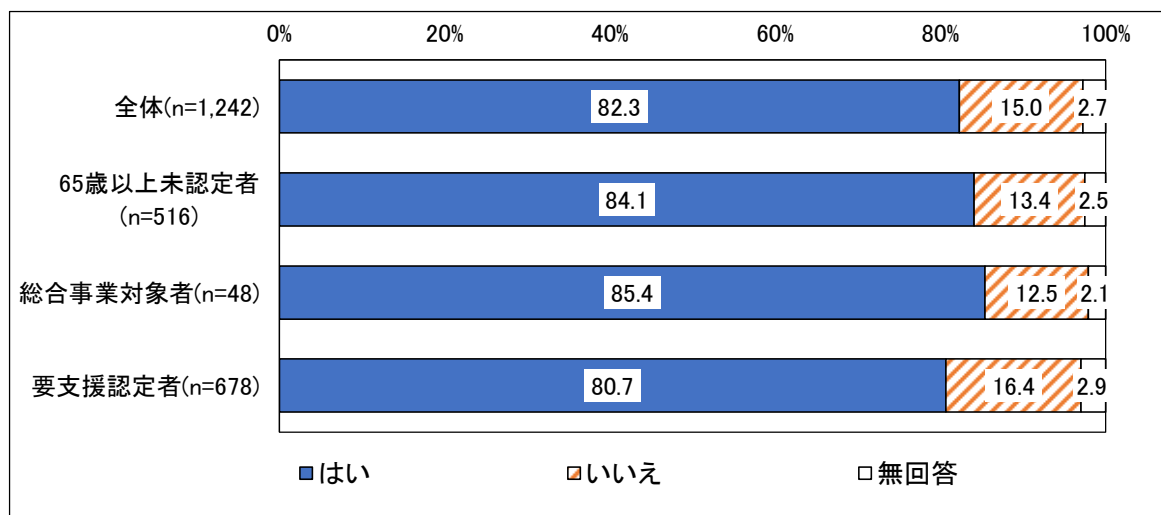
問4-1 物忘れが多いと感じますか

- 「いいえ」が54.0%となっています。
- 「はい」は、65歳以上未認定者では33.1%となっているのに対し、総合事業対象者では56.3%、要支援認定者では49.4%と高くなっています。



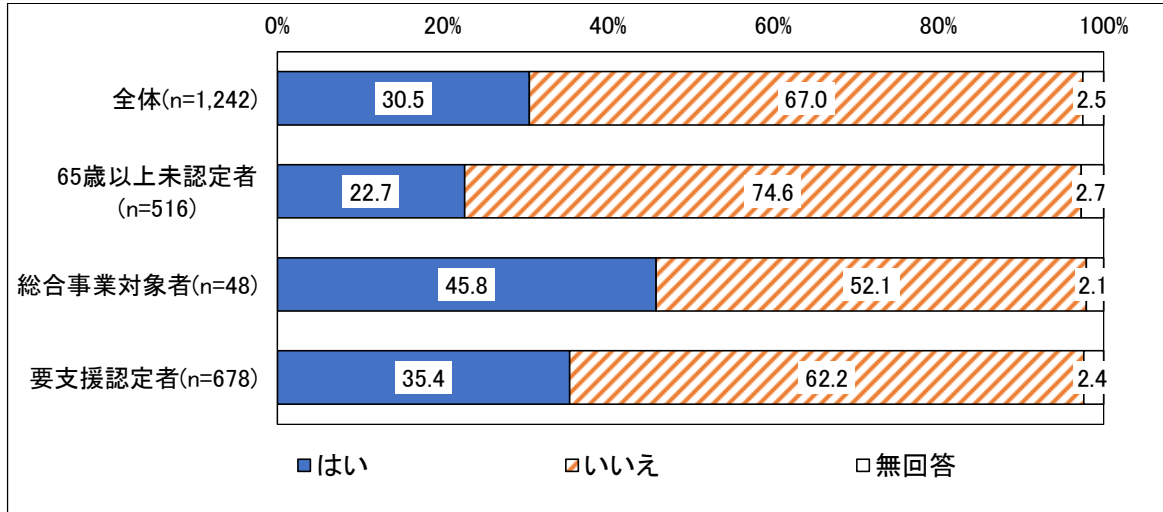
問4-2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

- 「はい」が82.3%となっています。



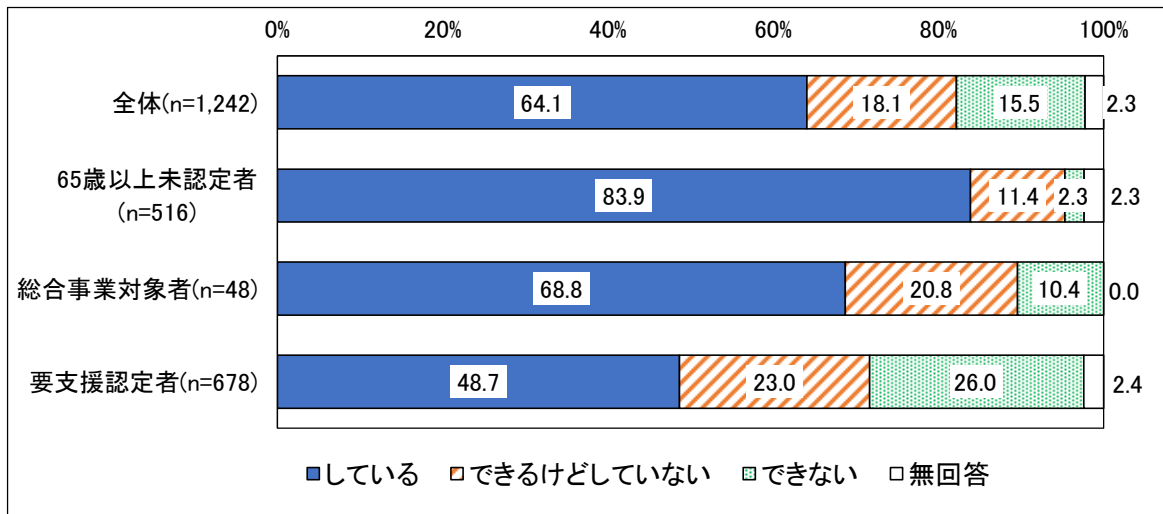
問4-3 今日が何月何日かわからない時がありますか

- 「いいえ」が67.0%となっています。
- 「はい」は、65歳以上未認定者では22.7%となっているのに対し、総合事業対象者では45.8%、要支援認定者では35.4%と高くなっています。



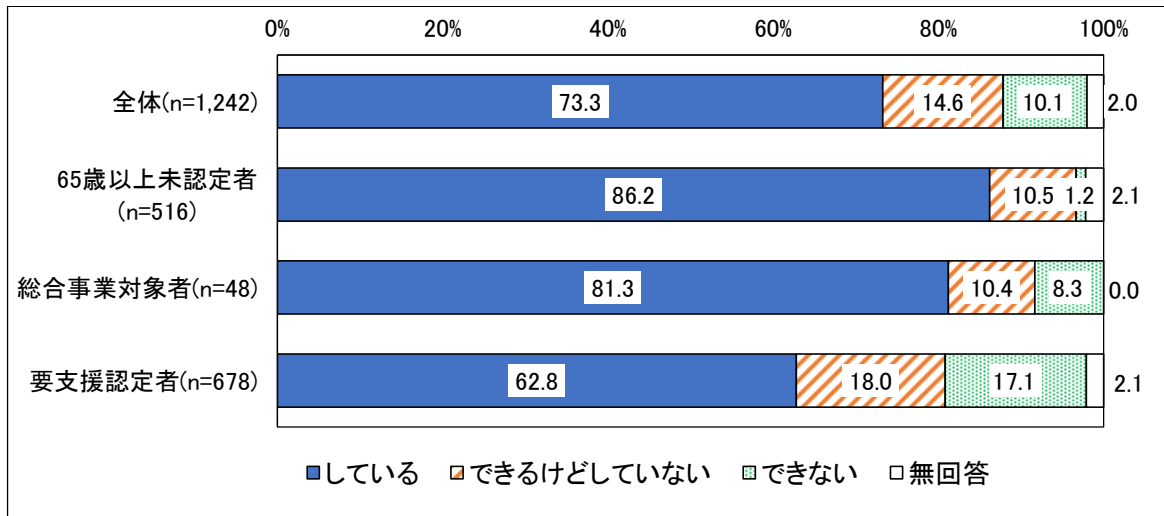
問4-4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

- 「している」が64.1%となっています。
- 要支援認定者では「できない」が26.0%と比較的高くなっています。



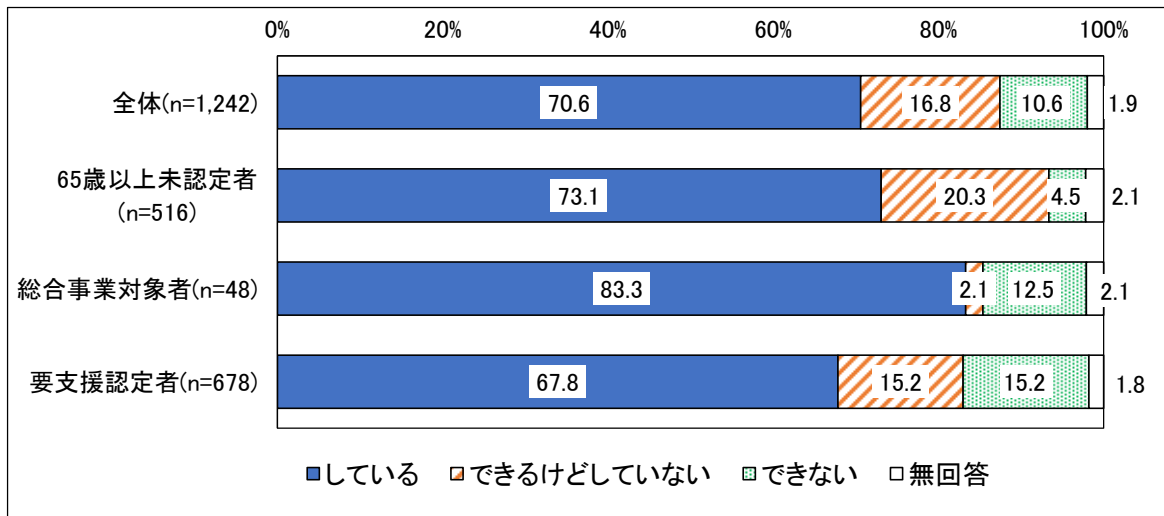
問4-5 自分で食品・日用品の買物をしていますか

- 「している」が73.3%となっています。
- 要支援認定者では「できない」が17.1%と比較的高くなっています。



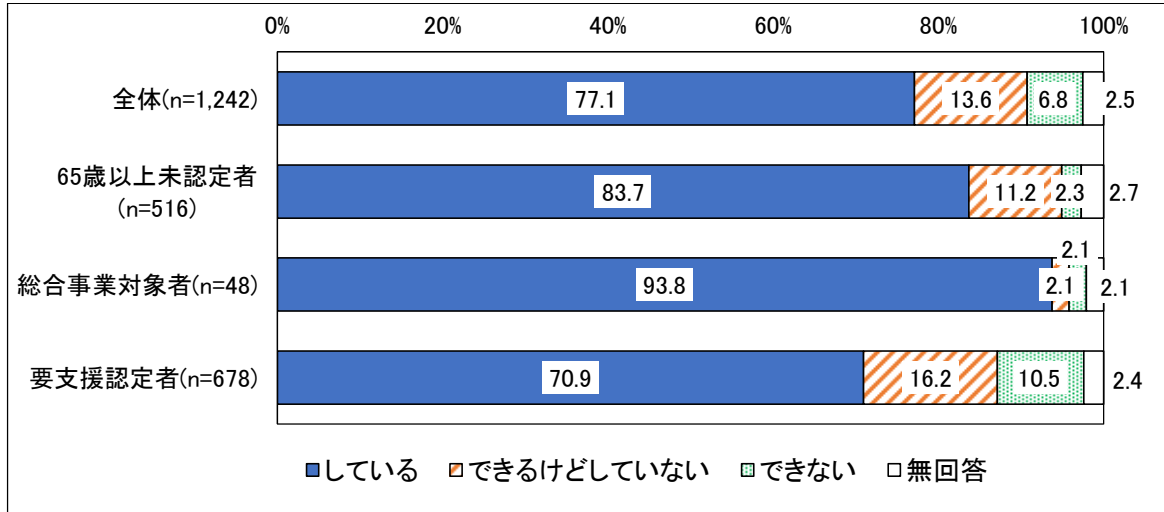
問4-6 自分で食事の用意をしていますか

- 「している」が70.6%となっています。
- 「できない」は、65歳以上未認定者では4.5%となっているのに対し、総合事業対象者では12.5%、要支援認定者では15.2%と高くなっています。



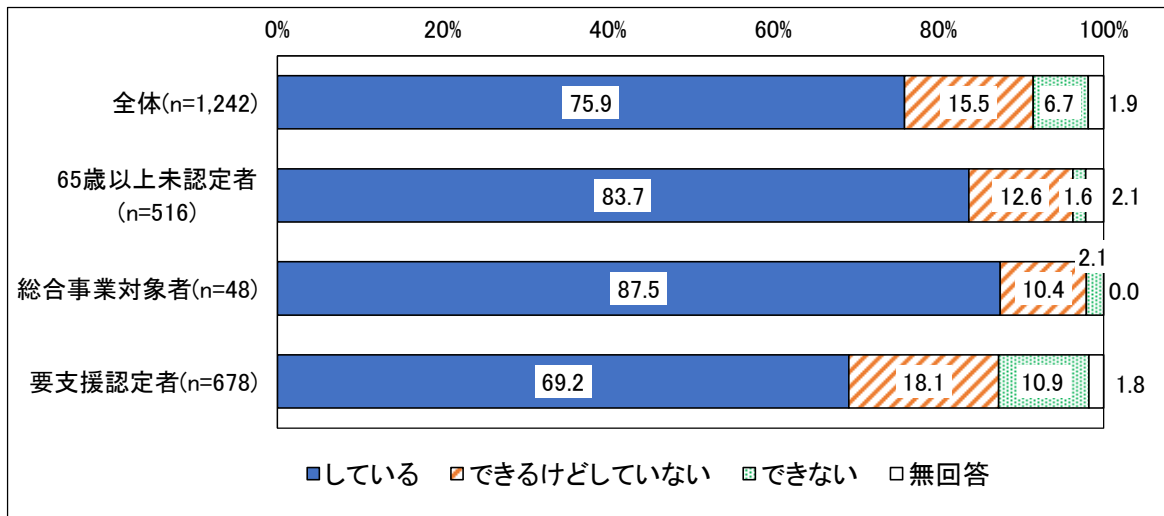
問4-7 自分で請求書の支払いをしていますか

- 「している」が77.1%となっています。
- 要支援認定者では「できるけどしていない」(16.2%)や「できない」(10.5%)が比較的高くなっています。



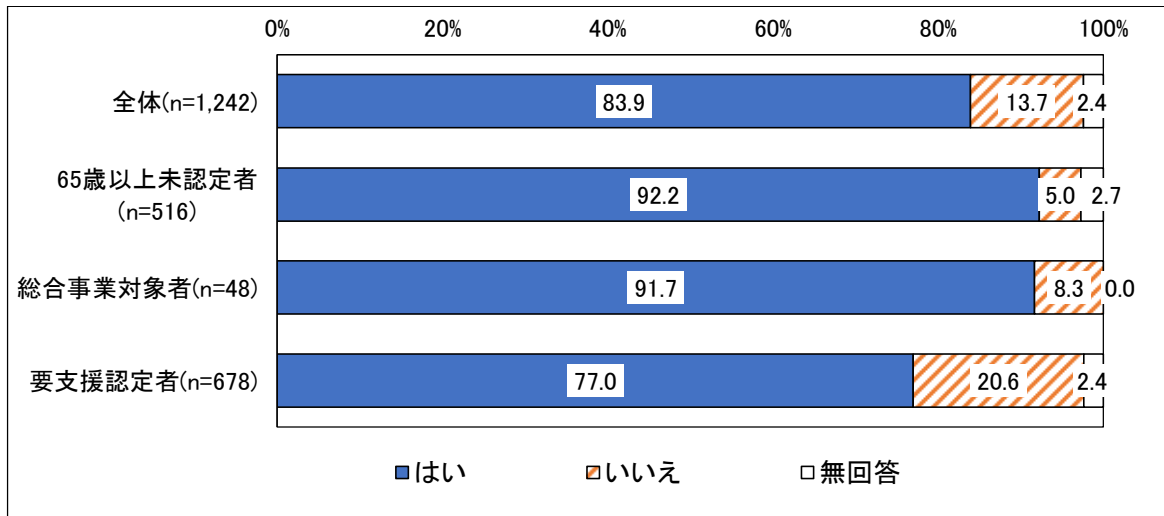
問4-8 自分で預貯金の出し入れをしていますか

- 「している」が75.9%となっています。
- 要支援認定者では「できない」が10.9%と比較的高くなっています。



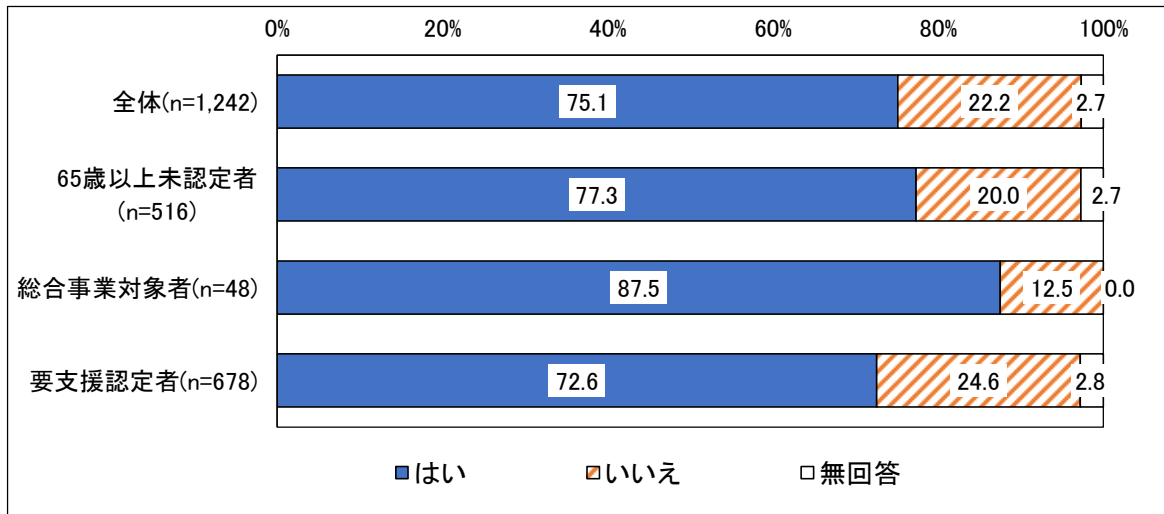
問 4-9 年金などの書類（市役所や病院などに出す書類）が書けますか（○はひとつ）

- 「はい」が83.9%となっています。
- 要支援認定者では「いいえ」が20.6%と比較的高くなっています。



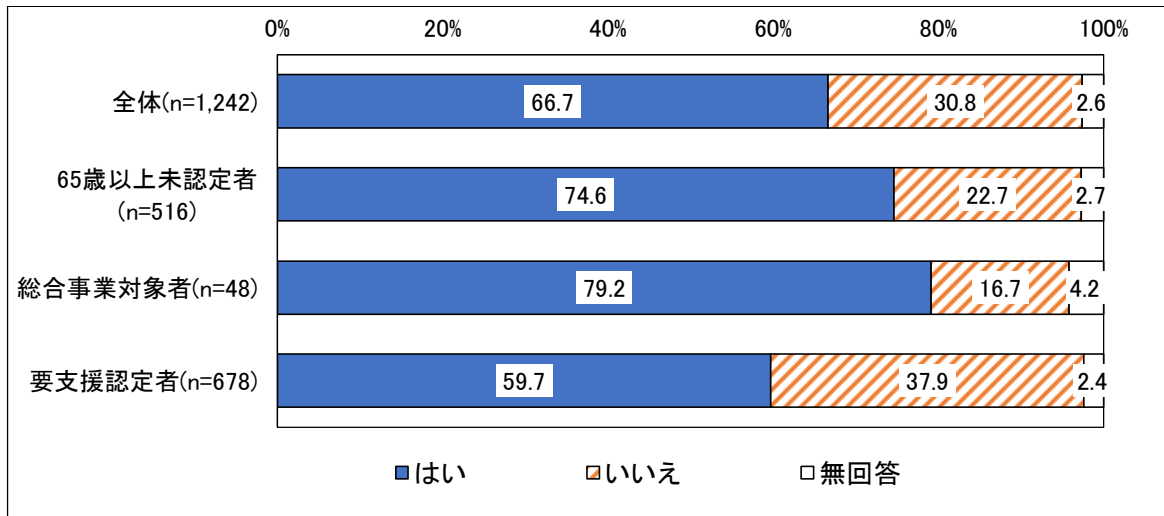
問 4-10 新聞を読んでいますか（○はひとつ）

- 「はい」が75.1%となっています。
- 要支援認定者では「いいえ」が24.6%と比較的高くなっています。



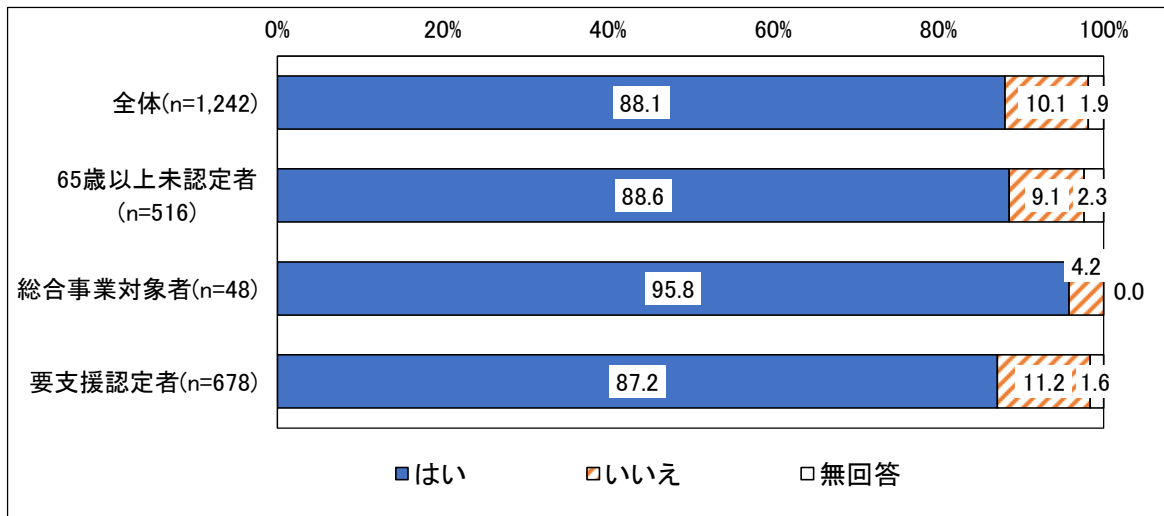
問4-11 本や雑誌を読んでいますか（○はひとつ）

- 「はい」が66.7%となっています。
- 要支援認定者では「いいえ」が37.9%と比較的高くなっています。



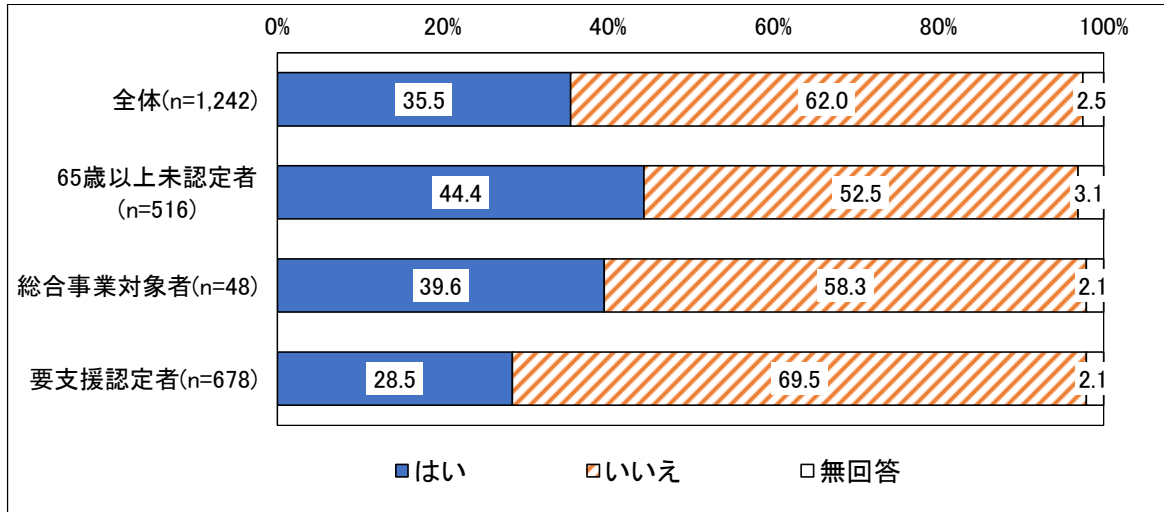
問4-12 健康についての記事や番組に関心がありますか（○はひとつ）

- 「はい」が88.1%となっています。



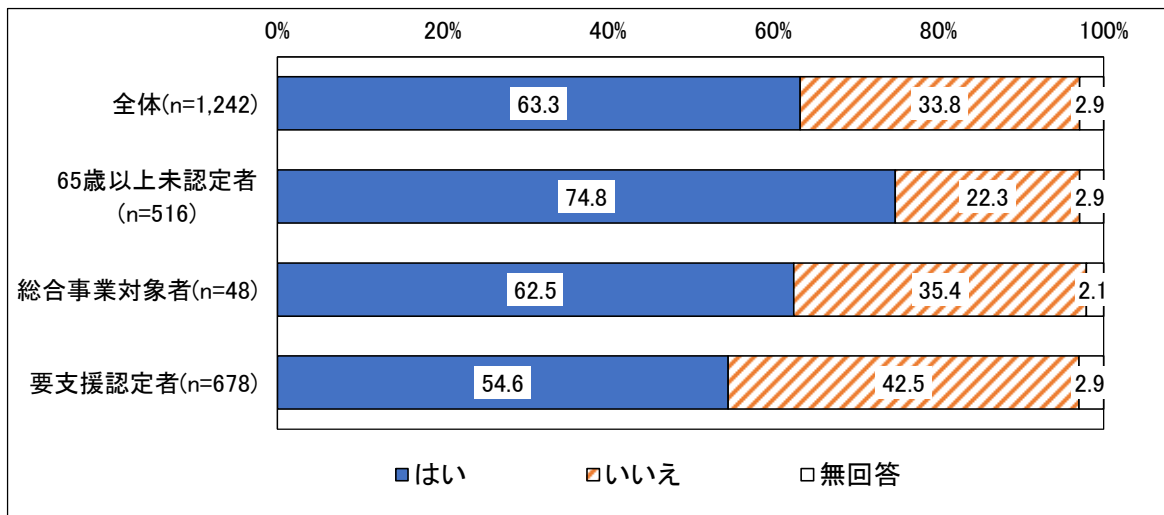
問4-13 友人の家を訪ねていますか（〇はひとつ）

- 「いいえ」が62.0%となっています。
- 「いいえ」は、65歳以上未認定者では52.5%となっているのに対し、総合事業対象者では58.3%、要支援認定者では69.5%と高くなっています。



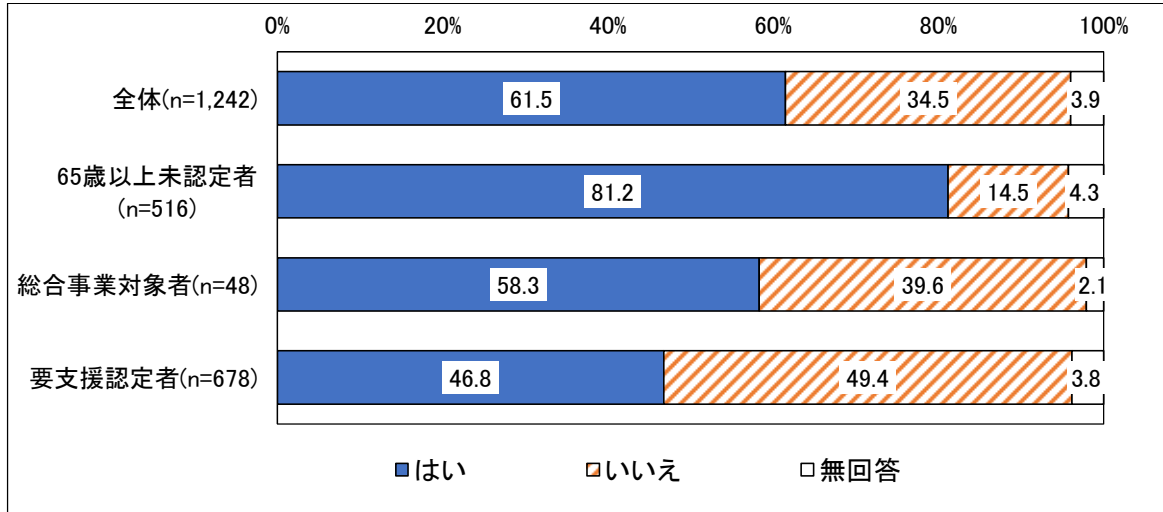
問4-14 家族や友人の相談にのっていますか（〇はひとつ）

- 「はい」が63.3%となっています。
- 「いいえ」は、65歳以上未認定者では22.3%となっているのに対し、総合事業対象者では35.4%、要支援認定者では42.5%と高くなっています。



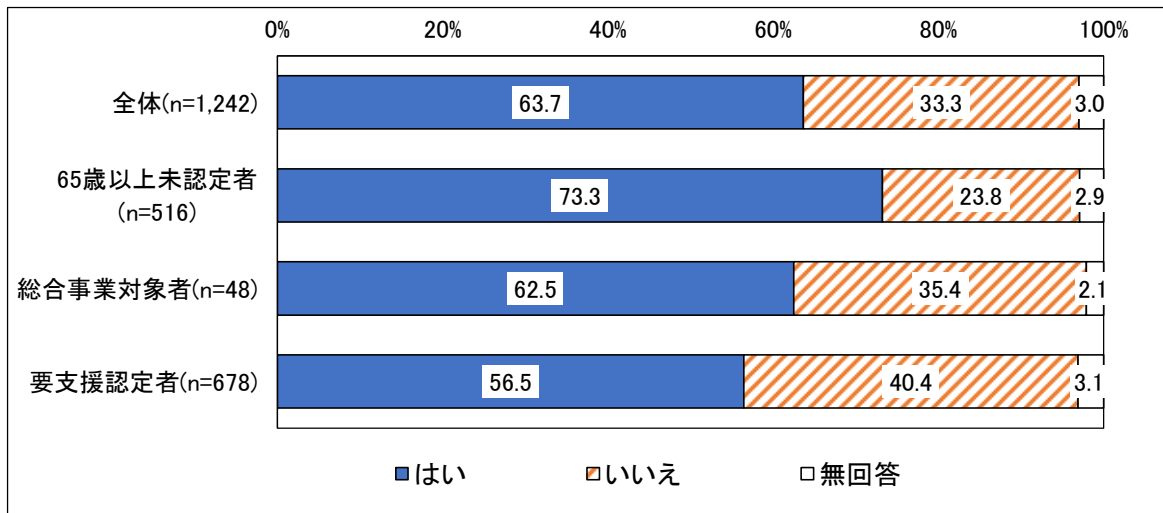
問4-15 病人を見舞うことができますか（〇はひとつ）

- 「はい」が61.5%となっています。
- 「いいえ」は、65歳以上未認定者では14.5%となっているのに対し、総合事業対象者では39.6%、要支援認定者では49.4%と高くなっています。



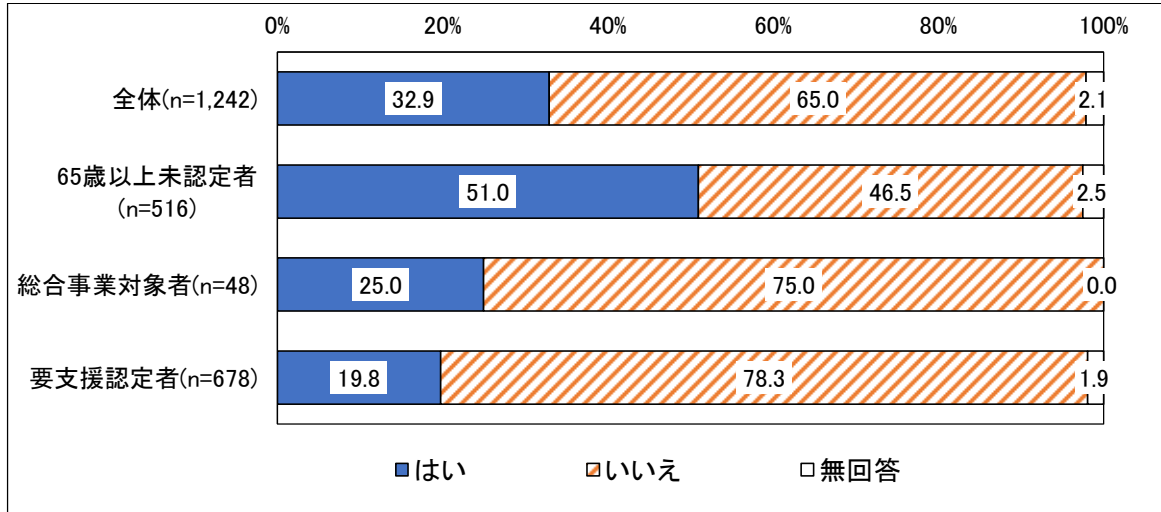
問4-16 若い人に自分から話しかけることがありますか（〇はひとつ）

- 「はい」が63.7%となっています。
- 「いいえ」は、65歳以上未認定者では23.8%となっているのに対し、総合事業対象者では35.4%、要支援認定者では40.4%と高くなっています。



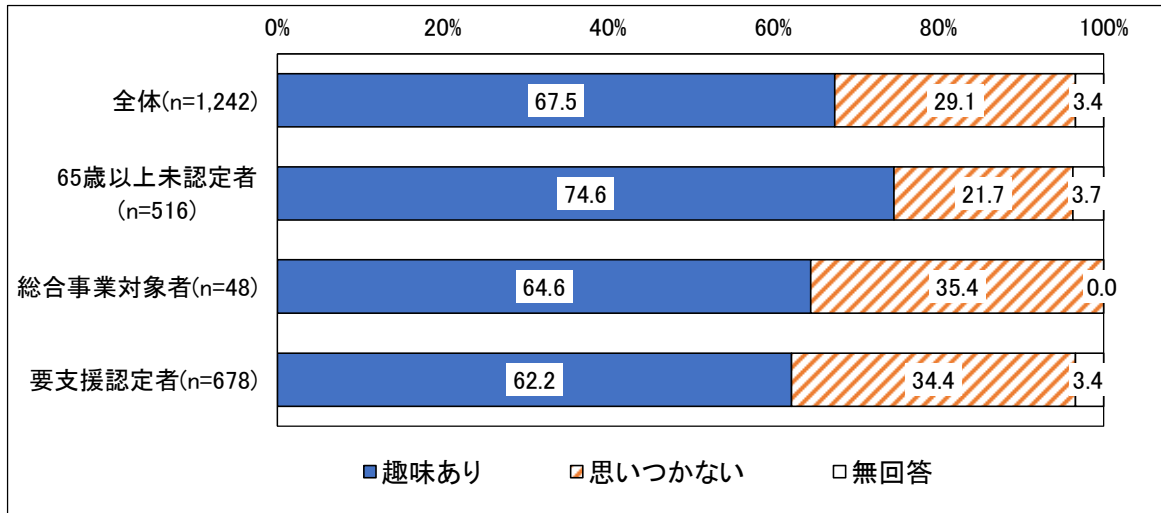
問4-17 インターネットを利用していますか（〇はひとつ）

- 「いいえ」が65.0%となっています。
- 「いいえ」は、65歳以上未認定者では46.5%となっているのに対し、総合事業対象者では75.0%、要支援認定者では78.3%と高くなっています。



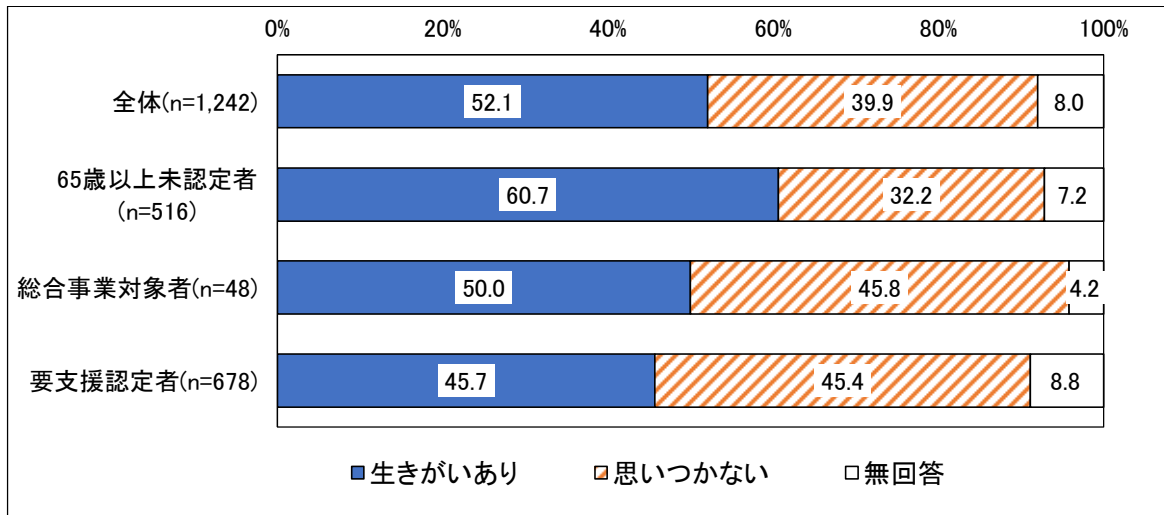
問4-18 趣味はありますか（〇はひとつ）

- 「趣味あり」が67.5%となっています。
- 「趣味あり」は、65歳以上未認定者では74.6%となっているのに対し、総合事業対象者では64.6%、要支援認定者では62.2%と低くなっています。



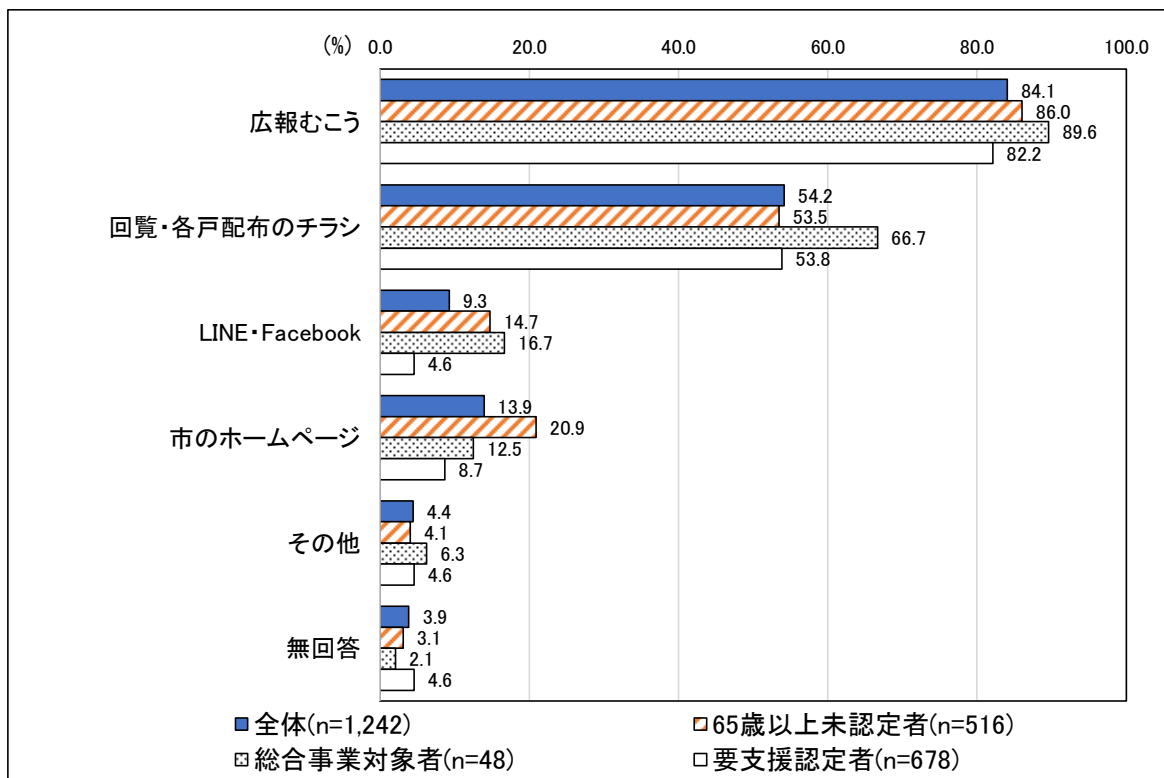
問4-19 生きがいがありますか（〇はひとつ）

- 「生きがいあり」が52.1%となっています。
- 「生きがいあり」は、65歳以上未認定者では60.7%となっているのに対し、総合事業対象者では50.0%、要支援認定者では45.7%と低くなっています。



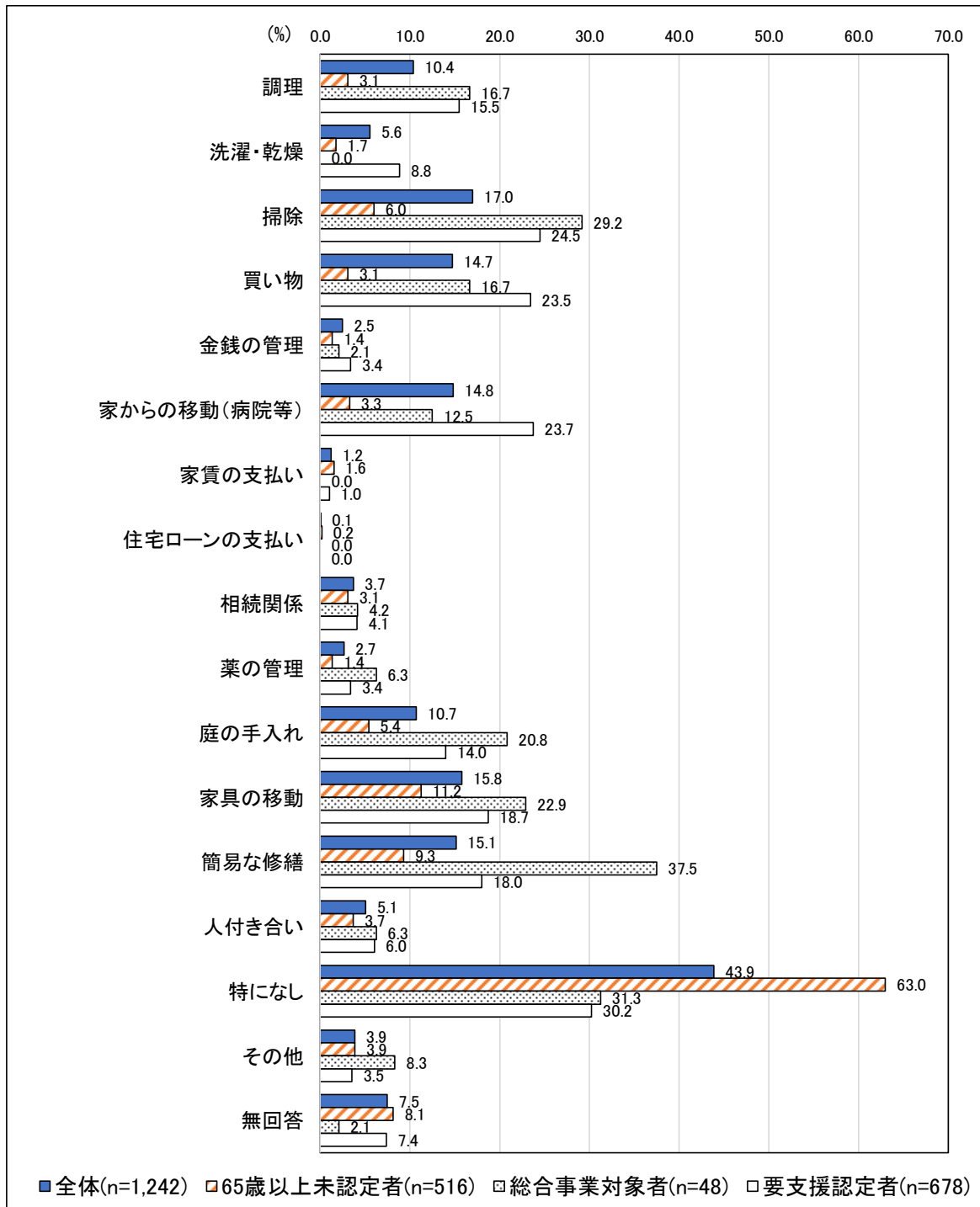
問4-20 市の情報を何で入手されていますか（いくつでも）

- 「広報むこう」が84.1%で最も高く、次いで、「回覧・各戸配布のチラシ」(54.2%)となっています。



問4-21 普段の生活で困っていることはありますか（いくつでも）

- 「特になし」が43.9%で最も高くなっていますが、65歳以上未認定者では63.0%となっているのに対し、総合事業対象者では31.3%、要支援認定者では30.2%と低くなっています。
- 困っていることでは、「掃除」が17.0%で最も高く、次いで、「家具の移動」(15.8%)、「簡易な修繕」(15.1%)となっており、いずれも総合事業対象者や要支援認定者で高くなっています。



(5) 問5 地域での活動について

問5-1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※①～⑧それぞれに回答してください

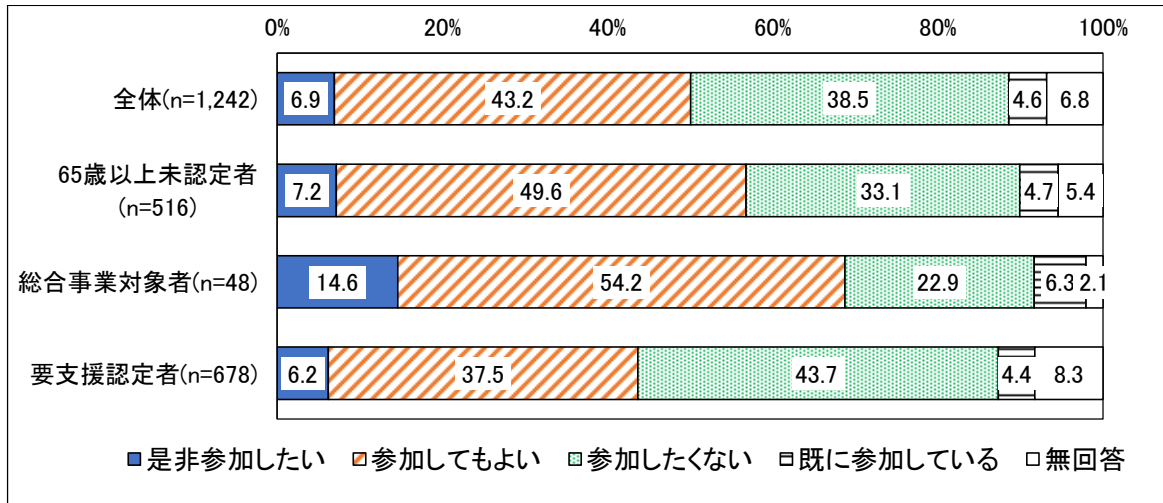
- 全体的に「参加していない」が高くなっています。
- 参加しているでは、「趣味関係のグループ」、「スポーツ関係のグループやクラブ」、「町内会・自治会」「地域健康塾など介護予防のための通いの場」などで10%～20%前後の参加の割合がみられます。

(単位:%)

会・グループ	認定状況	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
① ボランティアのグループ	全体(n=1,242)	0.5	0.6	0.7	2.5	1.7	65.4	28.7
	65歳以上未認定者(n=516)	0.8	0.6	0.8	3.5	2.1	70.5	21.7
	総合事業対象者(n=48)	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	56.3	39.6
	要支援認定者(n=678)	0.3	0.6	0.7	1.8	1.3	62.1	33.2
② スポーツ関係のグループやクラブ	全体(n=1,242)	2.8	4.4	3.4	3.8	1.3	58.5	25.8
	65歳以上未認定者(n=516)	4.8	6.0	4.8	5.8	2.3	59.7	16.5
	総合事業対象者(n=48)	2.1	0.0	2.1	6.3	2.1	54.2	33.3
	要支援認定者(n=678)	1.3	3.5	2.4	2.1	0.4	58.0	32.3
③ 趣味関係のグループ	全体(n=1,242)	1.2	3.1	2.3	10.6	3.0	56.2	23.6
	65歳以上未認定者(n=516)	1.6	3.5	2.9	12.8	3.7	59.1	16.5
	総合事業対象者(n=48)	2.1	2.1	2.1	14.6	6.3	43.8	29.2
	要支援認定者(n=678)	0.9	2.8	1.9	8.7	2.2	54.9	28.6
④ 学習・教養サークル	全体(n=1,242)	0.6	1.0	0.8	4.4	2.3	61.6	29.2
	65歳以上未認定者(n=516)	0.8	1.4	0.8	5.4	2.1	67.4	22.1
	総合事業対象者(n=48)	0.0	0.0	0.0	2.1	4.2	56.3	37.5
	要支援認定者(n=678)	0.4	0.9	0.9	3.8	2.4	57.5	34.1
⑤ 地域健康塾など介護予防のための通いの場	全体(n=1,242)	0.8	3.5	4.3	2.6	1.3	62.2	25.3
	65歳以上未認定者(n=516)	0.4	0.2	1.6	2.1	1.2	72.7	21.9
	総合事業対象者(n=48)	2.1	10.4	12.5	8.3	6.3	39.6	20.8
	要支援認定者(n=678)	1.0	5.6	5.8	2.5	1.0	55.9	28.2
⑥ 老人クラブ	全体(n=1,242)	0.5	0.8	0.3	2.6	3.5	64.3	28.1
	65歳以上未認定者(n=516)	0.2	1.2	0.0	1.4	2.1	72.7	22.5
	総合事業対象者(n=48)	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	58.3	37.5
	要支援認定者(n=678)	0.7	0.6	0.6	3.4	4.7	58.3	31.7
⑦ 町内会・自治会	全体(n=1,242)	0.6	0.2	0.0	2.2	11.0	57.6	28.4
	65歳以上未認定者(n=516)	0.2	0.4	0.0	3.3	17.8	57.6	20.7
	総合事業対象者(n=48)	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	60.4	37.5
	要支援認定者(n=678)	0.9	0.1	0.0	1.3	6.6	57.4	33.6
⑧ 収入のある仕事	全体(n=1,242)	4.0	4.5	0.8	1.2	1.0	60.5	27.9
	65歳以上未認定者(n=516)	8.7	8.3	1.2	2.1	1.7	60.1	17.8
	総合事業対象者(n=48)	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	58.3	37.5
	要支援認定者(n=678)	0.7	1.9	0.4	0.6	0.4	61.1	34.8

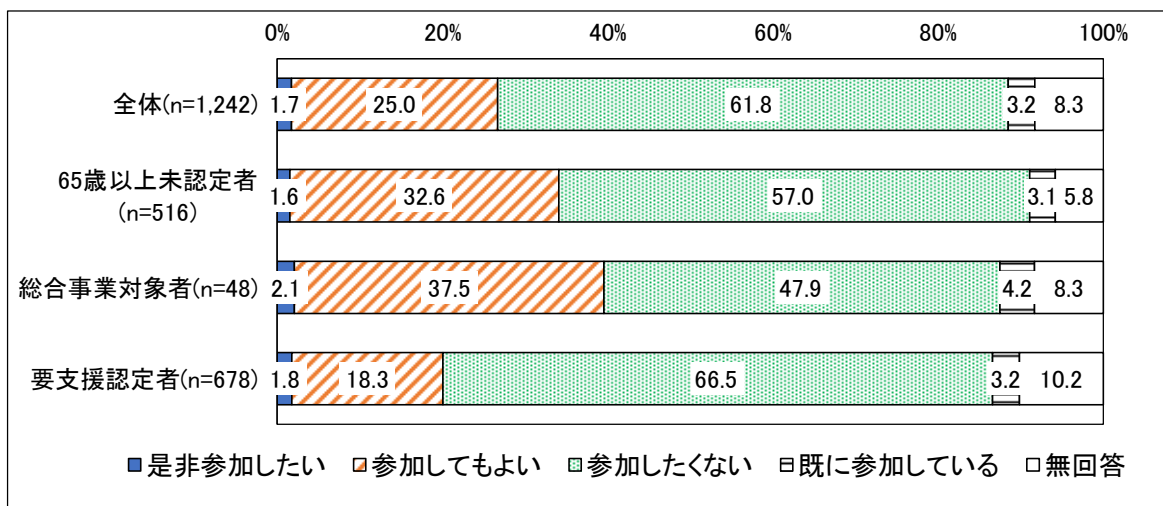
問5-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（○はひとつ）

- 「参加してもよい」が43.2%で最も高くなっています。
- 総合事業対象者では参加意欲が高くなっていますが、要支援認定者では低くなっています。



問5-3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（○はひとつ）

- 「参加したくない」が61.8%で最も高くなっています。特に要支援認定者では「参加したくない」が66.5%と高くなっています。
- 「参加してもよい」は、65歳以上未認定者で32.6%、総合事業対象者で37.5%となっています。

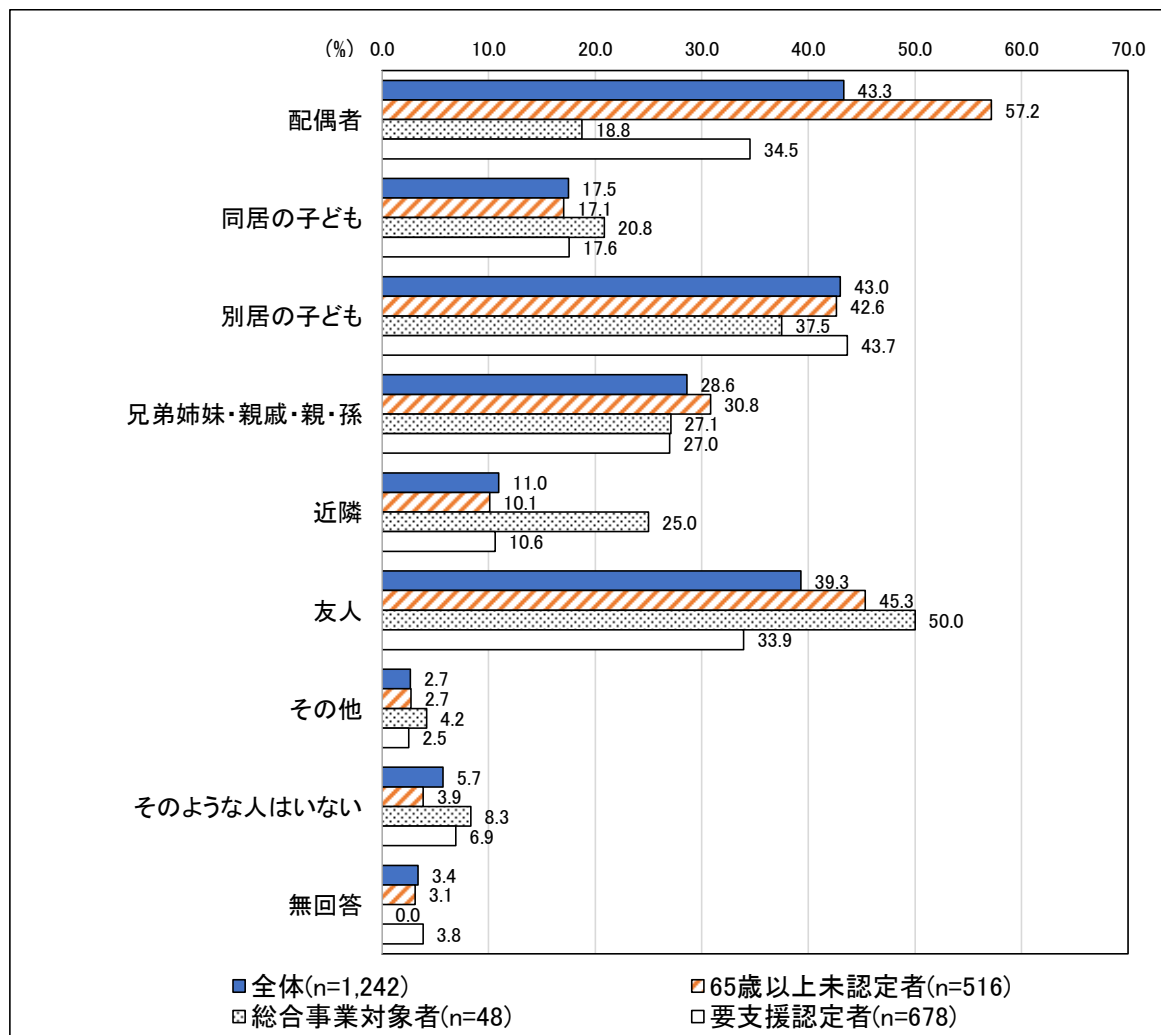


(6) 問6 たすけあいについて

(あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします)

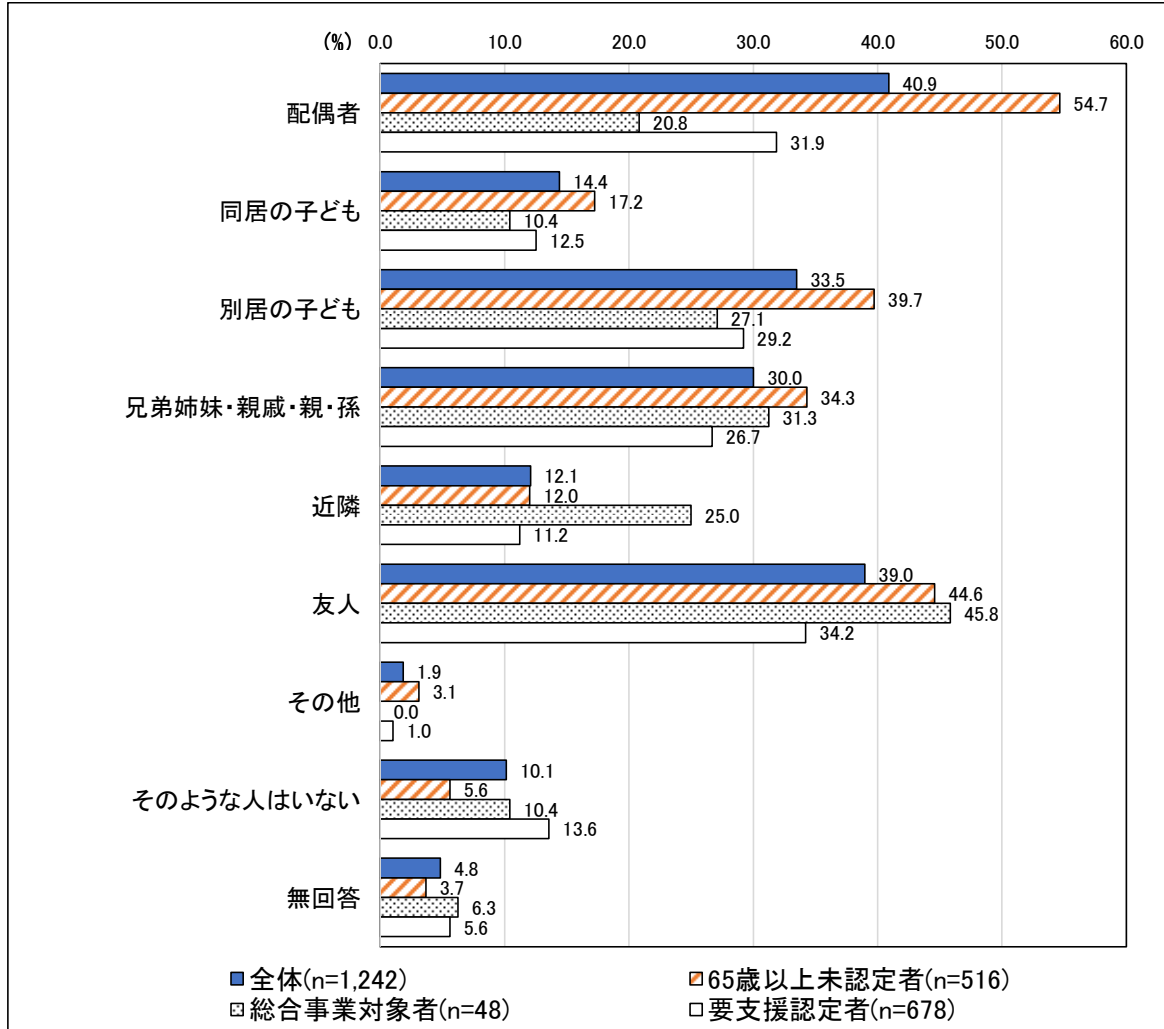
問6-1 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(いくつでも)

- 「配偶者」が43.3%で最も高く、次いで、「別居の子ども」(43.0%)、「友人」(39.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(28.6%)となっています。



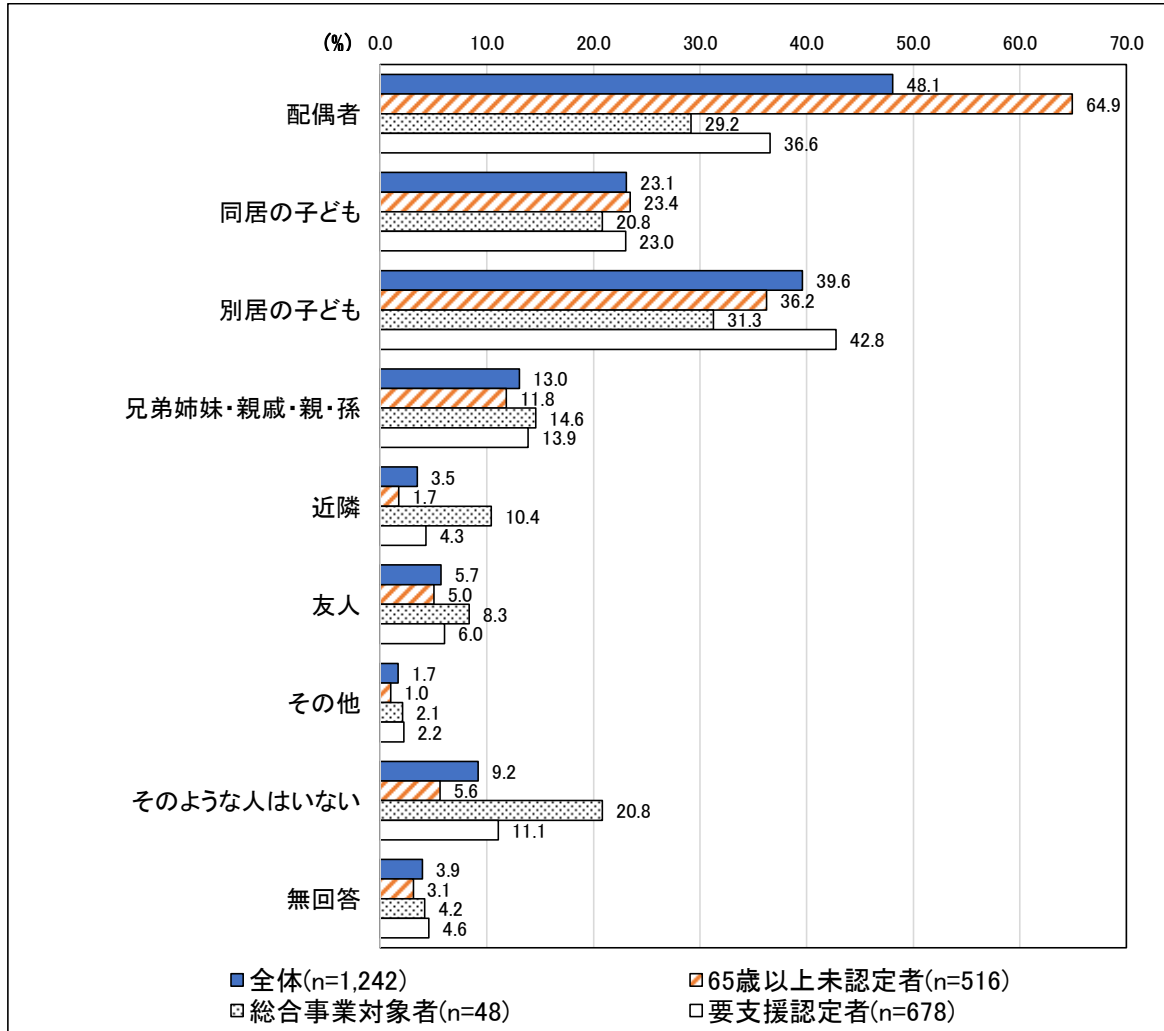
問6-2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

- 「配偶者」が40.9%で最も高く、次いで、「友人」(39.0%)、「別居の子ども」(33.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.0%)となっています。
- 「そのような人はいない」は、65歳以上未認定者で5.6%となっているのに対し、総合事業対象者で10.4%、要支援認定者で13.6%と高くなっています。



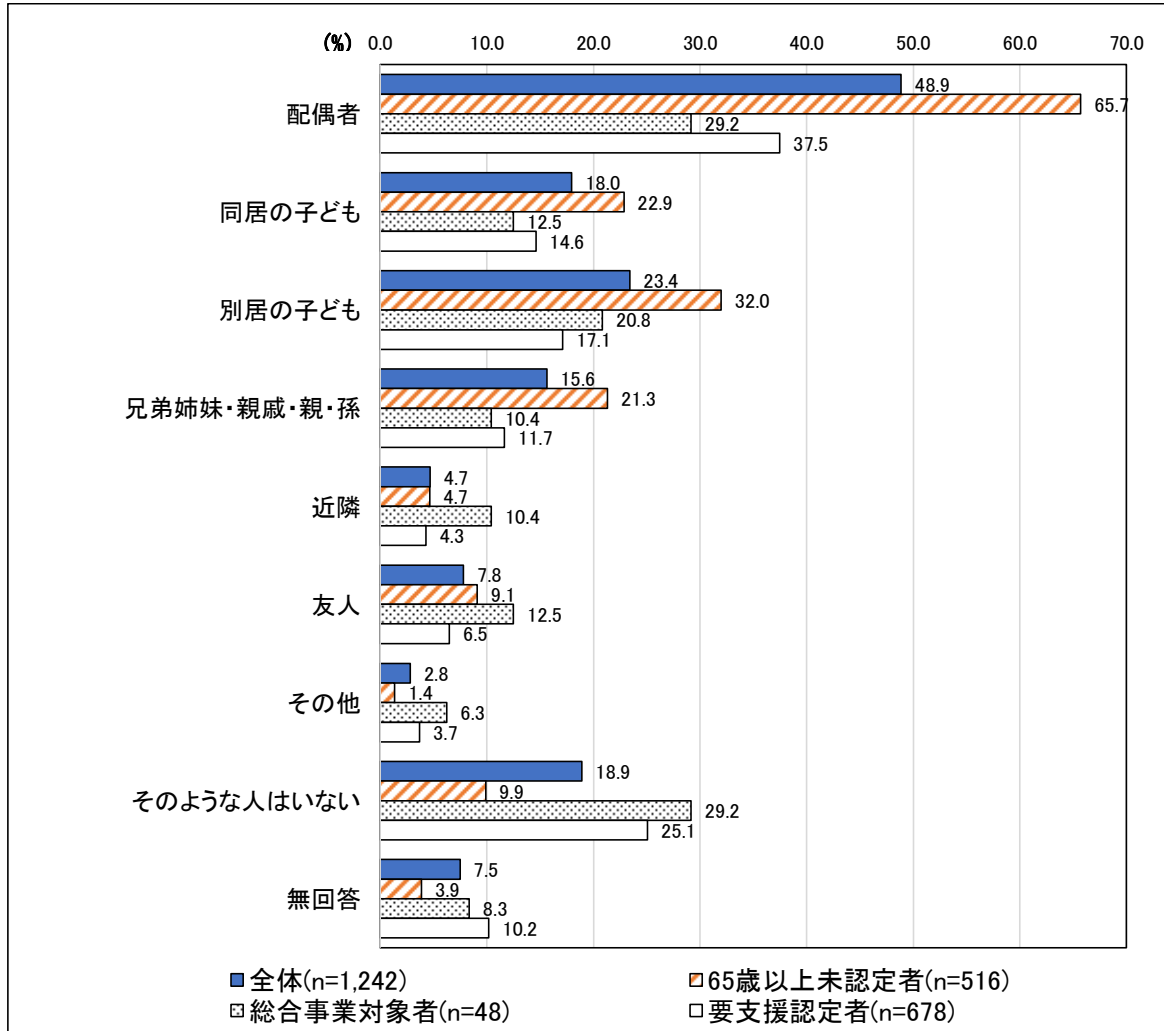
問6-3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

- 「配偶者」が48.1%で最も高く、次いで、「別居の子ども」(39.6%)となっています。
- 「そのような人はいない」は、65歳以上未認定者で5.6%となっているのに対し、総合事業対象者で20.8%、要支援認定者で11.1%と高くなっています。



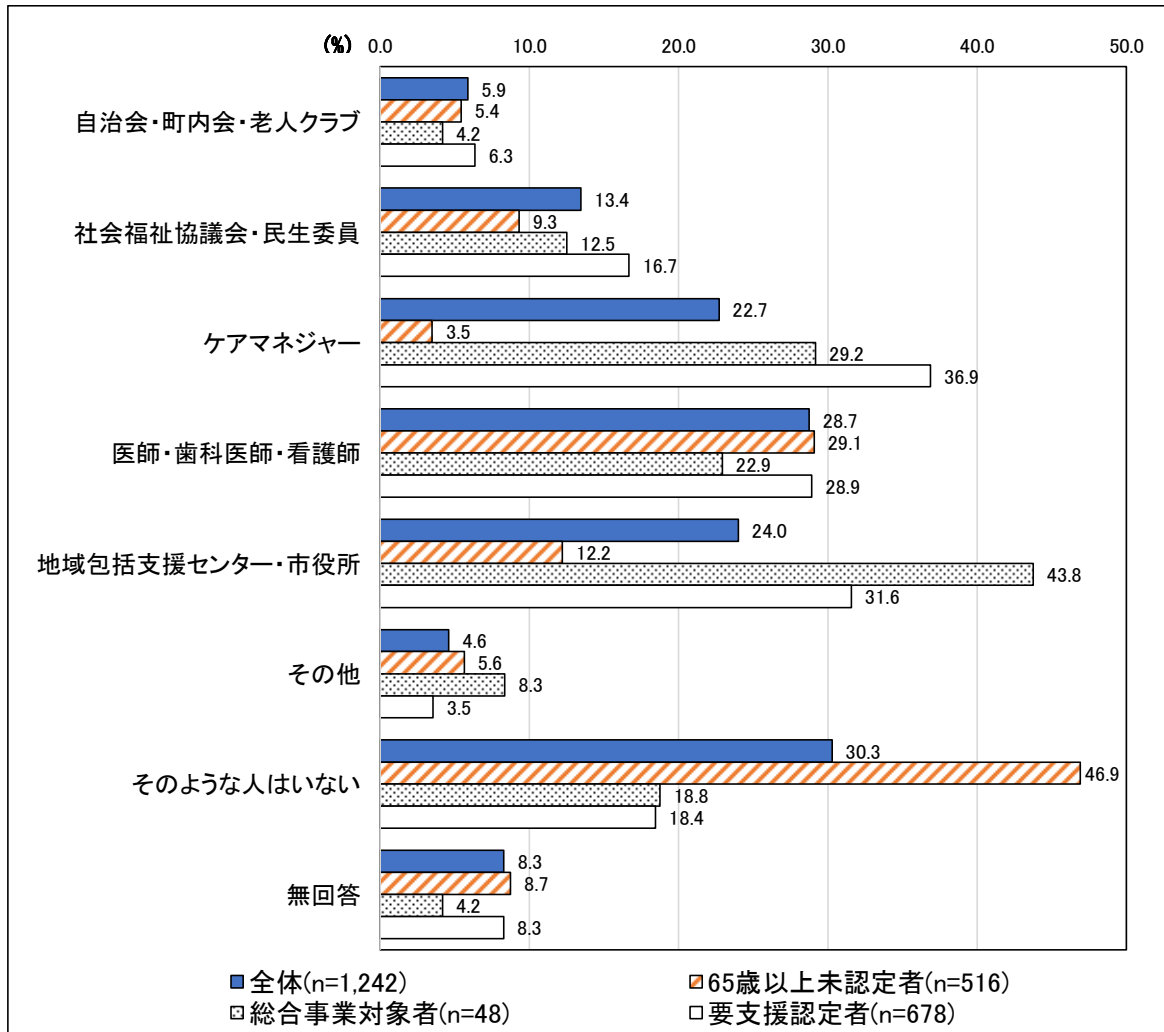
問6-4 反対に、看病や世話をしあける人（いくつでも）

- 「配偶者」が48.9%で特に高くなっています。
- 「そのような人はいない」は、65歳以上未認定者で9.9%となっているのに対し、総合事業対象者で29.2%、要支援認定者で25.1%と高くなっています。



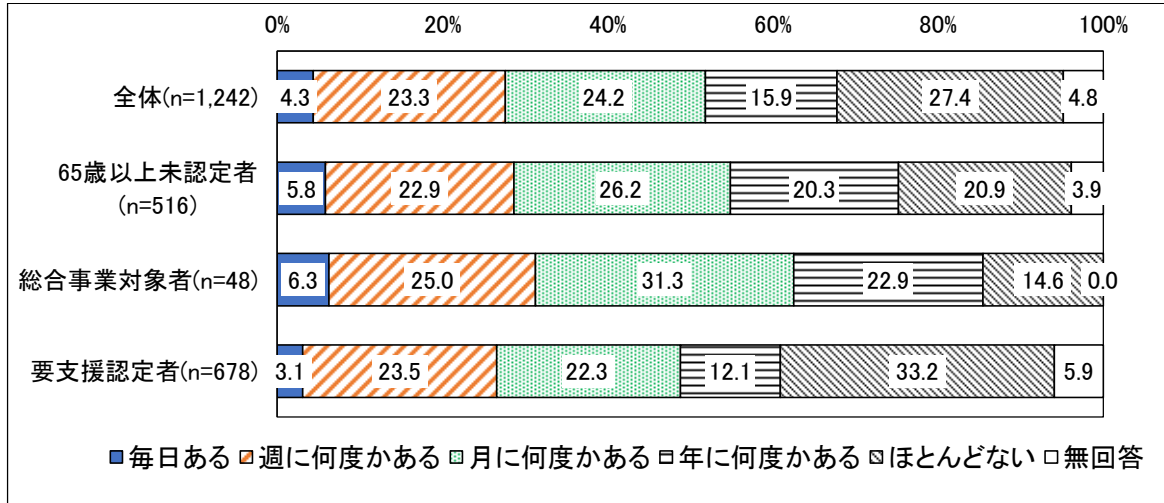
問6-5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

- 「そのような人はいない」が30.3%でも最も高く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」(28.7%)、「地域包括支援センター・市役所」(24.0%)、「ケアマネジャー」(22.7%)、となっています。
- 「そのような人はいない」は特に65歳以上未認定者で46.9%と高くなっています。
- 総合事業対象者や要支援認定者では、「地域包括支援センター・市役所」や「ケアマネジャー」が比較的高くなっています。



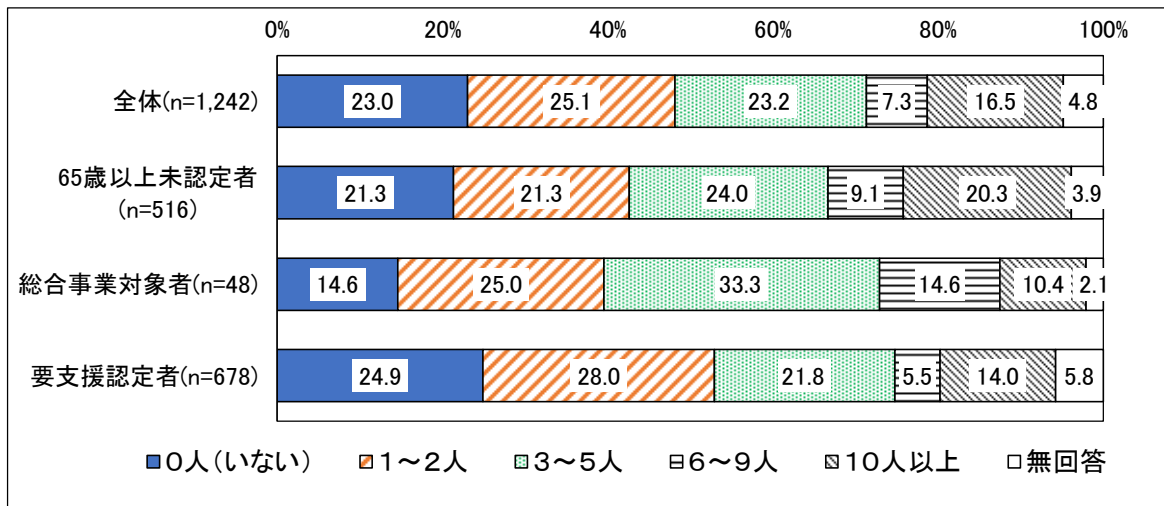
問6-6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

- 「ほとんどない」が27.4%と最も高くなっています。
- 次いで「月に何度かある」24.2%、「週に何度かある」23.3%となっています。
- 特に要支援認定者では「ほとんどない」が33.2%と高くなっています。



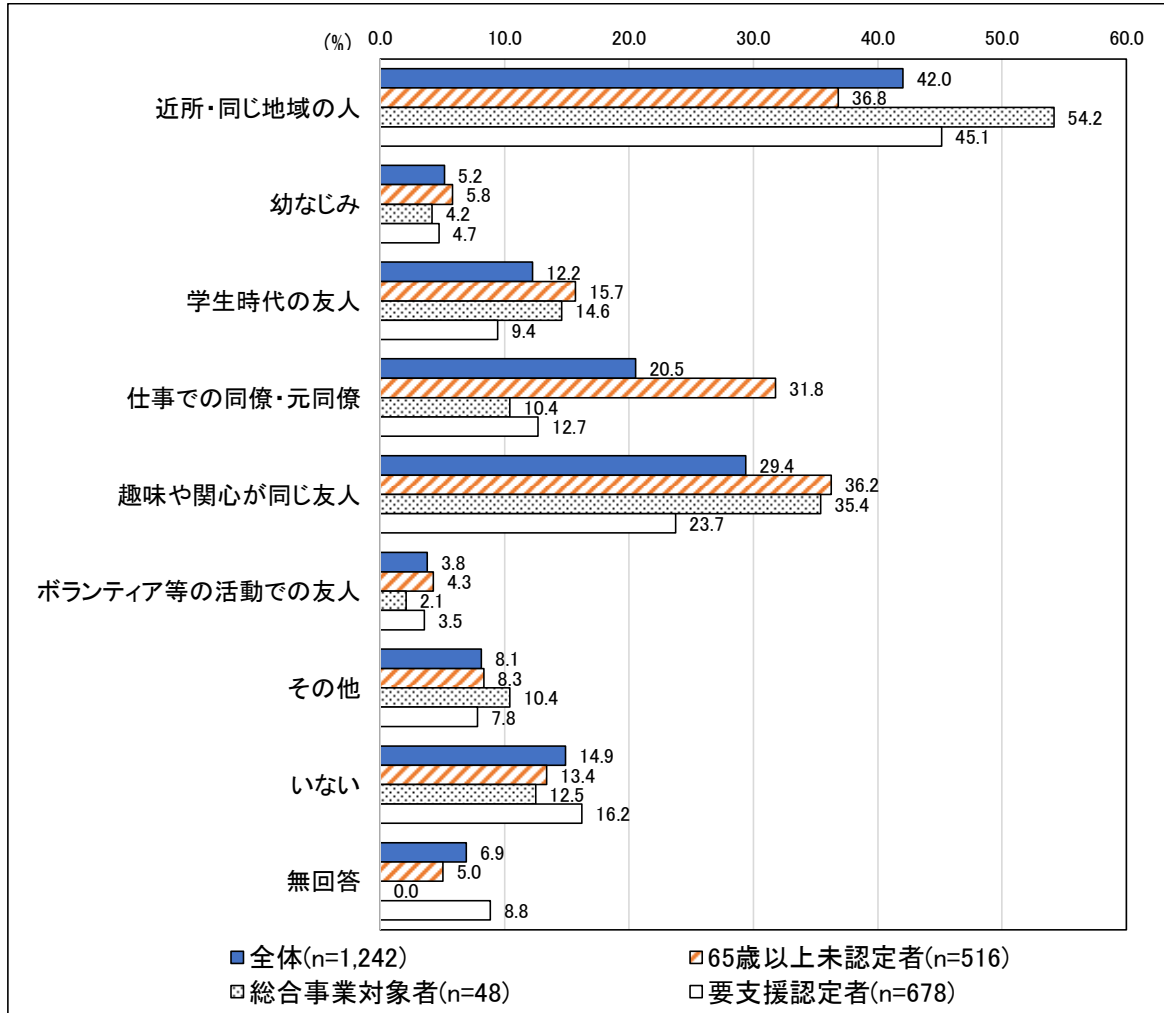
問6-7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか
(同じ人には何度会っても1人と数えることとします)

- 「1~2人」が25.1%で最も高く、次いで、「3~5人」(23.2%)「0人(いない)」(23.0%)、となっています。



問6-8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

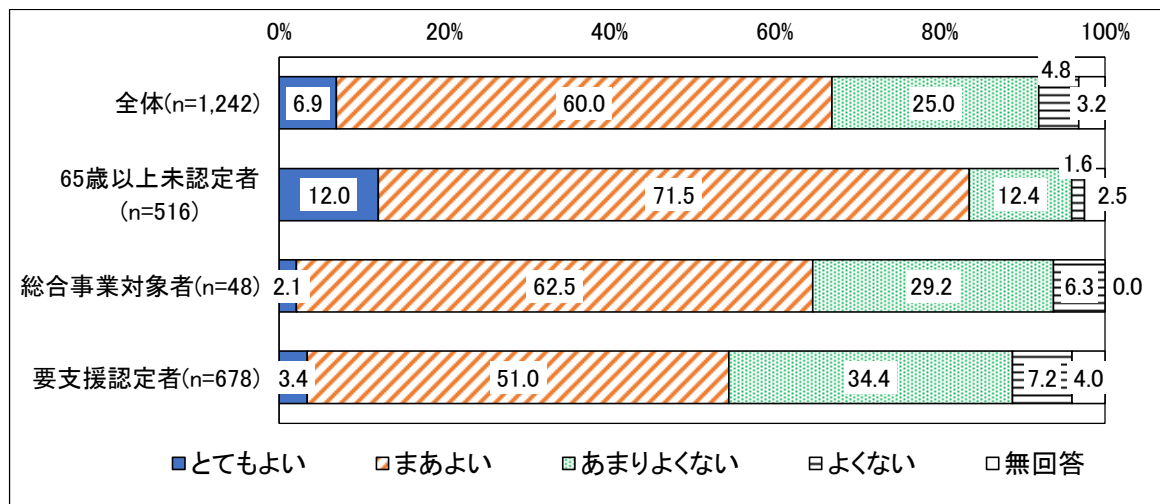
- 「近所・同じ地域の人」が42.0%で最も高く、次いで、「趣味や関心が同じ友人」(29.4%)となっています。
- 総合事業対象者では特に「近所・同じ地域の人」が54.2%と高くなっています。



(7) 問7 健康について

問7-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか

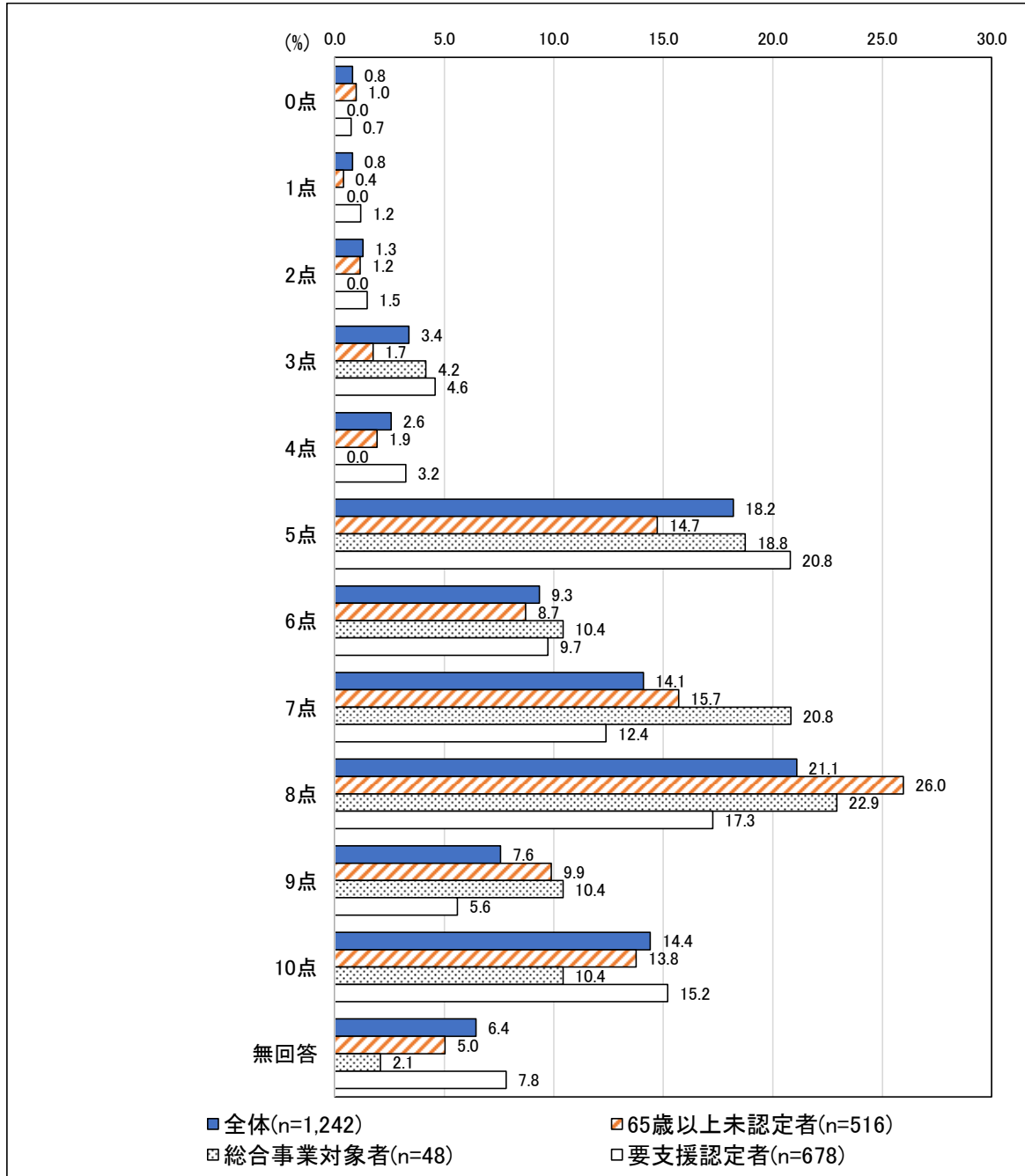
- 「まあよい」が60.0%で最も高くなっています。
- 『よい』(とてもよい+まあよい)が66.9%に対して、『よくない』(あまりよくない+よくない)は29.8%となっています。
- 『よい』(とてもよい+まあよい)は、65歳以上未認定者では83.5%となっているのに対し、総合事業対象者では64.6%、要支援認定者では54.4%と低くなっています。



問7-2 あなたは、現在どの程度幸せですか

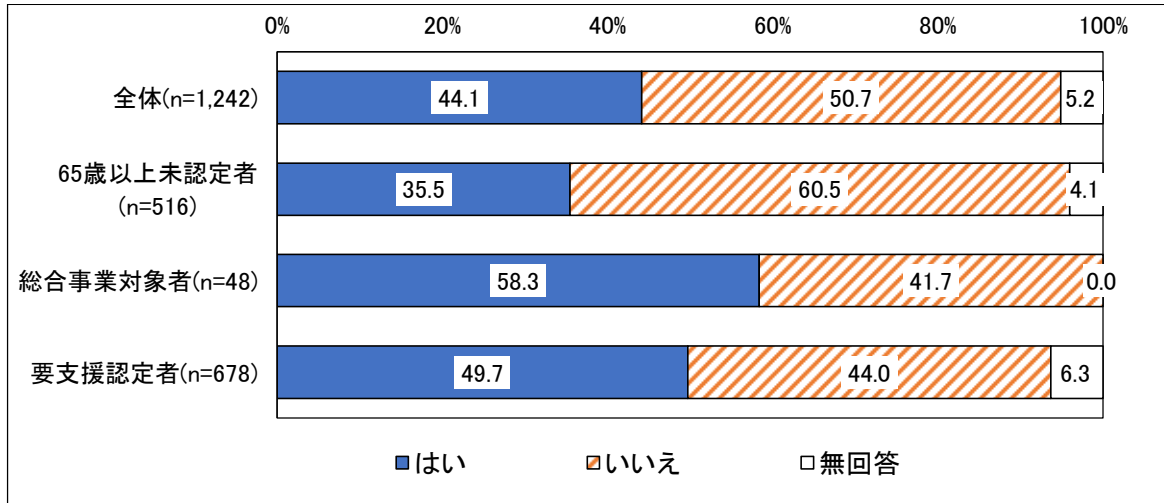
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

- 「8点」が21.1%で最も高く、次いで、「5点」(18.2%)、「10点」(14.4%)となっています。平均は7.0点となっています。



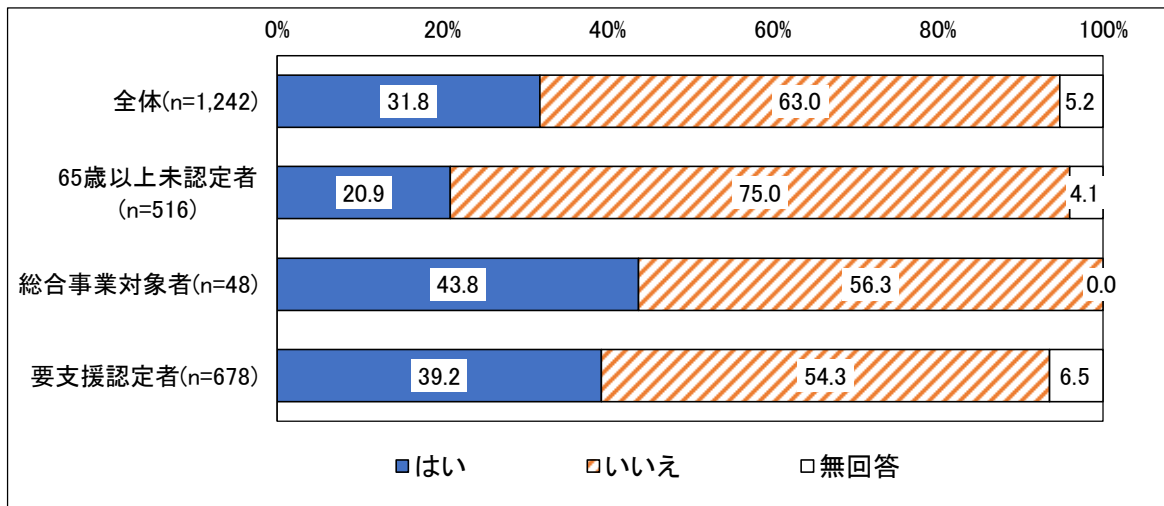
問7-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

- 「いいえ」が50.7%となっています。
- 「はい」は、総合事業対象者では58.3%、要支援認定者では49.7%となっており、「いいえ」を上回っています。



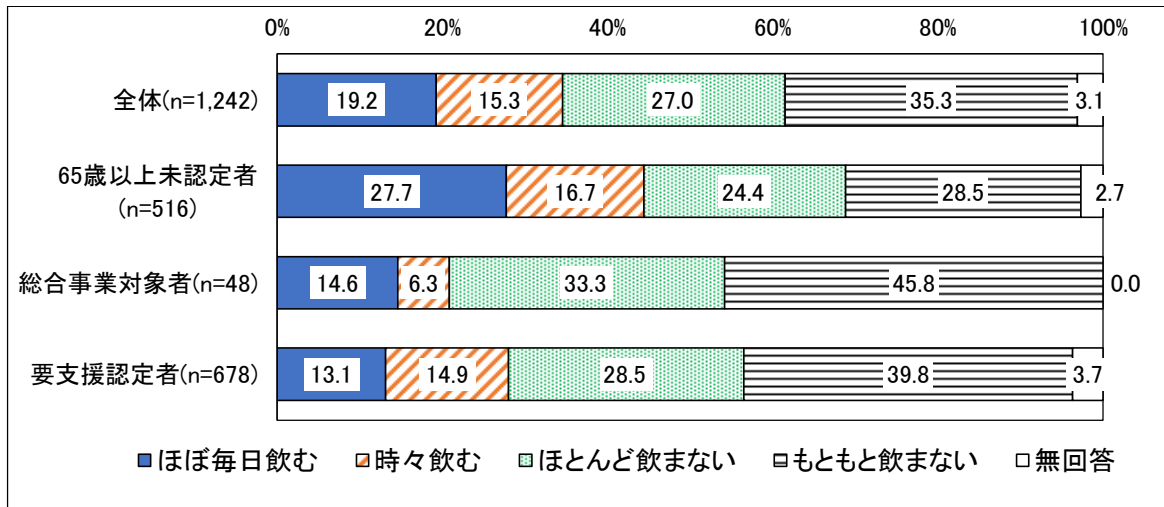
問7-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

- 「いいえ」が63.0%となっています。
- 「はい」は、65歳以上未認定者では20.9%となっているのに対し、総合事業対象者では43.8%、要支援認定者では39.2%と高くなっています。



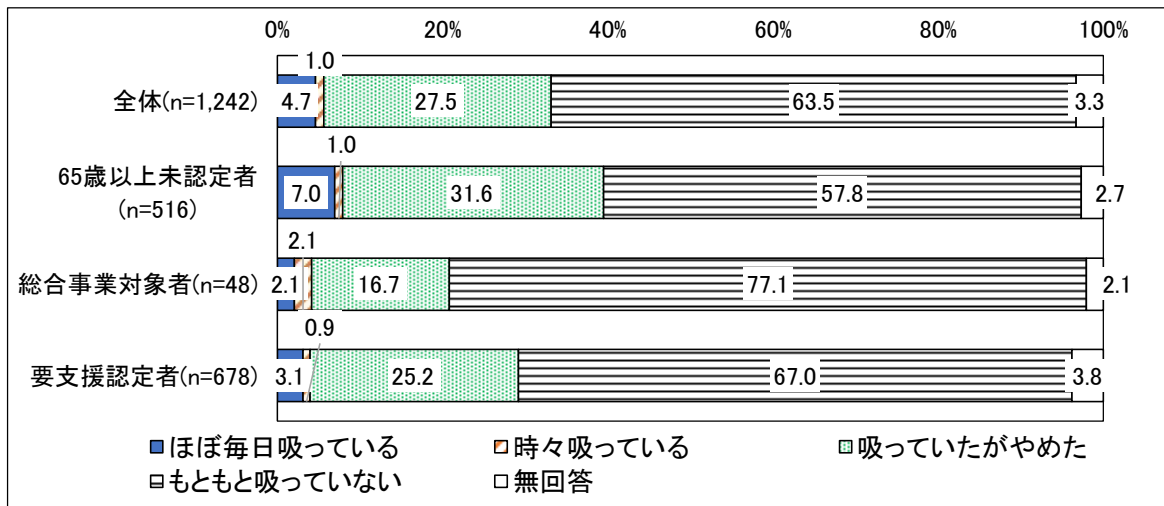
問7-5 お酒は飲みますか

- 「もともと飲まない」が35.3%となっています。
- 65歳以上未認定者では、「ほぼ毎日飲む」が27.7%と比較的高くなっています。



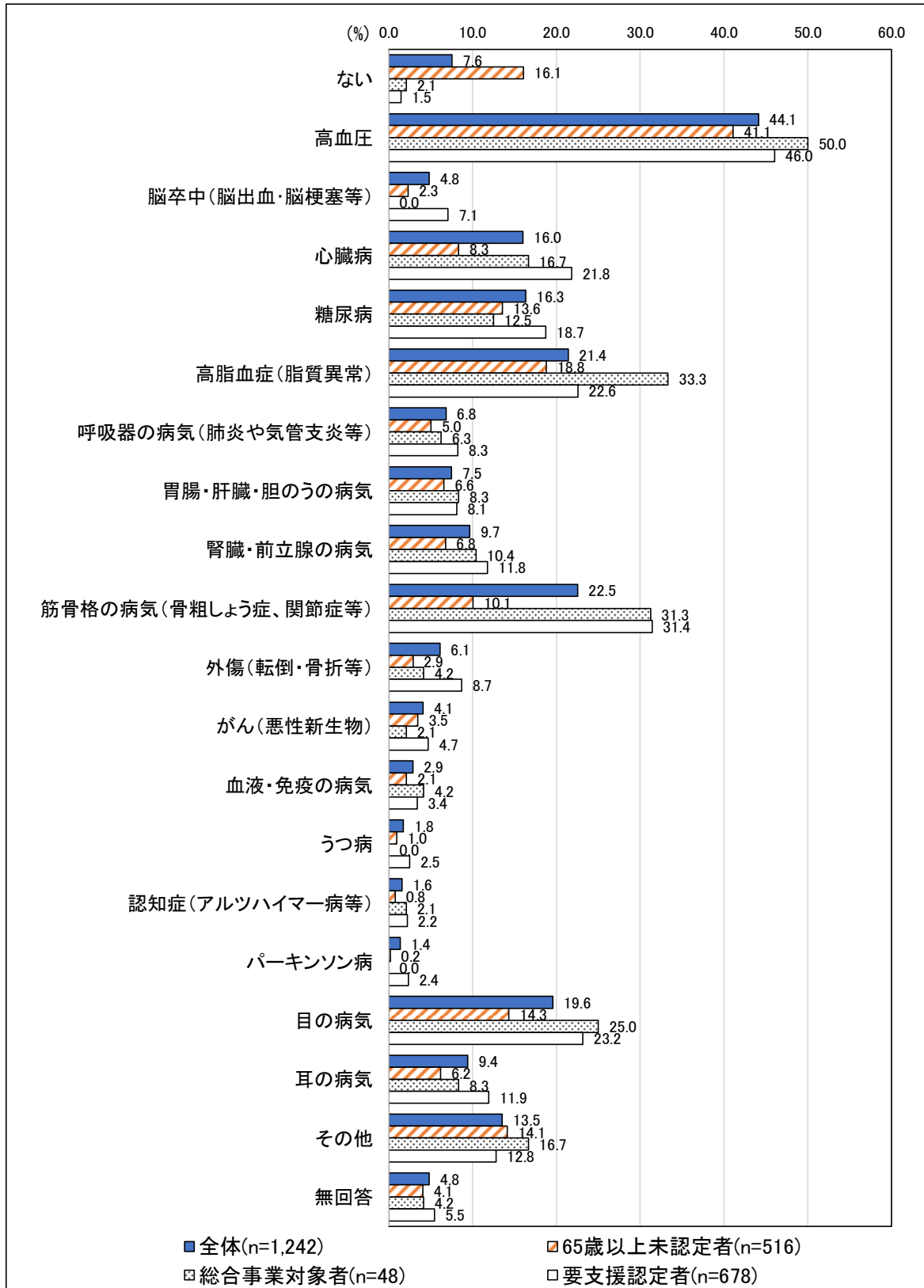
問7-6 タバコは吸っていますか

- 「もともと吸っていない」が63.5%となっています。



問7-7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

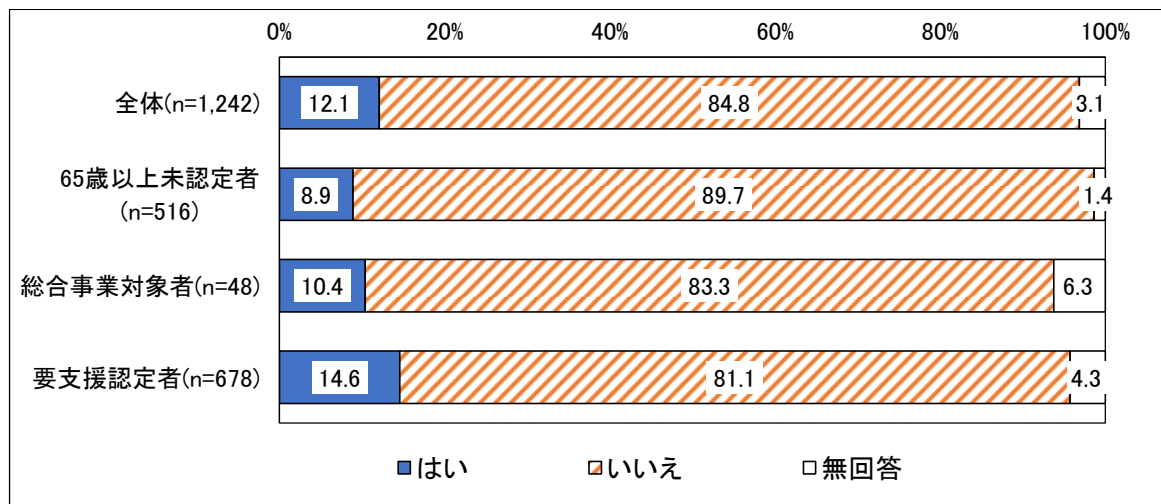
- 「高血圧」が44.1%で特に高くなっています。次いで、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」（22.5%）、「高脂血症（脂質異常）」（21.4%）となっています。
- 「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」は総合事業対象者や要支援認定者で比較的高くなっています。



(8) 問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

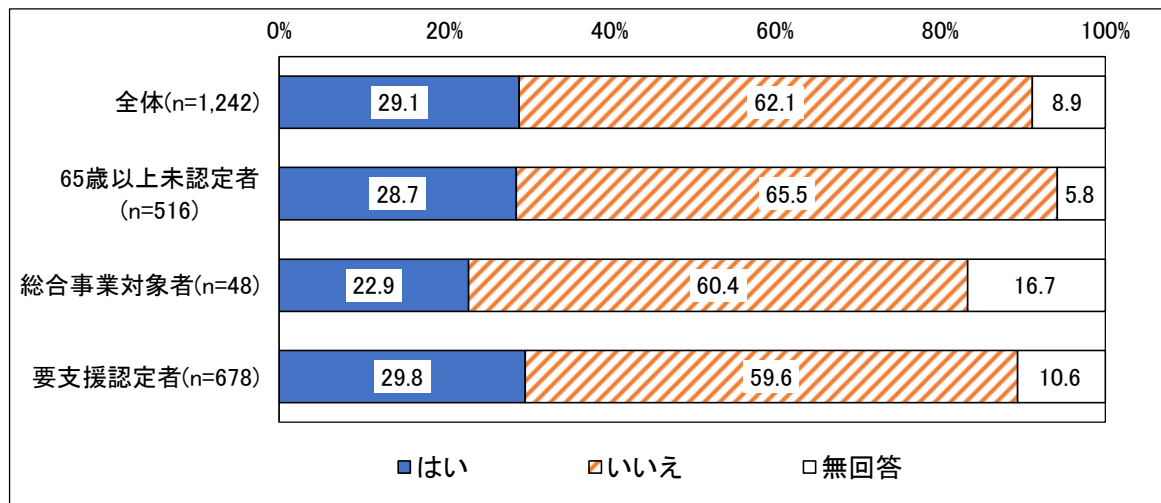
問8-1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

- 「いいえ」が84.8%となっています。
- 「はい」は、65歳以上未認定者では8.9%となっているのに対し、総合事業対象者では10.4%、要支援認定者では14.6%と高くなっています。



問8-2 認知症に関する相談窓口を知っていますか

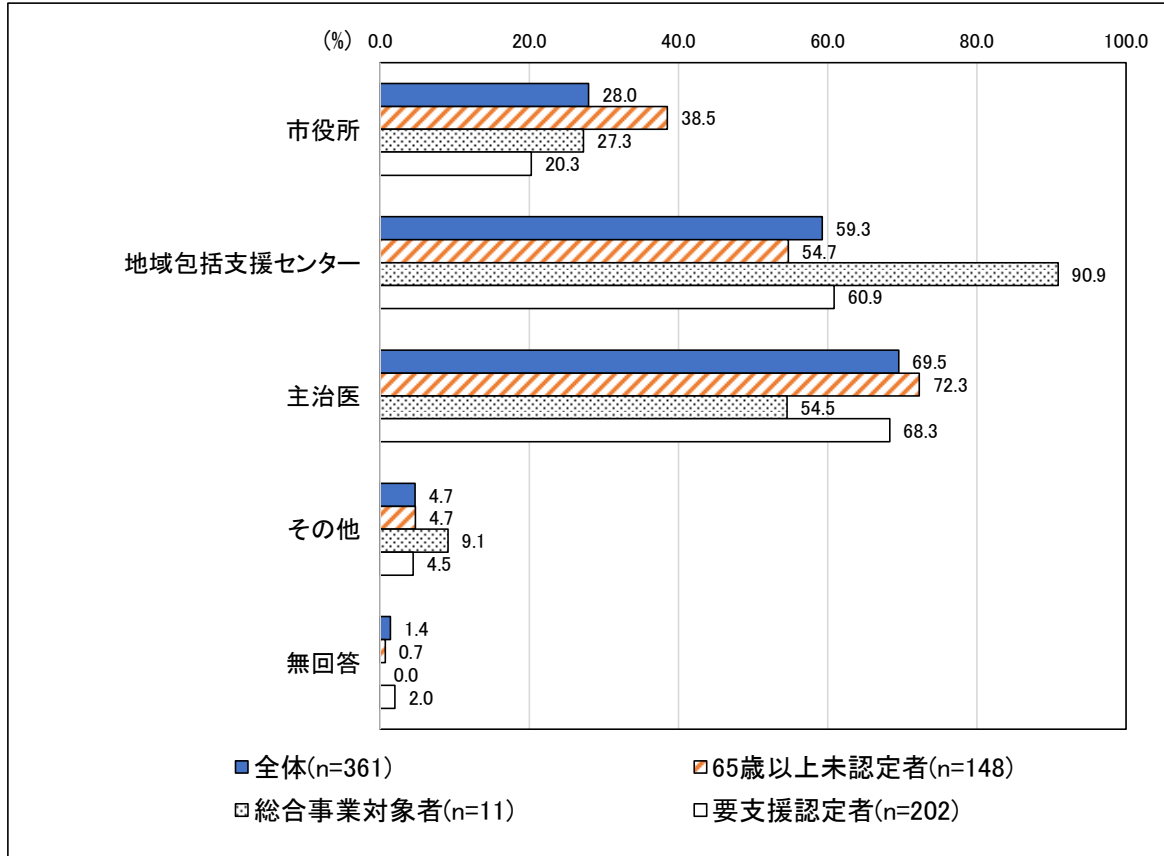
- 「いいえ」が62.1%となっています。



【問8-2で「1. はい」の方のみ】

問8-3 どこに相談されますか

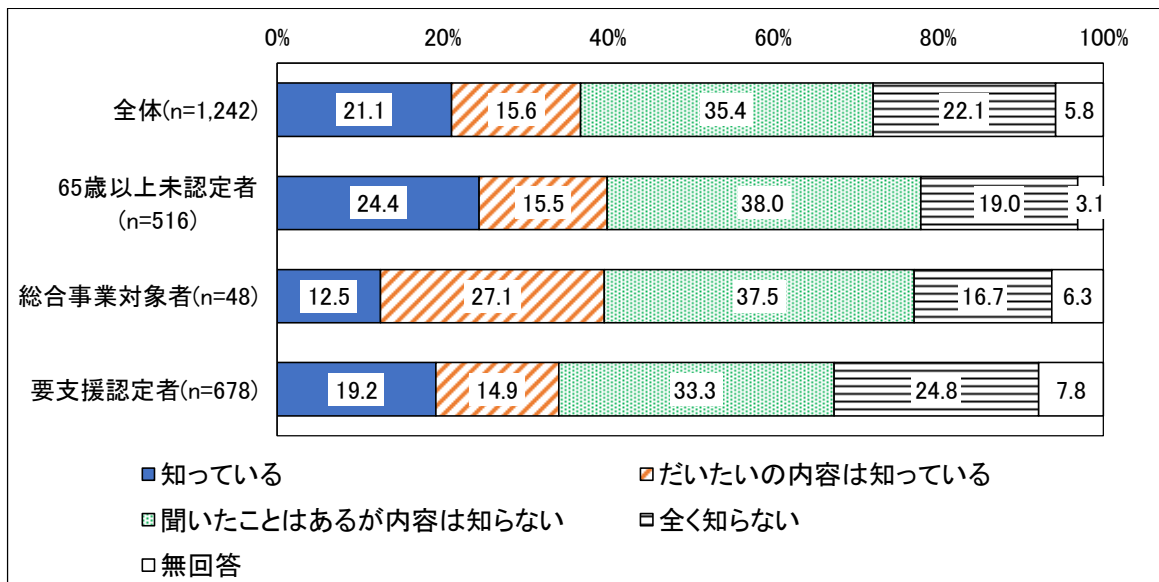
- 「主治医」が69.5%、「地域包括支援センター」が59.3%となっています。
- 総合事業対象者では、「地域包括支援センター」が90.9%と特に高くなっています。



(9) 問9 成年後見制度について

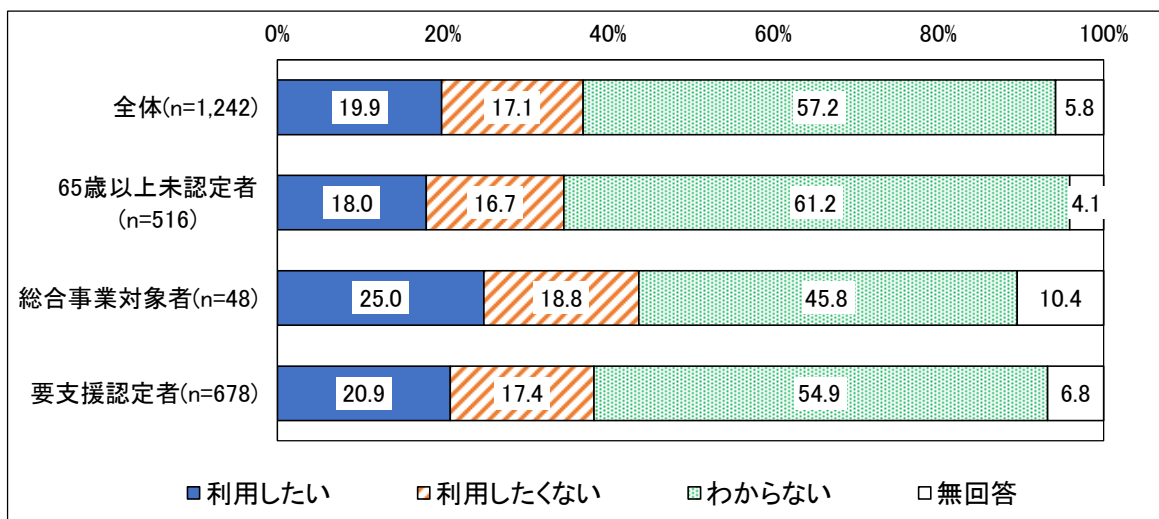
問9-1 成年後見制度を知っていますか

- 「聞いたことはあるが内容は知らない」が35.4%で最も高くなっています。「全く知らない」は22.1%となっています。



問9-2 あなたやご家族が認知症などによって判断能力が十分でなくなった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか

- 「わからない」が57.2%となっています。
- 「利用したい」は19.9%となっており、65歳以上未認定者では18.0%となっているのに対し、総合事業対象者では25.0%、要支援認定者では20.9%と高くなっています。



(10) ニーズ調査結果からうかがえる高齢者の心身機能の状況

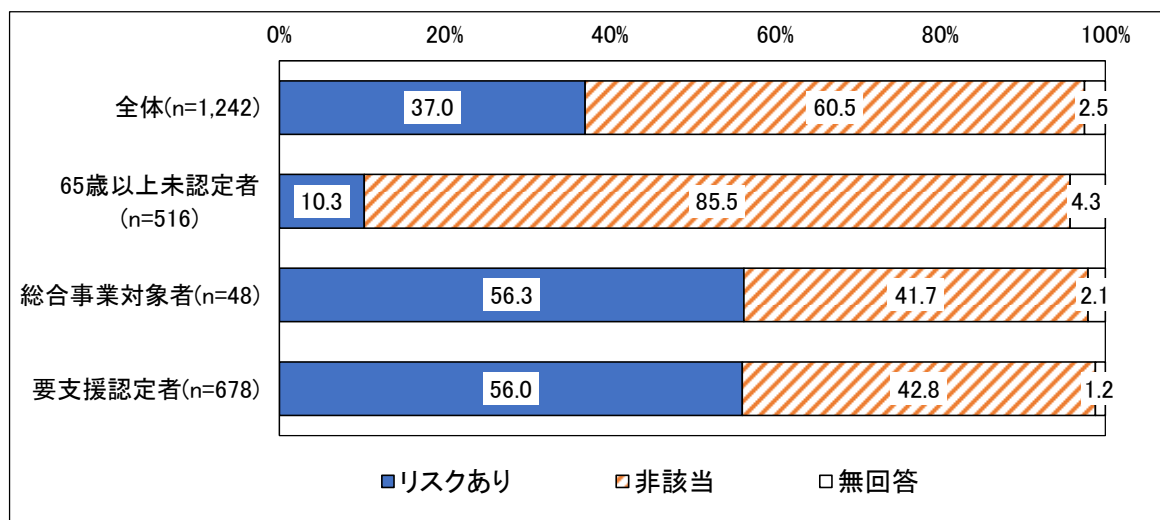
対象者本人の傾向について

- 母集団ごとに対象者本人の傾向を見ると、「65歳以上未認定者」については、「持ち家」(73.4%)で『同居世帯(「夫婦2人暮らし」「息子・娘との2世帯」の合計)』(67.2%)が多く、年齢は『前期高齢者(「65～69歳」「70～74歳」の合計)』(52.9%)が約半数を占めています。また、ほとんどの方が介護・介助の必要なく(「介護・介助は必要ない」91.5%)日常生活を送っている傾向にあります。
- 「総合事業対象者」「要支援認定者」については、「持ち家」(81.3%, 76.1%)が多いものの「65歳以上未認定者」(18.2%)より「1人暮らし」の割合(47.9%, 36.9%)が高くなっており、年齢も『後期高齢(「75～79歳」「80～84歳」「85～89歳」「90～94歳」「95歳以上」の合計)』(89.6%, 90.4%)が大半を占めています。また、日常生活での介護・介助については、半数以上の方が『介護・介助を受けず(「介護・介助は必要ない」「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の合計)』(77.1%, 61.9%)に生活している傾向にあります。

心身機能の状況について

- 関連設問から『運動器機能』『口腔機能』『認知機能』の低下の状況や『転倒のリスク』『閉じこもり傾向』などの状況を見ると、「65歳以上未認定者」よりも「総合事業対象者」「要支援認定者」の方がリスクを抱える割合は高い傾向にあります。また、関連設問の年齢別クロスからは、「75～79歳」「80～84歳」を境に、リスクに該当する回答の割合が高まっていく傾向にあります。
- 一方で、関連設問からIADL(手段的日常生活動作)の状況を見ると、「65歳以上未認定者」(2.3%)よりも「総合事業対象者」(8.3%)「要支援認定者」(20.4%)の方がリスクを抱える割合は高いものの、大半が非該当(95.5%, 91.7%, 78.2%)となっていることから、年齢相応の心身機能の衰えはあるものの自立した生活を送られている高齢者が多いことがうかがえます。

■運動器機能の低下

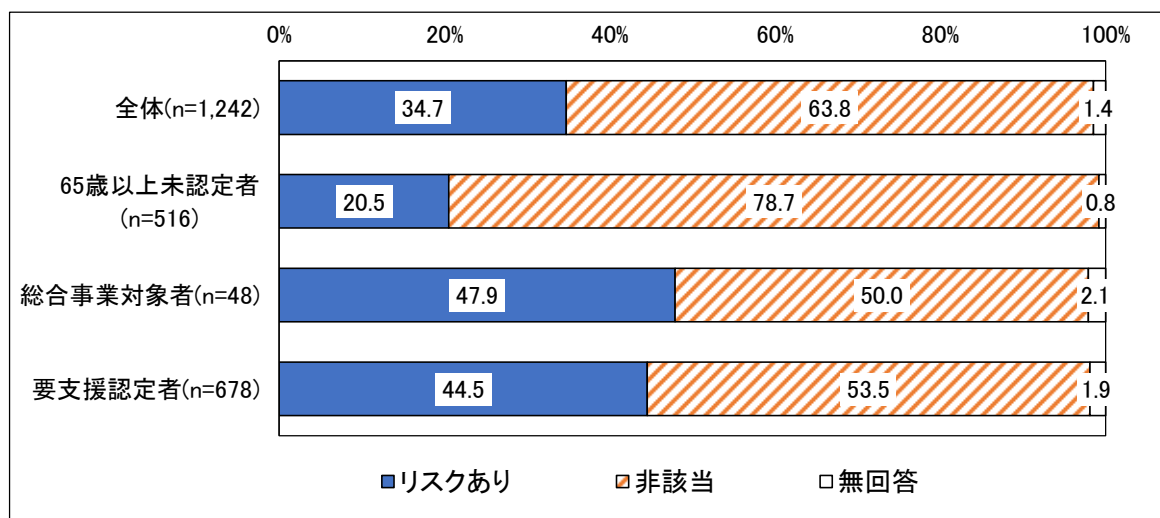


評価方法

下記の5項目について、3項目以上該当する場合、「運動器機能の低下している高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（該当：できない）
問2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（該当：できない）
問2-3	15分位続けて歩けますか（該当：できない）
問2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか（該当：何度もある、又は1度ある）
問2-5	転倒に対する不安は大きいですか（該当：とても不安である、又はやや不安である）

■口腔機能の低下

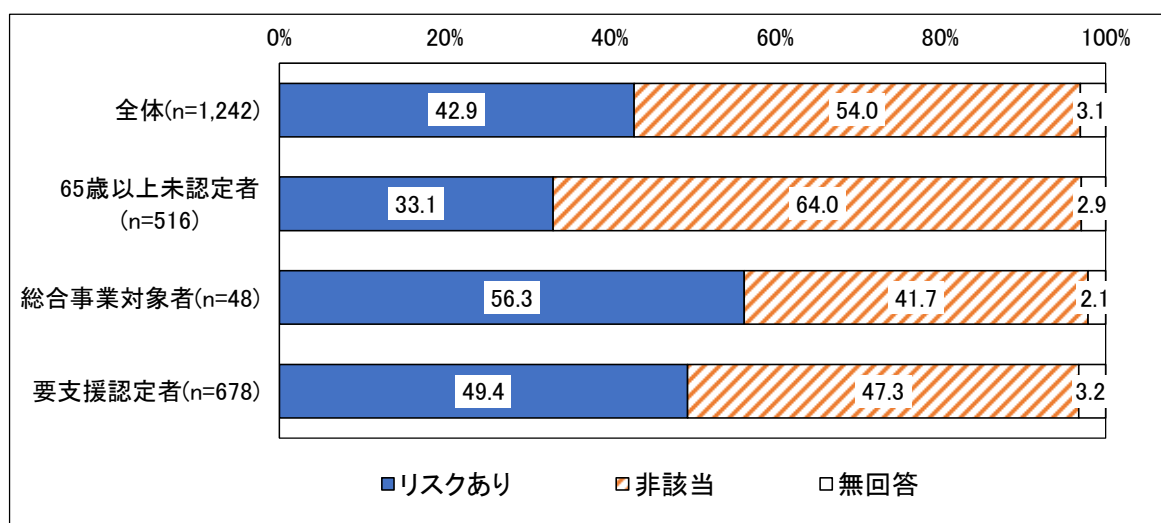


評価方法

下記の3項目のうち、2項目以上に該当する場合、「口腔機能が低下している高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問3-2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（該当：はい）
問3-3	お茶や汁物等でむせることがありますか（該当：はい）
問3-4	口の渇きが気になりますか（該当：はい）

■認知機能の低下

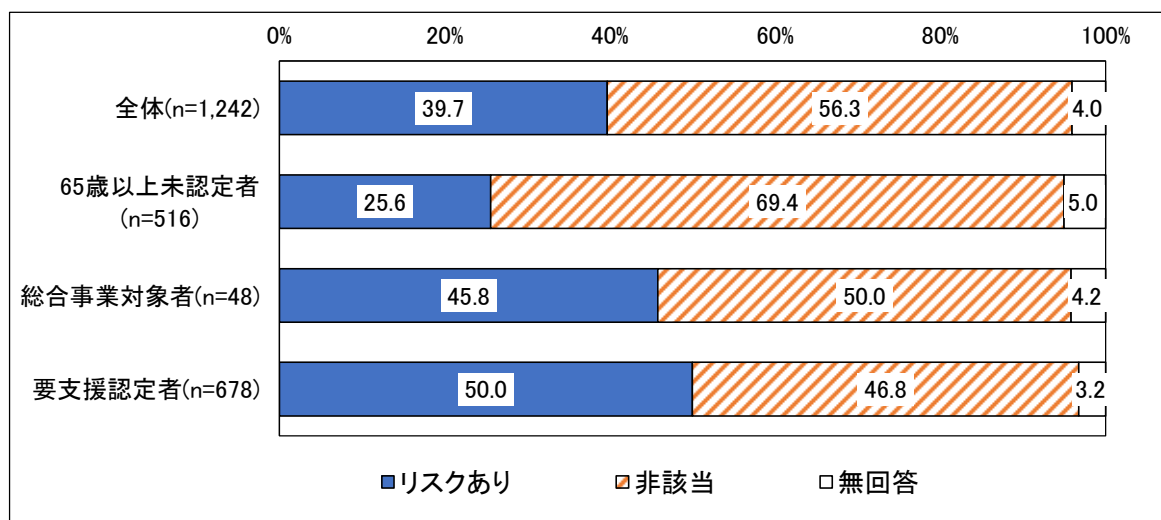


評価方法

下記の項目に該当する場合、「認知機能が低下している高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問4-1	物忘れが多いと感じますか（該当：はい）

■転倒のリスク

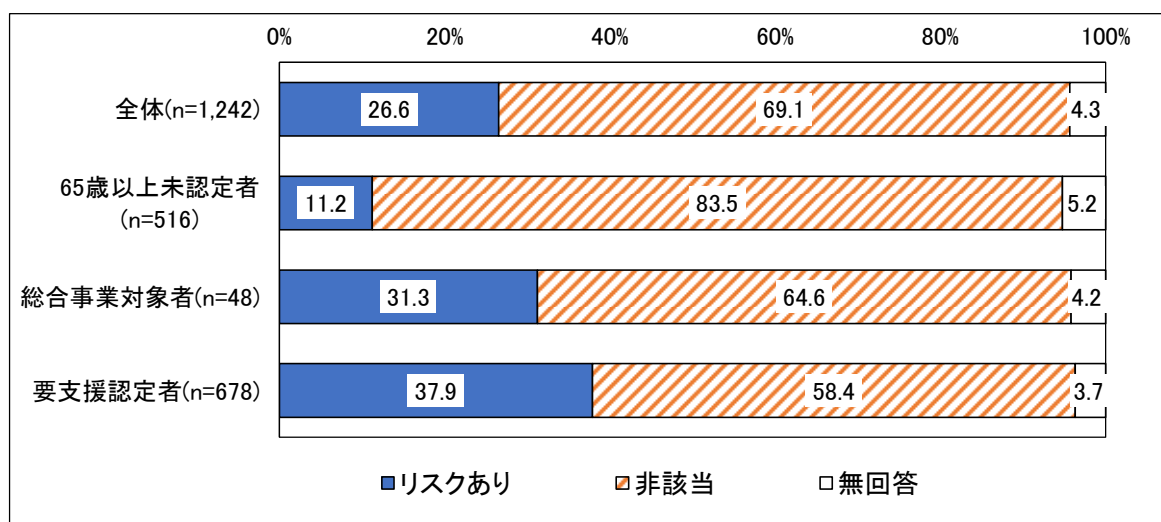


評価方法

下記の項目について該当する場合、「転倒リスクのある高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問 2-4	過去 1 年間に転んだ経験がありますか (該当：何度もある、又は 1 度ある)

■閉じこもり傾向

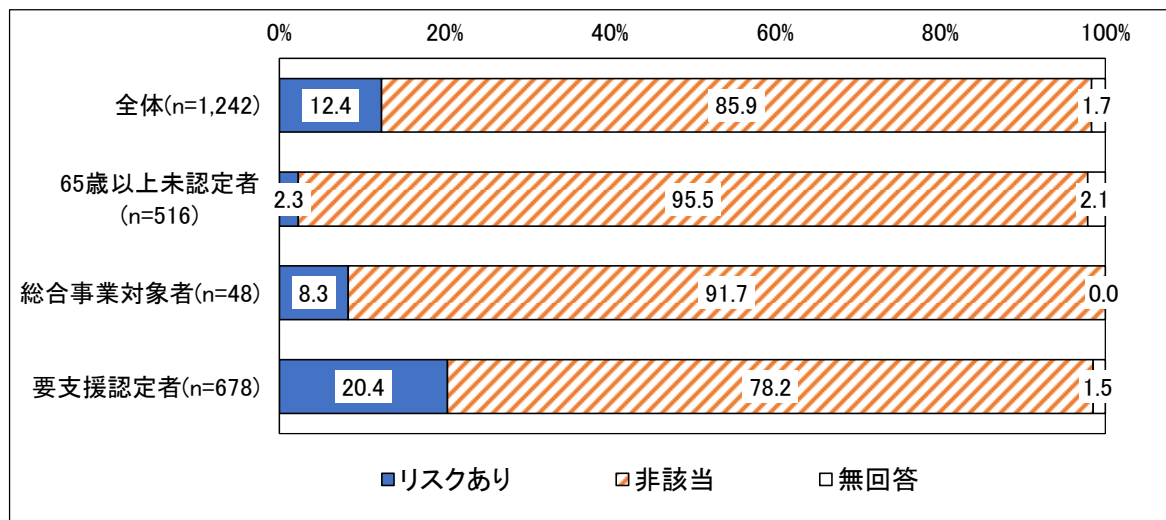


評価方法

下記の項目について該当する場合、「閉じこもり傾向のある高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問 2-6	週に 1 回以上は外出していますか (該当：ほとんど外出しない、又は週 1 回)

■ IADL（手段的日常生活動作）の低下

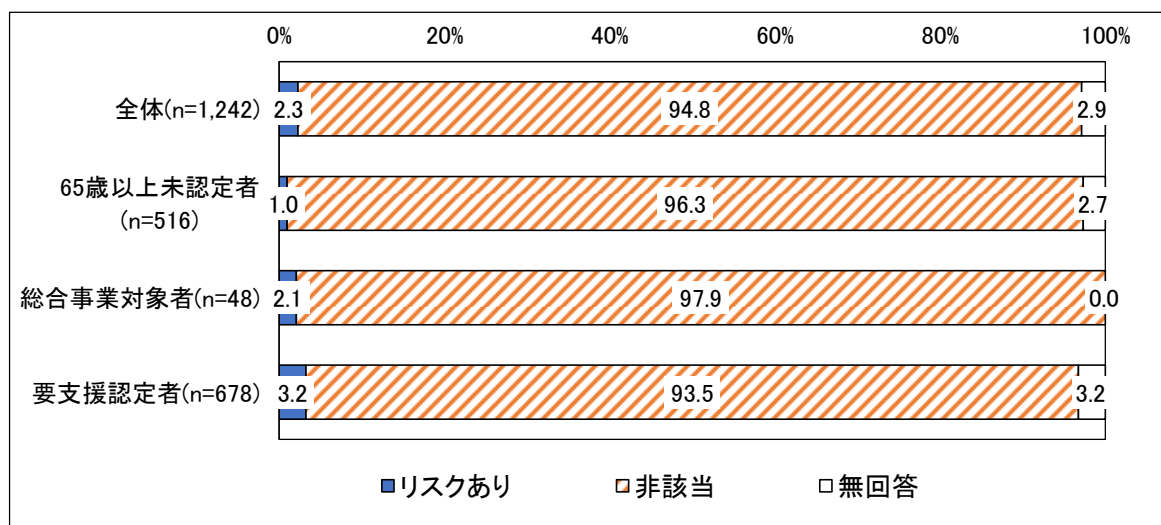


評価方法

下記の5項目について、5点満点中4点以下の場合、「IADLの低下している高齢者」として判定しました。

問番号	設問	選択肢
問4-4	バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）	「1. できるし、している」または「2. できるけどしていない」 1点
問4-5	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4-6	自分で食事の用意をしていますか	
問4-7	自分で請求書の支払いをしていますか	
問4-8	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

■低栄養状態

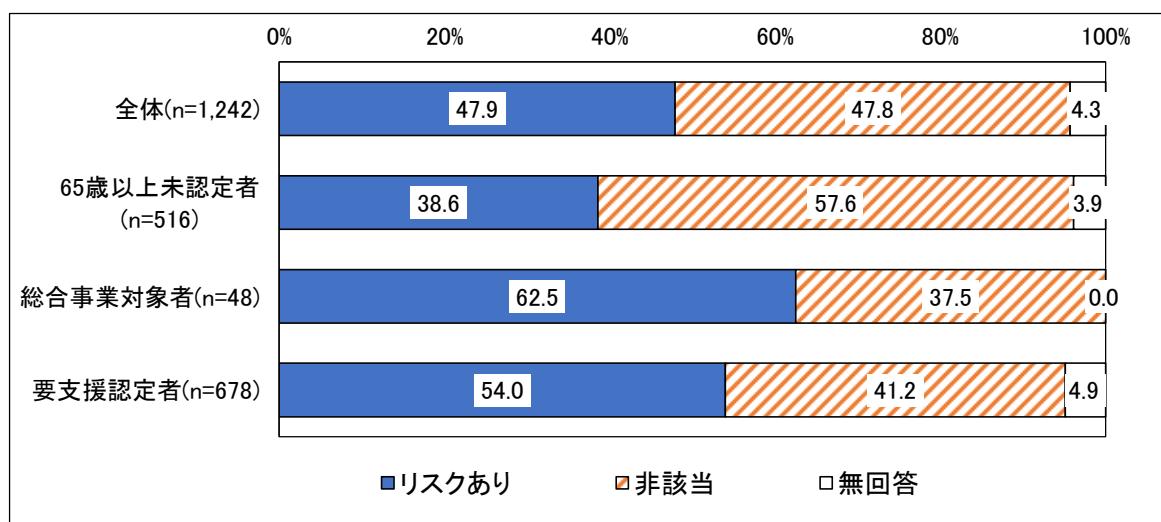


評価方法

下記の2項目についていずれも該当する場合、「低栄養状態にある高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問3-1	身長・体重 BMI (該当: 18.5未満) ※BMI = 体重(kg) ÷ 身長(m) ²
問3-8	6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか(該当: はい)

■うつ傾向

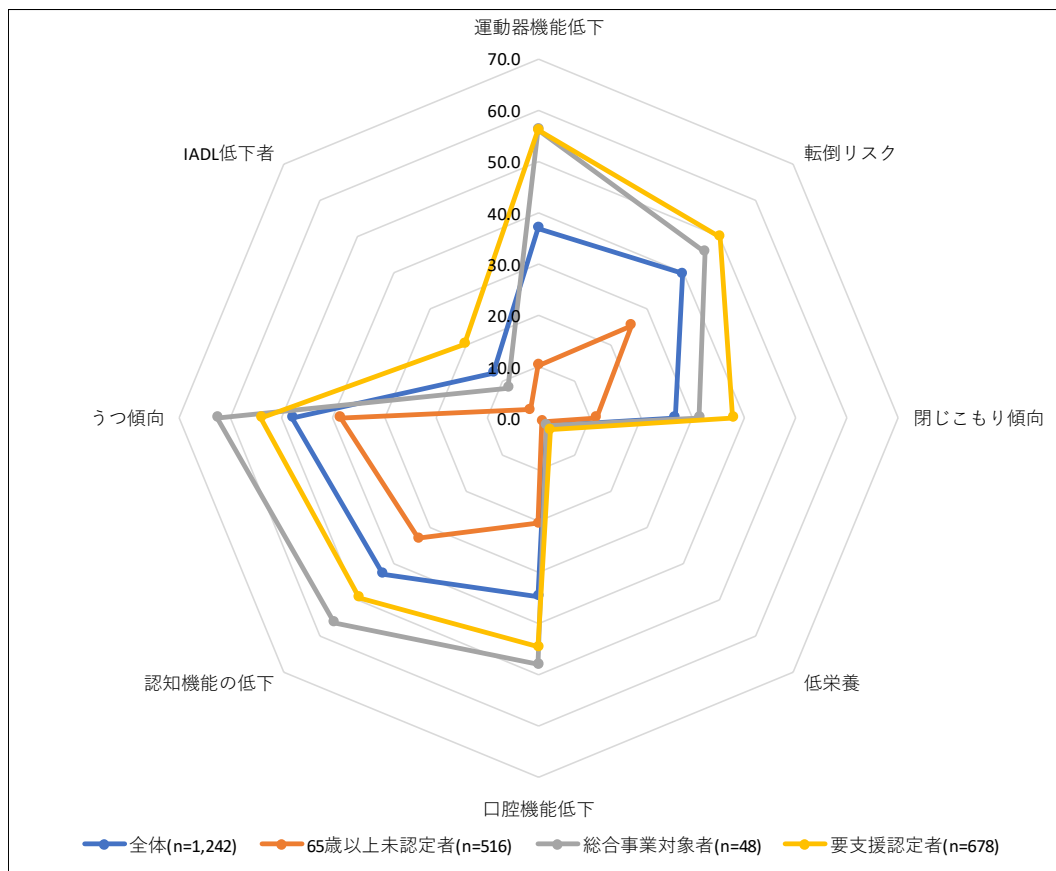


評価方法

2項目のうち、1項目以上に該当する場合、「うつ傾向のある高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問7-3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか(該当: はい)
問7-4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(該当: はい)

■母集団別にみた各生活機能のリスク分布



(単位: %)

	運動器機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養	口腔機能低下	認知機能の低下	うつ傾向	IADL低下者
全体(n=1,242)	37.0	39.7	26.6	2.3	34.7	42.9	47.9	12.4
65歳以上未認定者(n=516)	10.3	25.6	11.2	1.0	20.5	33.1	38.6	2.3
総合事業対象者(n=48)	56.3	45.8	31.3	2.1	47.9	56.3	62.5	8.3
要支援認定者(n=678)	56.0	50.0	37.9	3.2	44.5	49.4	54.0	20.4

65歳以上未認定者を1とした場合の指数

	運動器機能低下	転倒リスク	閉じこもり傾向	低栄養	口腔機能低下	認知機能の低下	うつ傾向	IADL低下者
全体(n=1,242)	3.6	1.6	2.4	2.3	1.7	1.3	1.2	5.3
65歳以上未認定者(n=516)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
総合事業対象者(n=48)	5.5	1.8	2.8	2.2	2.3	1.7	1.6	3.6
要支援認定者(n=678)	5.5	2.0	3.4	3.3	2.2	1.5	1.4	8.8

■関連項目の年齢別クロス集計

単位 (%)

		合計	運動器機能低下		
			リスクあり	非該当	無回答
全体		1242	37.0	60.5	2.5
(2) 年齢	65～69歳	110	8.2	89.1	2.7
	70～74歳	229	18.8	78.6	2.6
	75～79歳	246	30.9	65.9	3.3
	80～84歳	300	38.3	59.0	2.7
	85～89歳	240	56.7	42.1	1.3
	90～94歳	56	71.4	28.6	0.0
	95歳以上	51	78.4	21.6	0.0

単位 (%)

		合計	口腔機能低下		
			リスクあり	非該当	無回答
全体		1242	34.7	63.8	1.4
(2) 年齢	65～69歳	110	19.1	80.0	0.9
	70～74歳	229	27.5	71.6	0.9
	75～79歳	246	32.1	66.7	1.2
	80～84歳	300	31.7	66.3	2.0
	85～89歳	240	47.9	50.4	1.7
	90～94歳	56	53.6	46.4	0.0
	95歳以上	51	47.1	52.9	0.0

単位 (%)

		合計	認知機能の低下		
			リスクあり	非該当	無回答
全体		1242	42.9	54.0	3.1
(2) 年齢	65～69歳	110	27.3	70.9	1.8
	70～74歳	229	34.5	63.3	2.2
	75～79歳	246	38.2	58.5	3.3
	80～84歳	300	48.7	47.7	3.7
	85～89歳	240	52.9	44.6	2.5
	90～94歳	56	48.2	51.8	0.0
	95歳以上	51	54.9	43.1	2.0

単位 (%)

		合計	転倒リスク		
			リスクあり	リスク非該当	無回答
全体		1242	39.7	56.3	4.0
(2) 年齢	65～69歳	110	26.4	70.0	3.6
	70～74歳	229	25.8	71.2	3.1
	75～79歳	246	37.8	57.7	4.5
	80～84歳	300	41.7	53.3	5.0
	85～89歳	240	48.8	47.1	4.2
	90～94歳	56	57.1	42.9	0.0
	95歳以上	51	66.7	33.3	0.0

単位 (%)

		合計	閉じこもり傾向		
			リスクあり	非該当	無回答
全体		1242	26.6	69.1	4.3
(2) 年齢	65～69歳	110	7.3	89.1	3.6
	70～74歳	229	12.2	84.7	3.1
	75～79歳	246	25.2	69.5	5.3
	80～84歳	300	26.7	68.0	5.3
	85～89歳	240	40.0	55.4	4.6
	90～94歳	56	46.4	53.6	0.0
	95歳以上	51	58.8	41.2	0.0

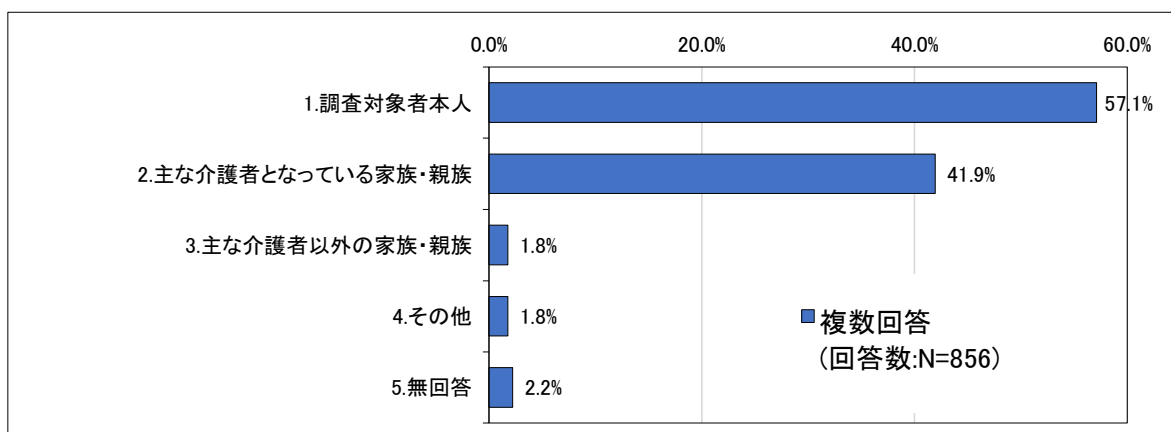
		合計	IADL低下者		
			リスクあり	非該当	無回答
全体		1242	12.4	85.9	1.7
(2) 年齢	65～69歳	110	1.8	98.2	0.0
	70～74歳	229	4.4	93.4	2.2
	75～79歳	246	5.7	92.7	1.6
	80～84歳	300	14.3	84.3	1.3
	85～89歳	240	21.7	77.1	1.3
	90～94歳	56	32.1	67.9	0.0
	95歳以上	51	27.5	70.6	2.0

3. 在宅介護実態調査

(1) A票 調査対象者本人について

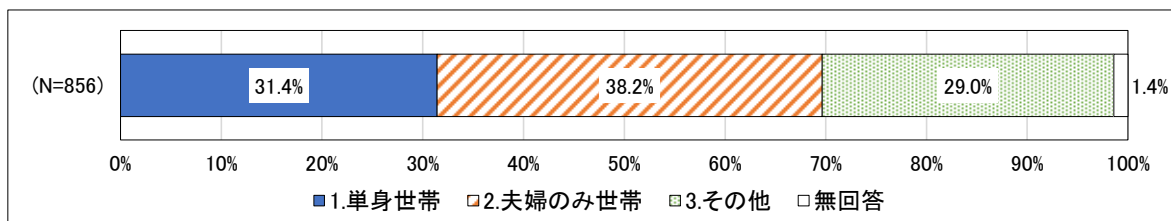
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数選択可）

- 「本人」が57.1%で最も高く、次いで、「主な介護者となっている家族・親族」が41.9%となっています。



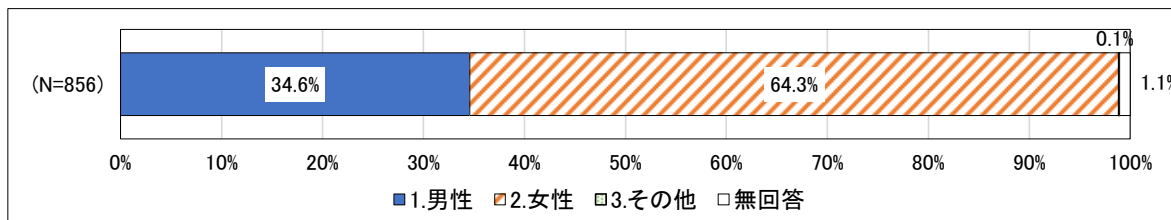
問2 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

- 「夫婦のみ世帯」が38.2%で最も高く、次いで、「単身世帯」(31.4%)、「その他」(29.0%)となっています。



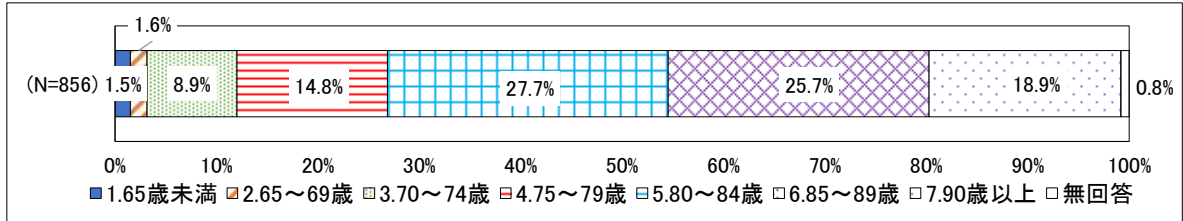
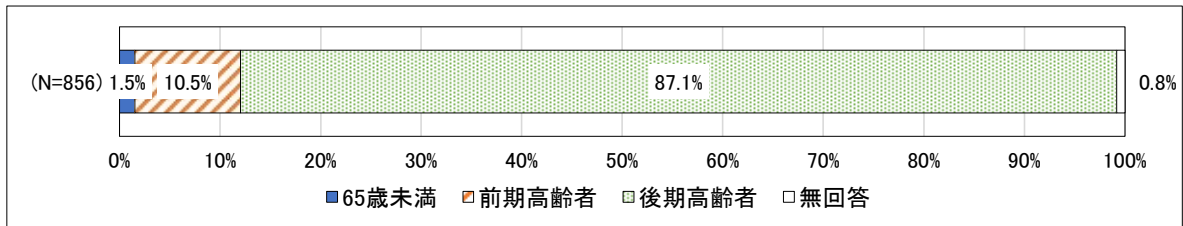
問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- 女性が64.3%を占めています。



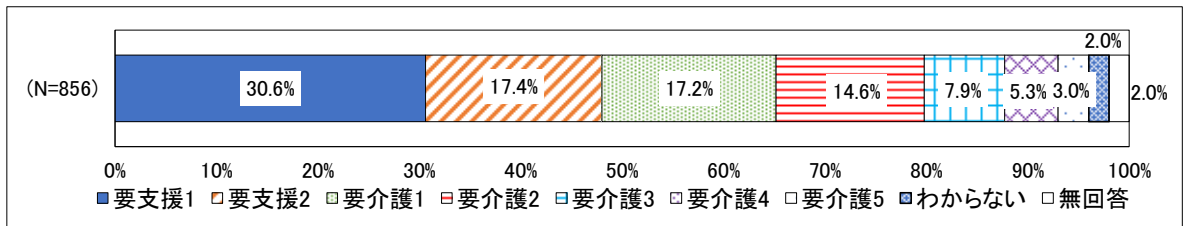
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- 後期高齢者が 87.1% を占めています。



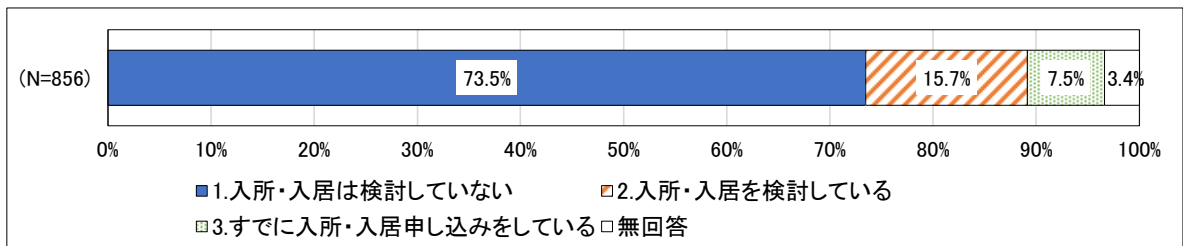
問5 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つを選択）

- 「要支援1」が 30.6% で最も高く、次いで、「要支援2」(17.4%)、「要介護1」(17.2%)、「要介護2」(14.6%) となっています。



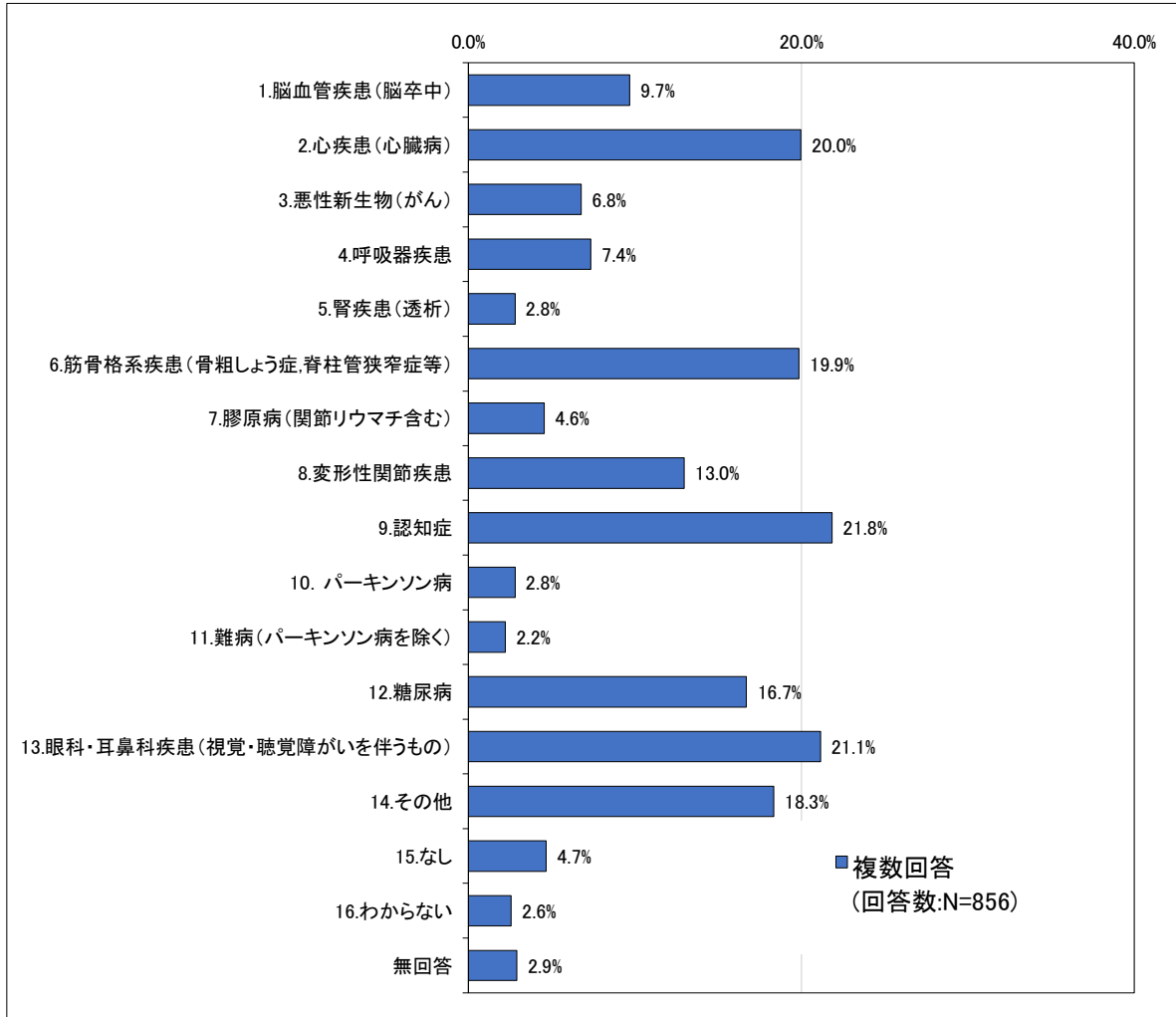
問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選択）

- 「入所・入居は検討していない」が 73.5% を占めています。一方、「入所・入居を検討している」または、「申し込みをしている」は、合わせて 23.2% となっています。



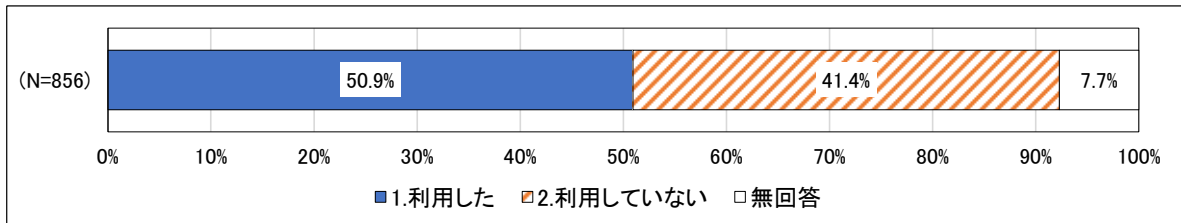
問7 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）

- 「認知症」が21.8%で最も高く、次いで、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」（21.1%）、「心疾患（心臓病）」（20.0%）、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊椎管狭窄症等）」（19.9%）となっています。



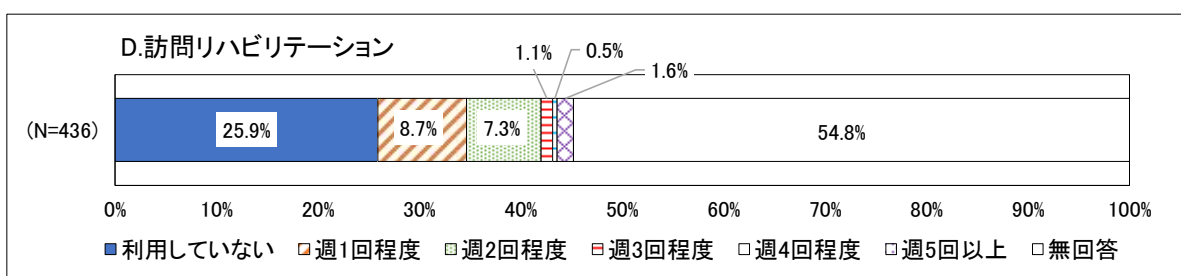
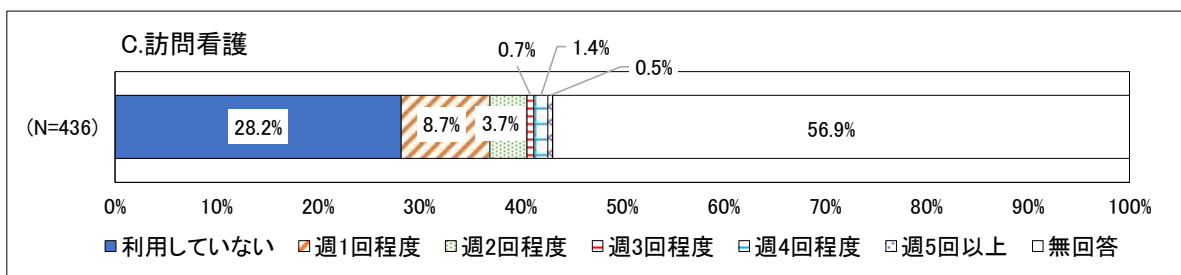
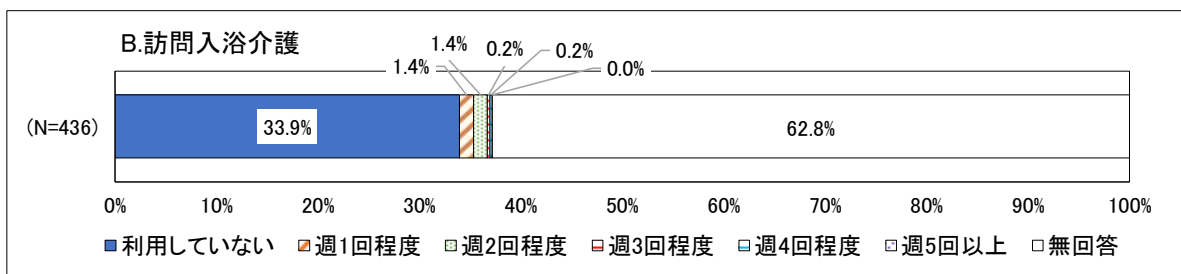
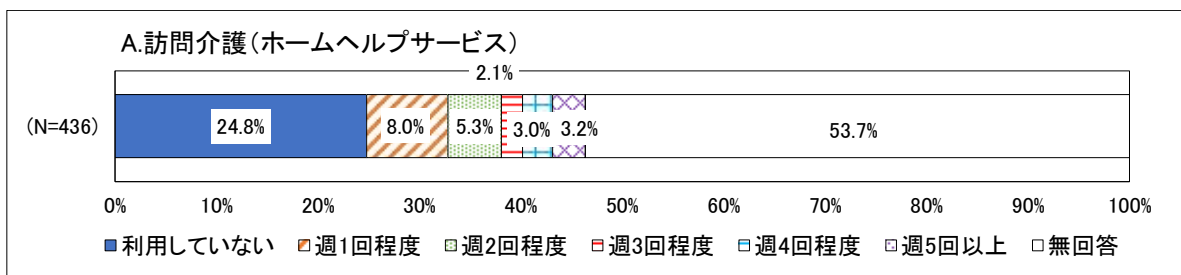
問8 令和4年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

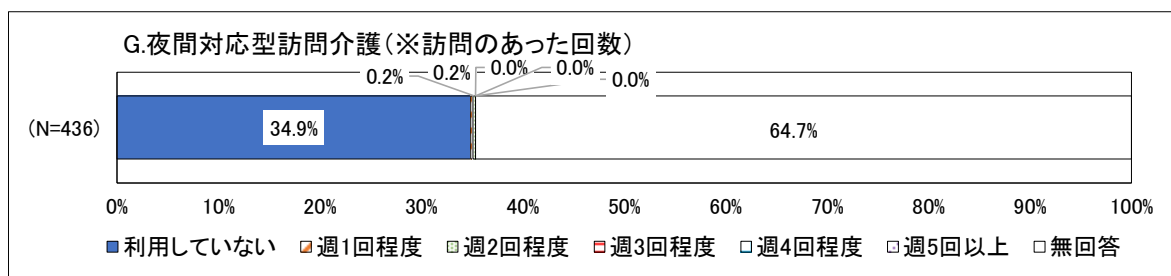
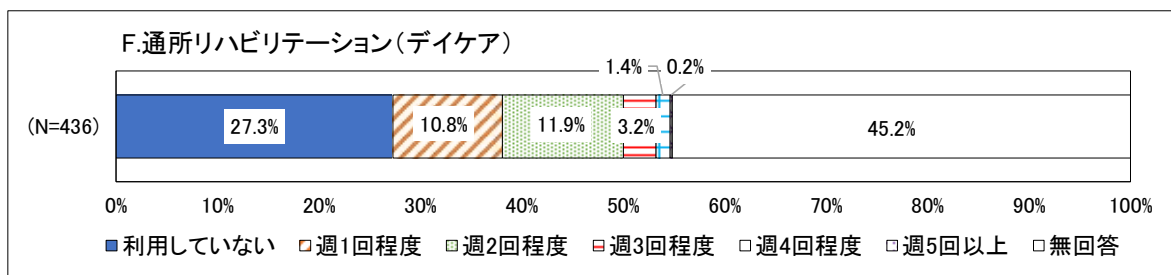
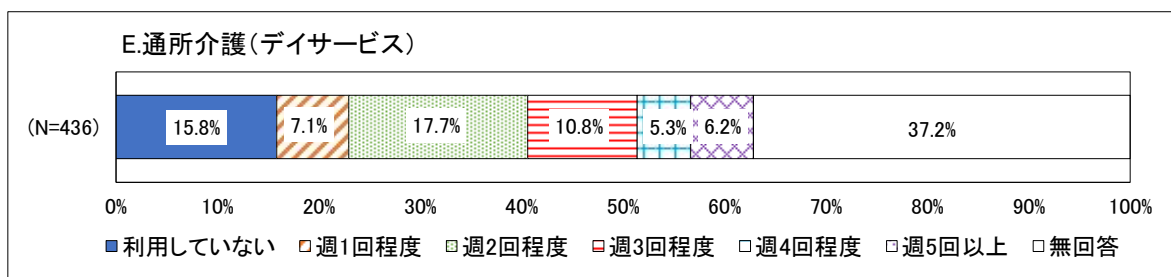
- 「利用した」が50.9%、「利用していない」が41.4%となっています。



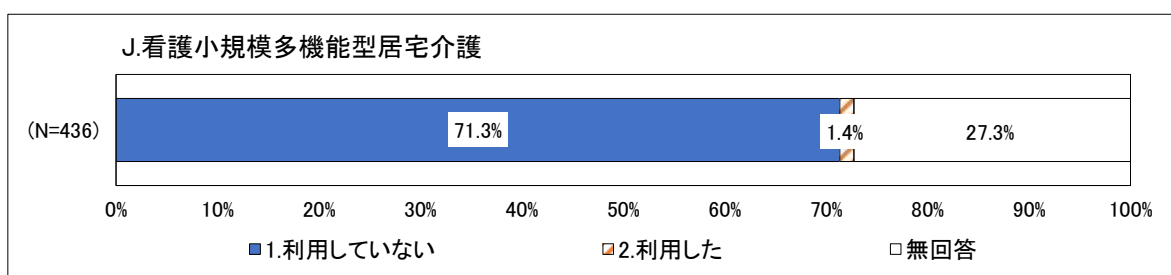
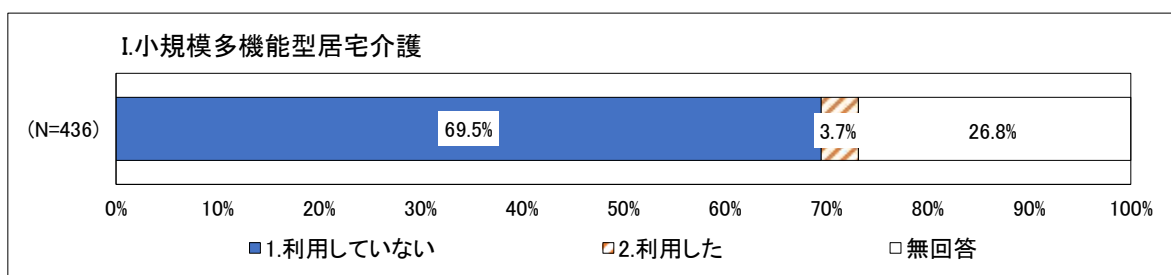
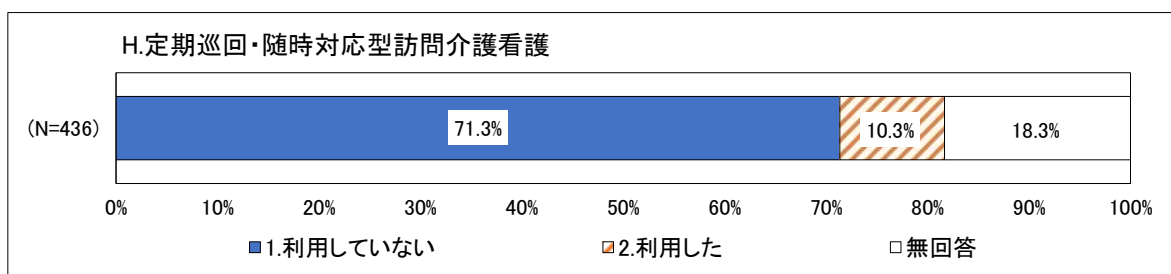
問9 問8で「1.」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年10月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください(それぞれ1つに○)

- 『利用している』サービスでは、「訪問介護」(21.6%)や「通所介護」(47.1%)、「通所リハビリテーション」(27.5%)が2割を超えています。

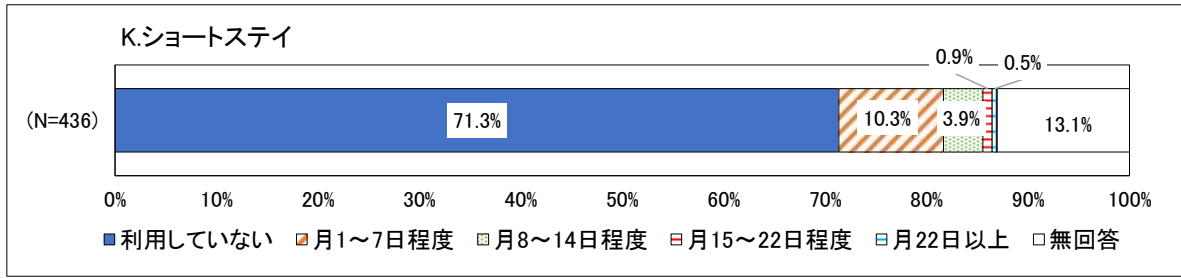




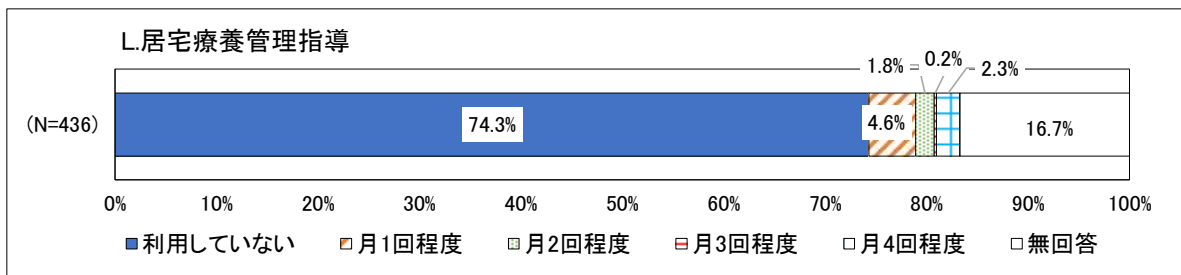
- 以下の3つのサービスでは、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」において「利用した」が10.3%と比較的高くなっています。



- 「ショートステイ」では「利用していない」が71.3%を占め、次いで、「月1～7日程度」(10.3%)となっています。

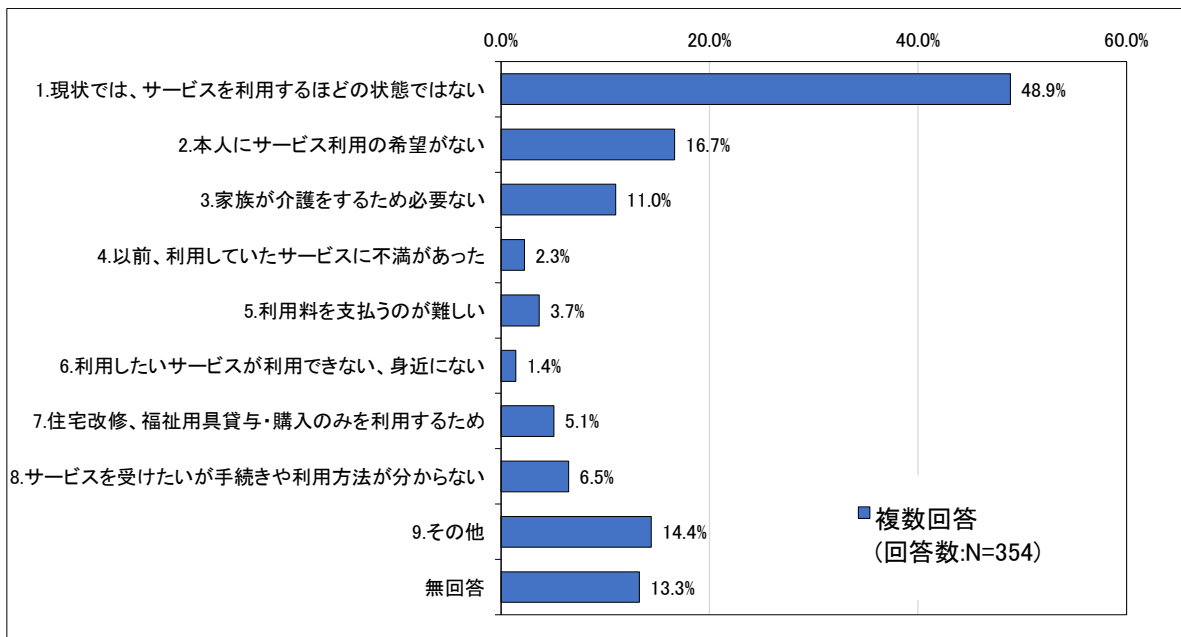


- 「居宅療養管理指導」では「利用していない」が74.3%を占め、次いで、「月1回程度」(4.6%)となっています。



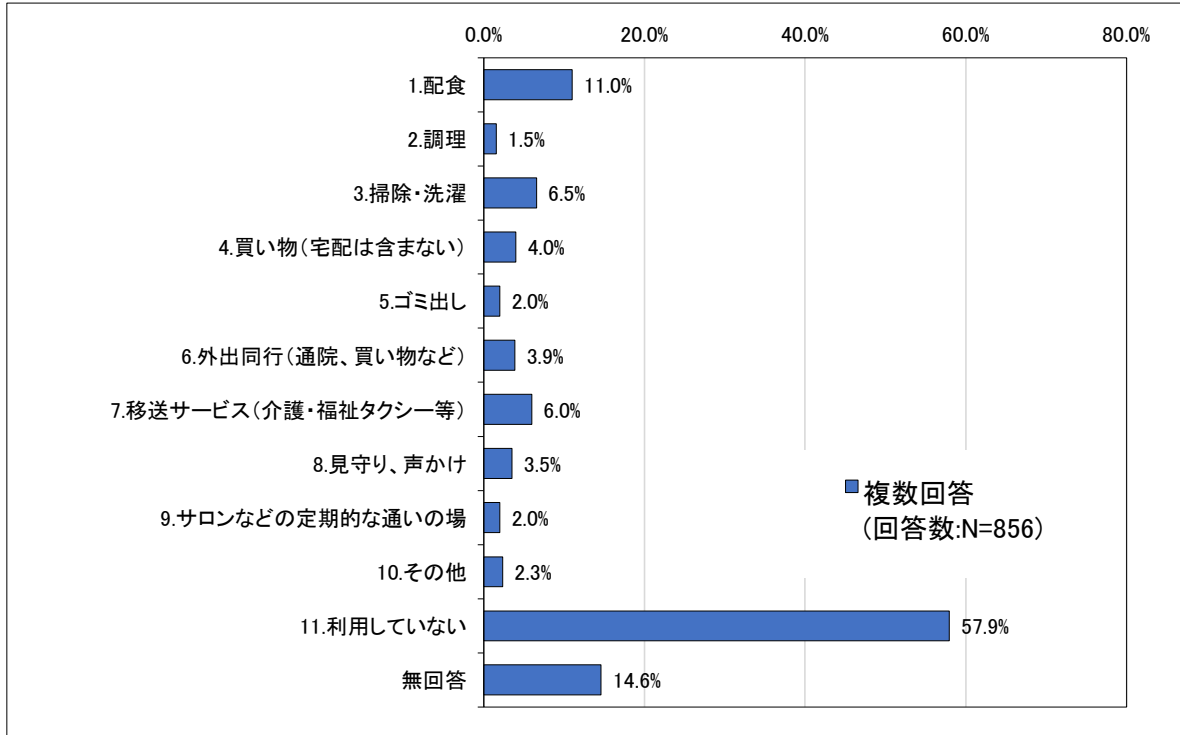
問10 問8で「2.」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

- 「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が48.9%で最も高く、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」(16.7%)、「その他」(14.4%)、「家族が介護をするため必要ない」(11.0%)となっています。



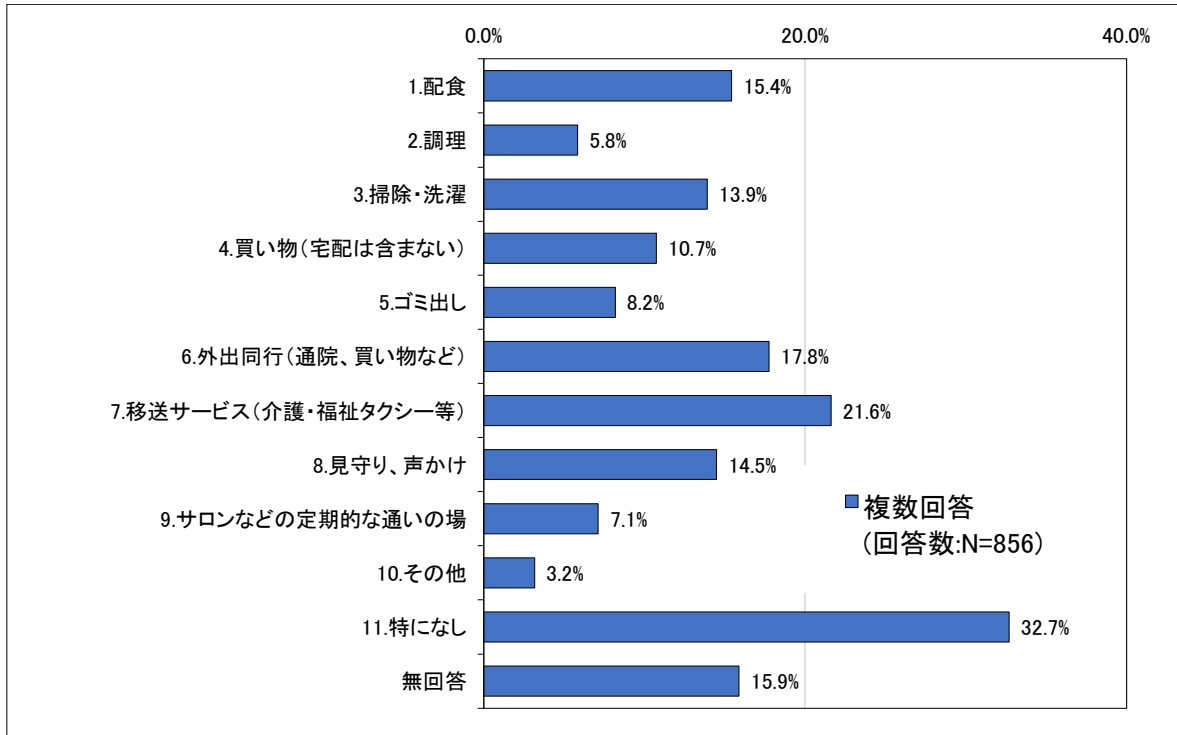
問11 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

- 「利用していない」が57.9%で最も高くなっています。
- 利用しているでは、「配食」が11.0%で最も高く、次いで、「掃除・洗濯」（6.5%）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（6.0%）となっています。



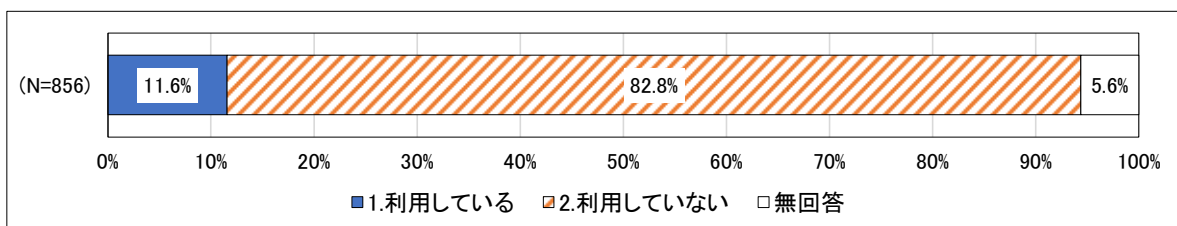
問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

- 最も高い「特になし」(32.7%)を除くと、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(21.6%)や「外出同行(通院、買い物など)」(17.8%)、「配食」(15.4%)、「見守り、声かけ」(14.5%)が比較的高い傾向にあります。



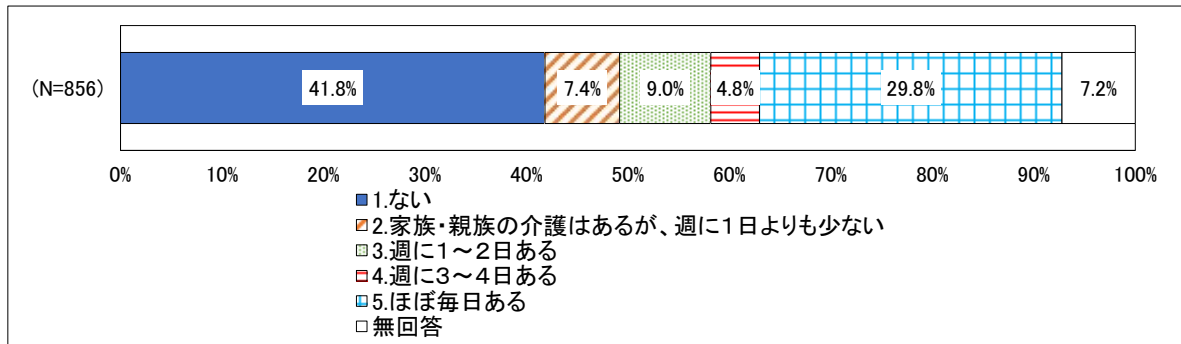
問13 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

- 「利用していない」が82.8%を占めています。



問14 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

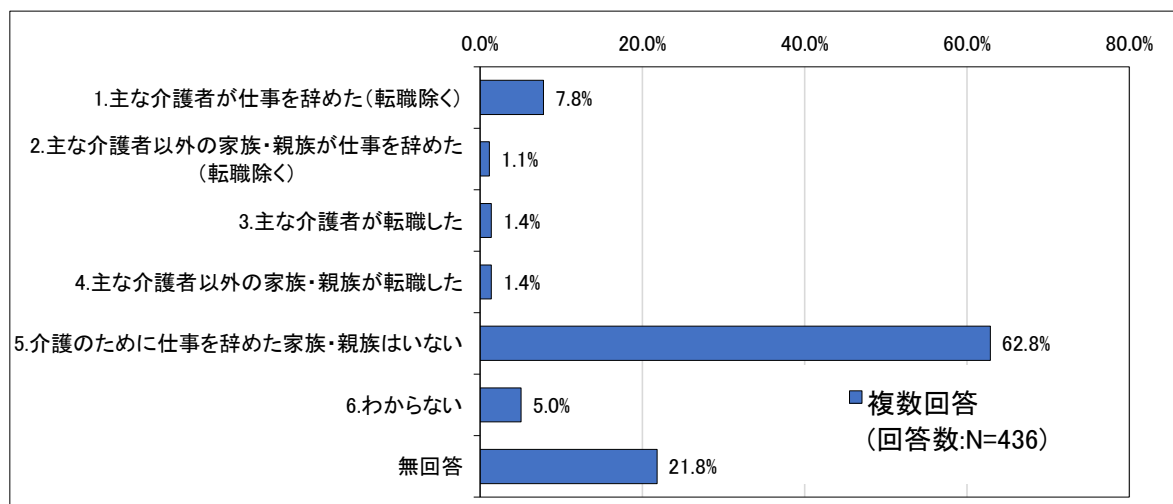
- 「ない」が41.8%で、「ほぼ毎日ある」が29.8%となっています。



(2) B票 主な介護者について

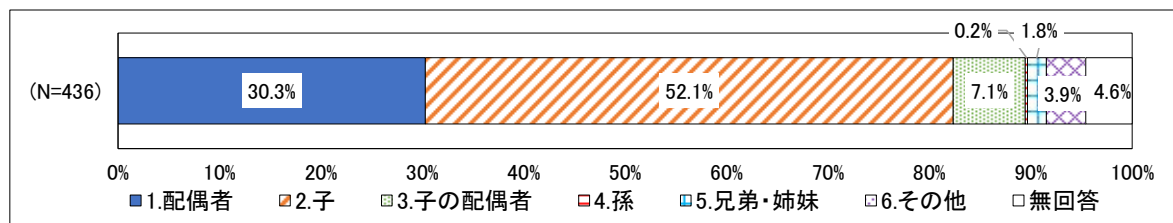
問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

- 「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が62.8%を占めています。
- 「離職」は8.9%、「転職」は2.8%となっています。



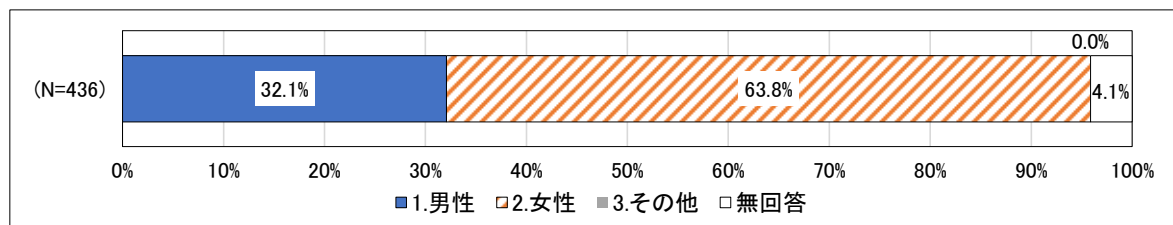
問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- 「子」が52.1%で最も高く、次いで、「配偶者」(30.3%)となっています。



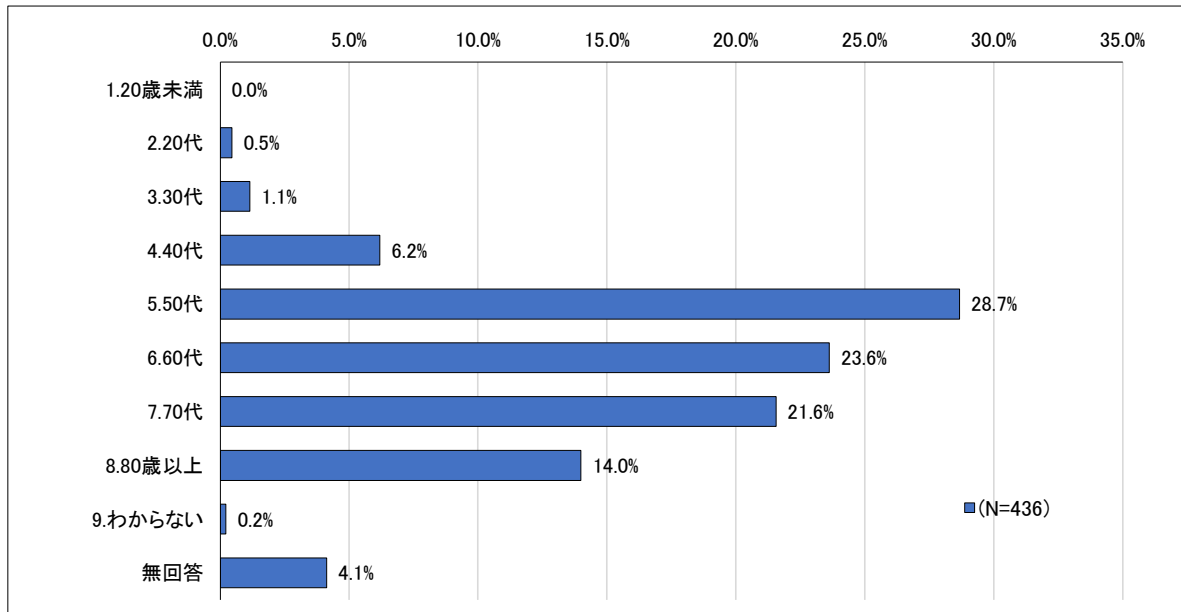
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

- 「女性」が63.8%を占めています。



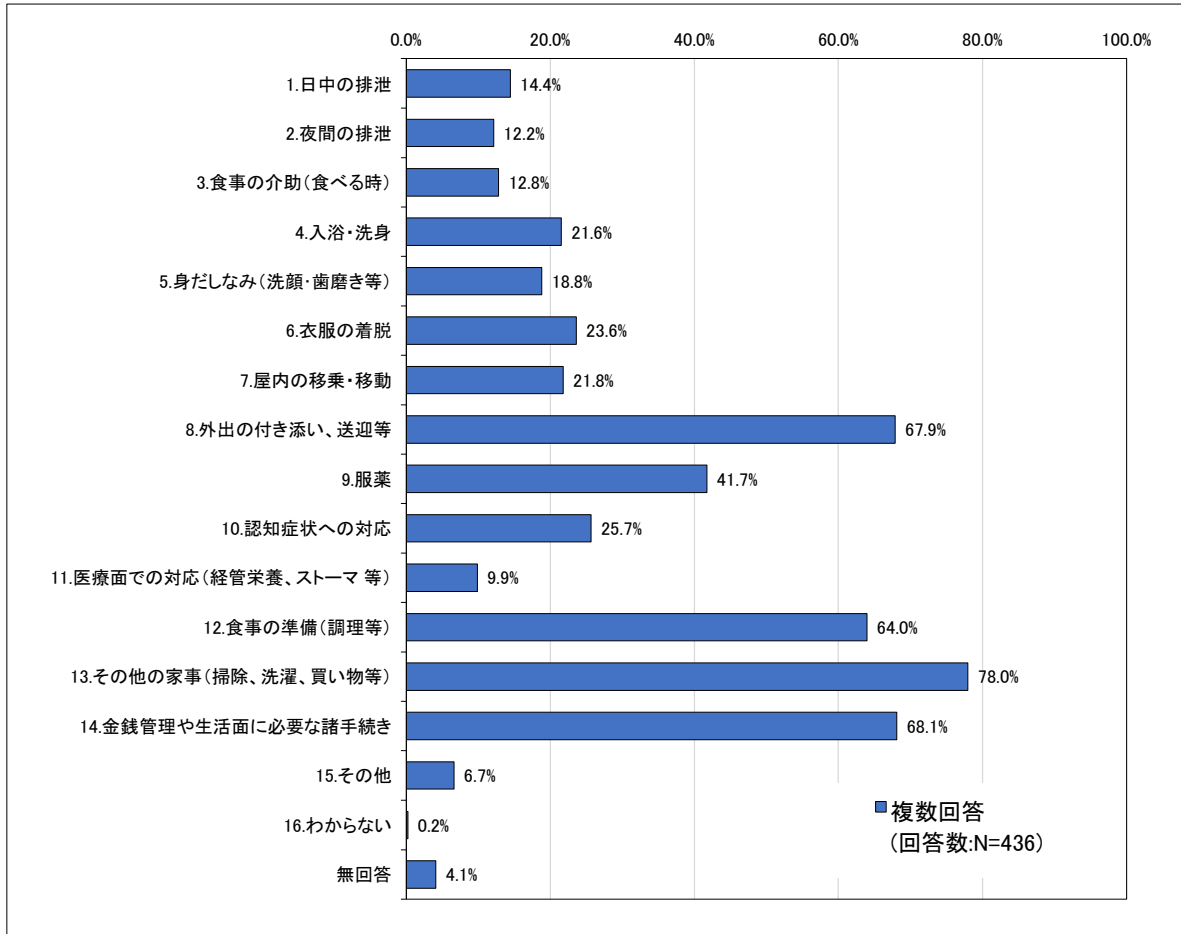
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

- 「50代」が28.7%で最も高く、次いで、「60代」（23.6%）、「70代」（21.6%）となっています。



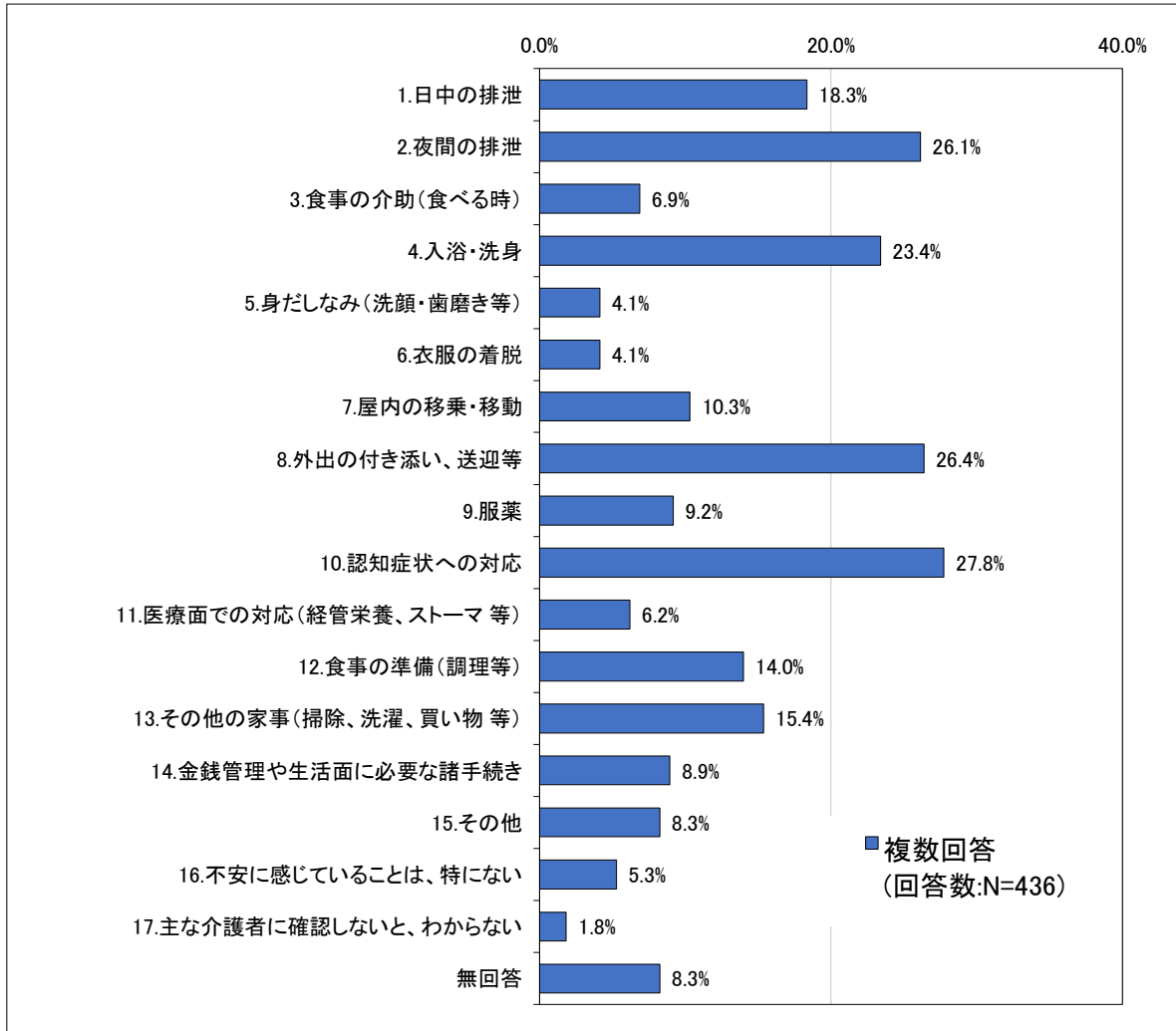
問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（複数選択可）

- 「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 78.0%で最も高く、次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（68.1%）、「外出の付き添い、送迎等」（67.9%）、「食事の準備（調理等）」（64.0%）となっています。



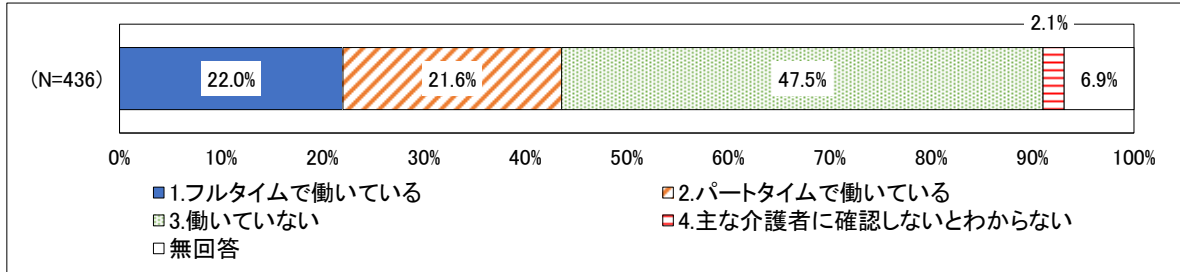
問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

- 「認知症状への対応」が27.8%で最も高く、次いで、「外出の付き添い、送迎等」(26.4%)、「夜間の排泄」(26.1%)、「入浴・洗身」(23.4%)となっています。



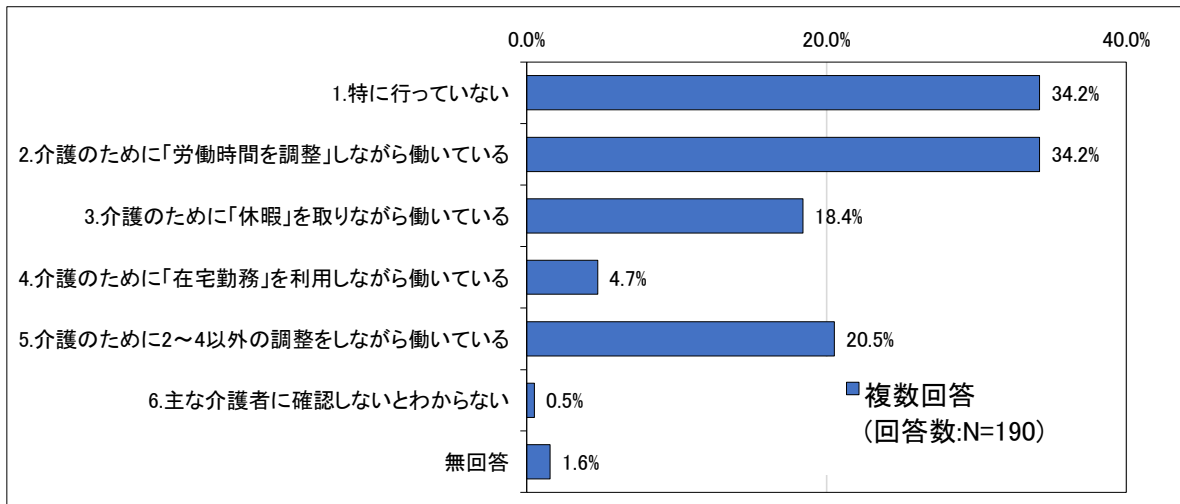
問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

- 「働いていない」が47.5%で最も高く、次いで、「フルタイムで働いている」（22.0%）、「パートタイムで働いている」（21.6%）となっています。



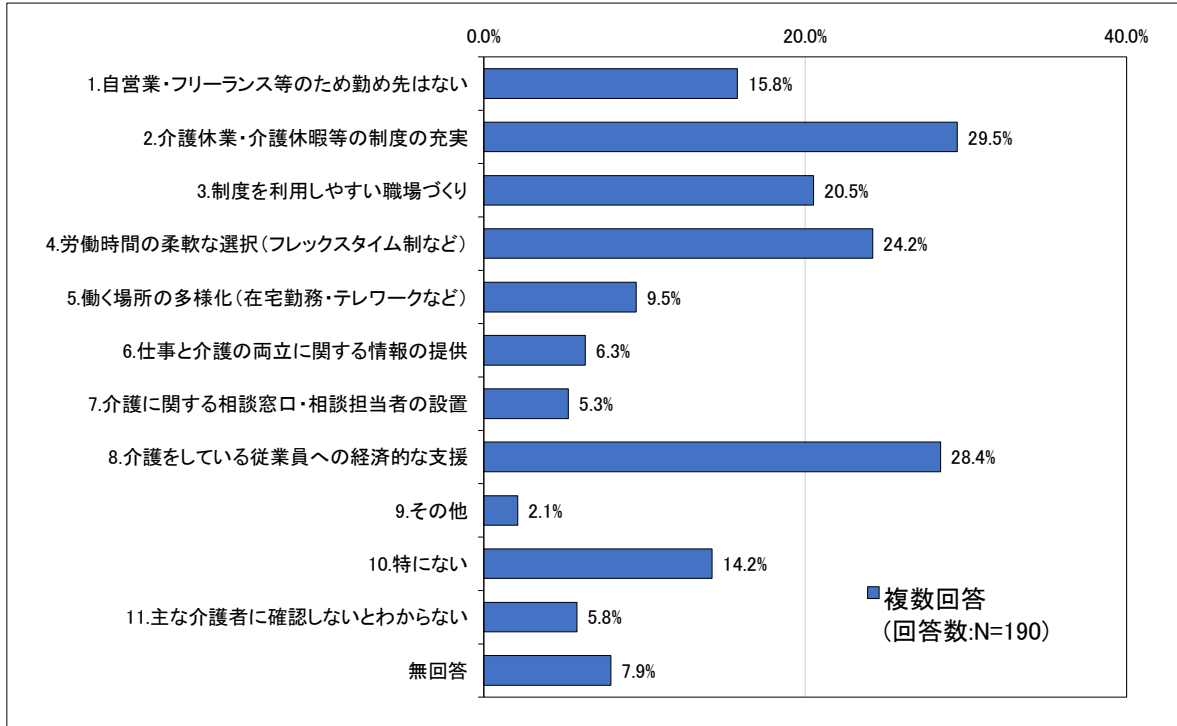
問8 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

- 「特に行っていない」、「介護のために「労働時間を調整」しながら働いている」がともに34.2%で最も高く、次いで、「介護のために2～4以外の調整をしながら働いている」（20.5%）、「介護のために「休暇」を取りながら働いている」（18.4%）となっています。



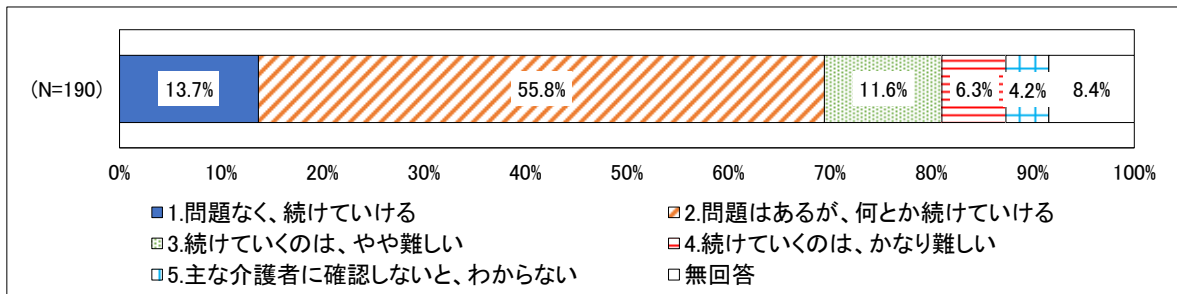
問9 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

- 「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.5%で最も高く、次いで、「介護をしている従業員の経済的な支援」（28.4%）、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（24.2%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（20.5%）となっています。



問10 問7で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

- 「問題はあるが、何とか続けていける」が55.8%で最も高くなっています。
- 『続けていける』（問題なく続けていける＋問題はあるが何とか続けていける）が69.5%に対して、『続けていくのは難しい』（続けていくのはやや難しい＋続けていくのはかなり難しい）は17.9%となっています。



(3) 調査結果からうかがえる在宅介護の状況

対象者本人(要支援・要介護認定者)の傾向について

○対象者本人の年齢構成を見ると、『後期高齢者(「75～79歳」「80～84歳」「85～90歳」「90歳以上」の合計)の割合(87.1%)が8割強を占め、要介護度については『要支援認定者(「要支援1」「要支援2」の合計)の割合(48.0%)が半数近くを占める結果となっています。

対象者本人の世帯については、「単身世帯」(31.4%)、「夫婦のみの世帯」(38.2%)、「その他」(29.0%)の割合がそれぞれ3割程度を占める結果となっています。

○対象者本人の主な傷病を見ると、「心疾患」(20.0%)、「筋骨格系疾患」(19.9%)、「認知症」(21.8%)、「眼科・耳鼻科疾患」(21.1%)が2割程度と多い結果となっており、年齢別クロス集計からは、「75～79歳」を境にこれらの傷病に罹患している割合が高まっている傾向が見られます。

○施設への入所意向については、7割以上が「入所・入居は検討していない」と回答しているものの、要介護度別クロス集計からは、『入所・入居意向あり(「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」の合計)』が要介護3以上で4割を超えており、要介護度が高いほど施設への入所・入居意向が高まる結果となっています。

■関連設問のクロス集計

単位(%)

	合計	A票 問7 現在抱えている傷病												
		脳血管疾患(脳卒中)	心疾患(心臓病)	悪性新生物(がん)	呼吸器疾患	腎疾患(透析)	筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	膠原病(関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病(パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障がいを伴うもの)
全体	856	9.7	20.0	6.8	7.4	2.8	19.9	4.6	13.0	21.8	2.8	2.2	16.7	21.1
A票 問4 年齢	65歳未満	13	38.5	7.7	23.1	0.0	0.0	15.4	0.0	7.7	15.4	0.0	7.7	0.0
	65～69歳	14	14.3	7.1	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0	14.3	7.1	7.1	14.3	14.3
	70～74歳	76	10.5	9.2	13.2	9.2	3.9	14.5	7.9	13.2	10.5	6.6	6.6	15.8
	75～79歳	127	19.7	16.5	8.7	7.1	3.1	13.4	7.9	12.6	22.8	4.7	3.1	20.5
	80～84歳	237	8.0	18.1	5.5	9.3	1.7	17.7	6.3	11.8	24.5	3.8	2.5	18.1
	85～89歳	220	5.5	25.5	5.0	6.4	4.1	25.5	1.4	15.0	20.0	0.9	1.4	18.2
90歳以上	162	6.8	25.9	4.3	5.6	1.9	25.3	3.1	14.2	25.9	0.6	0.0	11.1	

	合計	A票 問7 現在抱えている傷病			
		その他	なし	わからない	無回答
全体	856	18.3	4.7	2.6	2.9
A票 問4 年齢	65歳未満	13	15.4	0.0	7.7
	65～69歳	14	28.6	7.1	0.0
	70～74歳	76	18.4	3.9	1.3
	75～79歳	127	20.5	3.1	3.1
	80～84歳	237	16.9	3.4	2.5
	85～89歳	220	19.1	4.5	2.7
90歳以上	162	17.9	8.6	2.5	

単位 (%)

	合計	A票 問6 施設等への入所・入居の検討状況				
		入所・入居 は検討して いない	入所・入居 を検討して いる	すでに入 所・入居申 し込みをし ている	無回答	
全体	856	73.5	15.7	7.5	3.4	
A票 問5 要介護度	要支援1	262	85.9	11.5	2.3	0.4
	要支援2	149	77.9	12.8	4.7	4.7
	要介護1	147	70.7	22.4	3.4	3.4
	要介護2	125	73.6	15.2	7.2	4.0
	要介護3	68	52.9	25.0	19.1	2.9
	要介護4	45	44.4	17.8	35.6	2.2
	要介護5	26	42.3	23.1	23.1	11.5
	わからない	17	82.4	11.8	5.9	0.0

在宅介護の状況について

- 介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入を除く)の利用状況を見ると、「利用した」の割合(50.9%)は5割程度となっているものの要介護度別クロス集計では、介護度が上がるにつれて「利用した」の割合が高まる傾向にあり、要介護1以上では6割を超え、「要介護3」では8割に達しており、在宅の要介護認定者にとって介護保険サービスの必要性が高いことがうかがえる結果となっています。また、利用されている介護保険サービスとしては「訪問介護」(21.6%)、「通所介護」(47.1%)、「通所リハビリテーション」(27.5%)の割合が高い傾向にあります。
- 一方、「要支援1」「要支援2」では、介護保険サービスを「利用していない」割合(63.7%, 51.0%)が5割を超えており、その理由として「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合(58.7%, 46.1%)が5割程度を占めていることから、介護保険サービスを利用する要支援認定者は限定的であることがうかがえる結果となっています。このことは、『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査』において、要支援認定者であっても自立した生活を送られている高齢者が多い実態との関連性が見られます。
- 介護者が行っている介護等の内容を見ると、介護者の6割以上が「外出の付き添い、送迎等」(67.9%)や「食事の準備(調理等)」(64.0%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(78.0%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(68.1%)を行っている状況にあり、要介護度別クロス集計からは、介護度が上がるにつれて「日中の排泄」や「夜間の排泄」「身だしなみ」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「服薬」などの割合も高まる傾向にあり、要介護4、5の重度では5割・6割を超えていることから、介護保険サービスを利用しつつも様々な面で介護に携わっている状況がうかがえる結果となっています。
- 介護保険以外で利用しているサービスについては「配食」(11.0%)の割合が高く、世帯類型別クロス集計では、「単身世帯」で「配食」(17.5%)、「掃除・洗濯」(14.5%)の割合が他の世帯よりも10ポイント程度高くなっています。また、今後の在宅生活の継続に必要と感じるサービスについても世帯類型別クロス集計を見ると、「単身世帯」においてニーズが高い傾向にあり、中でも「掃除・洗濯」(22.7%)、「買い物」(19.0%)、「外出同行」(21.2%)、「見守り、声かけ」(22.3%)の割合が他の世帯よりも10ポイント程度高くなっています。

■関連設問のクロス集計

単位 (%)

		合計	A票 問8(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスの利用		
			利用した	利用していない	無回答
A票 問5 要介護度	全体	856	50.9	41.4	7.7
	要支援1	262	30.9	63.7	5.3
	要支援2	149	38.9	51.0	10.1
	要介護1	147	62.6	26.5	10.9
	要介護2	125	75.2	20.8	4.0
	要介護3	68	82.4	14.7	2.9
	要介護4	45	75.6	13.3	11.1
	要介護5	26	61.5	26.9	11.5
	わからない	17	11.8	76.5	11.8

単位 (%)

		合計	A票 問10 介護保険サービスを利用していない理由									
			現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
A票 問5 要介護度	全体	354	48.9	16.7	11.0	2.3	3.7	1.4	5.1	6.5	14.4	13.3
	要支援1	167	58.7	11.4	10.2	0.6	2.4	0.0	4.2	3.6	9.0	16.2
	要支援2	76	46.1	18.4	13.2	5.3	3.9	1.3	6.6	5.3	11.8	14.5
	要介護1	39	41.0	33.3	12.8	2.6	2.6	2.6	10.3	12.8	15.4	10.3
	要介護2	26	30.8	23.1	19.2	0.0	7.7	7.7	7.7	11.5	19.2	7.7
	要介護3	10	20.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	40.0	10.0
	要介護4	6	0.0	33.3	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	50.0	0.0
	要介護5	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	0.0
	わからない	13	53.8	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4	7.7

単位 (%)

		合計	B票 問5 主な介護者の方が行っている介護等									
			日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応
A票 問5 要介護度	全体	436	14.4	12.2	12.8	21.6	18.8	23.6	21.8	67.9	41.7	25.7
	要支援1	72	0.0	1.4	1.4	4.2	4.2	6.9	8.3	61.1	19.4	12.5
	要支援2	68	5.9	7.4	11.8	23.5	13.2	13.2	16.2	64.7	23.5	17.6
	要介護1	99	4.0	3.0	4.0	19.2	12.1	13.1	16.2	63.6	38.4	25.3
	要介護2	98	11.2	6.1	8.2	27.6	14.3	23.5	19.4	72.4	49.0	26.5
	要介護3	46	32.6	30.4	23.9	30.4	34.8	50.0	34.8	78.3	65.2	39.1
	要介護4	30	63.3	50.0	46.7	46.7	56.7	66.7	53.3	66.7	73.3	43.3
	要介護5	13	69.2	69.2	69.2	0.0	76.9	61.5	69.2	76.9	76.9	38.5
	わからない	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	80.0	20.0	

		合計	B票 問5 主な介護者の方が行っている介護等							
			医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
A票 問5 要介護度	全体	436	9.9	64.0	78.0	68.1	8.3	5.3	1.8	8.3
	要支援1	72	2.8	37.5	62.5	47.2	9.7	4.2	5.6	11.1
	要支援2	68	14.7	66.2	72.1	52.9	2.9	5.9	1.5	14.7
	要介護1	99	7.1	62.6	81.8	70.7	8.1	3.0	0.0	9.1
	要介護2	98	7.1	68.4	81.6	76.5	8.2	8.2	1.0	3.1
	要介護3	46	17.4	80.4	84.8	84.8	6.5	2.2	2.2	6.5
	要介護4	30	16.7	86.7	93.3	90.0	16.7	6.7	0.0	0.0
	要介護5	13	30.8	69.2	84.6	84.6	23.1	7.7	7.7	15.4
	わからない	5	0.0	60.0	60.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0

単位 (%)

	合計	A票 問11 利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス								
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場
全体	856	11.0	1.5	6.5	4.0	2.0	3.9	6.0	3.5	2.0
A票 問2 世帯類型										
単身世帯	269	17.5	2.2	14.5	8.6	4.5	4.5	3.7	6.3	3.3
夫婦のみ世帯	327	7.3	1.5	4.0	2.1	0.9	3.7	7.6	2.8	1.5
その他	248	8.5	0.8	0.8	1.2	0.4	3.6	5.6	1.2	1.2

	合計	A票 問11 利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス		
		その他	利用していない	無回答
全体	856	2.3	57.9	14.6
A票 問2 世帯類型				
単身世帯	269	3.7	44.2	13.0
夫婦のみ世帯	327	1.8	62.4	16.2
その他	248	1.6	68.1	13.7

単位 (%)

	合計	A票 問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス								
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場
全体	856	15.4	5.8	13.9	10.7	8.2	17.8	21.6	14.5	7.1
A票 問2 世帯類型										
単身世帯	269	19.7	8.2	22.7	19.0	14.5	21.2	18.2	22.3	7.1
夫婦のみ世帯	327	13.5	6.4	12.5	9.2	7.0	14.1	22.9	8.6	6.7
その他	248	13.7	2.8	6.5	4.0	3.2	19.4	24.6	14.1	8.1

	合計	A票 問12 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス		
		その他	特になし	無回答
全体	856	3.2	32.7	15.9
A票 問2 世帯類型				
単身世帯	269	3.0	23.4	14.5
夫婦のみ世帯	327	3.1	36.1	19.6
その他	248	2.8	39.1	11.7

介護者の状況について

○主な介護者について見ると、「子」の割合(52.1%)が最も高くなっていますが、世帯類型別クロス集計を見ると、「単身世帯」「その他」では「子」(74.8%, 64.4%)が中心であるものの、「夫婦のみの世帯」では「配偶者」(70.7%)が中心となっており、世帯類型によって主な介護者が異なる状況が見られます。このことは主な介護者の年齢においても同様の傾向を示しており、「単身世帯」「その他」では「50代」(41.7%, 31.5%)、「60代」(27.6%, 37.7%)が中心となっており、「夫婦のみの世帯」では「70代」(34.4%)、「80歳以上」(31.2%)が中心となっています。また、いずれの場合も「女性」が介護者である割合が6割を超える結果となっています。

○介護者の就労状況については、介護者の年齢によって大きく異なっており、介護者の年齢別クロス集計を見ると、40代以下では『働いている（「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の合計）』割合が8割を超え、「50代」（68.8%）では6割、「60代」（51.5%）では5割を超える一方、「70代」（14.9%）では1割程度となっています。

働き方の調整については、勤務形態によって異なっており、介護者の勤務形態別クロス集計を見ると、「特に行っていない」が「フルタイムで働いている」（42.7%）では4割であるのに対して「パートタイムで働いている」（25.5%）では2割と、パートタイムで働いている介護者の多くが働き方を調整している状況がうかがえる結果となっています。

○介護者が不安に感じる介護等の内容としては「夜間の排泄」（26.1%）、「入浴・洗身」（23.4%）、「外出の付き添い、送迎等」（26.4%）、「認知症状への対応」（27.8%）の割合が高いものの、要介護度別のクロス集計を見ると、「夜間の排泄」では「要介護3」（45.7%）、「要介護4」（40.0%）の割合が高く、「外出の付き添い、送迎等」では「要支援1」（38.9%）、「要支援2」（26.5%）の割合が高く、「認知症状への対応」では要介護1以上が3割を超え、「その他の家事」では「要支援1」（25.0%）、「要支援2」（23.5%）の割合が高くなっており、本人の状態によって不安に感じる介護等の内容が異なる結果となっています。

■関連設問のクロス集計

単位（%）

	合計	B票 問2 主な介護者の方						
		配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体	436	30.3	52.1	7.1	0.2	1.8	3.9	4.6
A票 問2 世帯類型								
単身世帯	127	0.0	74.8	6.3	0.0	4.7	7.1	7.1
夫婦のみ世帯	157	70.7	21.7	1.9	0.0	0.0	1.3	4.5
その他	146	13.7	64.4	13.7	0.7	1.4	3.4	2.7

単位（%）

	合計	B票 問3 主な介護者の方の性別			
		男性	女性	その他	無回答
全体	436	32.1	63.8	0.0	4.1
A票 問2 世帯類型					
単身世帯	127	32.3	61.4	0.0	6.3
夫婦のみ世帯	157	34.4	61.1	0.0	4.5
その他	146	28.1	69.9	0.0	2.1

単位（%）

	合計	B票 問4 主な介護者の方の年齢									
		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体	436	0.0	0.5	1.1	6.2	28.7	23.6	21.6	14.0	0.2	4.1
A票 問2 世帯類型											
単身世帯	127	0.0	0.8	0.8	5.5	41.7	27.6	15.7	1.6	0.0	6.3
夫婦のみ世帯	157	0.0	0.0	0.0	6.4	15.9	7.6	34.4	31.2	0.0	4.5
その他	146	0.0	0.7	2.7	6.8	31.5	37.7	13.0	5.5	0.0	2.1

単位 (%)

	合計	B票 問7 主な介護者の方の勤務形態				
		フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	436	22.0	21.6	47.5	2.1	6.9
B票 問4 主な介護者の方の年齢	20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	30代	5	40.0	60.0	0.0	0.0
	40代	27	40.7	40.7	18.5	0.0
	50代	125	42.4	26.4	24.8	3.2
	60代	103	20.4	31.1	44.7	1.9
	70代	94	3.2	11.7	80.9	0.0
	80歳以上	61	1.6	6.6	73.8	0.0
わからない	1	0.0	0.0	0.0	100.0	

単位 (%)

	合計	B票 問8 介護するにあたり働き方について調整等をしているか							
		特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、選択肢2～4以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
全体	190	34.2	34.2	18.4	4.7	20.5	0.5	1.6	
B票 問7 主な介護者の方の勤務形態	フルタイムで働いている	96	42.7	28.1	22.9	5.2	12.5	0.0	3.1
	パートタイムで働いている	94	25.5	40.4	13.8	4.3	28.7	1.1	0.0
	働いていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主な介護者に確認しないと、わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

単位 (%)

	合計	B票 問6 主な介護者の方が不安に感じる介護等											
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）
全体	436	18.3	26.1	6.9	23.4	4.1	4.1	10.3	26.4	9.2	27.8	6.2	14.0
A票 問5 要介護度	要支援1	72	6.9	13.9	0.0	15.3	2.8	2.8	8.3	38.9	6.9	13.9	2.8
	要支援2	68	11.8	19.1	4.4	26.5	4.4	1.5	10.3	26.5	11.8	17.6	8.8
	要介護1	99	23.2	27.3	7.1	26.3	7.1	3.0	9.1	22.2	14.1	33.3	5.1
	要介護2	98	16.3	28.6	6.1	25.5	3.1	4.1	11.2	28.6	10.2	35.7	6.1
	要介護3	46	28.3	45.7	10.9	21.7	2.2	8.7	17.4	21.7	2.2	34.8	6.5
	要介護4	30	40.0	40.0	20.0	26.7	6.7	13.3	10.0	13.3	3.3	36.7	6.7
	要介護5	13	23.1	23.1	7.7	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4
	わからない	5	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0

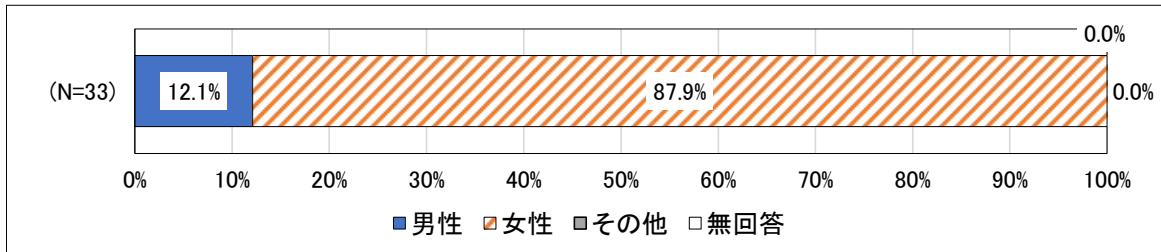
	合計	B票 問6 主な介護者の方が不安に感じる介護等					
		その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	436	15.4	8.9	8.3	5.3	1.8	8.3
A票 問5 要介護度	要支援1	72	25.0	15.3	9.7	4.2	5.6
	要支援2	68	23.5	4.4	2.9	5.9	1.5
	要介護1	99	15.2	7.1	8.1	3.0	0.0
	要介護2	98	12.2	11.2	8.2	8.2	1.0
	要介護3	46	8.7	8.7	6.5	2.2	2.2
	要介護4	30	3.3	0.0	16.7	6.7	0.0
	要介護5	13	0.0	15.4	23.1	7.7	7.7
	わからない	5	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0

4. 介護支援専門員調査

(1) あなた自身のことについて

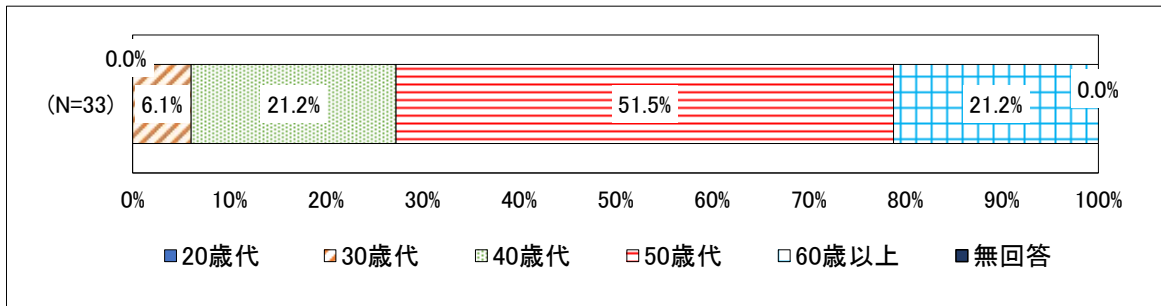
問1 あなたの性別を教えてください。(〇はひとつ)

- 女性が87.9%を占めています。



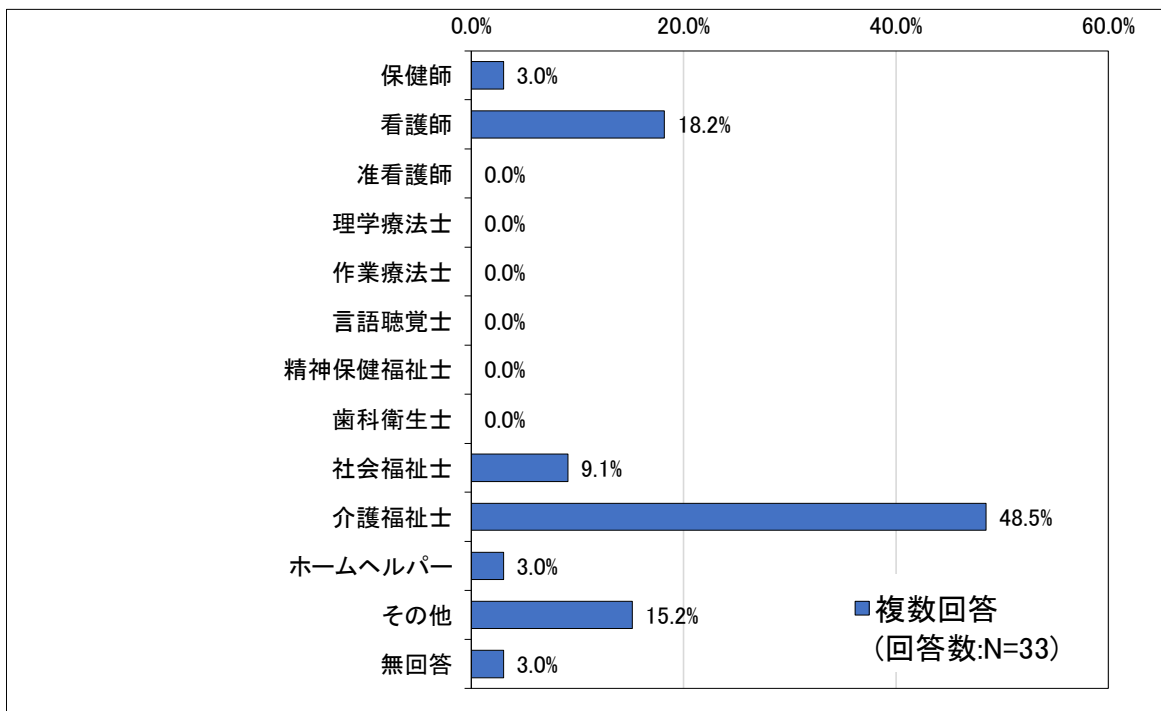
問2 あなたの年齢を教えてください。(令和5年1月1日現在)

- 40歳代~60歳代が中心となっています。



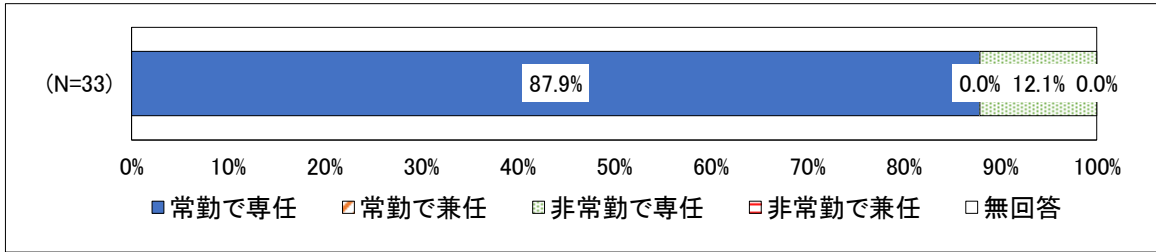
問3 あなたの主たる職種(資格)は何ですか。(〇はひとつ)

- 「介護福祉士」が最も多く48.5%となっています。



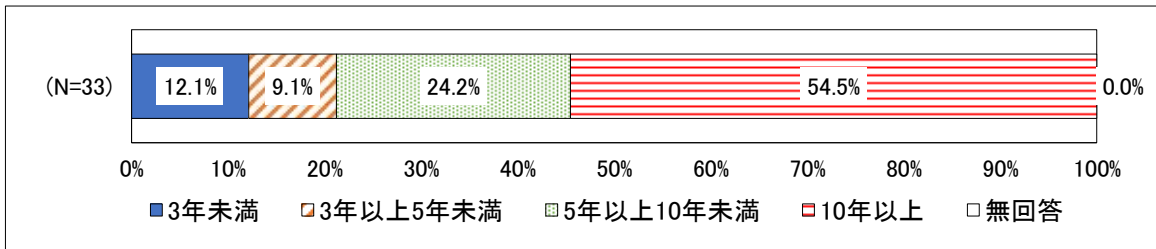
問4 あなたの勤務形態についてお答えください。(〇はひとつ)

- 「常勤で専任」が87.9%を占めています。



問5 あなたのケアマネジャーとしての実務経験年月（兼任含む）について、お答えください。
(令和2年3月1日現在)

- 「10年以上」が54.5%で最も高く、次いで、「5年以上10年未満」(24.2%)となっています。



(2) ケアプランの作成状況について

問6 あなたが向日市内で担当しているケアプランの作成件数（1か月あたり）をお答えください。（令和4年10月実績）

- 合計の平均は 31.4 人となっています。介護認定別では、要介護1が 11.1 人でもっとも多く、次いで、要介護2の 9.1 人となっています。また、最大値では、要支援1で 39 人、要支援2で 26 人となっています。

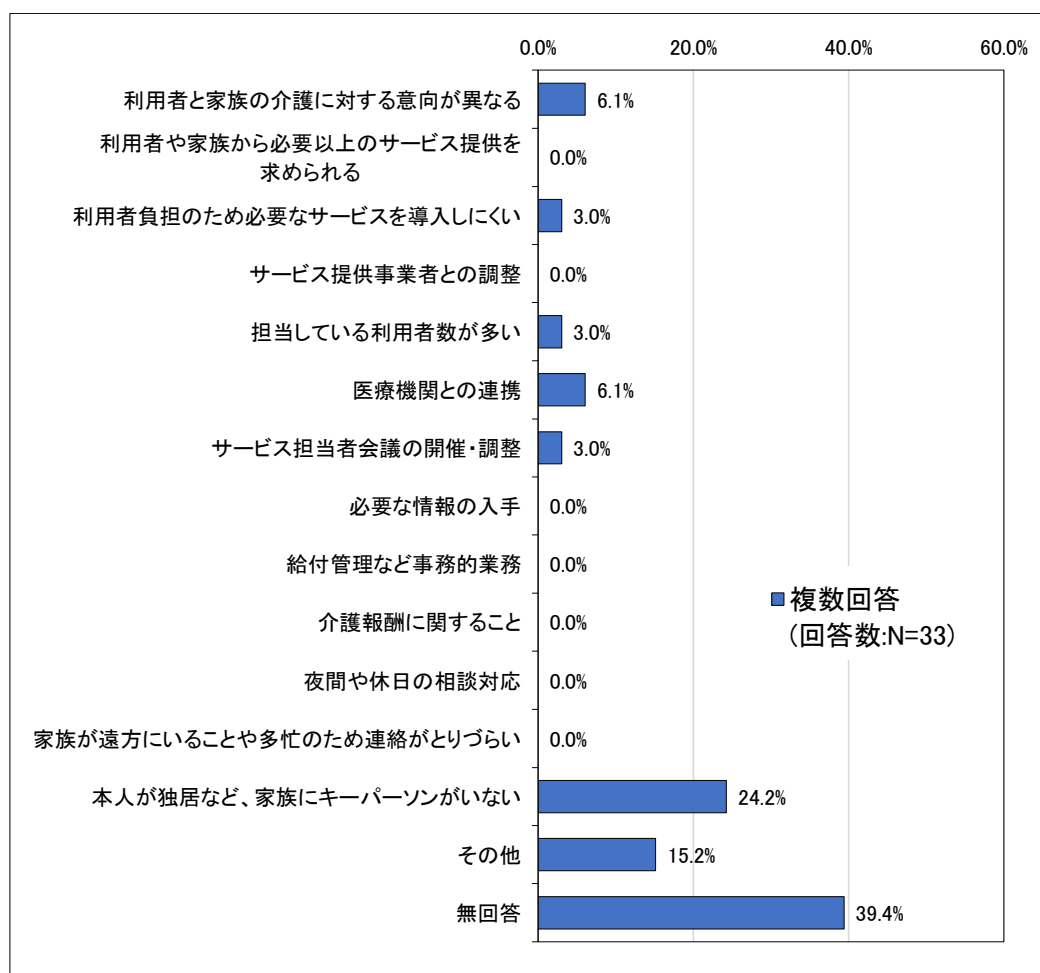
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計※
作成件数回答計	119	126	301	246	126	75	50	1,037
回答者数	24	27	27	27	26	27	24	27
平均値	5.0	4.7	11.1	9.1	4.8	2.8	2.1	31.4
最大値	39	26	17	16	9	7	5	65
最小値	0	0	2	1	0	0	0	0

※調査票の「合計」欄の回答を集計しているため、各介護度別の作成件数回答計の合計とは一致しない。

問7 ケアプラン作成やケアマネジャー業務に際し、困っておられることや、苦勞されることは何ですか。（該当する項目すべてに○とそのうち最も困っていることに◎を記入）

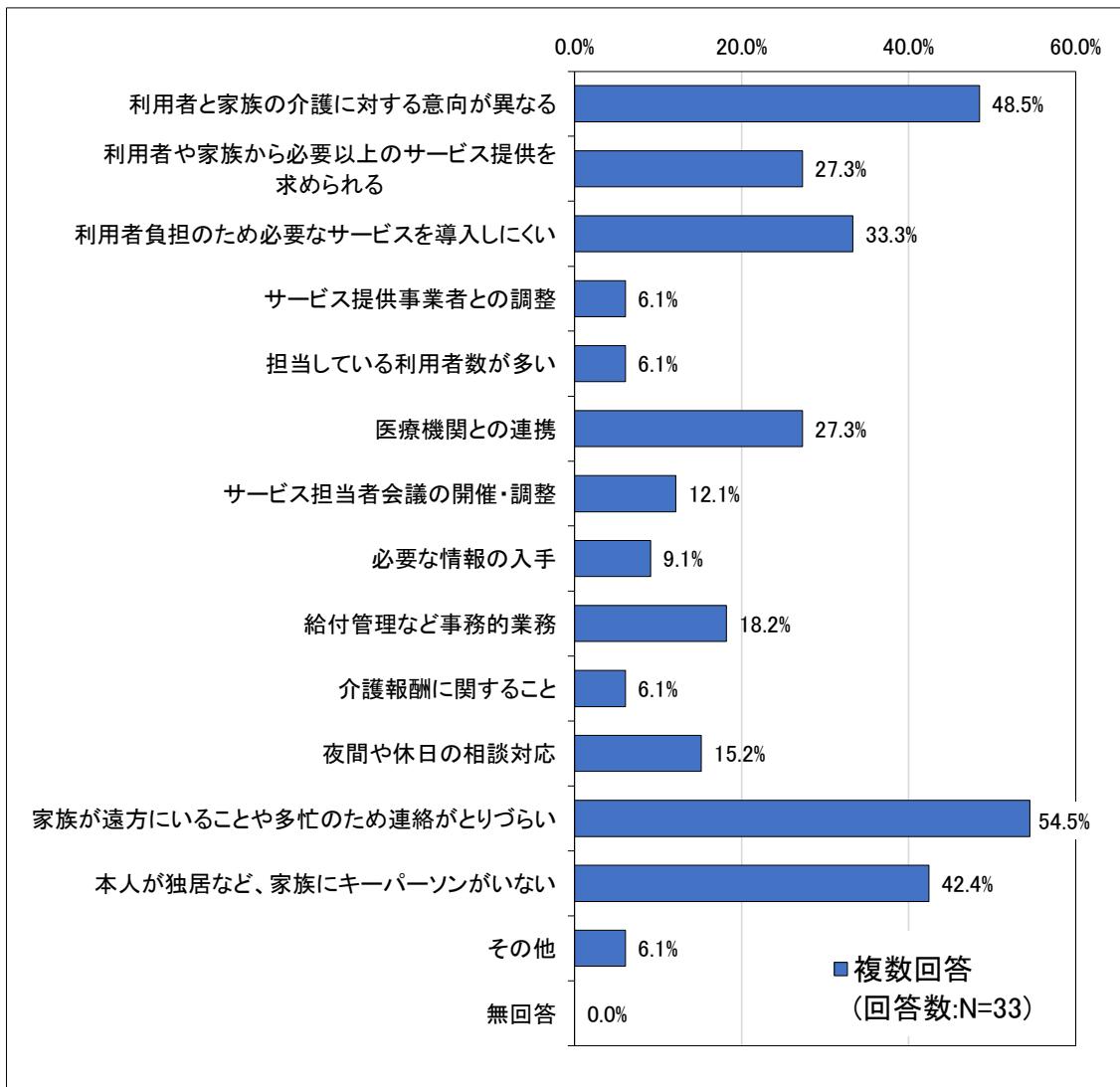
【最も困っていること】

- 「本人が独居など、家族にキーパーソンがない」が 24.2%で最も高くなっています。



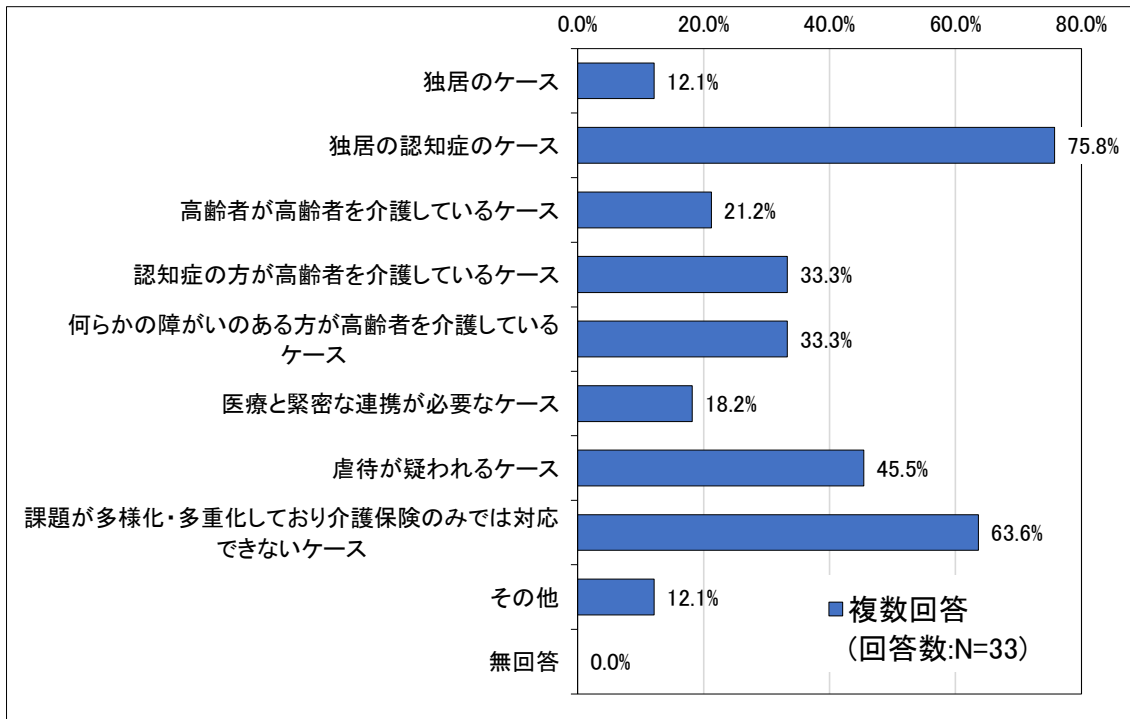
【困っていること（複数回答）】

- 「家族が遠方にいることや多忙のため連絡がとりづらい」が 54.5%で最も高く、次いで、「利用者と家族の介護に対する意向が異なる」（48.5%）、「本人が独居など、家族にキーパーソンがない」（42.4%）となっています。



問8 対応や支援が困難であるのは、どのようなケースですか。(複数回答可)

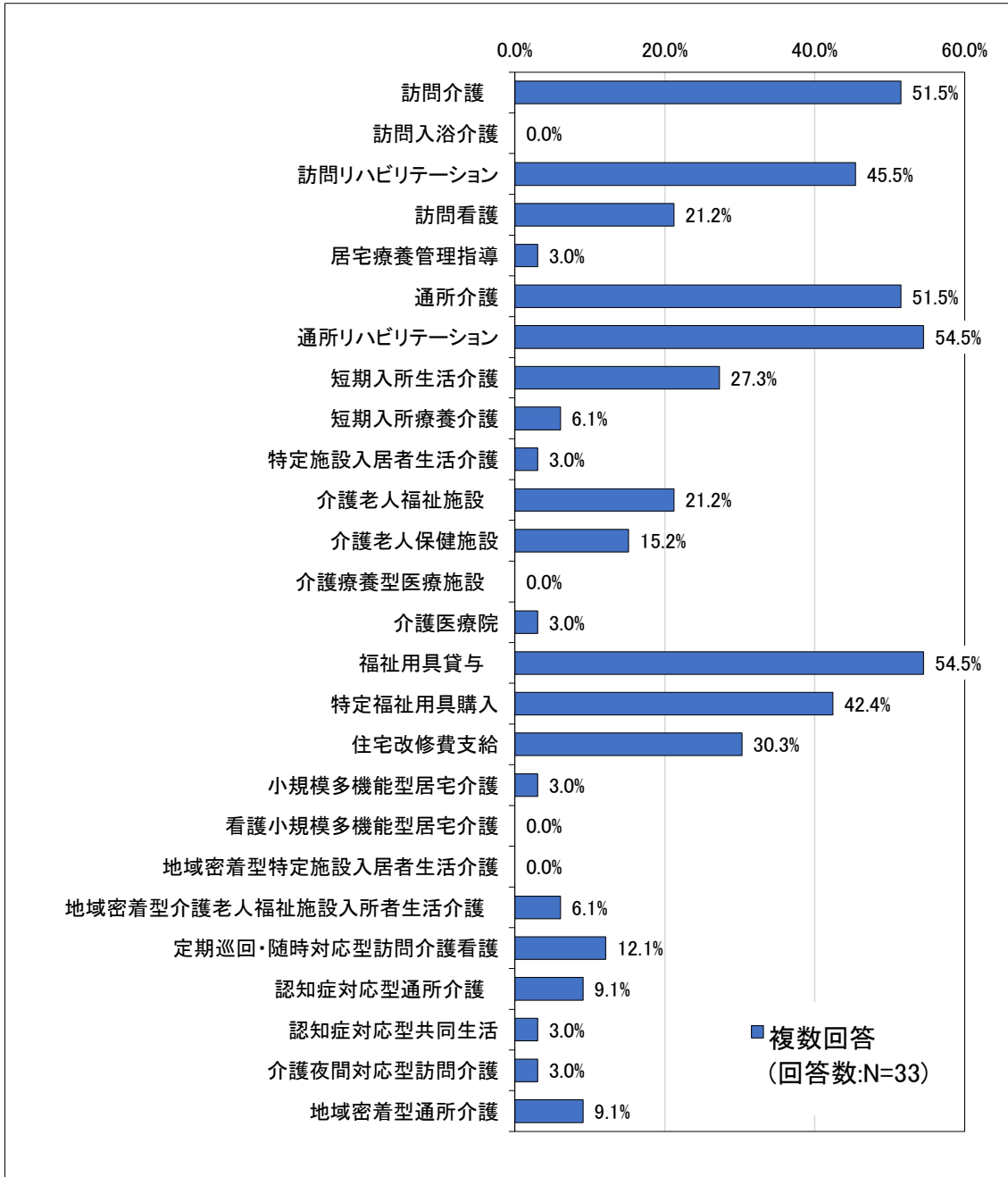
- 「独居の認知症のケース」が75.8%で最も高く、次いで、「課題が多様化・多重化しており介護保険のみでは対応できないケース」が63.6%となっています。



問9 本市の「介護保険サービス」で、①利用者の希望が多いサービス、②あなたが充実していると感じるサービス、③あなたが不足していると感じるサービスについて、あてはまる欄に○を記入してください。いずれでもない場合は、④に○をしてください。(サービス種類ごとにあてはまるものすべてに○)

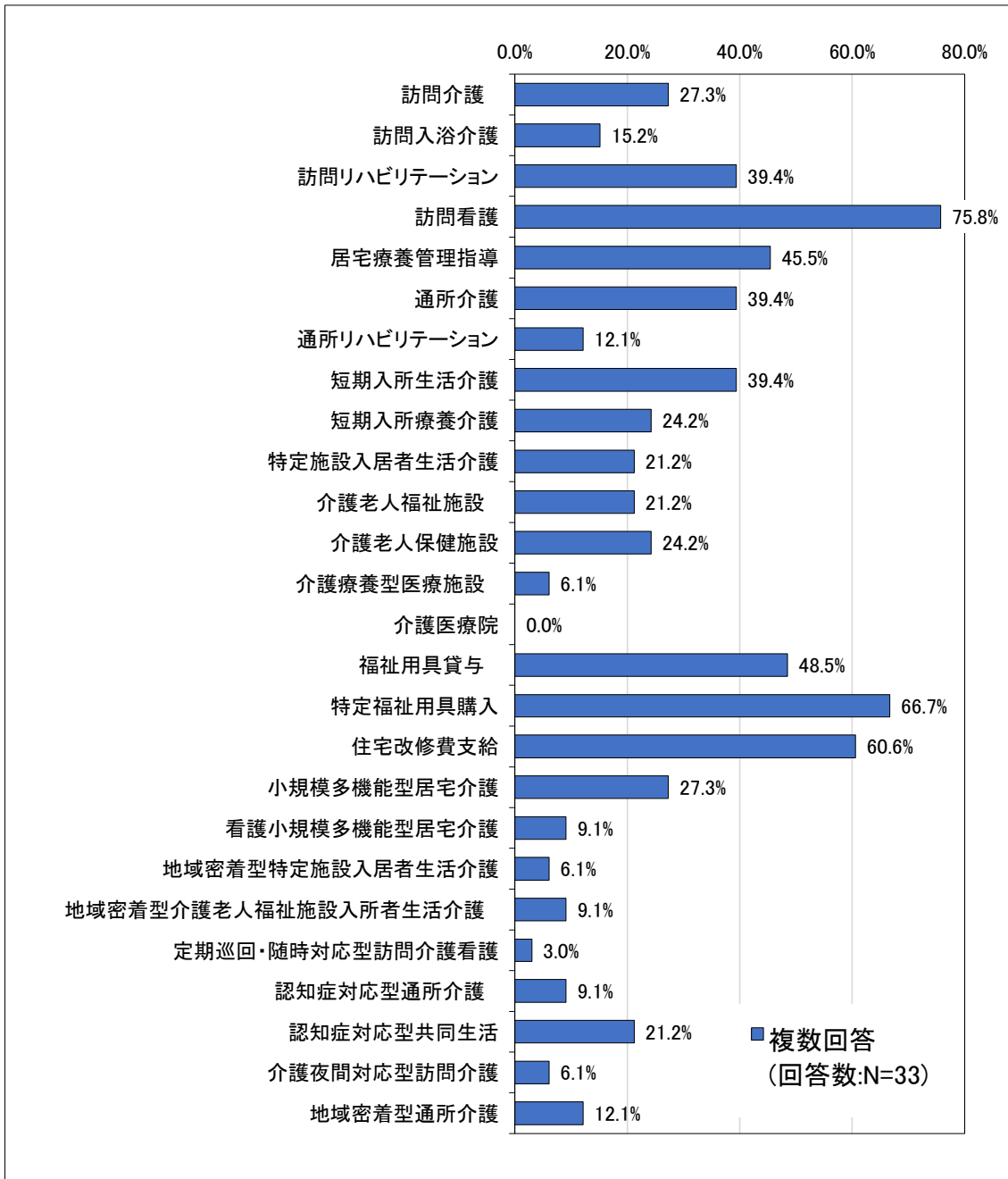
【①希望多い】

- 「通所リハビリテーション」「福祉用具貸与」がともに54.1%で最も高くなっています。次いで、「訪問介護」「通所介護」(いずれも51.5%)となっています。



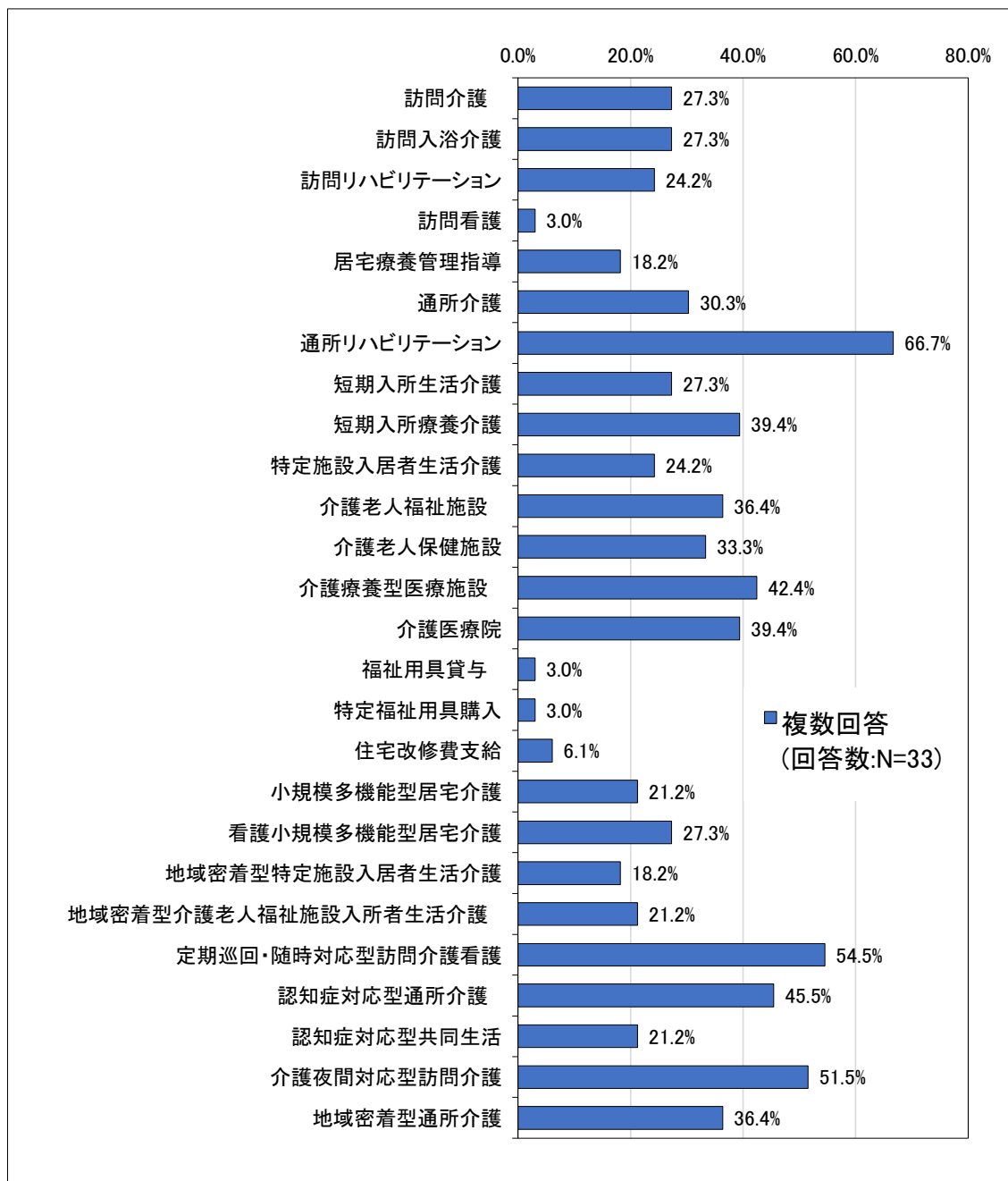
【②充実】

- 「訪問看護」が75.8%で最も高く、次いで、「特定福祉用具購入」(66.7%)、「住宅改修費支給」(60.6%)、「福祉用具貸与」(48.5%)となっています。



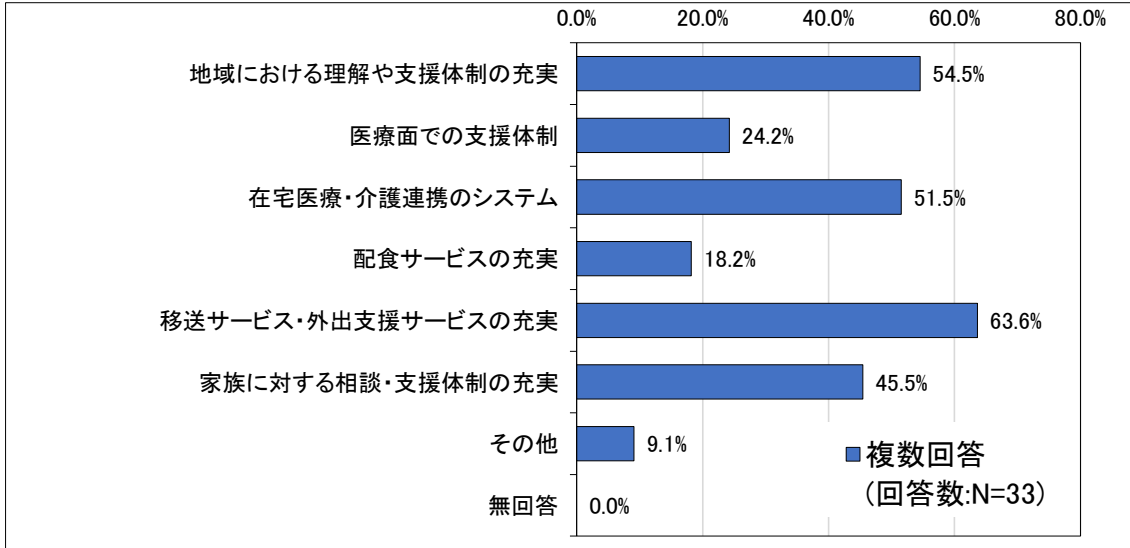
【③不足】

- 「通所リハビリテーション」が66.7%で最も高く、次いで、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が54.5%、「介護夜間対応型訪問介護」(51.5%)、「認知症対応型通所介護」(45.5%)、「介護療養型医療施設」(42.4%)となっています。



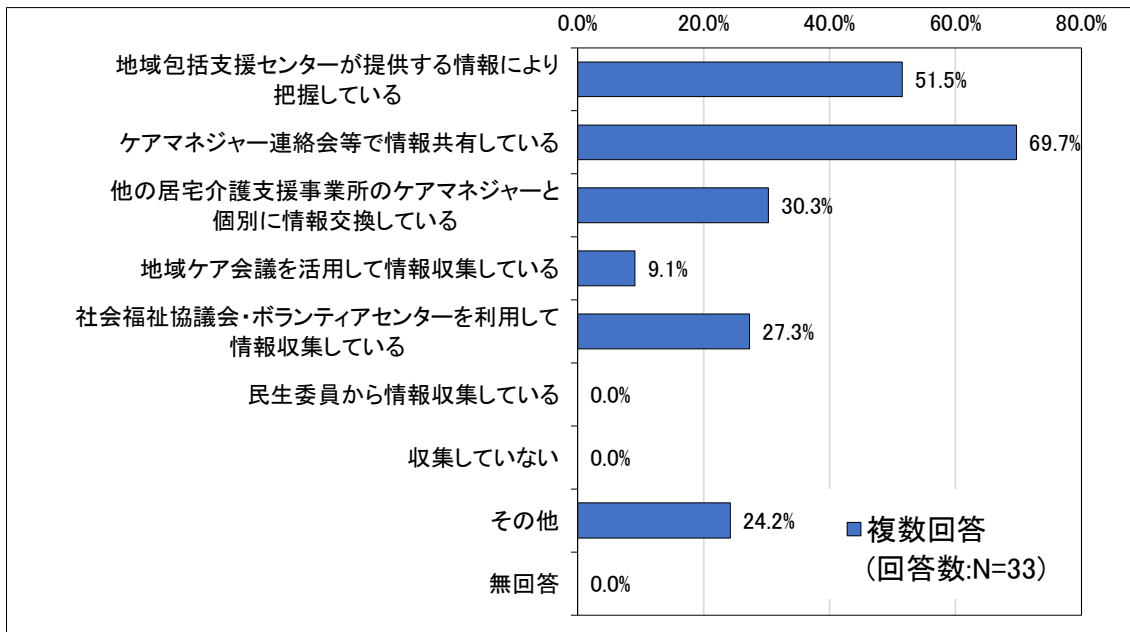
問10 現在の利用者が在宅生活を維持するためには、どのようなことが重要だとお考えですか。(複数回答可)

- 「移送サービス・外出支援サービスの充実」が63.6%で最も高く、次いで、「地域における理解や支援体制の充実」(54.5%)となっています。



問11 本市の介護保険外のサービスについて、どのように情報収集しておられますか。(複数回答可)

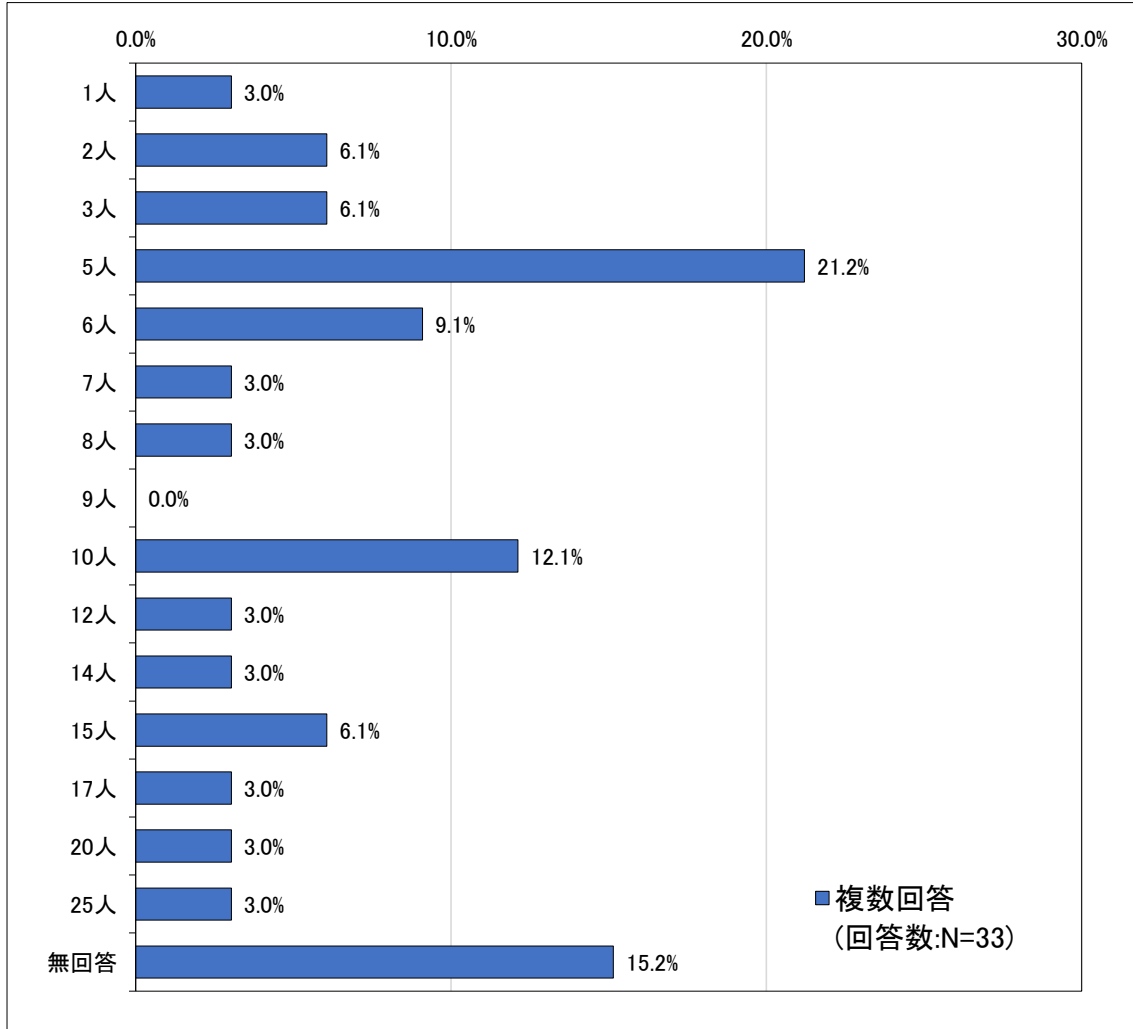
- 「ケアマネジャー連絡会等で情報共有している」が69.7%で最も高く、次いで、「地域包括支援センターが提供する情報により把握している」(51.5%)となっています。



問12 ケアプランを作成している利用者のうち、介護保険制度外のサービスを位置づけているのは何人ですか。また、位置づけている具体的なサービス内容をお答えください。

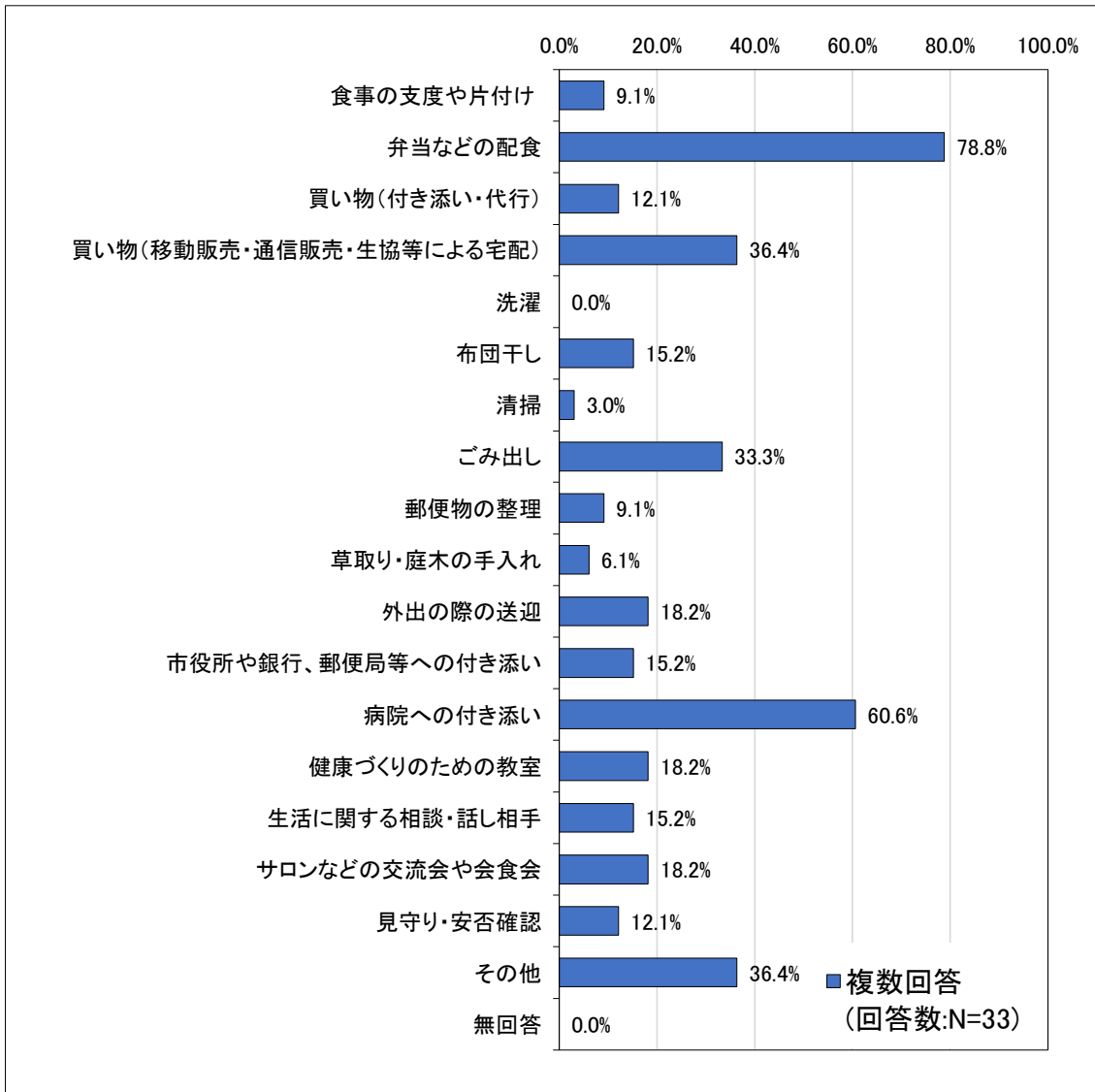
【①位置づけている人数】

- 回答は28人からあり、平均8.5人で、最小1人、最大25人となっています。



【②位置付けている具体的なサービス内容（複数回答）】

- 「弁当などの配食」が 78.8%で最も高く、次いで、「病院への付き添い」（60.6%）となっています。



問13 ケアプランへの位置づけにかかわらず、介護保険外でよく使うサービスは何ですか。

- 29人から44件の回答があり、「配食サービス」が特に多く18件、次いで、「通院の付き添い」が6件、「訪問マッサージ」が5件などとなっています。

介護保険外でよく使うサービス	回答数
配食サービス	18
通院の付き添い	6
訪問マッサージ	5
自費ベッド	3
医療での訪問サービス・看護	3
介護タクシー	1
ゴミ出しボランティア	1
布団乾燥サービス	1
あんしんホットライン（緊急通報システム）	1
ガイドヘルパー（移動（院内）介助）	1
外出の支援	1
家政婦	1
お話ボランティア	1
障がい支援のヘルプ	1

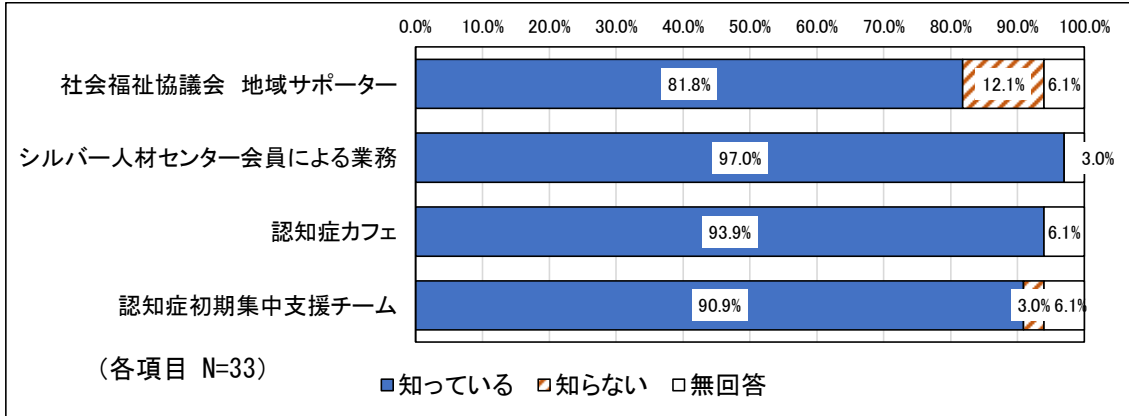
問14 介護保険外でどのようなサービスがあれば良いと思われますか。

- 24人から34件の回答があり、「もう少し安い料金での通院時の付き添いサービス」が6件、「見守り」「移動に対する支援」がともに3件などとなっています。

介護保険外であれば良いと思うサービス	回答数
もう少し安い料金での通院時の付き添いサービス（病院への付き添い・院内付き添い・院内介護）等	6
見守り	3
移動に対する支援	3
話し相手	2
ゴミ収集	2
ゴミ出し支援	2
安否確認	2
家事の支援（年末年始対応可能）（家政婦）	2
散歩	2
外出支援	1
介護防止教室 送迎付き	1
スポーツクラブ	1
往診をしてくれる医者（皮膚科、整形外科、耳鼻科） 受診等時間の対応（臨時）	1
部屋の片付け	1
植木の水やり	1
コロナ感染した人でも対応してくれるサービス	1
傾聴ボランティア	1
比較的若い年代（60～70代）の嗜好に合う配食サービス	1
短時間で終わるサービス	1

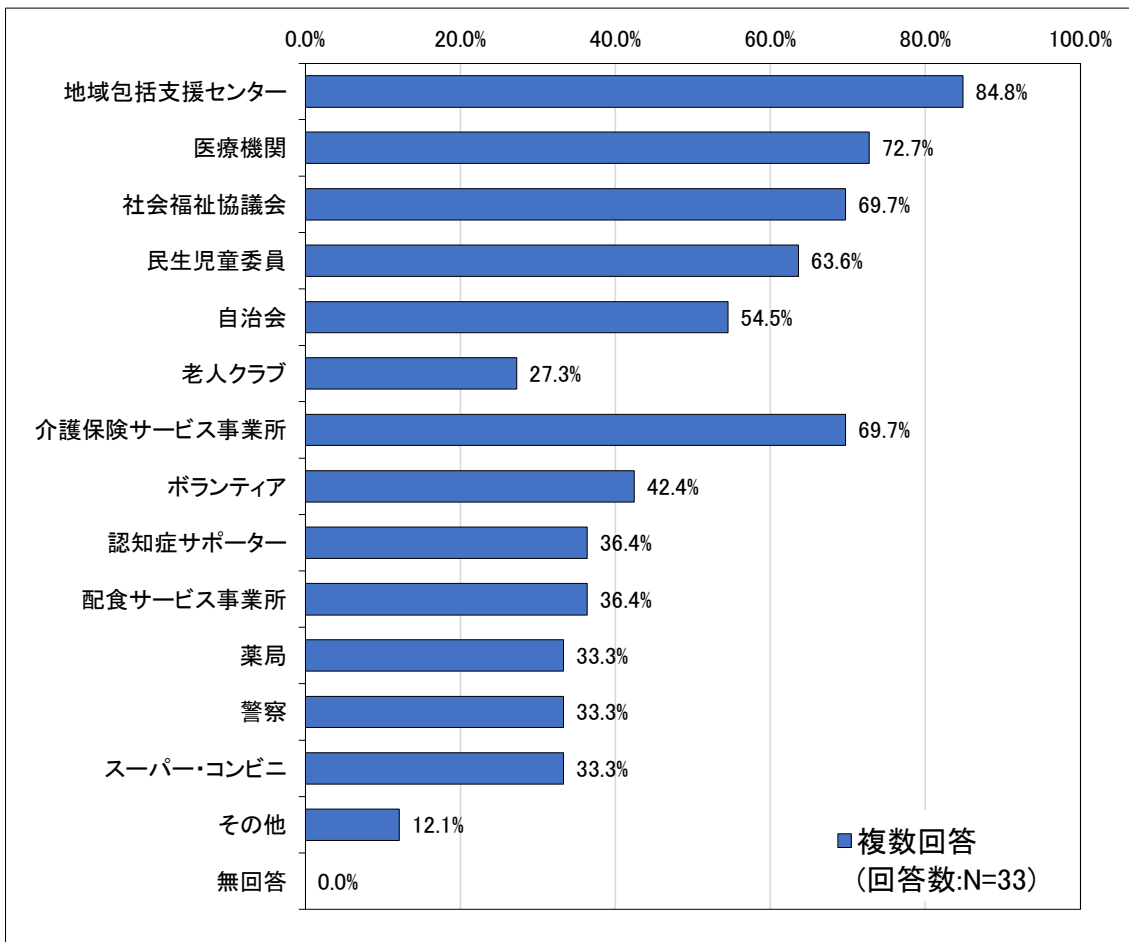
問15 次の事業や取組みをご存知ですか。(どちらかに○)

- 「シルバー人材センター会員による業務」「認知症カフェ」「認知症初期集中支援チーム」は90%以上が知っています。「社会福祉協議会 地域サポーター」の認知度は81.8%で他に比べて低くなっています。



問16 地域包括ケアシステムの構築・推進のために重要だと思われる組織・団体をご記入ください。(複数回答可)

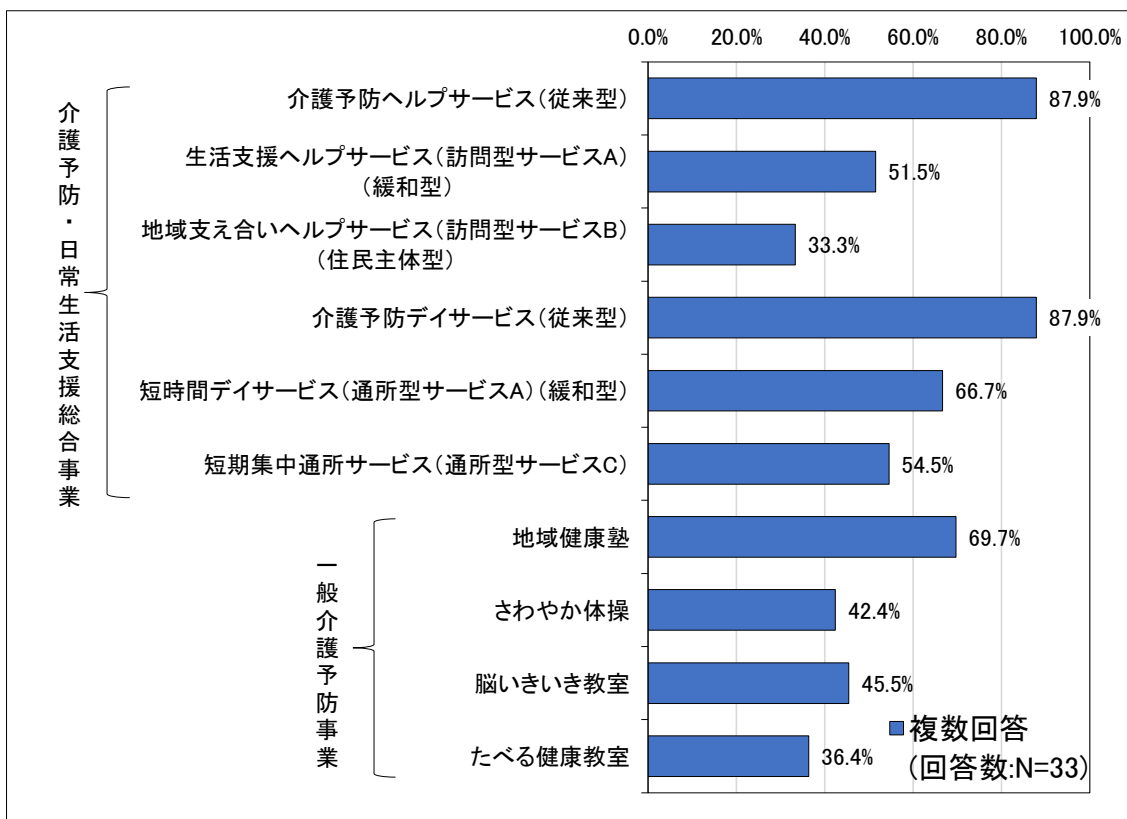
- 「地域包括支援センター」が84.8%で最も高く、次いで、「医療機関」(72.7%)、「社会福祉協議会」「介護保険サービス事業所」(いずれも69.7%)となっています。



(3) 介護予防・日常生活支援総合事業について

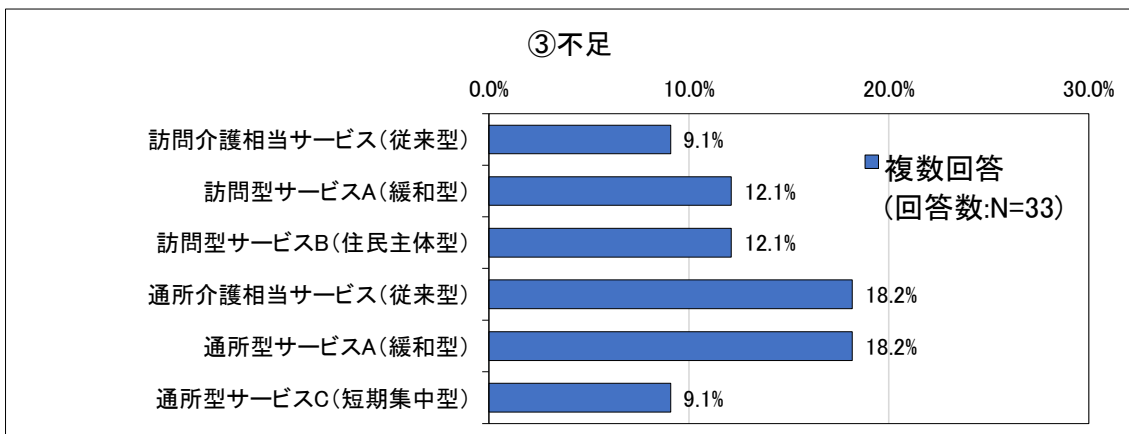
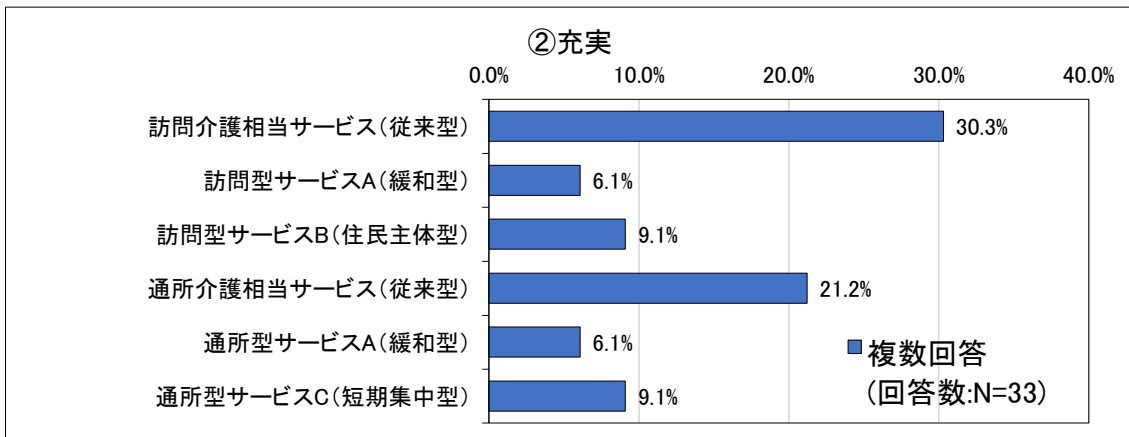
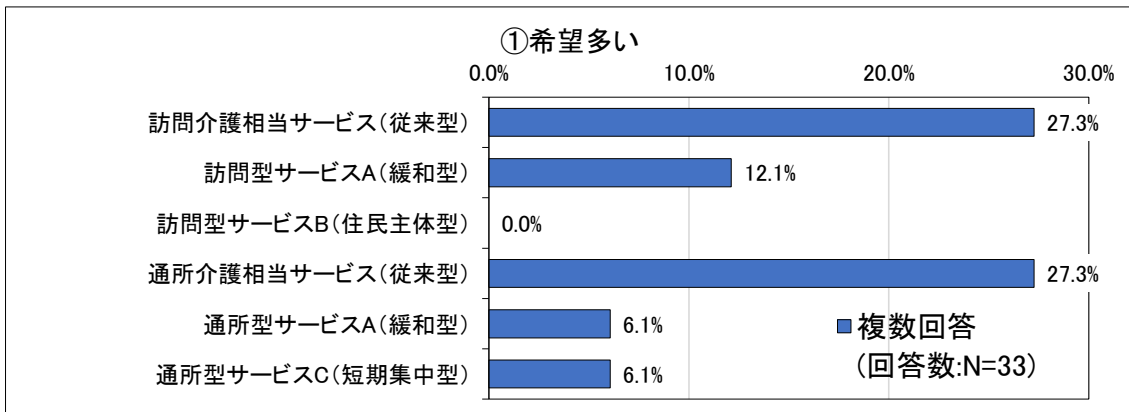
問17 現在、本市では介護予防・日常生活支援総合事業、及び一般介護予防事業として次の事業を実施しています。ご存知の「事業名称」の番号に○をしてください。

- 「介護予防ヘルプサービス（従来型）」「介護予防デイサービス（従来型）」がともに87.9%で最も高く、次いで、「地域健康塾」（69.7%）、「5. 短時間デイサービス（通所型サービスA）（緩和型）」（66.7%）となっています。



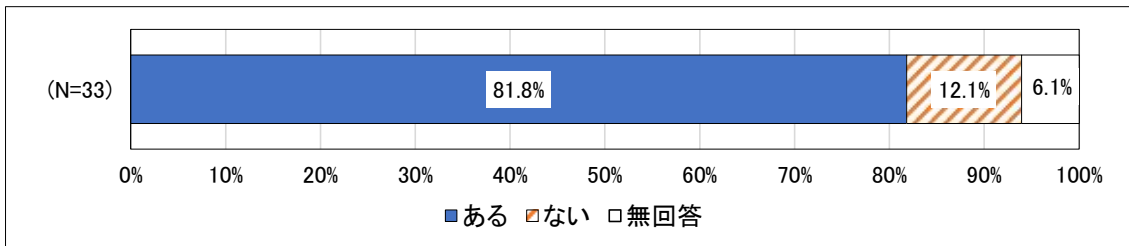
問18 本市の「介護予防・日常生活支援総合事業」で、①利用者の希望が多いサービス、②あなたが充実していると感じるサービス、③あなたが不足していると感じるサービスについて、あてはまる欄に○を記入してください。いずれでもない場合は、④に○をしてください。(項目ごとにあてはまるものすべてに○)

- 「①希望多い」、「②充実」では、いずれも「訪問介護相当サービス(従来型)」、「通所介護相当サービス(従来型)」が高くなっています。
- 「③不足」では、「通所介護相当サービス(従来型)」「通所型サービスA(緩和型)」がともに18.2%で最も高く、次いで、「訪問型サービスA(緩和型)」、「訪問型サービスA(住民主体型)」(いずれも12.1%)となっています。



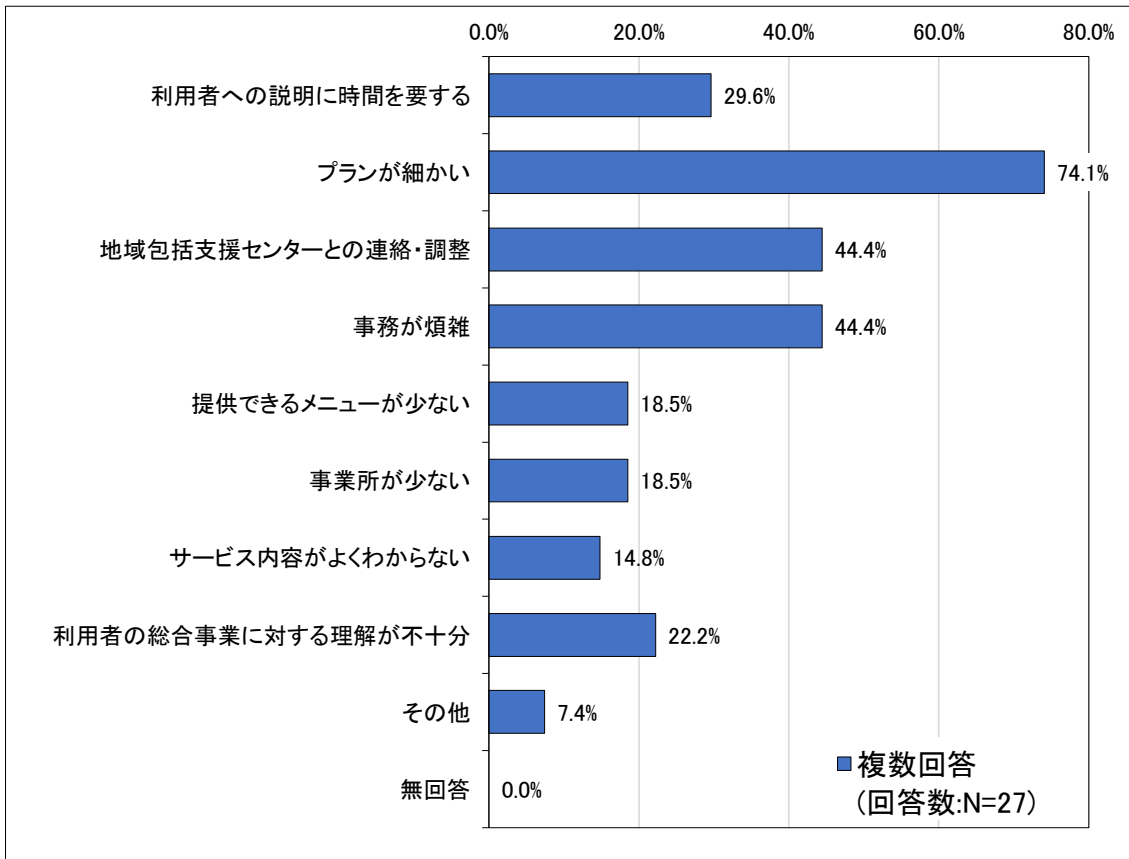
問19 あなたはこれまでに介護予防ケアプランを作成したことがありますか。

- 「ある」が81.8%を占めています。



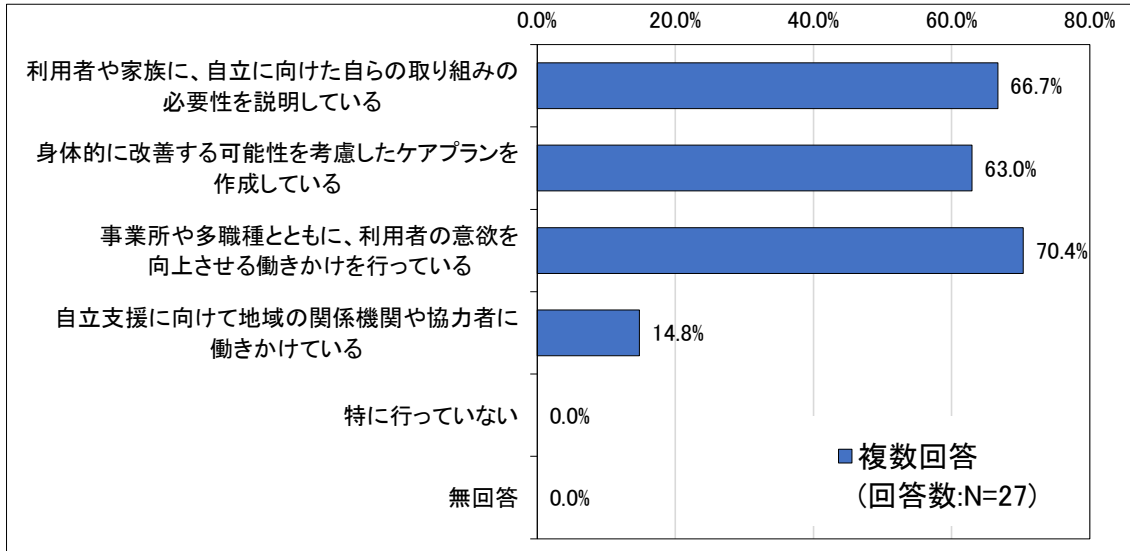
問20 介護予防ケアプラン作成について、困っておられることはありますか。(複数回答可)

- 「プランが細かい」が74.1%で特に高くなっています。次いで、「地域包括支援センターとの連絡・調整」「事務が煩雑」(いずれも44.4%)となっています。



問21 利用者の自立支援のために実施されている内容はありますか。(複数回答可)

- 「事業所や多職種とともに、利用者の意欲を向上させる働きかけを行っている」が 70.4% で最も高く、次いで、「利用者や家族に、自立に向けた自らの取り組みの必要性を説明している」(66.7%) となっています。



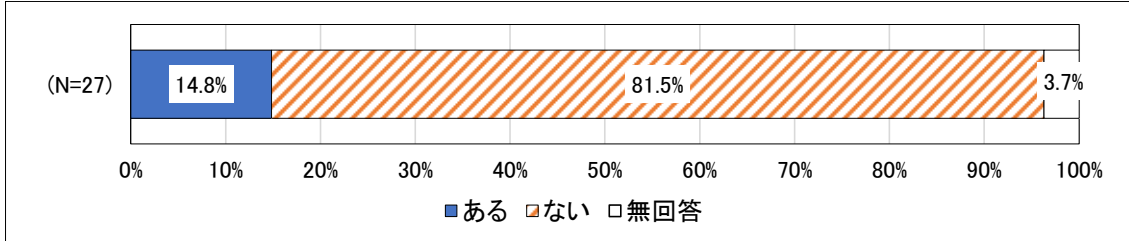
問22 「介護予防ヘルプサービス」(従来型)について、ケアプランに組み入れておられる人数を支援内容別でご記入ください。(2月末現在) ※該当なしの場合は0(ゼロ)を記入

- 「介護予防ヘルプサービス」(従来型)の利用者数は 68 人となっています。
- これまでに介護予防ケアプランを作成したことがある人(問 19「ある」)の回答者数 27 人のうち、16 人から回答があり、次のようになっています。

	①調理	②掃除	③洗濯	④ごみ出し	⑤買物	⑥買物同行	⑦通院介助	⑧その他
回答者A	2	5	1	1	5	1		1
回答者B	1	2	2	1	1	1		1
回答者C	2	1	3	1	2			2
回答者D	2	3	2	2	1			
回答者E		7	2		1			
回答者F		1			2			
回答者G		1			1			
回答者H		1			1			
回答者I		10			4			
回答者J		2			1			
回答者K		20						
回答者L		2						
回答者M		3						
回答者N		1						
回答者O		7						
回答者P		1						

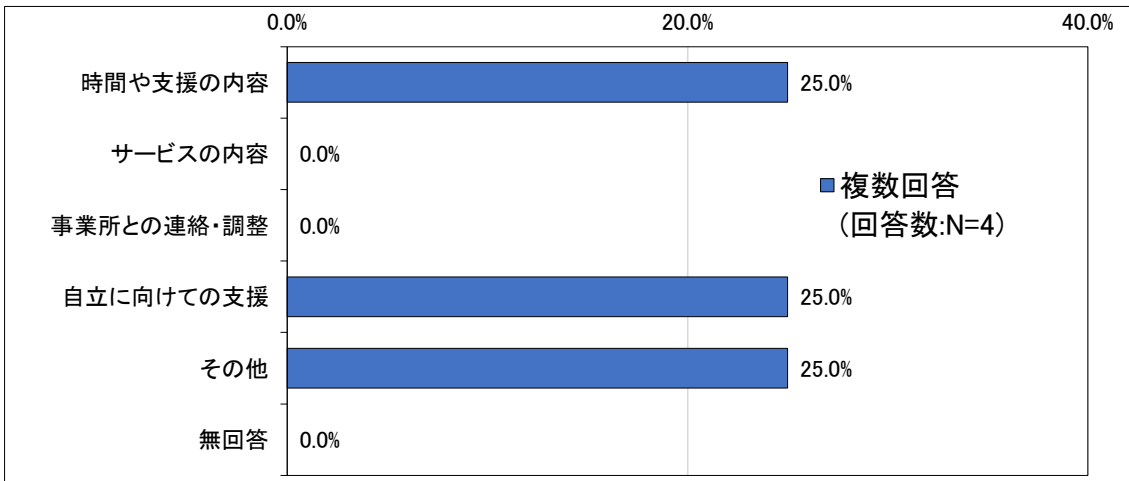
問23 訪問型サービスA（緩和型）「生活支援ヘルプサービス」について、提案されたことはありますか。

- 「ある」が14.8%となっています。



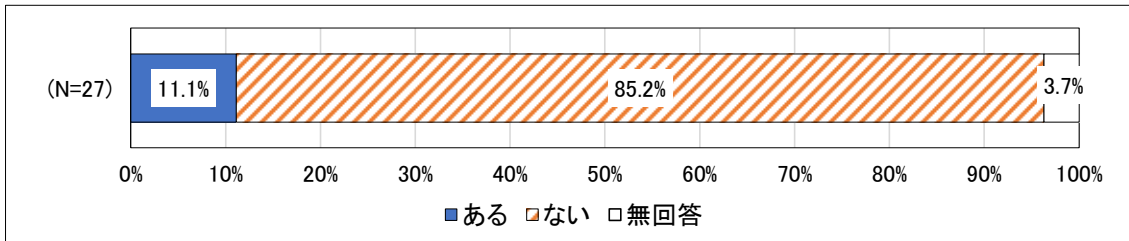
問24 訪問型サービスA「生活支援ヘルプサービス」の利用を提案するにあたり、課題はありますか。（該当する項目すべてを記入）

- 回答数が少ない（4名）のため参考。



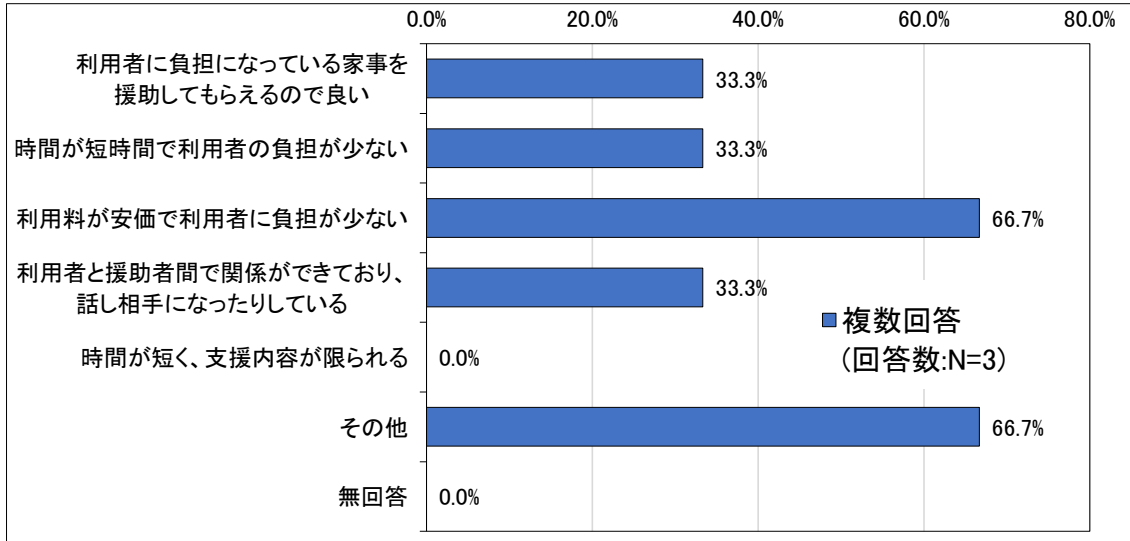
問25 訪問型サービスB（住民主体型）「地域支え合いヘルプサービス」について、調整されたことはありますか。

- 「ある」が11.1%となっています。



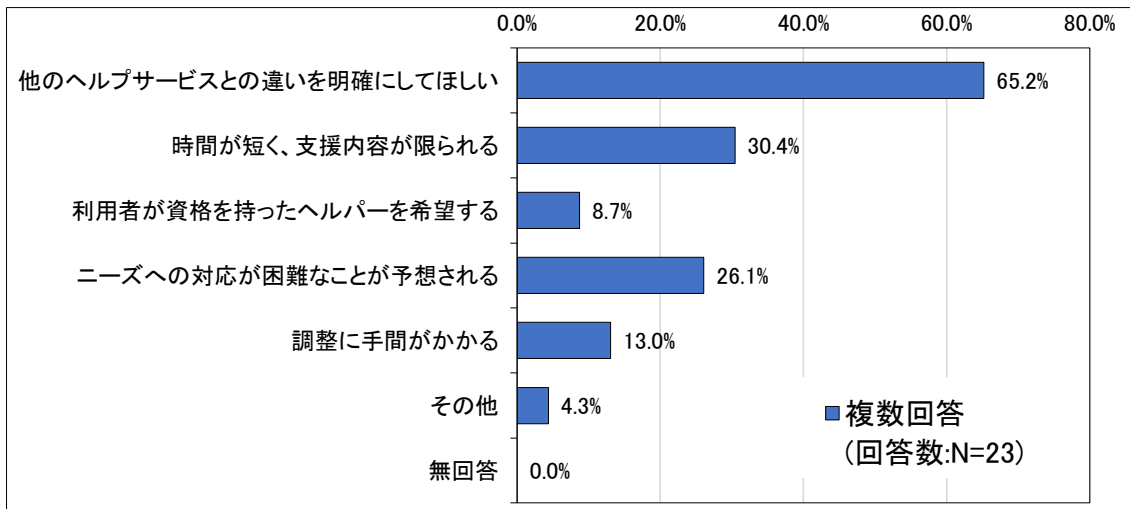
問26 問25で「ある」の方は、サービスを調整されてどのように感じておられますか。(複数回答可)

- 回答数が少ない(3名)のため参考。



問27 問25で「ない」の方は、サービスを調整されるにあたり、感じておられることはありますか。(複数回答可)

- 「他のヘルプサービスとの違いを明確にしてほしい。」が65.2%を占めています。



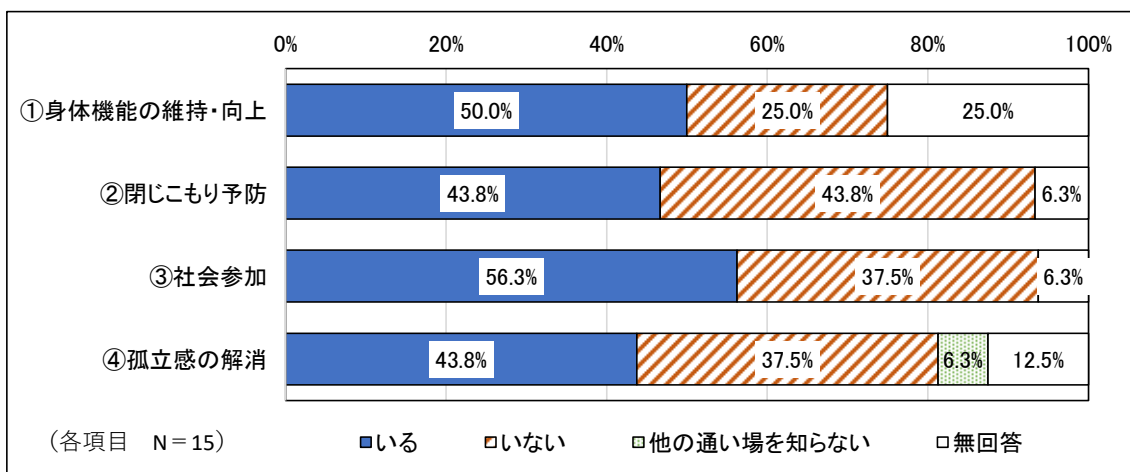
問28 「介護予防デイサービス」(従来型)について、ケアプランに組み入れておられる人数を短期目標別でご記入ください。(令和4年12月末現在) ※該当なしの場合は0(ゼロ)を記入

- 「介護予防デイサービス」(従来型)の利用者数は89人となっています。
- これまでに介護予防ケアプランを作成したことがある人(問19「ある」)の回答者数27人のうち、15人から回答があり、次のようになっています。

	①身体機能の維持・向上	②閉じこもり予防	③社会参加	④孤立感の解消	⑤食事の提供	⑥入浴機会の確保	⑦送迎付外出機会の確保	⑧その他
回答者A	20	5	17	7	2	4	9	
回答者B		1	1					
回答者C	1		1					
回答者D	1	1	1	1	1	1		
回答者E	1	6	15	1			7	
回答者F	15	7	7	5	2	3	1	
回答者G	1	1	1		2	1	4	
回答者H		2	2			2		
回答者I	7	2	2			2		
回答者J	1	5	1					
回答者K	2	6	5					
回答者L	7		7					
回答者M	2							
回答者N	5							
回答者O	7							

問29 問28で①、②、③、④を選択された場合、「介護予防デイサービス」以外に「通いの場(教室等も含む)」があれば、行くことが可能な利用者はおられますか。(該当する項目に○)

- 「③社会参加」の場合「いる」が56.3%、「①身体機能の維持・向上」の場合「いる」が50.0%となっています。



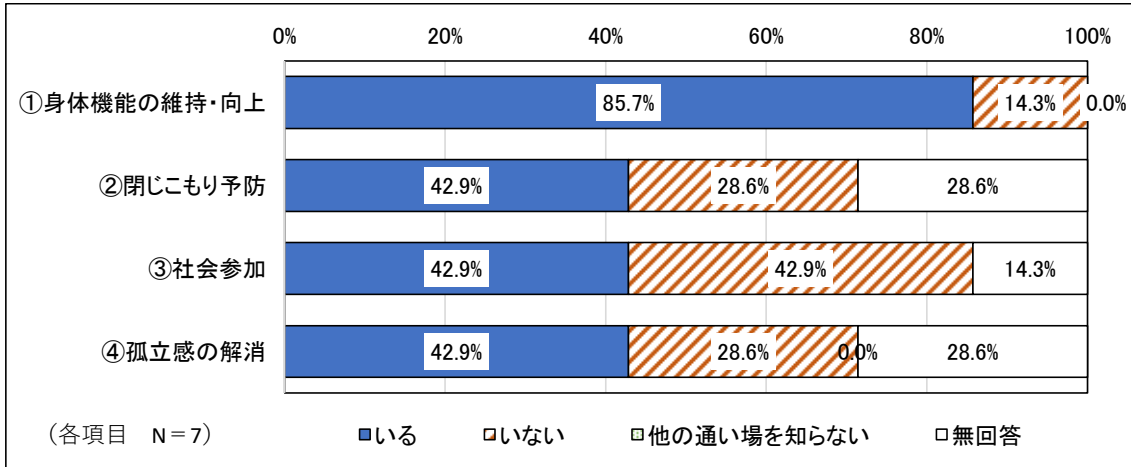
問30 「短時間デイサービス」(緩和型)について、ケアプランに組み入れておられる人数を短期目標別でご記入ください。(令和4年12月末現在)※該当がない場合は0(ゼロ)を記入

- 「短時間デイサービス」(緩和型)の利用者数は18人となっています。
- これまでに介護予防ケアプランを作成したことがある人(問19「ある」)の回答者数27人のうち、7人から回答があり、次のようになっています。

	①身体機能の維持・向上	②閉じこもり予防	③社会参加	④孤立感の解消	⑤食事の提供	⑥入浴機会の確保	⑦送迎付外出機会の確保	⑧その他
回答者A	4	4	4			1		
回答者B	1	1		1	3		1	
回答者C	1		1	3		1	3	
回答者D		1	1			2		
回答者E	2	3	3			2		
回答者F	4							
回答者G	3							

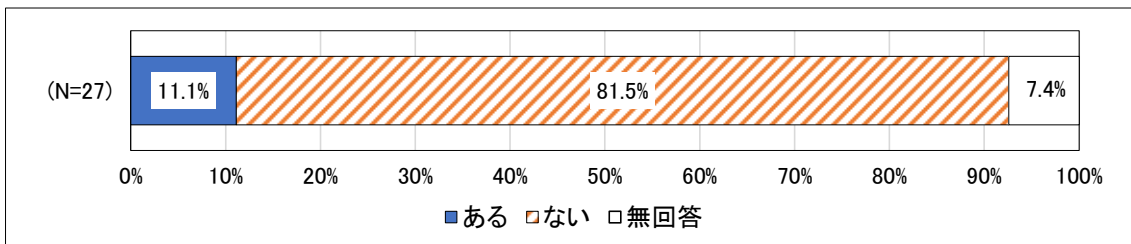
問31 問30で①、②、③、④を選択された場合、「短時間デイサービス」以外に「通いの場（教室等も含む）」があれば、行くことが可能な利用者はおられますか。（該当する項目に○）

- 「①身体機能の維持・向上」の場合「いる」が85.7%となっています。



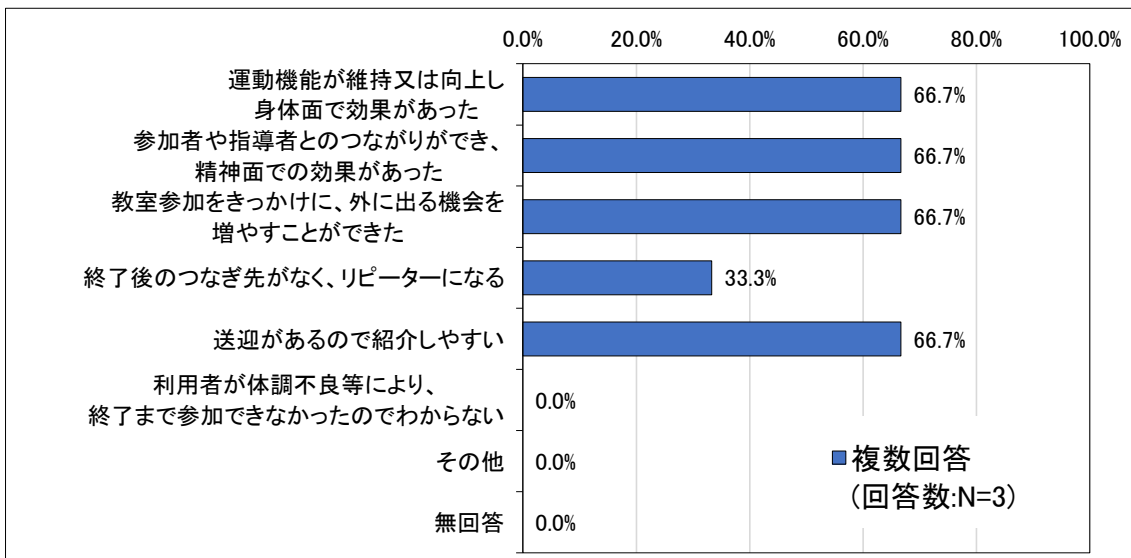
問32 総合事業通所型サービスC（短期集中型）「高齢者筋力向上トレーニング・元気アップ教室」について、調整されたことはありますか。

- 81.5%が「ない」となっています。



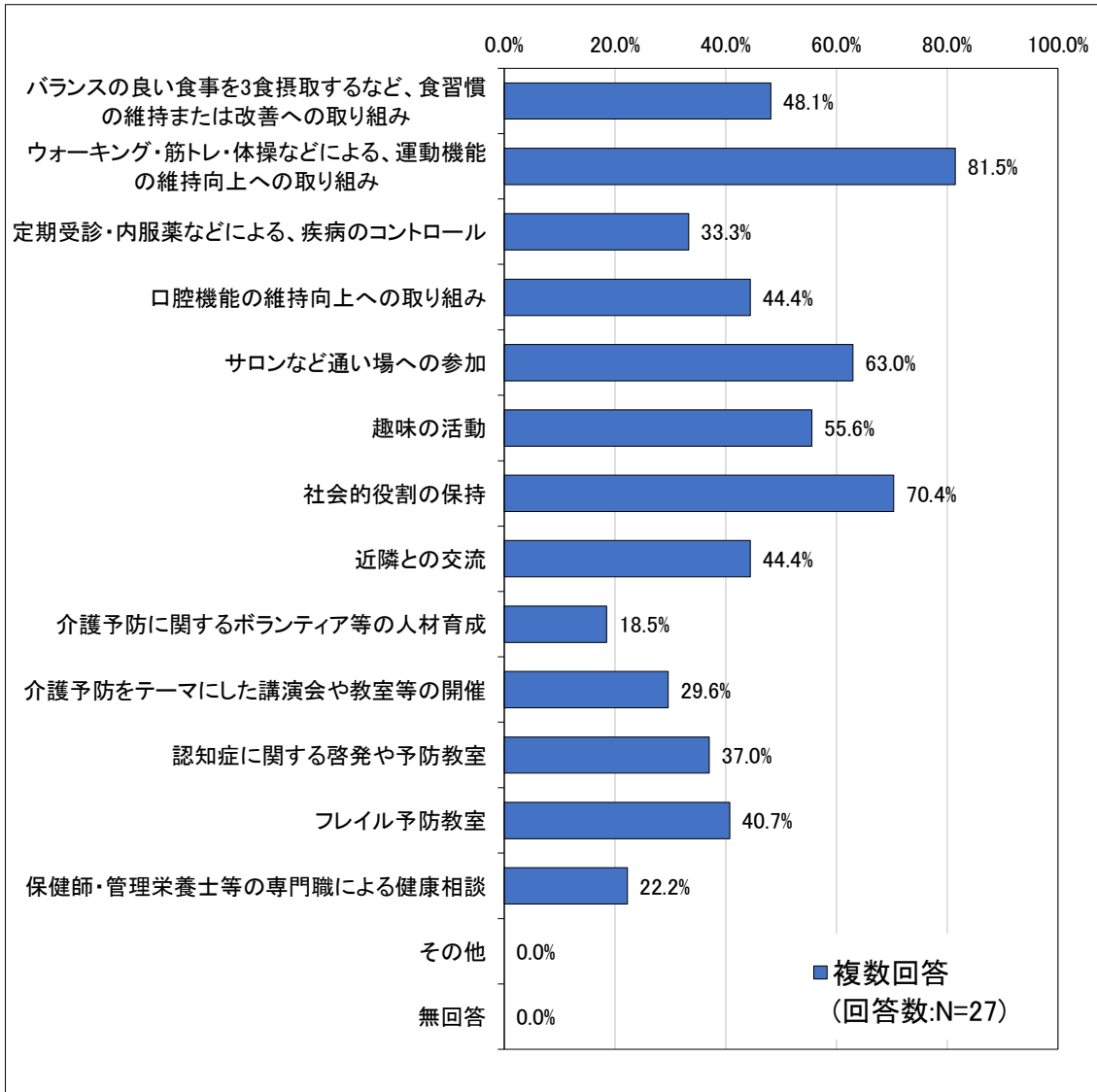
問33 問32で「ある」の方は、サービスを調整されてどのように感じておられますか。（複数回答可）

- 回答者が少ない（3名）ため、参考。



問34 介護予防で必要と思うことは何ですか。(複数回答可)

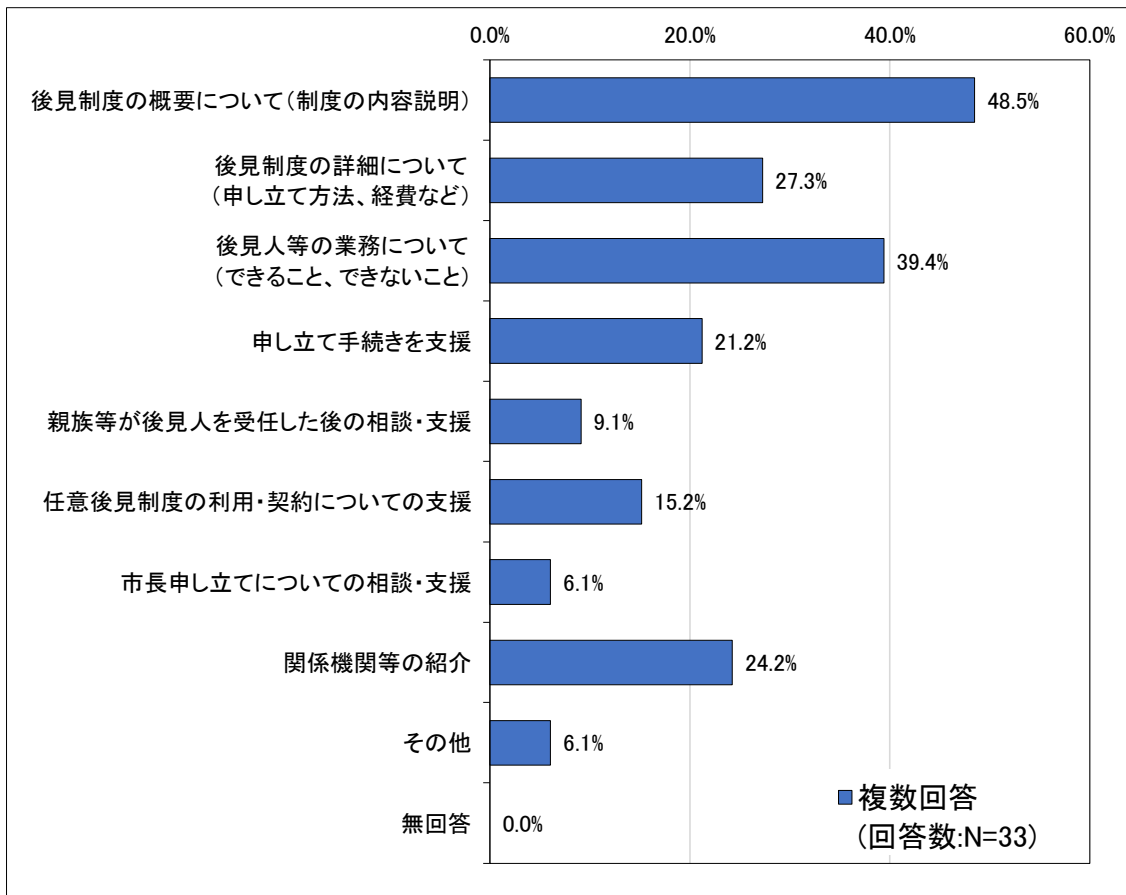
- 「ウォーキング・筋トレ・体操などによる、運動機能の維持向上への取り組み」が 81.5%で最も高く、次いで、「社会的役割の保持」(70.4%)、「サロンなど通いの場への参加」(63.0%)、「趣味の活動」(55.6%)となっています。



(4) 高齢者の権利擁護について

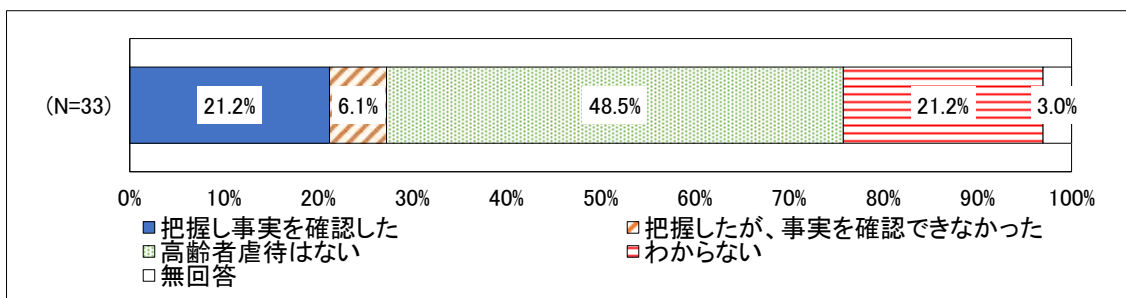
問35 成年後見制度に関して令和4年度中に対応されましたか。(複数回答可)

- 「後見制度の概要について(制度の内容説明)」が48.5%で特に高くなっています。



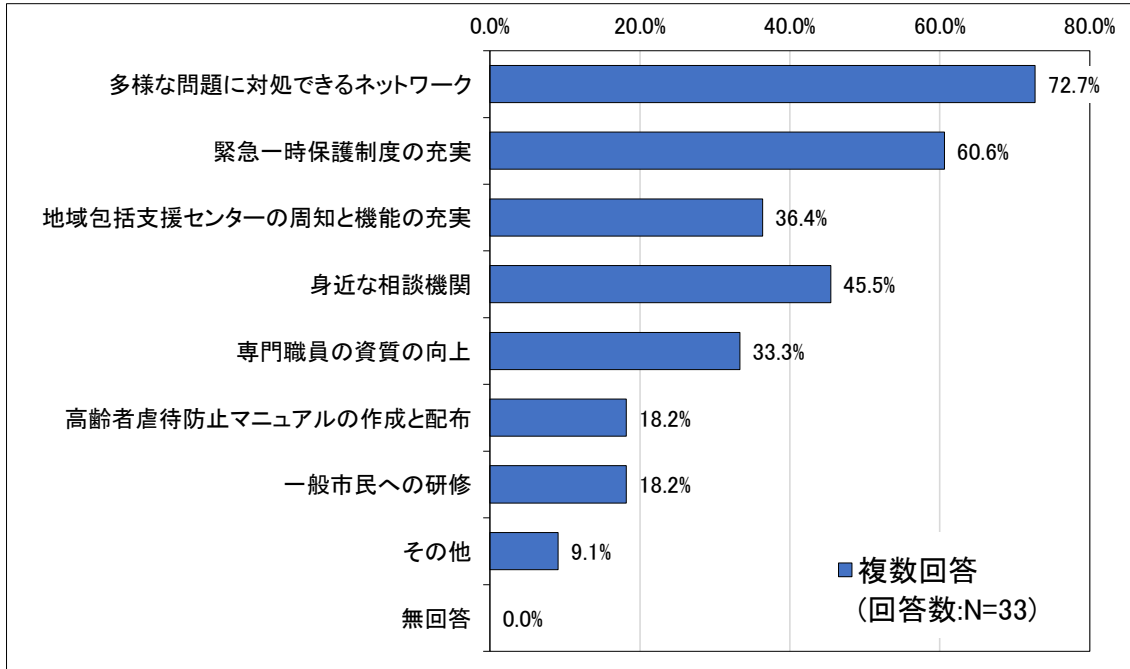
問36 あなたが担当しているご家庭等について、高齢者虐待の情報を把握されたことはありますか。(〇はひとつ)

- 「高齢者虐待はない」が48.5%で最も高くなっています。



問37 高齢者虐待防止への取り組みには、何が必要だと思われますか。(複数回答可)

- 「多様な問題に対処できるネットワーク」が72.7%で最も高く、次いで、「2 緊急一時保護制度の充実」(60.6%)、「身近な相談機関」(45.5%)となっています。

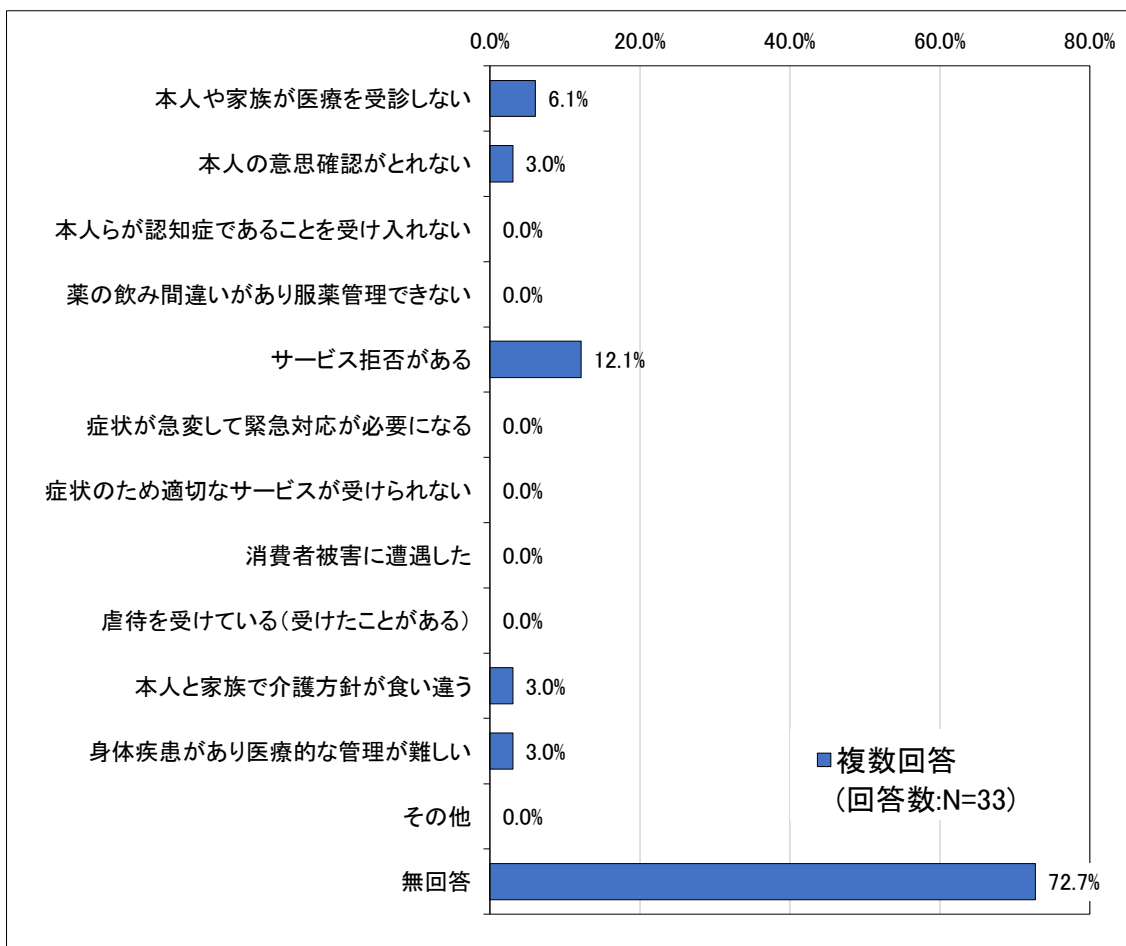


(5) 認知症について

問38 担当する認知症の方の状況で、大変だったことは何ですか。(該当する項目すべてに○とそのうち最も困っていることに◎を記入)

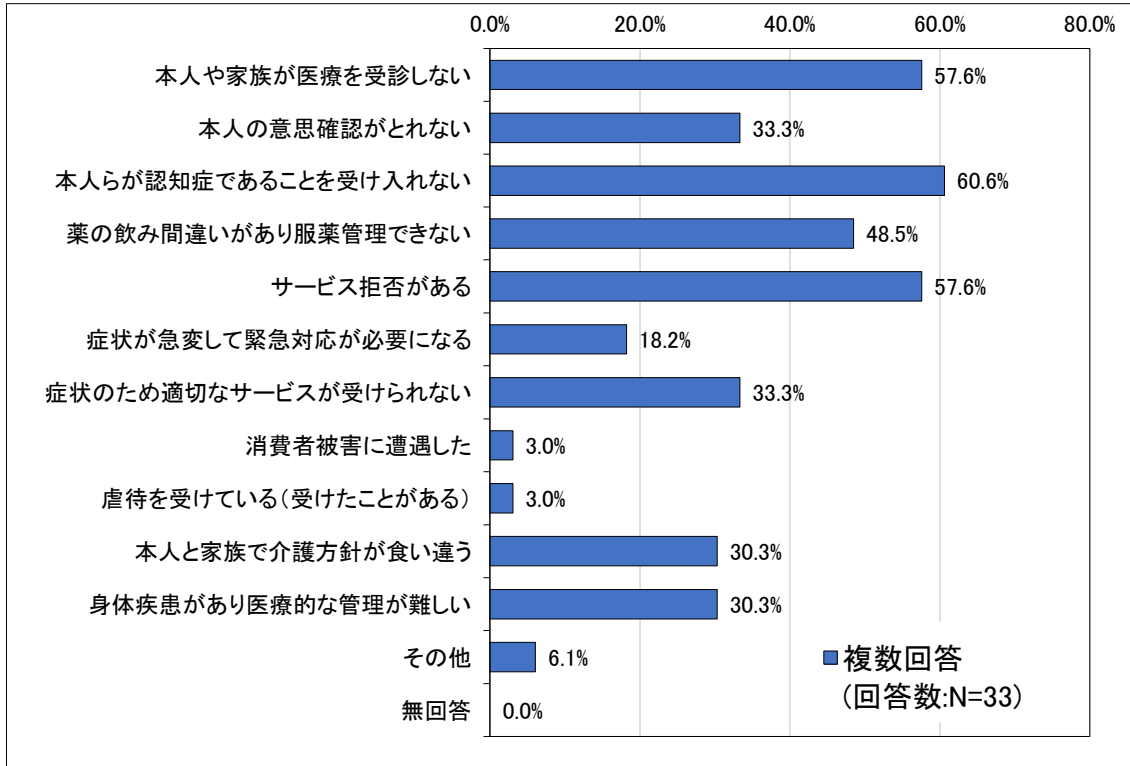
【最も大変だったこと】

- 「サービス拒否がある」が12.1%で最も高くなっています。



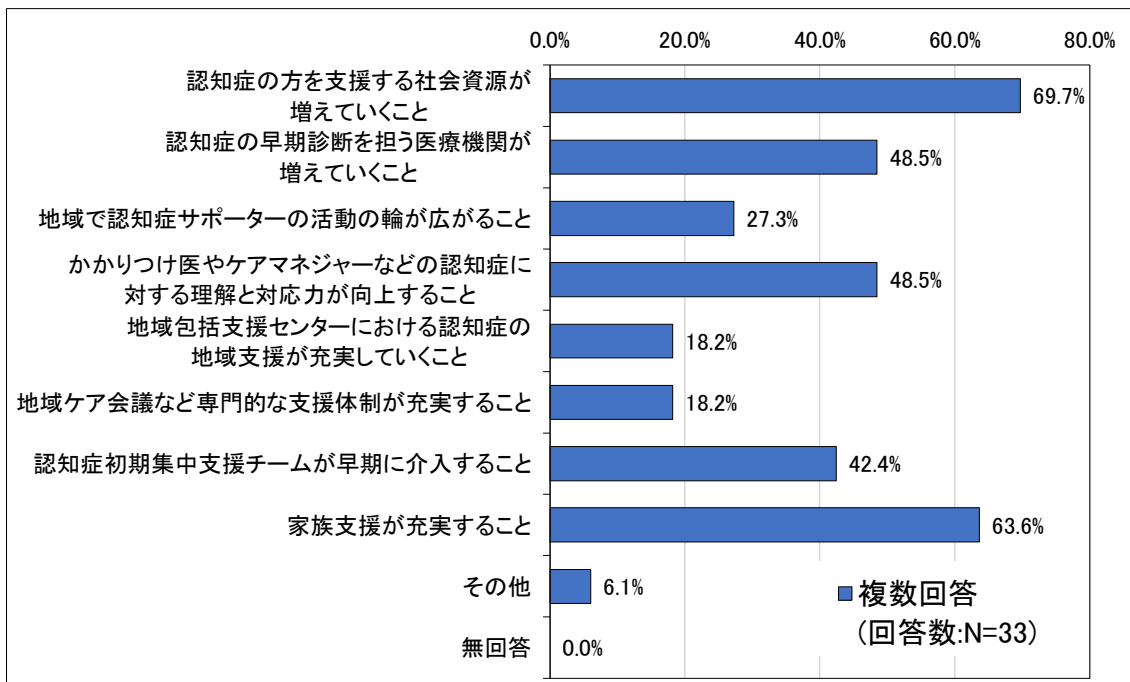
【大変だったこと（複数回答）】

- 「本人らが認知症であることを受け入れない」が60.6%で最も高く、次いで、「本人や家族が医療を受診しない」、「サービス拒否がある」（ともに57.6%）、「薬の飲み間違いがあり服薬管理できない」（48.5%）となっています。



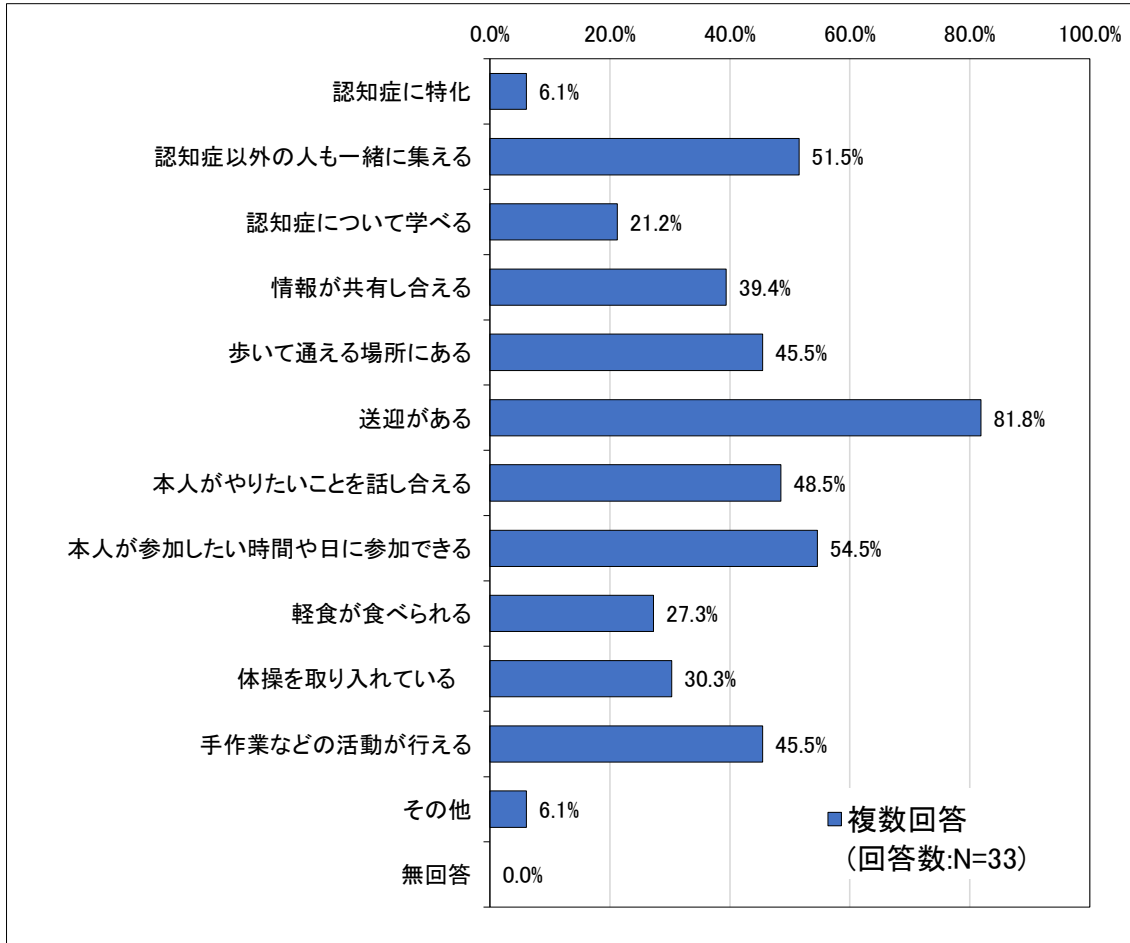
問39 認知症の方の支援にあたり、必要になると思われることは何ですか。（複数回答可）

- 「認知症の方を支援する社会資源が増えていくこと」が69.7%で最も高く、次いで、「家族支援が充実すること」（63.6%）となっています。



問40 認知症カフェについて、どのようなカフェであれば紹介しようと思われませんか。

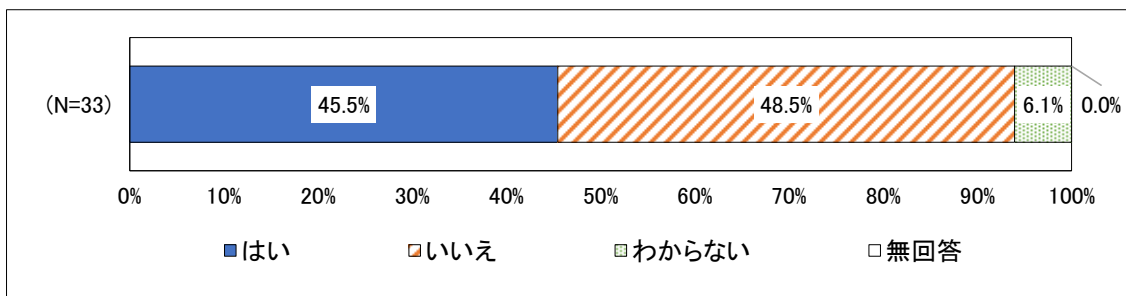
- 「送迎がある」が 81.8%で最も高く、次いで、「本人が参加したい時間や日に参加できる」(54.5%)、「認知症以外の人と一緒に集える」(51.5%)となっています。



(6) 介護離職について

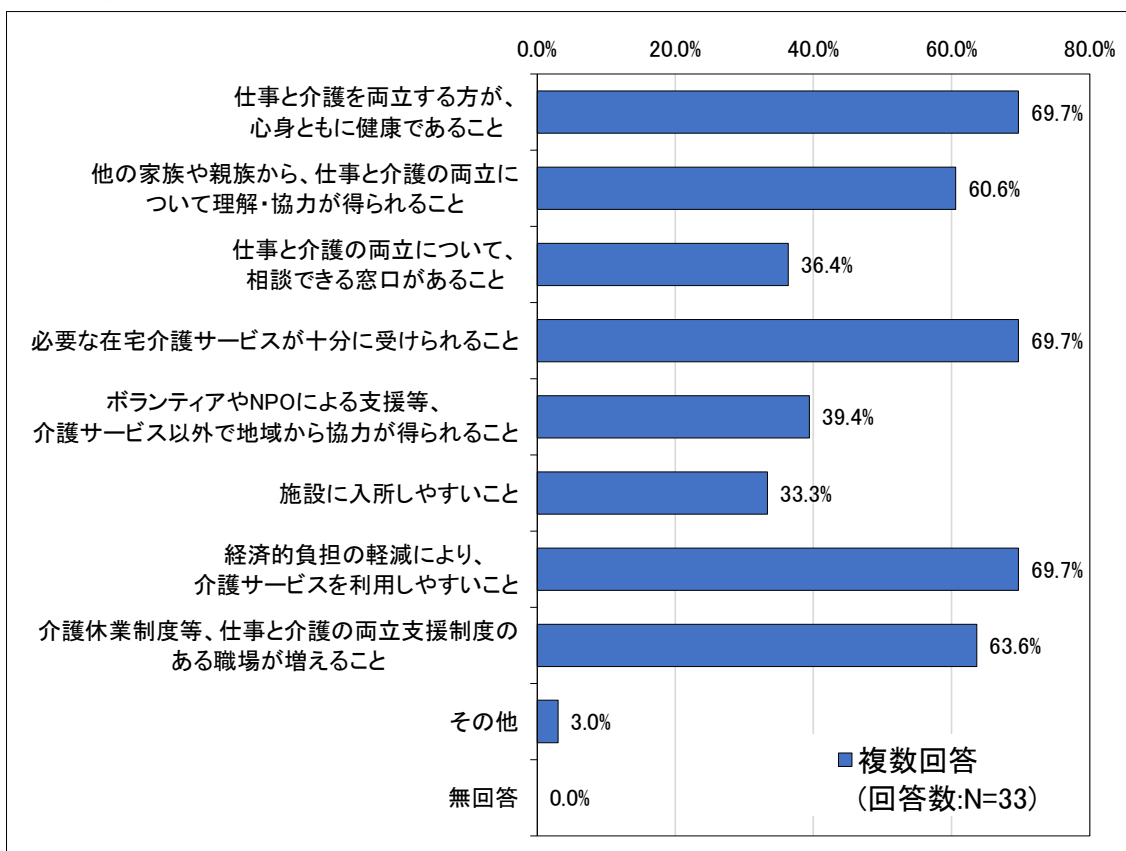
問41 担当されている利用者の中で、介護を理由にご家族が離職されたケースはありますか。
(該当する項目1つに○)

- 「はい」が45.5%、「いいえ」が48.5%となっています。



問42 介護者が、仕事と介護を両立していくために、どのようなことが重要だと思われますか。
(複数回答可)

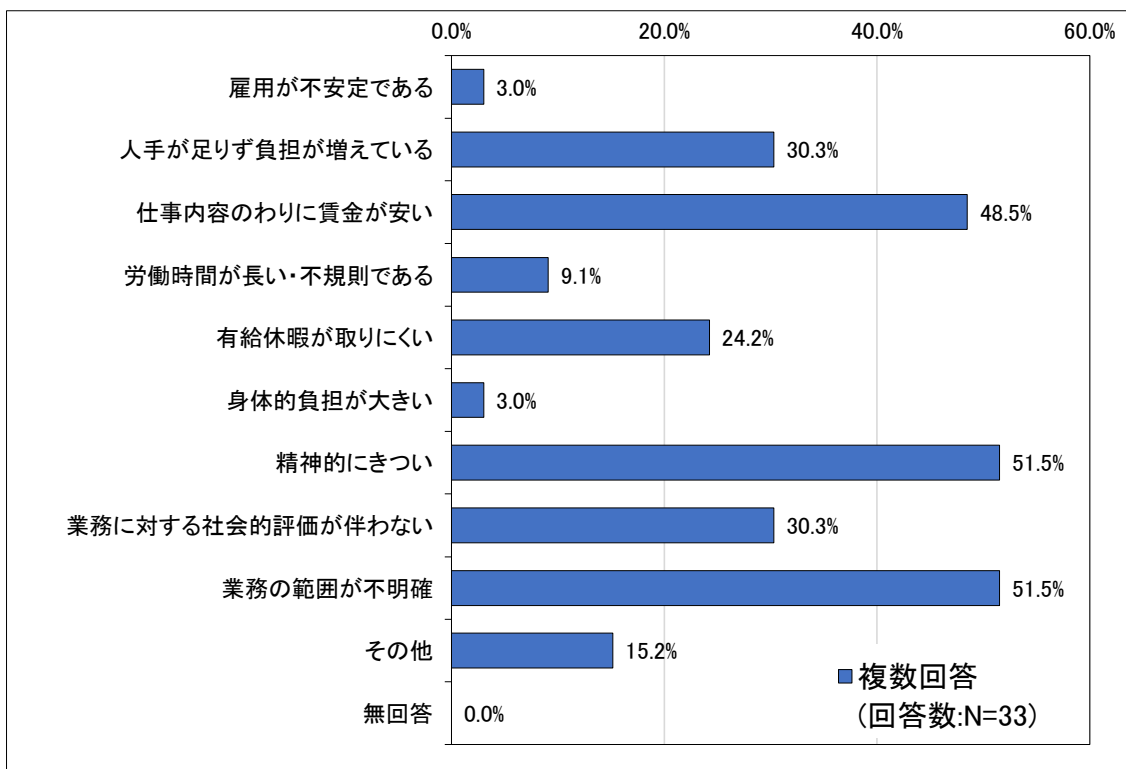
- 「仕事と介護を両立する方が、心身ともに健康であること」「必要な在宅介護サービスが十分に受けられること」「経済的負担の軽減により、介護サービスを利用しやすいこと」がいずれも69.7%で最も高く、次いで、「介護休業制度等、仕事と介護の両立支援制度のある職場が増えること」(63.6%)となっています。



(7) その他

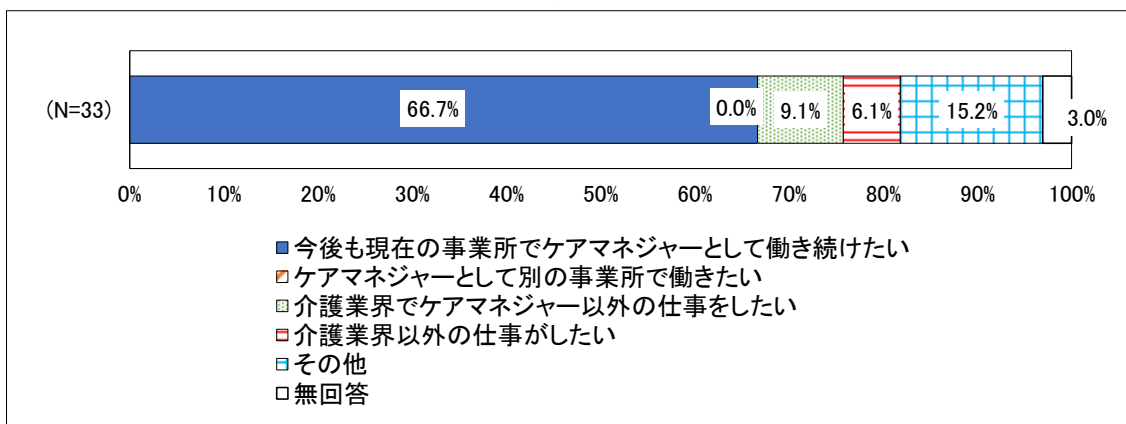
問43 あなたは仕事について負担に感じておられることはありますか。(複数回答可)

- 「精神的にきつい」「業務の範囲が不明確」がともに 51.5%で最も高く、次いで、「仕事内容のわりに賃金が安い」(48.5%)、「人手が足りず負担が増えている」「業務に対する社会的評価が伴わない」(ともに 30.3%) となっています。



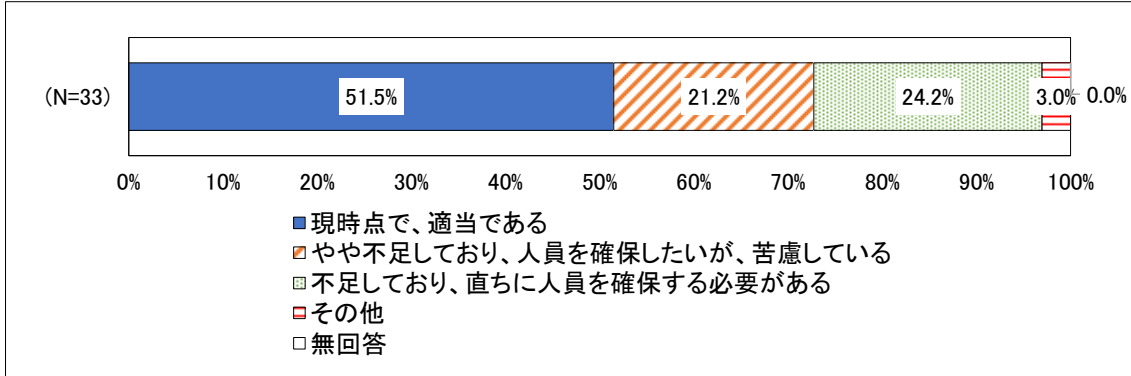
問44 あなたは仕事の継続についてどう考えておられますか。(該当する項目1つに○)

- 「今後も現在の事業所でケアマネジャーとして働きたい」が 66.7%で最も高く、次いで、「介護業界でケアマネジャー以外の仕事をしたい」が 9.1%となっています。



問45 貴事業所の人員配置について、現在どのような状況ですか。(該当する項目1つに○)

- 「現時点で、適当である」が51.5%で最も高く、次いで、「不足しており、直ちに人員を確保する必要がある」が24.2%となっています。



問46 第10次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画で大切と思われることは何ですか。

- 9人から回答があり、内容を分類すると25件となり、次のようになっています。

回答内容	件数
ケアマネジャーの事務的業務の削減	4
介護職人材の確保への取組	2
高齢者が必要な介護等サービスを安心して受けられる地域環境の整備と制度設計	2
地域包括ケアシステムの推進	2
団塊世代の特徴をとらえ、経済事情を考慮した行政の理解とサポート体制の整備	2
意識調査からの実態の把握とニーズに合ったサービスをつくる	1
介護人材確保及び業務効率化の取り組みの強化	1
関係機関のネットワーク強化	1
元気な高齢者の保険料の見直し	1
通所リハビリ・短期入所療養介護事業所を確保と拡充	1
有償ボランティアでも低所得者でも利用出来るサービス	1
介護保険に準じない制度外の支援内容をフォローできるような地域サポーターやボランティアの拡充	1
介護士の賃金アップ	1
ケアマネジャーの業務過多の改善	1
わかりやすい計画づくり	1
ケアハウス、グループホーム、老健施設の追加	1
社会の支え手となり活躍できる地域づくり	1
多様な形態による雇用就業の促進	1

(8) 調査結果からうかがえる地域包括ケアの状況

回答者(介護支援専門員)の傾向について

- 回答者(介護支援専門員)の年齢構成を見ると、『50歳代以上(「50歳代」「60歳代」の合計)』の割合(72.7%)が7割強を占めており、前回調査(48.6%)より20ポイント以上増加しています。このことに併せて、実務経験年月についても「10年以上」の割合(54.5%)が前回調査(43.2%)より10ポイント以上増加しており、経験年月が長くなるとともに、高齢化が進んでいる傾向がうかがえます。
- 勤務形態については、ほとんどが「常勤で専任」(87.9%)であり、月あたり平均で約31人分のケアプランを作成している状況にあります。
- 仕事の負担感については、「精神的にきつい」(51.5%)や「業務の範囲が不明確」(51.5%)、「仕事内容のわりに賃金が安い」(48.5%)と感じている割合が約5割と、約半数は、いわゆる割に合わないと感じていることがうかがえます。しかし、「今後も現在の事業所でケアマネジャーとして働き続けたい」と考えている割合(66.7%)は約7割となっており、処遇改善の必要性がうかがえる結果となっています。

■前回調査との比較(関連設問のみ)

単位(%)

問2 年齢	前回 (n=37)	今回 (n=33)
20歳代	0.0	0.0
30歳代	8.1	6.1
40歳代	43.2	21.2
50歳代	32.4	51.5
60歳代	16.2	21.2
無回答	0.0	0.0
全体	100.0	100.0

単位(%)

問5 実務経験年月	前回 (n=37)	今回 (n=33)
3年未満	5.4	12.1
3年以上5年未満	13.5	9.1
5年以上10年未満	37.8	24.2
10年以上	43.2	54.5
無回答	0.0	0.0
全体	100.0	100.0

介護保険サービス基盤の状況について

- 本市の介護保険サービスについて、ケアマネジャーの半数以上が「充実している」と感じているのは「訪問看護」(75.8%)、「特定福祉用具購入」(66.7%)、「住宅改修費支給」(60.6%)となっています。一方、ケアマネジャーの半数以上が「不足している」と感じているのは「通所リハビリテーション」(66.7%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(54.5%)、「介護夜間対応型訪問介護」(51.5%)といった、リハビリや夜間のケアに係るサービスとなっています。
- しかし、ケアマネジャーの半数以上が「希望が多い」と感じているサービスは「通所リハビリテーション」(54.5%)、「福祉用具貸与」(54.5%)、「訪問介護」(51.5%)、「通所介護」(51.5%)であり、「不足している」と感じているサービスとでギャップが生じていることから、この点も考慮し介護保険サービス基盤の確保を図っていく必要があることがうかがえます。

地域生活支援の状況について

- 高齢者の地域生活を支える介護予防・日常生活支援総合事業において、「充実している」「希望している」と感じている割合の多いサービスはいずれも「訪問介護相当サービス（従来型）」、「通所介護相当サービス（従来型）」であり、介護保険サービスと同様にその重要性がうかがえる結果となっています。
- 一方、介護保険外でケアプランに位置付けているサービスとして多いのが「弁当などの配食」(78.8%)、「病院への付き添い」(60.6%)となっており、高齢者の在宅生活を支える支援サービスとして重要性がうかがえる結果となっています。
- 介護予防で必要と思うことについては、「ウォーキング・筋トレ・体操などによる、運動機能の維持向上への取り組み」(81.5%)、「社会的役割の保持」(70.4%)、「サロンなど通いの場への参加」(63.0%)の割合が高くなっており、介護予防事業を推進していくにあたっては、この点を考慮する必要性がうかがえます。
- 成年後見制度に関する対応状況については、「後見制度の概要について（制度の内容説明）」説明した割合(48.5%)が5割弱と、前回調査(37.8%)から10ポイント以上増加しています。また、「後見制度の詳細について（申し立て方法、経費など）」の説明(27.3%)や「申し立て手続きを支援」(21.2%)といった、より深い支援についても前回調査(8.1%, 8.1%)から10ポイント以上増加しており、欠かせない業務になりつつあることがうかがえる結果となっています。
- 介護者について、仕事と介護を両立していくために重要と思うことは、「仕事と介護を両立する方が、心身ともに健康であること」(69.7%)、「必要な在宅介護サービスが十分に受けられること」(69.7%)、「経済的負担の軽減により、介護サービスを利用しやすいこと」(69.7%)が7割近くと、仕事と介護の両立には介護サービスを必要な量、利用できることが重要であることがうかがえる結果となっています。

■前回調査との比較（関連設問のみ）

問35 成年後見制度に関して令和4年度中（令和元年度中）に対応したか	単位（％）	
	前回 (n=37)	今回 (n=33)
後見制度の概要について（制度の内容説明）	37.8	48.5
後見制度の詳細について（申し立て方法、経費など）	8.1	27.3
後見人等の業務について（できること、できないこと）	2.7	39.4
申し立て手続きを支援	8.1	21.2
親族等が後見人を受任した後の相談・支援	0.0	9.1
任意後見制度の利用・契約についての支援	0.0	15.2
市長申し立てについての相談・支援	0.0	6.1
関係機関等の紹介	10.8	24.2
その他	8.1	6.1
無回答	54.1	0.0
全体	100.0	100.0

「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査」
「在宅介護実態調査」「介護支援専門員調査」
報告書 概要版

令和5年（2023年）3月

目 次

1.	調査の概要.....	1
2.	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	2
3.	在宅介護実態調査.....	12
4.	介護支援専門員調査.....	17

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、「第10次向日市高齢者福祉計画・第9期向日市介護保険事業計画（計画期間：令和6年度～令和8年度）」を策定するための基礎資料を得るために、市内にお住まいの高齢者を対象に実施しました。

(2) 調査の種類等

調査の種類	調査の対象等	調査期間
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	①65歳以上の介護保険未認定者 (令和4年12月1日現在) ・標本調査(無作為抽出)	令和5年1月13日(金) ～令和5年1月30日(月)
	②介護予防・日常生活支援総合事業対象者 (令和4年12月1日現在) ・全数調査	
	③要支援認定者(要支援1・2) (令和4年12月1日現在) ・全数調査	
在宅介護実態調査	在宅の要支援・要介護認定者(要支援1～2、要介護1～5) (令和4年12月1日現在) ・標本調査(無作為抽出)	
介護支援専門員調査	市内居宅介護支援事業所又は介護予防支援事業所に勤務する介護支援専門員 (令和4年12月1日現在) ・全数調査	

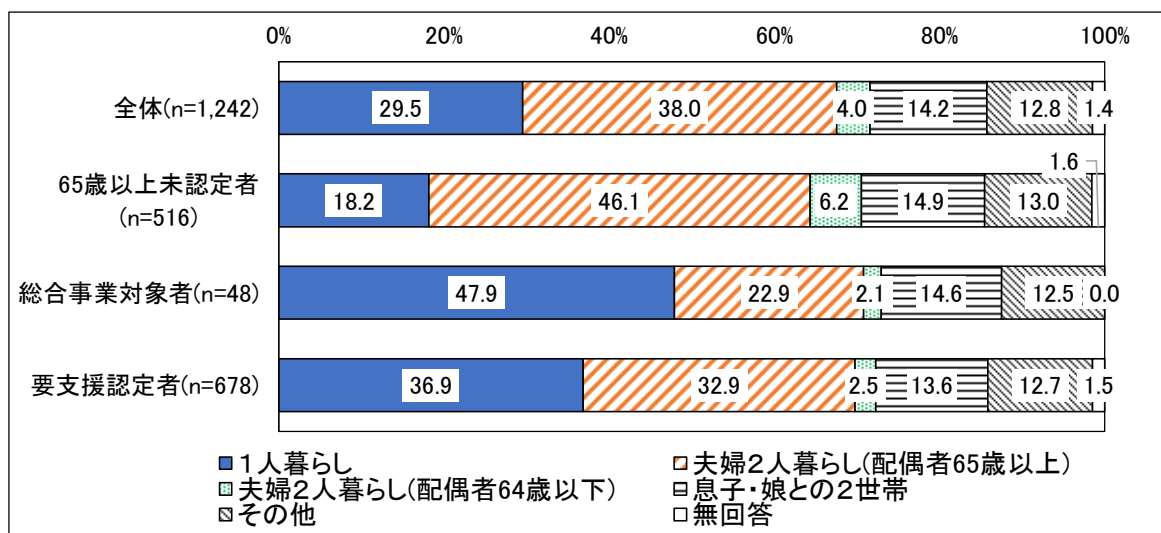
(3) 各調査の回収結果の概要

調査の種別	配布数	有効回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,856	1,242	66.9%
65歳以上介護保険未認定者	800	516	64.5%
総合事業対象者	62	48	77.4%
要支援認定者	994	678	68.2%
在宅介護実態調査	1,400	856	61.1%
介護支援専門員調査	52	33	63.5%

2. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

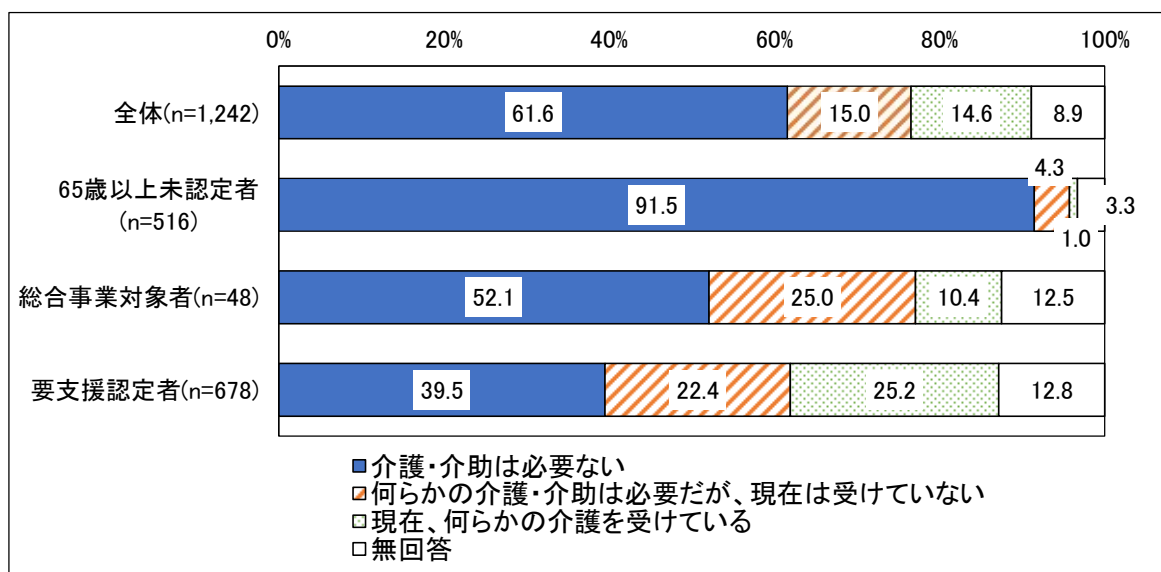
(1) 回答者の家族構成について（問1-1）

- 65歳以上未認定者では『夫婦2人暮らし（「配偶者65歳以上」と「配偶者64歳以下」の合計）』が5割を超えています。
- 総合事業対象者や要支援認定者では、「1人暮らし」が多くなっています。



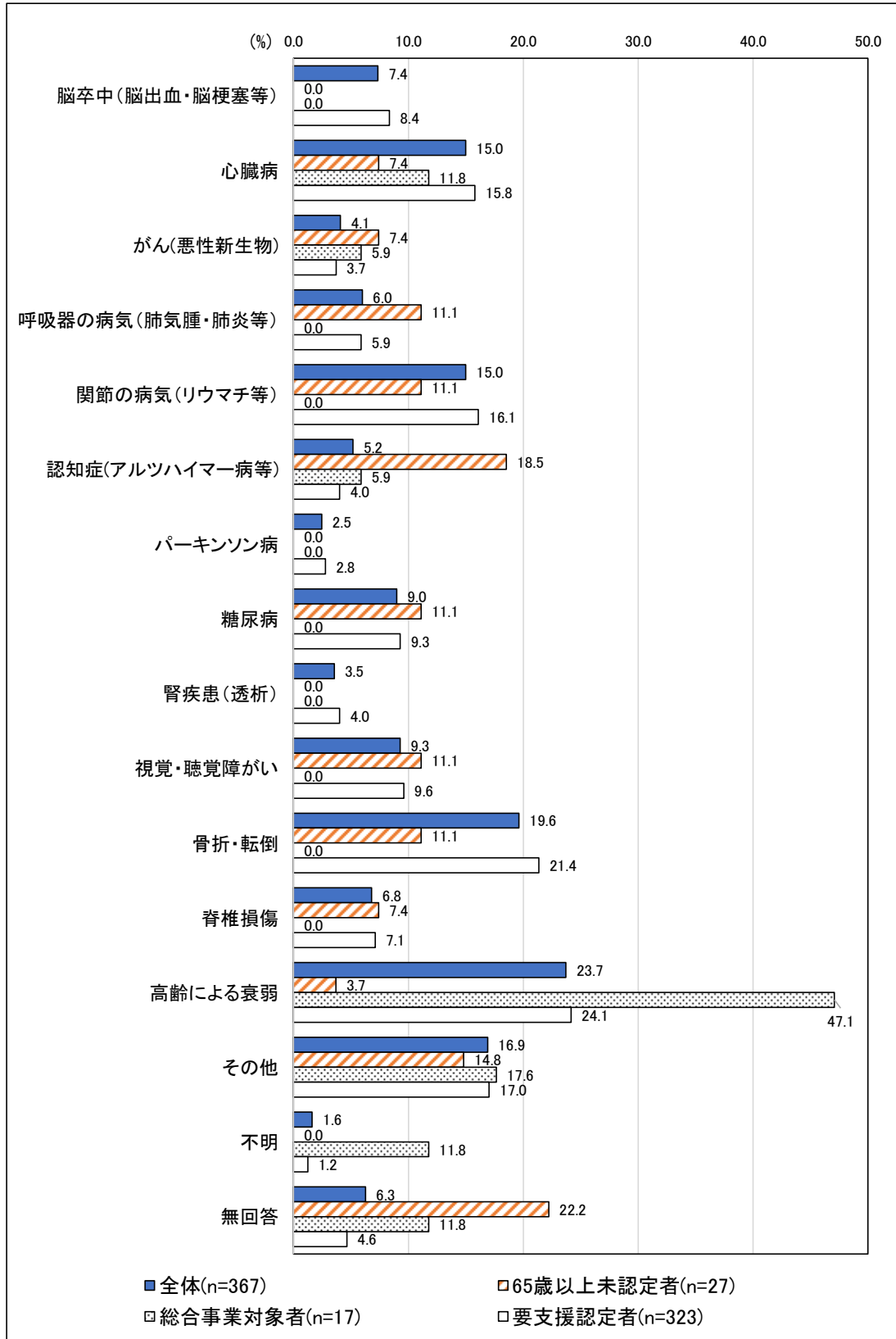
(2) 介護・介助の必要性について（問1-2）

- 65歳以上未認定者では9割以上が「介護・介助は必要ない」と回答しています。
- 総合事業対象者、要支援認定者についても5割以上が『介護・介助を受けていない（「介護・介助は必要ない」「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の合計）』と回答しています。



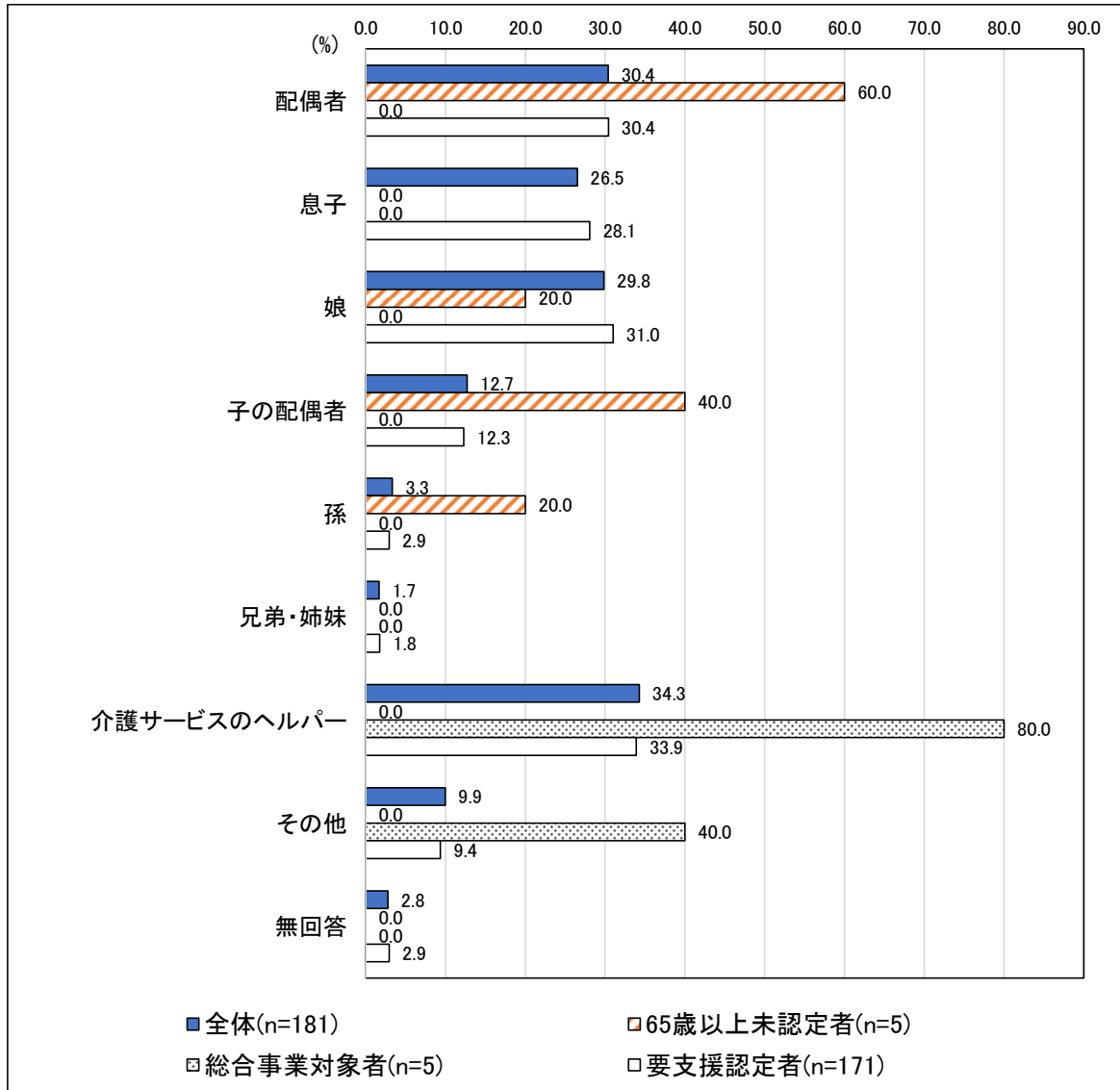
(3) 介護・介助が必要になった主な原因について（問1-2①）

- 「高齢による衰弱」が23.7%で最も高く、次いで、「骨折・転倒」（19.6%）、「関節の病気（リウマチ等）」（15.0%）、「心臓病」（15.0%）となっています。
- 総合事業対象者では特に「高齢による衰弱」が47.1%と高くなっています。



(4) 主な介護・介助者について (問1-2②)

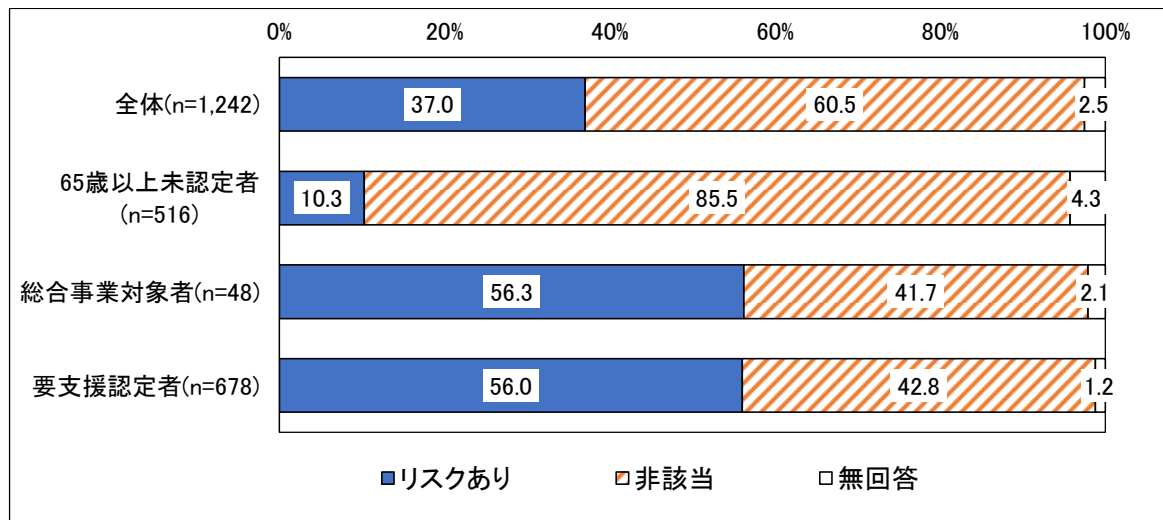
- 「介護サービスのヘルパー」が34.3%で最も高く、次いで、「配偶者」(30.4%)、「娘」(29.8%)となっています。
- 要支援認定者では、「介護サービスのヘルパー」(33.9%)に次いで、「娘」(31.0%)、「配偶者」(30.4%)となっています。



(5) 心身機能の状況について① (『運動器機能』『口腔機能』『認知機能』等)

- 『運動器機能』『口腔機能』『認知機能』の低下の状況や『転倒のリスク』『閉じこもり傾向』などの状況を見ると、「65歳以上未認定者」よりも「総合事業対象者」「要支援認定者」の方がリスクを抱える割合は高い傾向にあります。

■運動器機能の低下

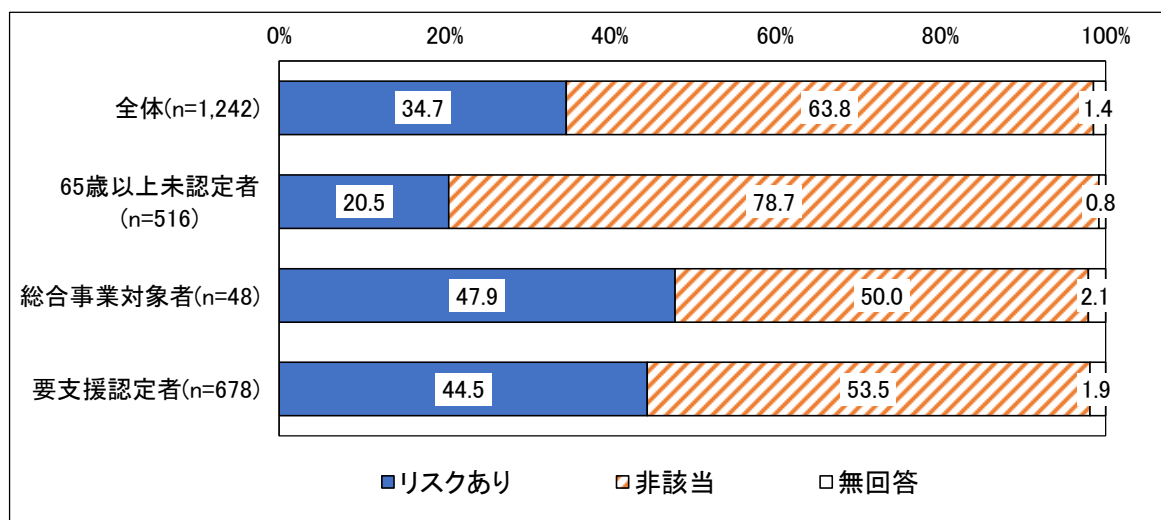


評価方法

下記の5項目について、3項目以上該当する場合、「運動器機能の低下している高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (該当：できない)
問2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (該当：できない)
問2-3	15分位続けて歩けますか (該当：できない)
問2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか (該当：何度もある、又は1度ある)
問2-5	転倒に対する不安は大きいですか (該当：とても不安である、又はやや不安である)

■口腔機能の低下

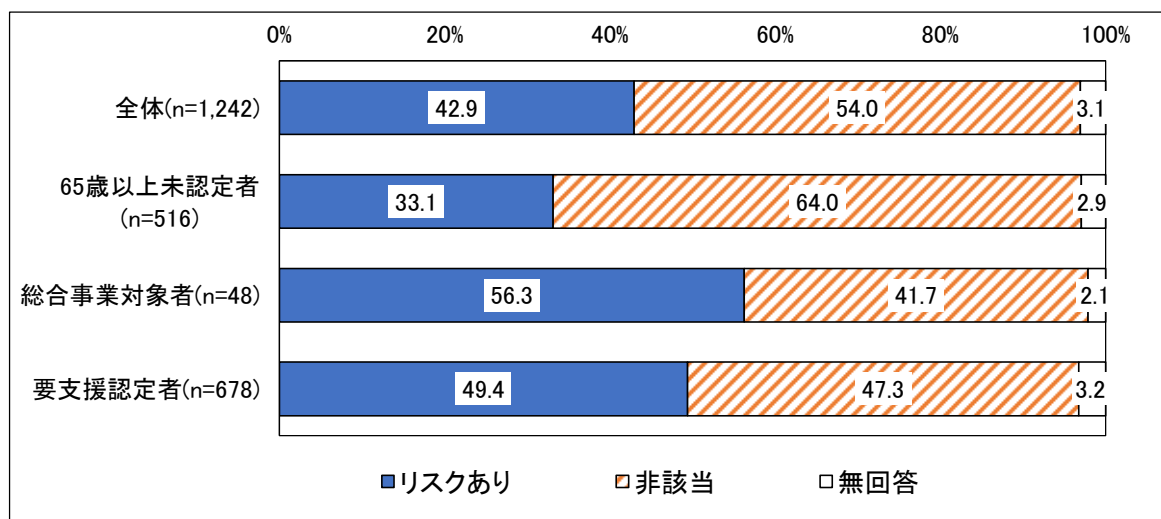


評価方法

下記の3項目のうち、2項目以上に該当する場合、「口腔機能が低下している高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問3-2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (該当：はい)
問3-3	お茶や汁物等でむせることがありますか (該当：はい)
問3-4	口の渇きが気になりますか (該当：はい)

■認知機能の低下

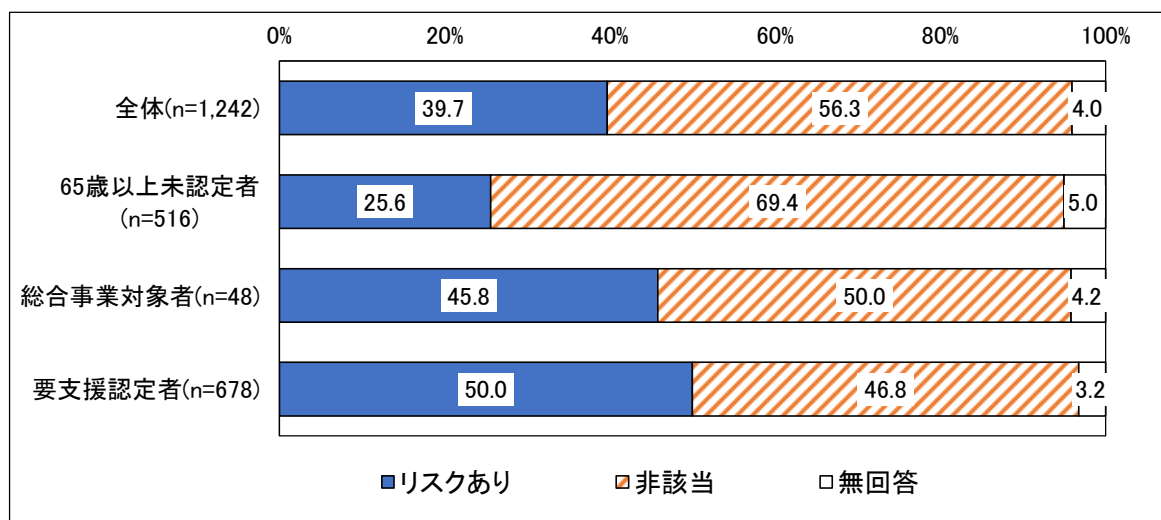


評価方法

下記の項目に該当する場合、「認知機能が低下している高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問4-1	物忘れが多いと感じますか (該当：はい)

■転倒のリスク

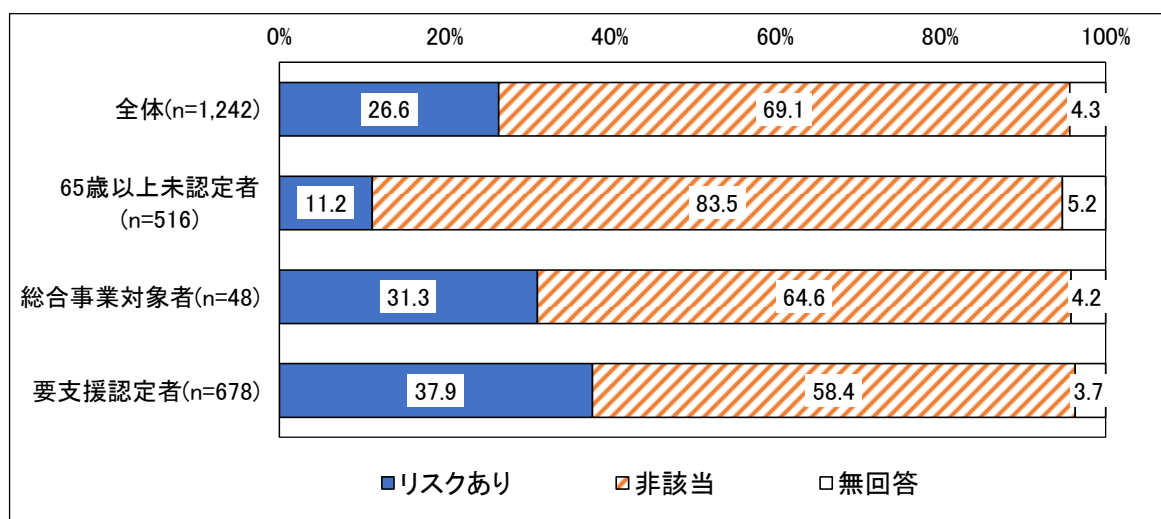


評価方法

下記の項目について該当する場合、「転倒リスクのある高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問 2-4	過去1年間に転んだ経験がありますか（該当：何度もある、又は1度ある）

■閉じこもり傾向



評価方法

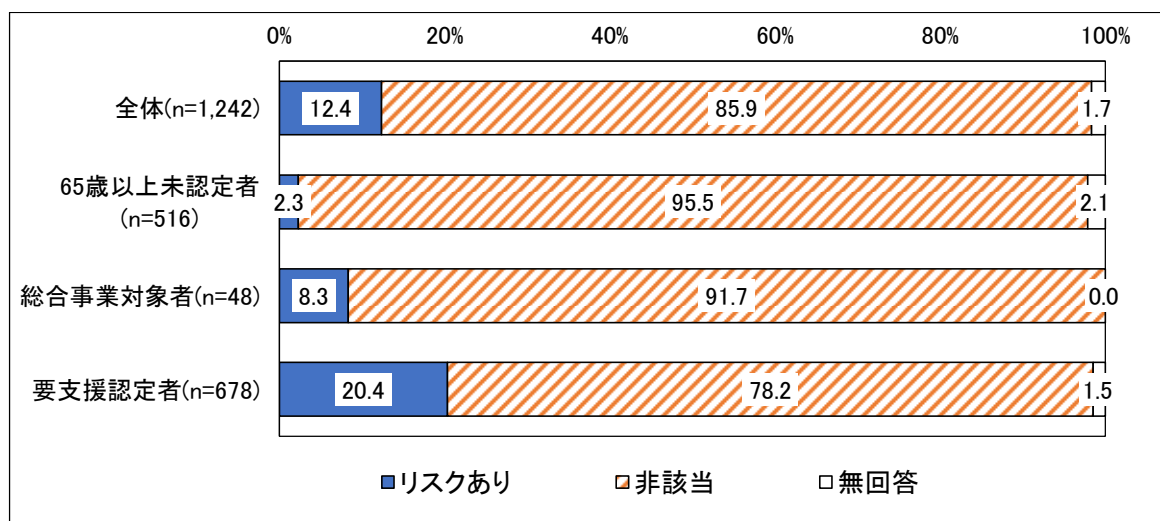
下記の項目について該当する場合、「閉じこもり傾向のある高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問 2-6	週に1回以上は外出していますか（該当：ほとんど外出しない、又は週1回）

(6) 心身機能の状況について② (『IADL (手段的日常生活動作)』)

- IADL (手段的日常生活動作) の状況を見ると、「65歳以上未認定者」(2.3%)よりも「総合事業対象者」(8.3%)「要支援認定者」(20.4%)の方がリスクを抱える割合は高いものの、大半が非該当(95.5%, 91.7%, 78.2%)となっています。

■ IADL (手段的日常生活動作) の低下



評価方法

下記の5項目について、5点満点中4点以下の場合、「IADLの低下している高齢者」として判定しました。

問番号	設問	選択肢
問4-4	バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)	「1.できるし、している」または「2.できるけどしていない」 1点
問4-5	自分で食品・日用品の買物をしていますか	
問4-6	自分で食事の用意をしていますか	
問4-7	自分で請求書の支払いをしていますか	
問4-8	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

(7) 地域活動への参加状況について (問5-1)

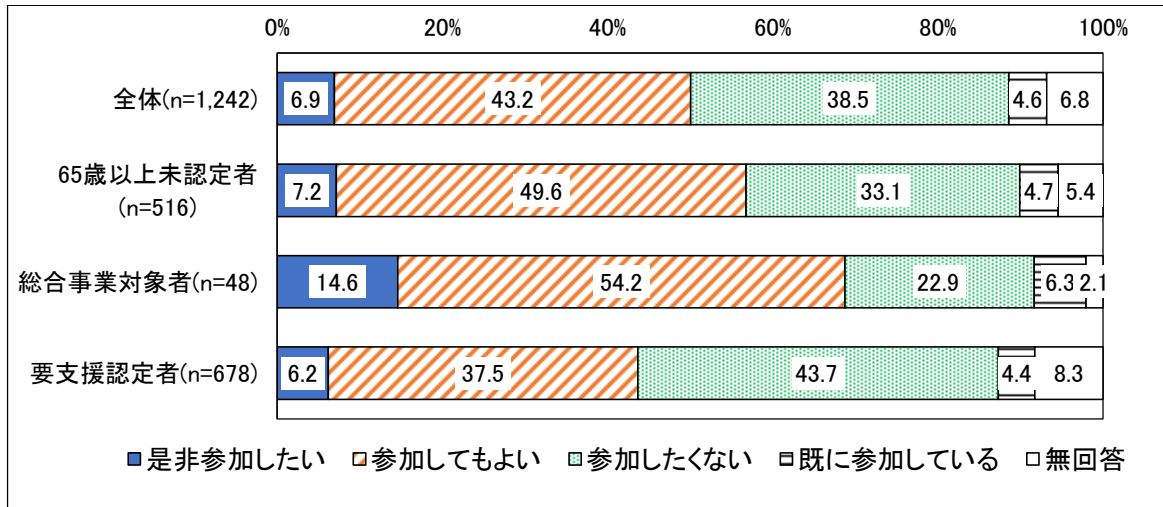
- 全体的に「参加していない」が高くなっています。
- 参加しているでは、「趣味関係のグループ」、「スポーツ関係のグループやクラブ」、「町内会・自治会」「地域健康塾など介護予防のための通いの場」などで10%~20%前後の参加の割合がみられます。

(単位: %)

会・グループ	認定状況	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
① ボランティアのグループ	全体(n=1,242)	0.5	0.6	0.7	2.5	1.7	65.4	28.7
	65歳以上未認定者(n=516)	0.8	0.6	0.8	3.5	2.1	70.5	21.7
	総合事業対象者(n=48)	0.0	0.0	0.0	2.1	2.1	56.3	39.6
	要支援認定者(n=678)	0.3	0.6	0.7	1.8	1.3	62.1	33.2
② スポーツ関係のグループやクラブ	全体(n=1,242)	2.8	4.4	3.4	3.8	1.3	58.5	25.8
	65歳以上未認定者(n=516)	4.8	6.0	4.8	5.8	2.3	59.7	16.5
	総合事業対象者(n=48)	2.1	0.0	2.1	6.3	2.1	54.2	33.3
	要支援認定者(n=678)	1.3	3.5	2.4	2.1	0.4	58.0	32.3
③ 趣味関係のグループ	全体(n=1,242)	1.2	3.1	2.3	10.6	3.0	56.2	23.6
	65歳以上未認定者(n=516)	1.6	3.5	2.9	12.8	3.7	59.1	16.5
	総合事業対象者(n=48)	2.1	2.1	2.1	14.6	6.3	43.8	29.2
	要支援認定者(n=678)	0.9	2.8	1.9	8.7	2.2	54.9	28.6
④ 学習・教養サークル	全体(n=1,242)	0.6	1.0	0.8	4.4	2.3	61.6	29.2
	65歳以上未認定者(n=516)	0.8	1.4	0.8	5.4	2.1	67.4	22.1
	総合事業対象者(n=48)	0.0	0.0	0.0	2.1	4.2	56.3	37.5
	要支援認定者(n=678)	0.4	0.9	0.9	3.8	2.4	57.5	34.1
⑤ 地域健康塾など介護予防のための通いの場	全体(n=1,242)	0.8	3.5	4.3	2.6	1.3	62.2	25.3
	65歳以上未認定者(n=516)	0.4	0.2	1.6	2.1	1.2	72.7	21.9
	総合事業対象者(n=48)	2.1	10.4	12.5	8.3	6.3	39.6	20.8
	要支援認定者(n=678)	1.0	5.6	5.8	2.5	1.0	55.9	28.2
⑥ 老人クラブ	全体(n=1,242)	0.5	0.8	0.3	2.6	3.5	64.3	28.1
	65歳以上未認定者(n=516)	0.2	1.2	0.0	1.4	2.1	72.7	22.5
	総合事業対象者(n=48)	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	58.3	37.5
	要支援認定者(n=678)	0.7	0.6	0.6	3.4	4.7	58.3	31.7
⑦ 町内会・自治会	全体(n=1,242)	0.6	0.2	0.0	2.2	11.0	57.6	28.4
	65歳以上未認定者(n=516)	0.2	0.4	0.0	3.3	17.8	57.6	20.7
	総合事業対象者(n=48)	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	60.4	37.5
	要支援認定者(n=678)	0.9	0.1	0.0	1.3	6.6	57.4	33.6
⑧ 収入のある仕事	全体(n=1,242)	4.0	4.5	0.8	1.2	1.0	60.5	27.9
	65歳以上未認定者(n=516)	8.7	8.3	1.2	2.1	1.7	60.1	17.8
	総合事業対象者(n=48)	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	58.3	37.5
	要支援認定者(n=678)	0.7	1.9	0.4	0.6	0.4	61.1	34.8

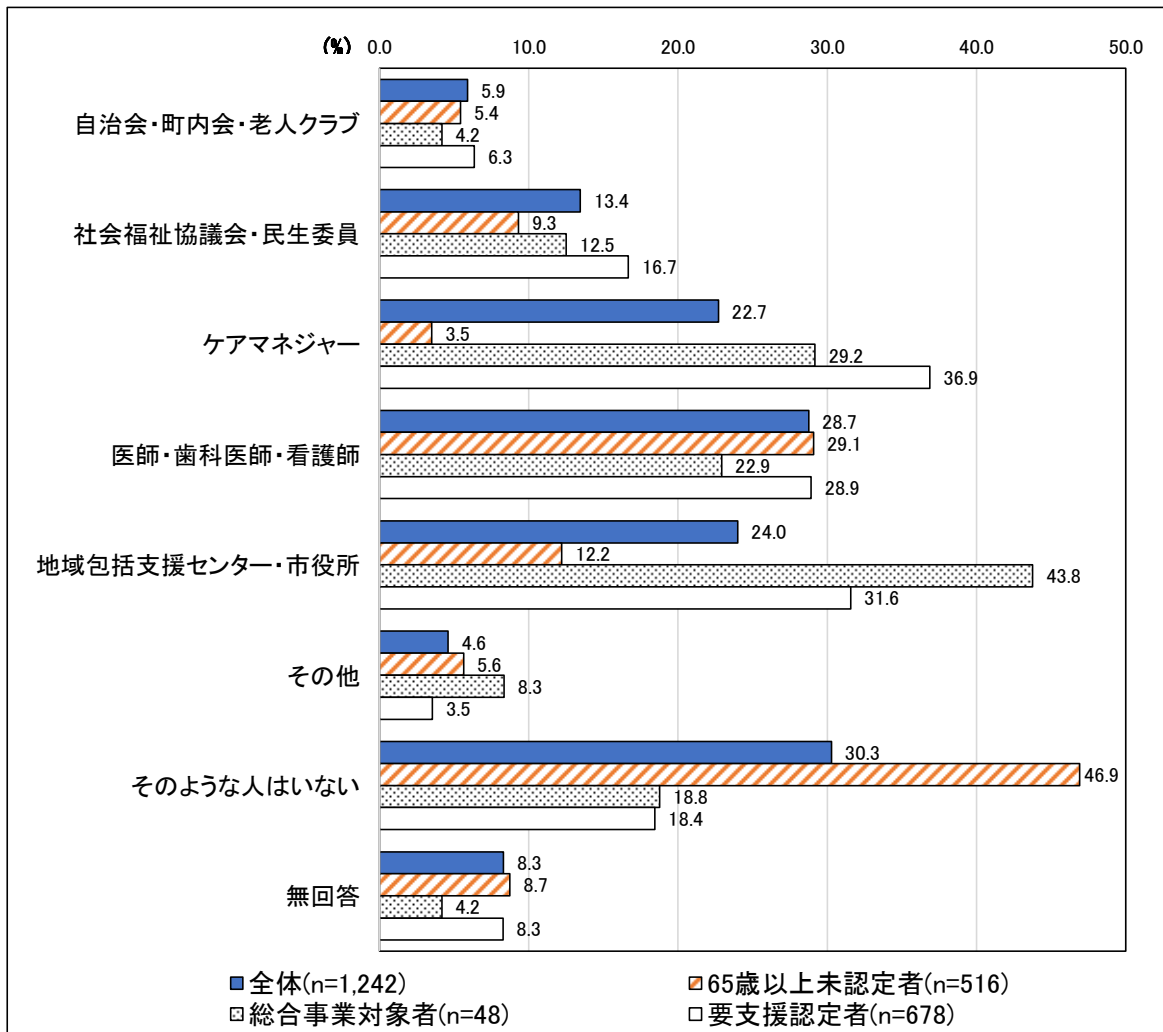
(8) 地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向について (問5-2)

- 「参加してもよい」が最も高いものの、要支援認定者では低くなっています。



(9) 家族や友人・知人以外で何かあったときの相談先 (問6-5)

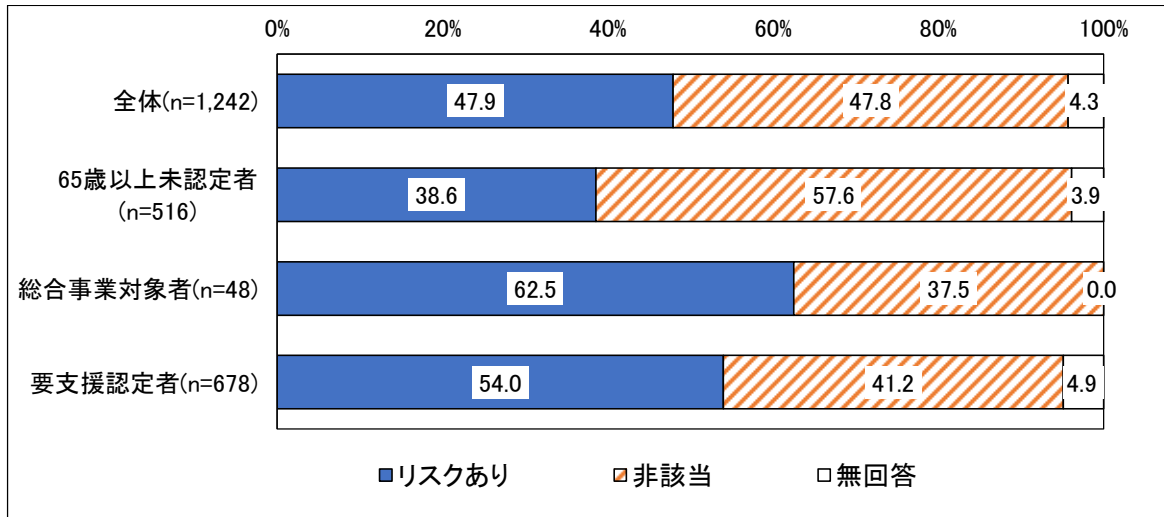
- 65歳以上未認定者で「そのような人はいない (46.9%)」が特に高くなっています。
- 総合事業対象者や要支援認定者では、「地域包括支援センター・市役所」や「ケアマネジャー」が比較的高くなっています。



(10) うつ傾向について

- 「65歳以上未認定者」よりも「総合事業対象者」「要支援認定者」の方がリスクを抱える割合は高い傾向にあります。

■うつ傾向



評価方法

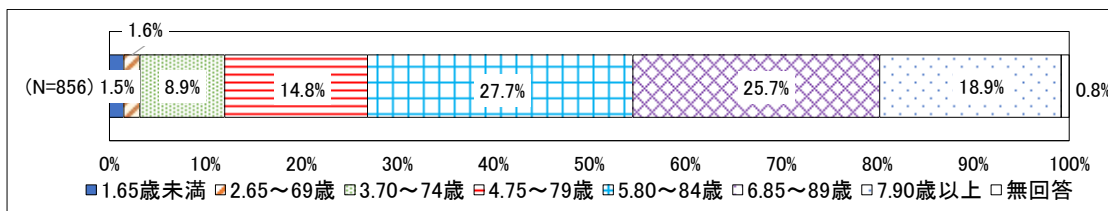
2項目のうち、1項目以上に該当する場合、「うつ傾向のある高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問7-3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (該当：はい)
問7-4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (該当：はい)

3. 在宅介護実態調査

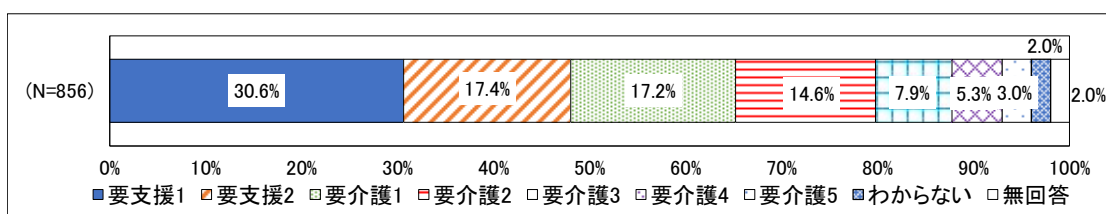
(1) 回答者の年齢構成について (A票一問4)

- 『後期高齢者(「75～79歳」「80～84歳」「85～90歳」「90歳以上」の合計)』が87.1%を占めています。



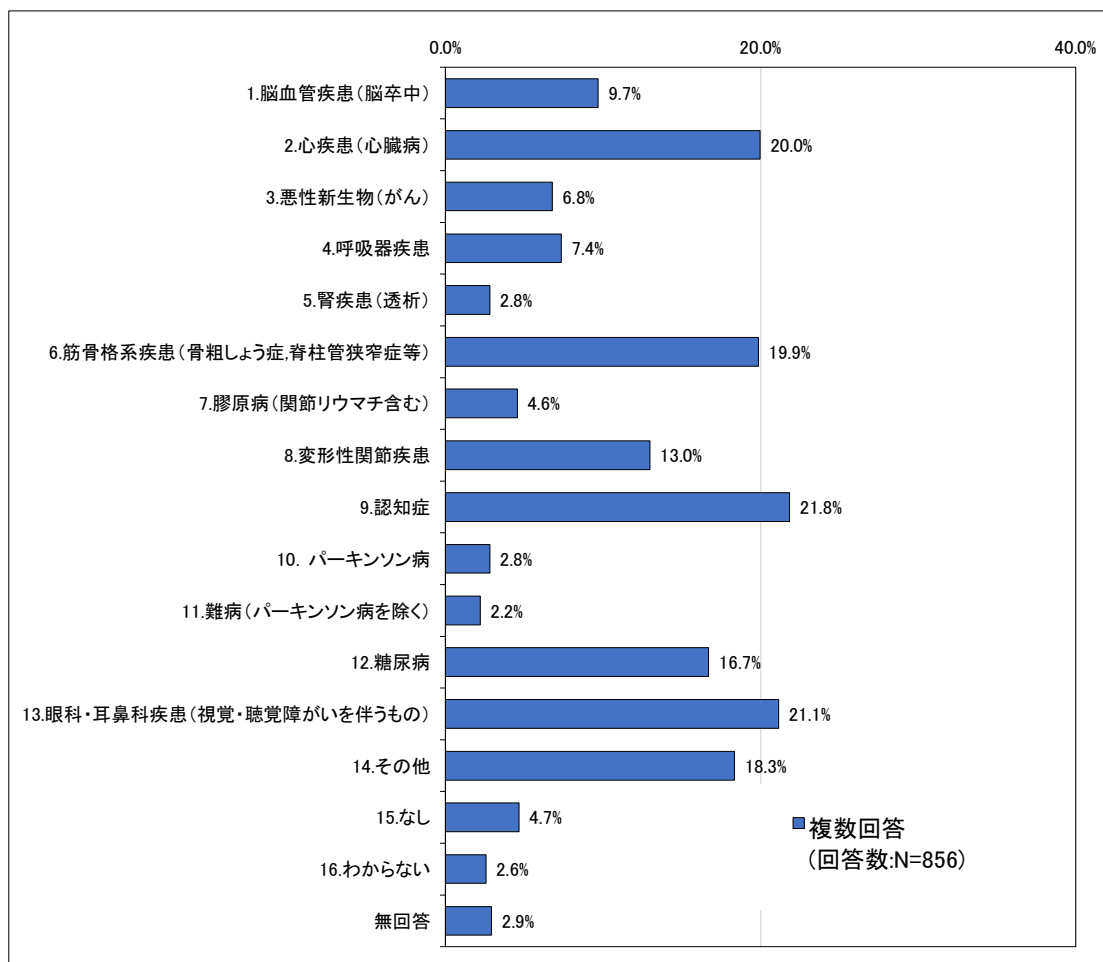
(2) 回答者の要支援・要介護度について (A票一問5)

- 『要支援認定者(「要支援1」「要支援2」の合計)』の割合が半数近くを占めています。



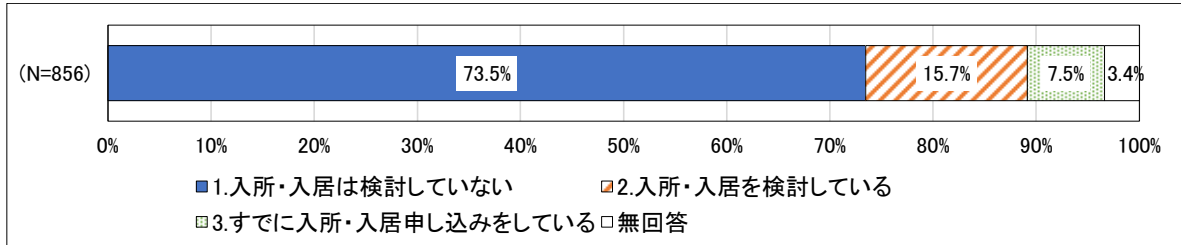
(3) 回答者が現在抱えている傷病について (A票一問7)

- 「心疾患」「筋骨格系疾患」「認知症」「眼科・耳鼻科疾患」が2割程度となっています。



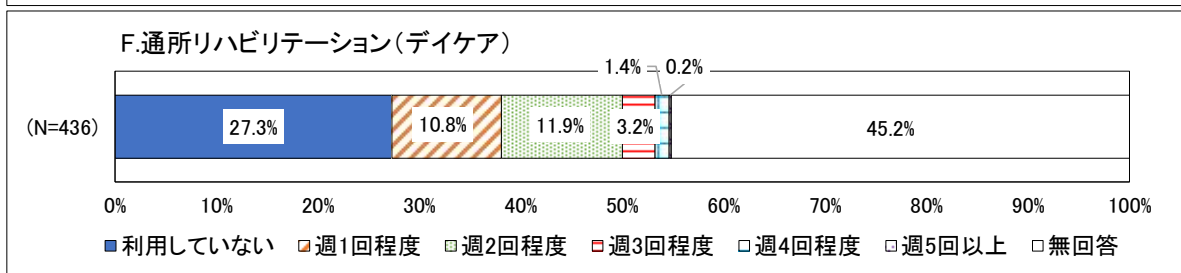
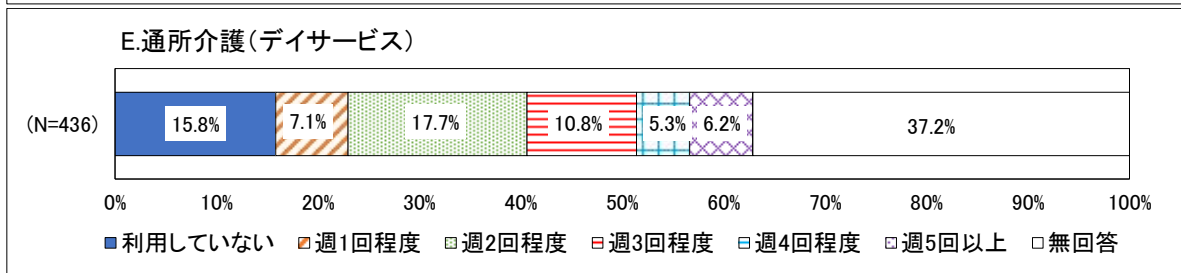
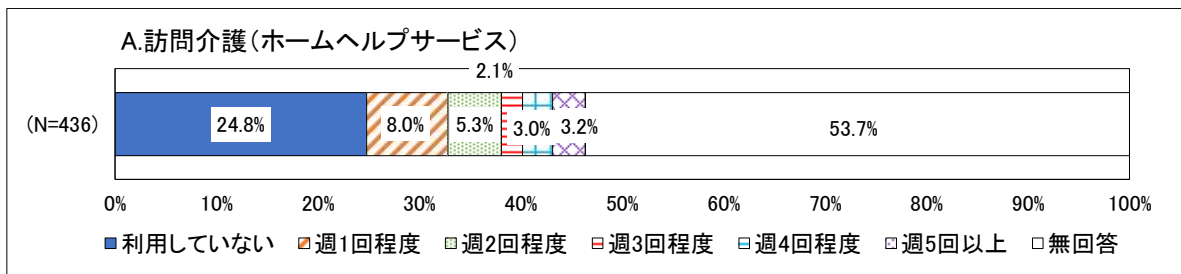
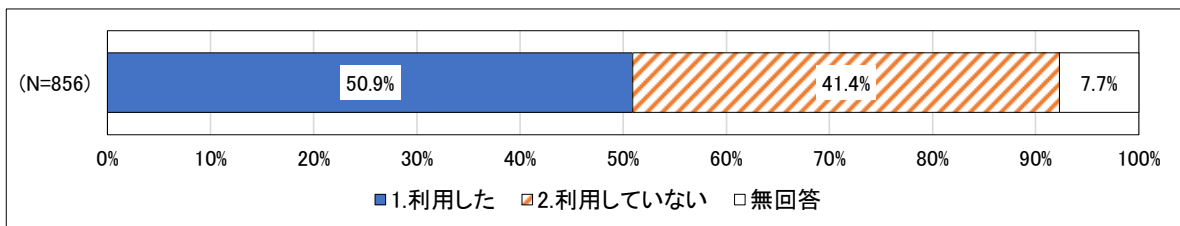
(4) 施設等への入所・入居の検討状況について (A票一問6)

- 「入所・入居は検討していない」が73.5%を占めています。一方、「入所・入居を検討している」または、「申し込みをしている」は、合わせて23.2%となっています。



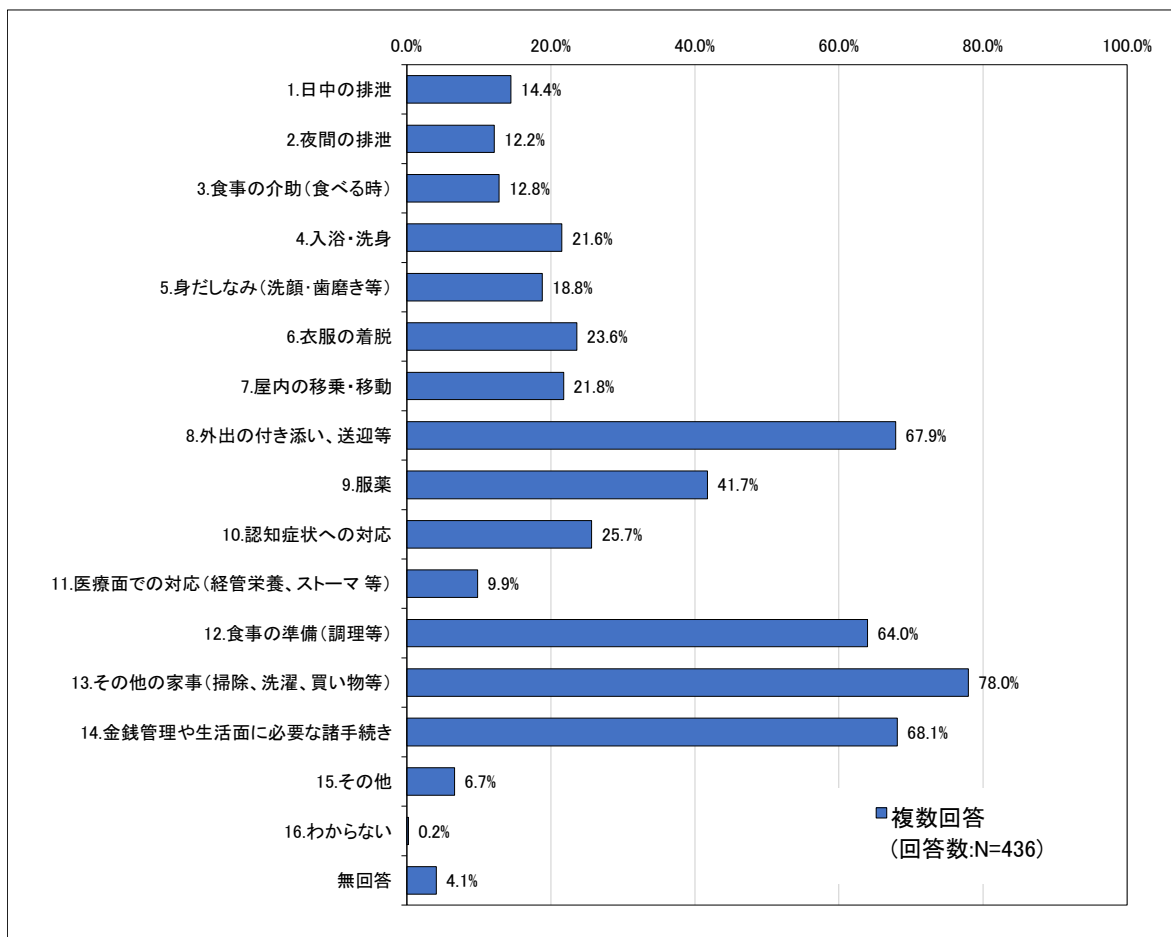
(5) 介護保険サービス(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の利用状況について (A票一問8、問9)

- 「利用した」が50.9%、「利用していない」が41.4%となっています。
- 『利用している』サービスでは、「訪問介護」(21.6%)や「通所介護」(47.1%)、「通所リハビリテーション」(27.5%)が2割を超えています。



(6) 主な介護者が行っている介護等について (B票-問5)

- 介護者の6割以上が「外出の付き添い、送迎等」(67.9%)や「食事の準備(調理等)」(64.0%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(78.0%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(68.1%)を行っている状況にあります。
- 要介護度別クロス集計からは、介護度が上がるにつれて「日中の排泄」や「夜間の排泄」「身だしなみ」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「服薬」などの割合も高まる傾向にあります。



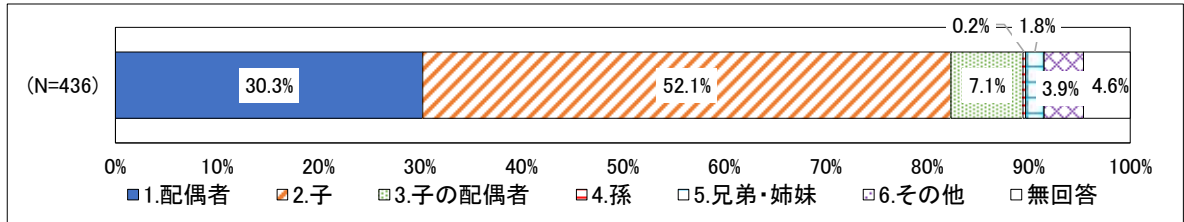
単位 (%)

	合計	B票 問5 主な介護者が行っている介護等									
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応
全体	436	14.4	12.2	12.8	21.6	18.8	23.6	21.8	67.9	41.7	25.7
A票 問5 要介護度											
要支援1	72	0.0	1.4	1.4	4.2	4.2	6.9	8.3	61.1	19.4	12.5
要支援2	68	5.9	7.4	11.8	23.5	13.2	13.2	16.2	64.7	23.5	17.6
要介護1	99	4.0	3.0	4.0	19.2	12.1	13.1	16.2	63.6	38.4	25.3
要介護2	98	11.2	6.1	8.2	27.6	14.3	23.5	19.4	72.4	49.0	26.5
要介護3	46	32.6	30.4	23.9	30.4	34.8	50.0	34.8	78.3	65.2	39.1
要介護4	30	63.3	50.0	46.7	46.7	56.7	66.7	53.3	66.7	73.3	43.3
要介護5	13	69.2	69.2	69.2	0.0	76.9	61.5	69.2	76.9	76.9	38.5
わからない	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	80.0	20.0	20.0

	合計	B票 問5 主な介護者が行っている介護等							
		医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	436	9.9	64.0	78.0	68.1	8.3	5.3	1.8	8.3
A票 問5 要介護度									
要支援1	72	2.8	37.5	62.5	47.2	9.7	4.2	5.6	11.1
要支援2	68	14.7	66.2	72.1	52.9	2.9	5.9	1.5	14.7
要介護1	99	7.1	62.6	81.8	70.7	8.1	3.0	0.0	9.1
要介護2	98	7.1	68.4	81.6	76.5	8.2	8.2	1.0	3.1
要介護3	46	17.4	80.4	84.8	84.8	6.5	2.2	2.2	6.5
要介護4	30	16.7	86.7	93.3	90.0	16.7	6.7	0.0	0.0
要介護5	13	30.8	69.2	84.6	84.6	23.1	7.7	7.7	15.4
わからない	5	0.0	60.0	60.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0

(7) 主な介護者について (B票-問2)

- 「子」の割合(52.1%)が最も高くなっているものの、世帯類型別クロス集計を見ると、「単身世帯」「その他」では「子」(74.8%, 64.4%)が中心となっており、「夫婦のみの世帯」では「配偶者」(70.7%)が中心となっています。

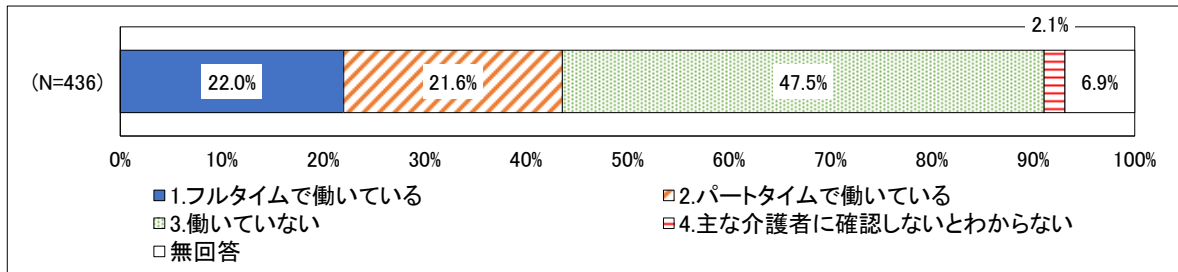


単位 (%)

		B票 問2 主な介護者の方							
		合計	配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
	全体	436	30.3	52.1	7.1	0.2	1.8	3.9	4.6
A票 問2	単身世帯	127	0.0	74.8	6.3	0.0	4.7	7.1	7.1
世帯類型	夫婦のみの世帯	157	70.7	21.7	1.9	0.0	0.0	1.3	4.5
	その他	146	13.7	64.4	13.7	0.7	1.4	3.4	2.7

(8) 主な介護者の就労状況について (B票-問7)

- 「働いていない」が半数近くを占めるものの、介護者の年齢別クロス集計を見ると、40代以下では『働いている(「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の合計)』割合が8割を超え、「50代」(68.8%)では6割、「60代」(51.5%)では5割を超える一方、「70代」(14.9%)では1割程度となっています。

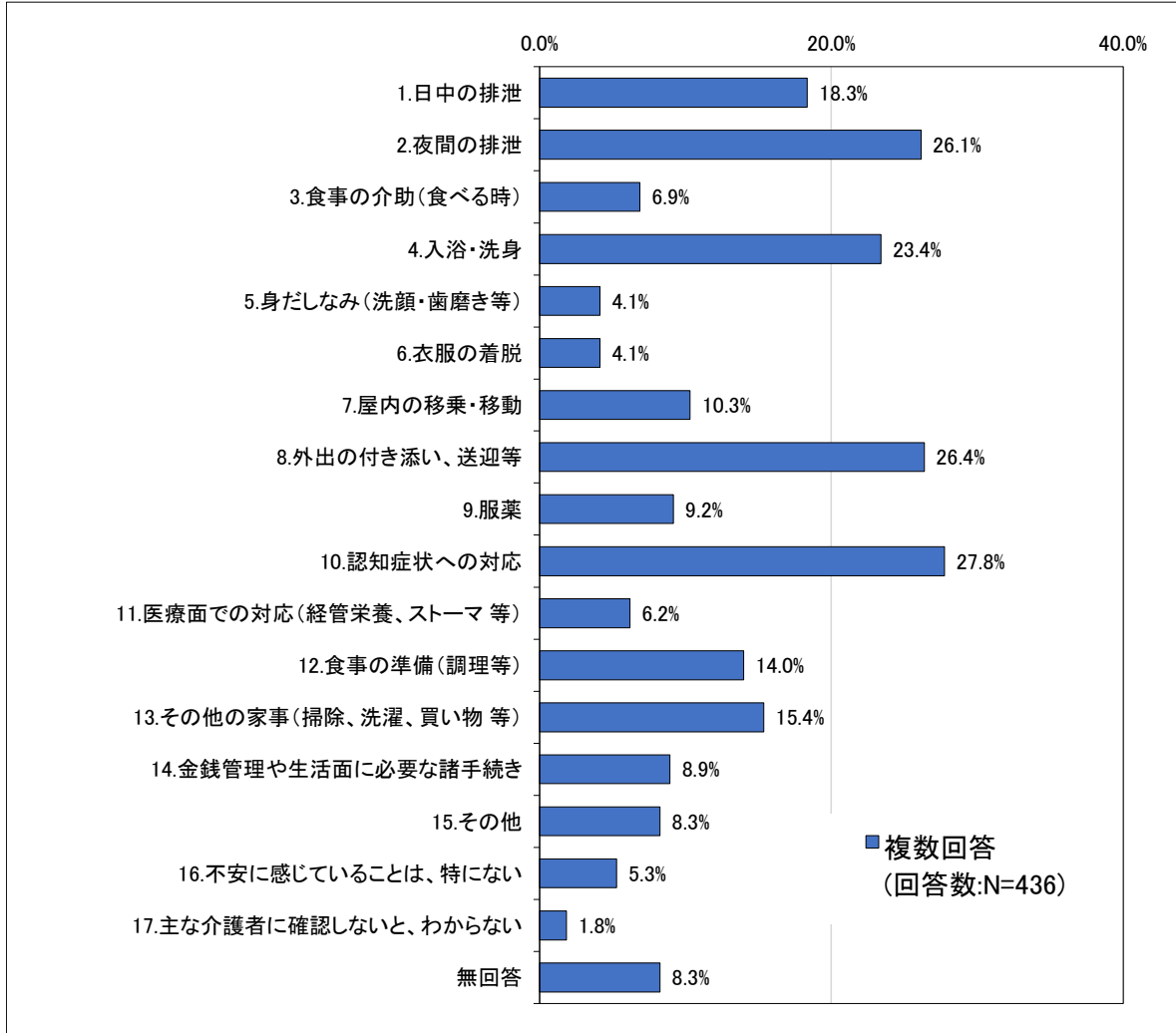


単位 (%)

		B票 問7 主な介護者の方の勤務形態					
		合計	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
	全体	436	22.0	21.6	47.5	2.1	6.9
B票 問4 主な介護者の年齢	20歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	40代	27	40.7	40.7	18.5	0.0	0.0
	50代	125	42.4	26.4	24.8	3.2	3.2
	60代	103	20.4	31.1	44.7	1.9	1.9
	70代	94	3.2	11.7	80.9	0.0	4.3
	80歳以上	61	1.6	6.6	73.8	0.0	18.0
	わからない	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(9) 主な介護者が不安に感じる介護等について (B票一問6)

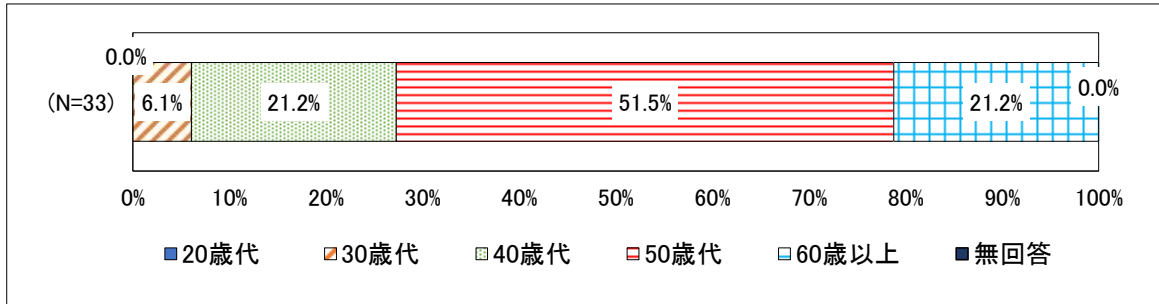
- 「認知症状への対応」が27.8%で最も高く、次いで、「外出の付き添い、送迎等」(26.4%)、「夜間の排泄」(26.1%)、「入浴・洗身」(23.4%)となっています。



4. 介護支援専門員調査

(1) 回答者の年齢構成について (問2)

- 『50歳以上(「50歳代」「60歳代」の合計)』の割合(72.7%)が7割強を占めており、前回調査(48.6%)より20ポイント以上増加しています。

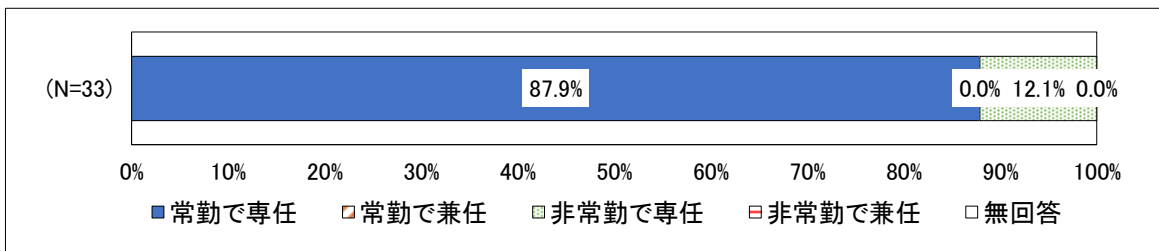


■ 前回調査との比較

問2 年齢	単位 (%)	
	前回 (n=37)	今回 (n=33)
20歳代	0.0	0.0
30歳代	8.1	6.1
40歳代	43.2	21.2
50歳代	32.4	51.5
60歳代	16.2	21.2
無回答	0.0	0.0
全体	100.0	100.0

(2) 回答者の勤務形態について (問4)

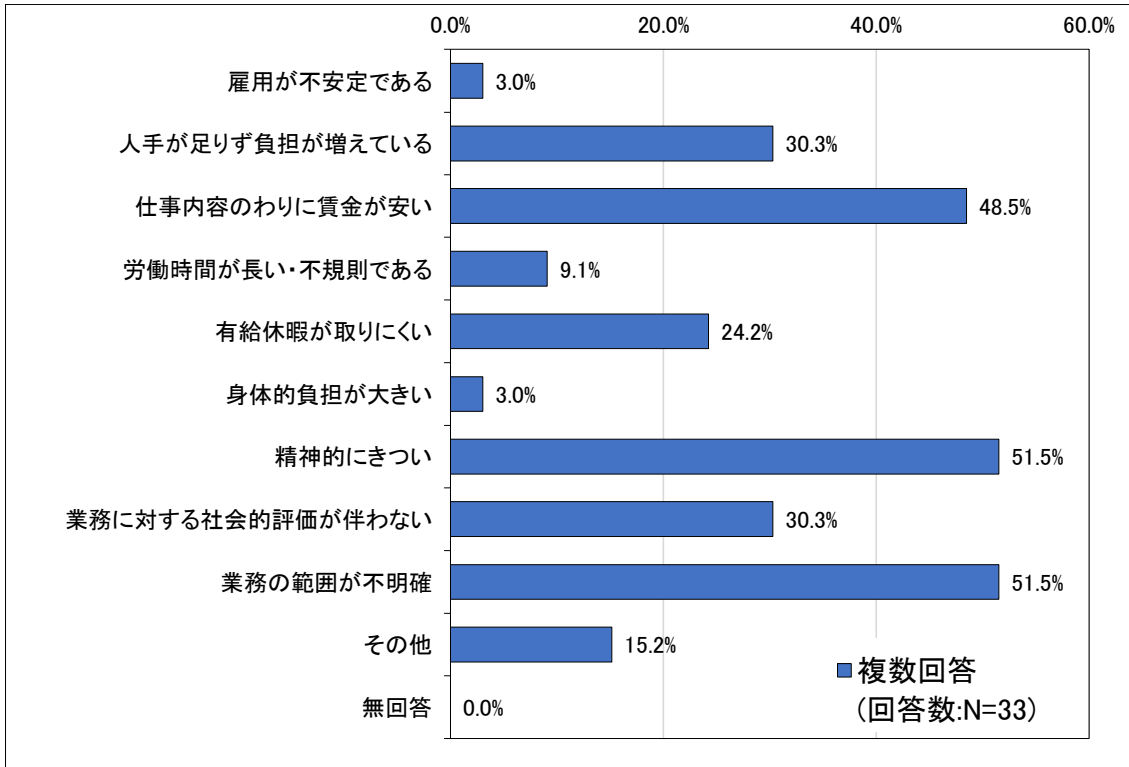
- 「常勤で専任」が87.9%を占めています。



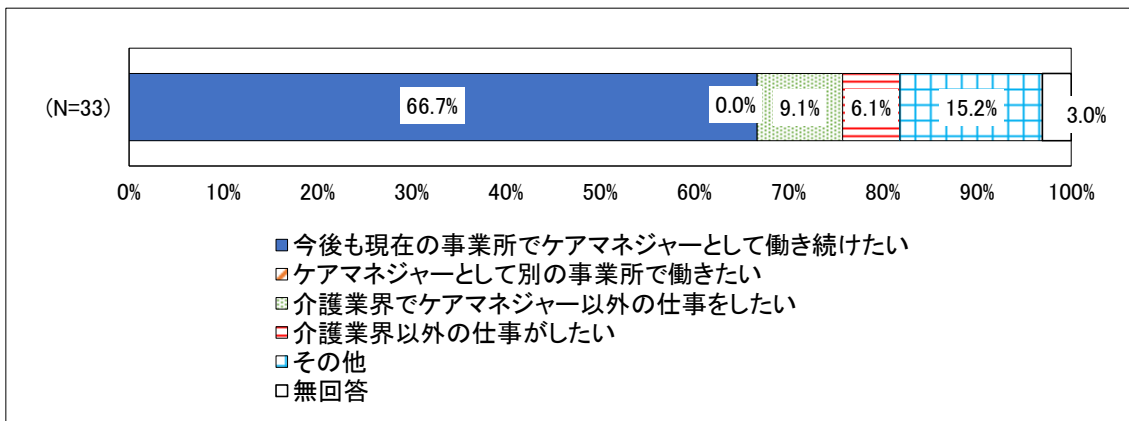
(3) 仕事で負担に感ずること、仕事の継続意向について (問43、問44)

- 仕事で負担に感ずることとして、「精神的にきつい」(51.5%)や「業務の範囲が不明確」(51.5%)、「仕事内容のわりに賃金が安い」(48.5%)と感ずている割合が約5割となっています。
- 仕事の継続意向については、「今後も現在の事業所でケアマネジャーとして働きたい」(66.7%)が約7割となっています。

■仕事で負担に感ずること



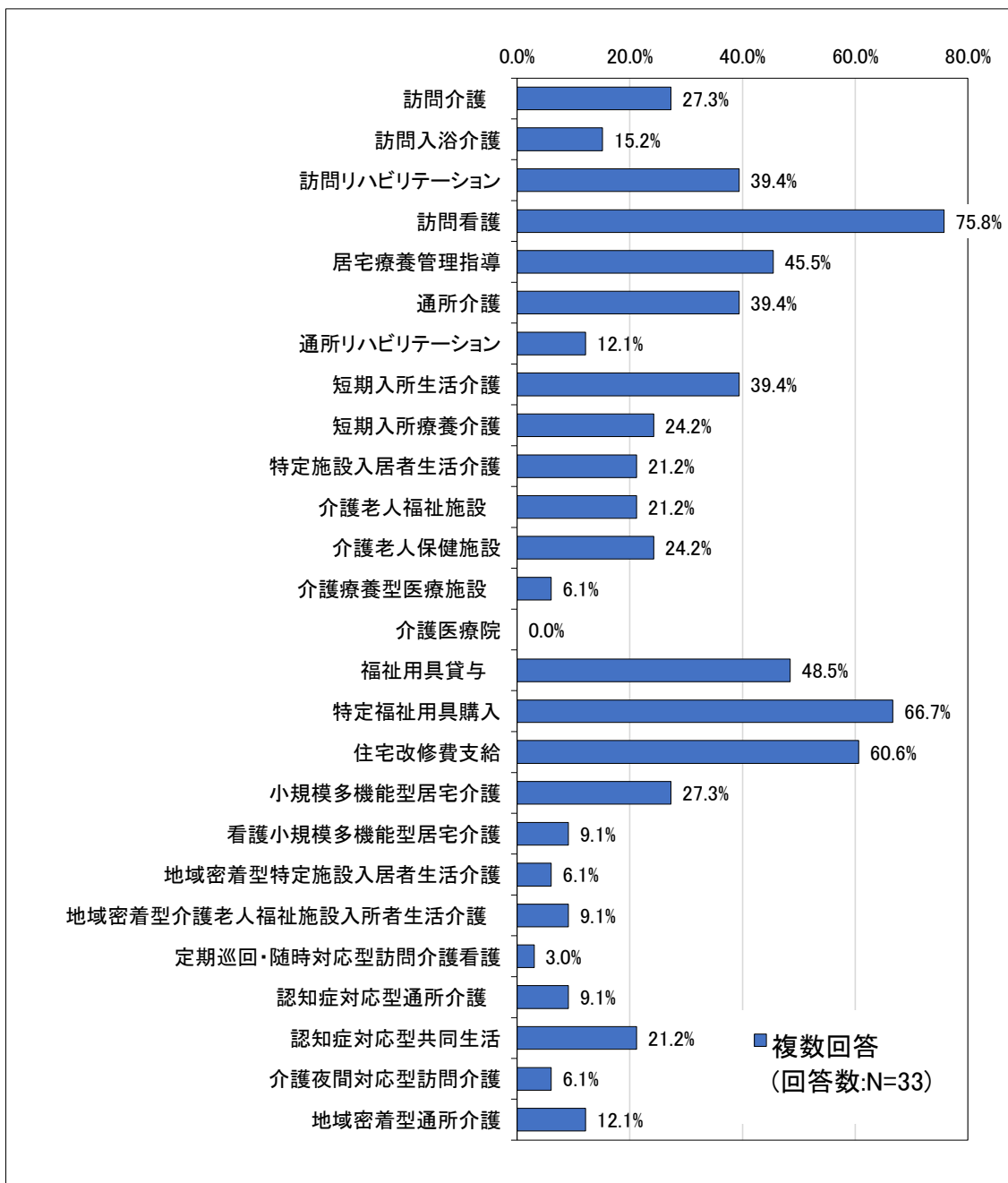
■仕事の継続意向



(4) 介護保険サービス基盤の状況について (問9)

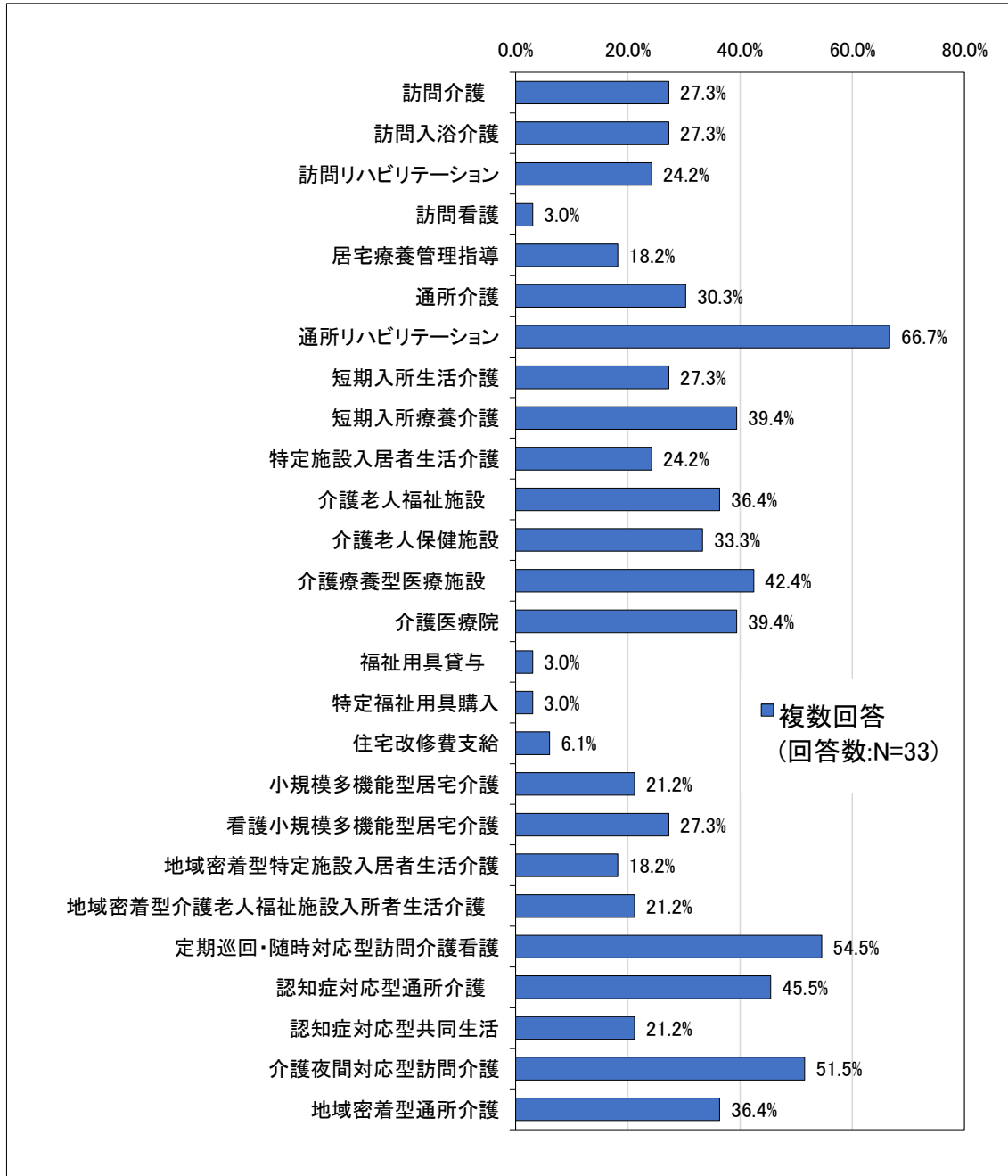
【充実していると感じるサービス】

- ケアマネジャーの半数以上が「充実している」と感じているのは「訪問看護」(75.8%)、「特定福祉用具購入」(66.7%)、「住宅改修費支給」(60.6%)となっています。



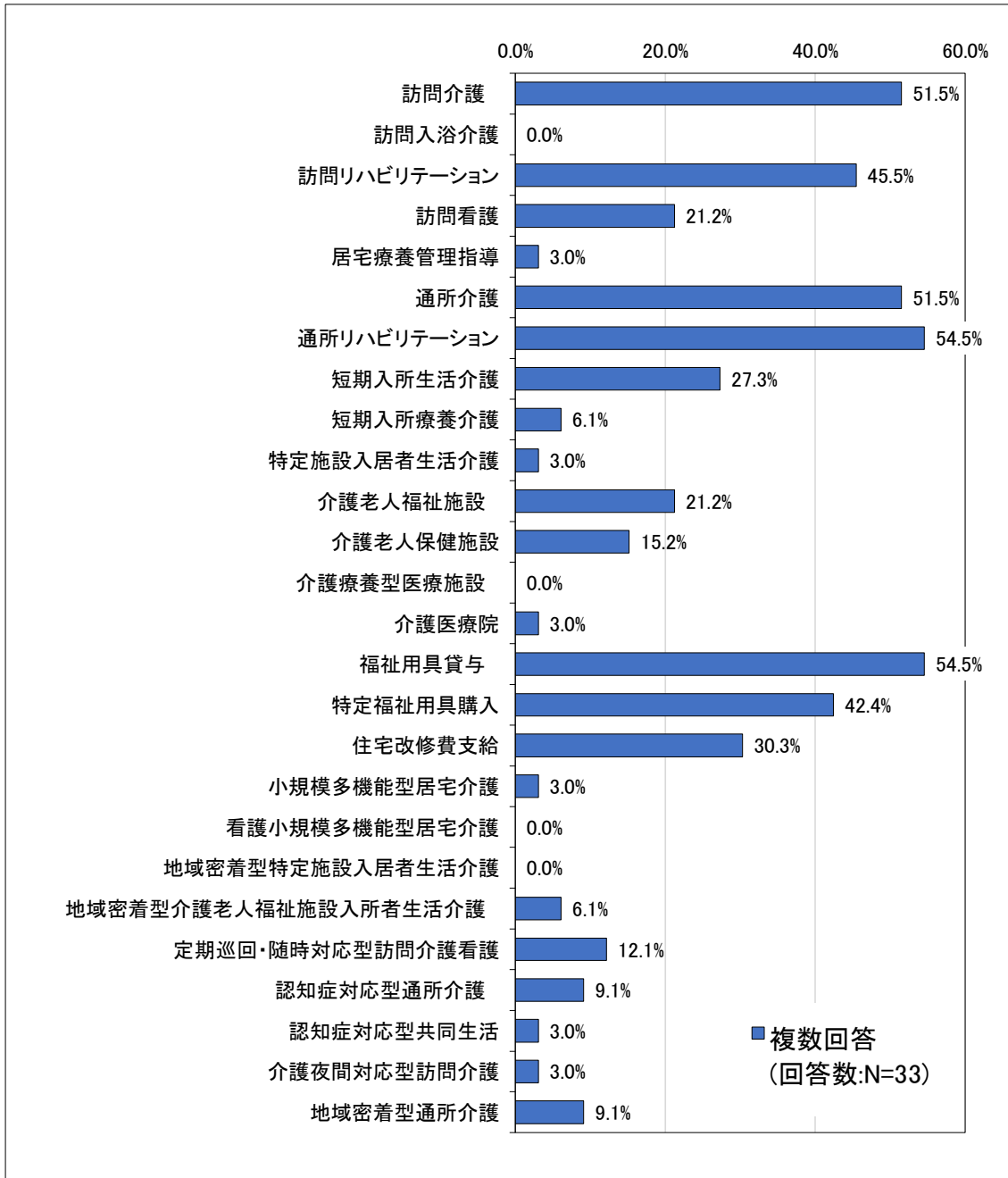
【不足していると感じるサービス】

- ケアマネジャーの半数以上が「不足している」と感じているのは「通所リハビリテーション」(66.7%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(54.5%)、「介護夜間対応型訪問介護」(51.5%)といった、リハビリや夜間のケアに係るサービスとなっています。



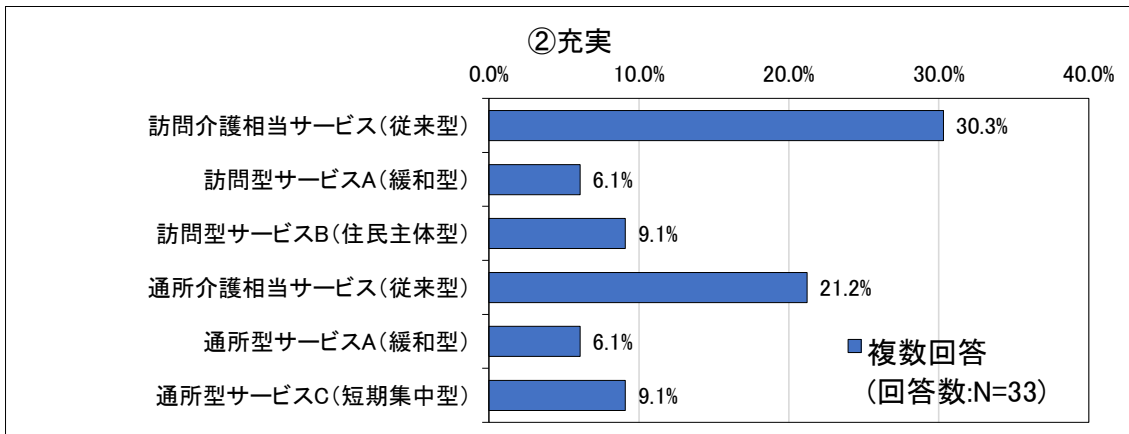
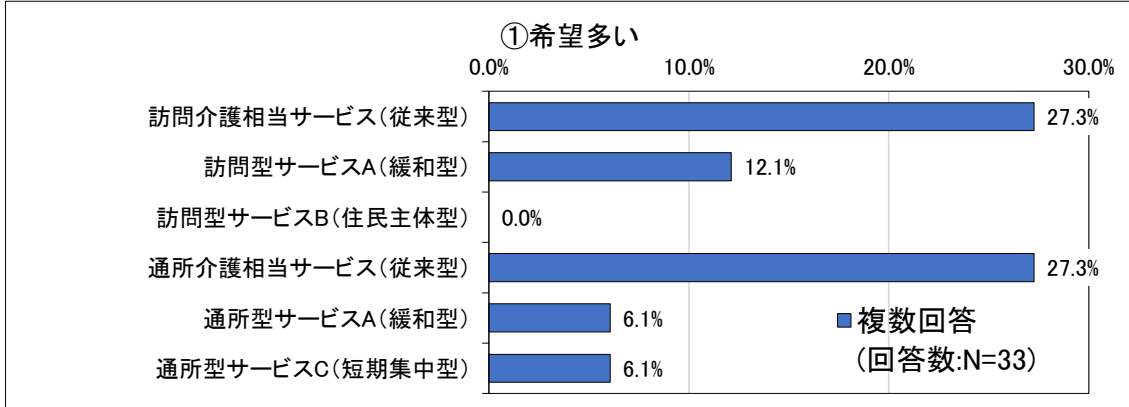
【希望が多いサービス】

- ケアマネジャーの半数以上が「希望が多い」と感じているサービスは「通所リハビリテーション」(54.5%)、「福祉用具貸与」(54.5%)、「訪問介護」(51.5%)、「通所介護」(51.5%)であり、「不足している」と感じているサービスとでギャップが生じています。



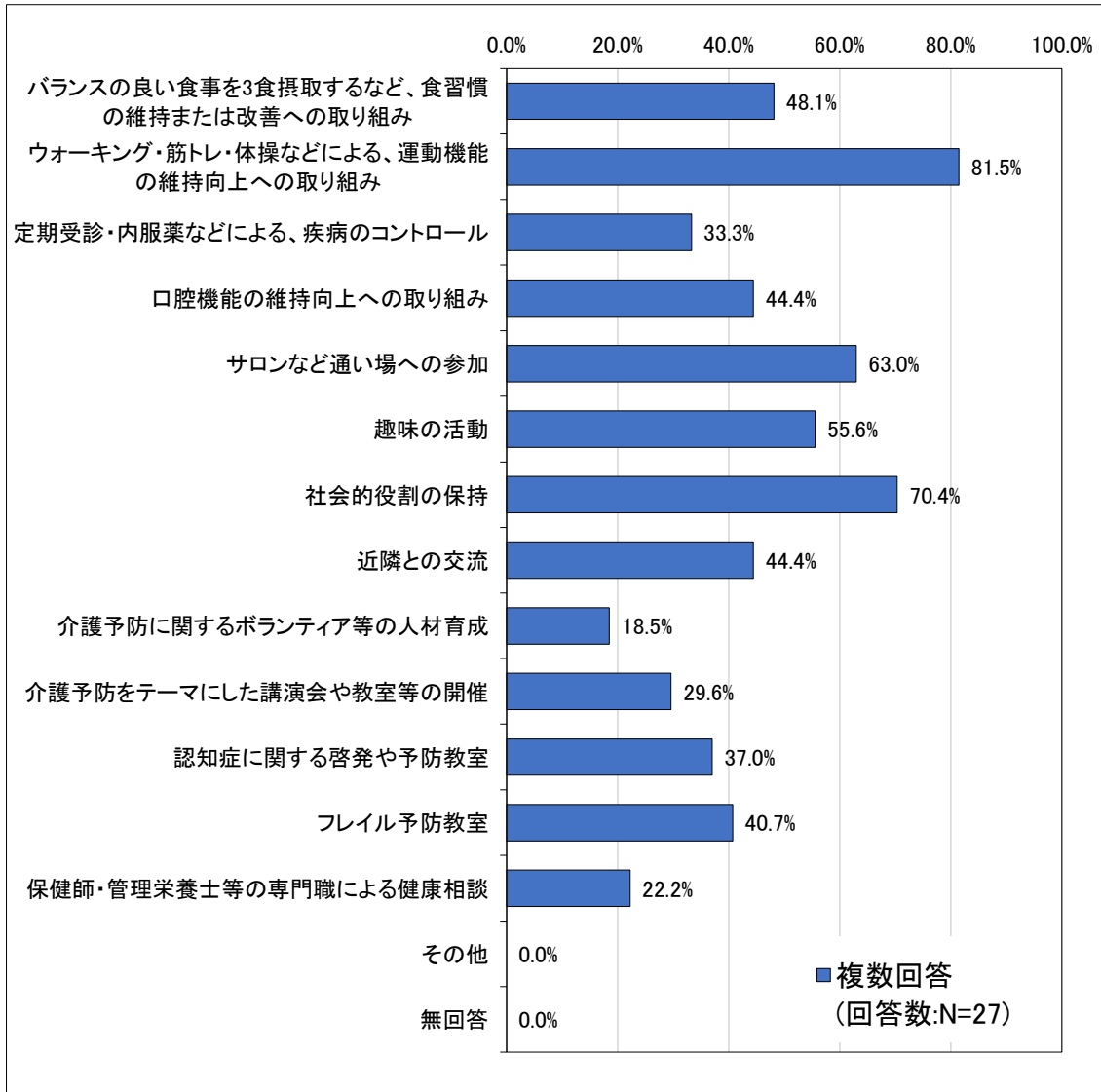
(5) 介護予防・日常生活支援総合事業のサービスについて (問18)

- 「①希望多い」、「②充実」では、いずれも「訪問介護相当サービス(従来型)」、「通所介護相当サービス(従来型)」が高くなっています。



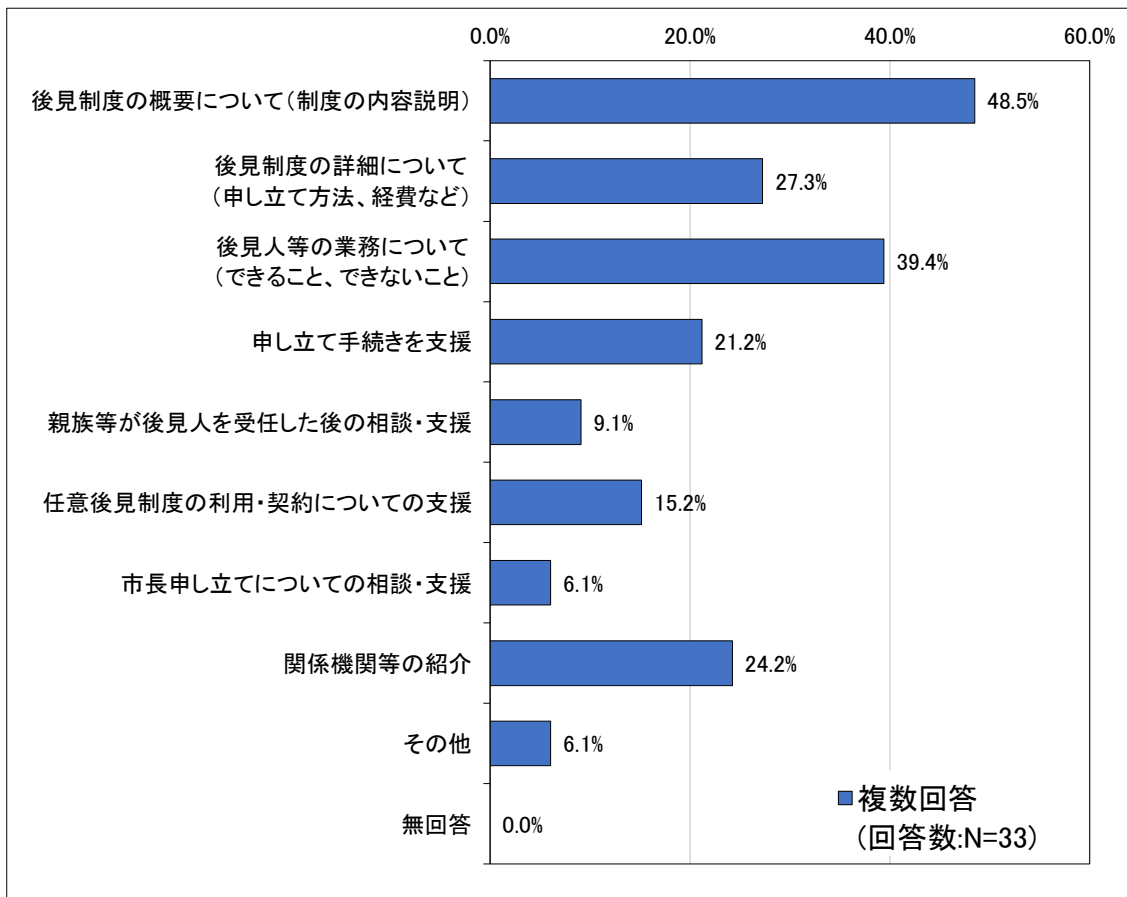
(6) 介護予防で必要と思うことについて (問34)

- 「ウォーキング・筋トレ・体操などによる、運動機能の維持向上への取り組み」が 81.5% で最も高く、次いで、「社会的役割の保持」(70.4%)、「サロンなど通いの場への参加」(63.0%)、「趣味の活動」(55.6%) となっています。



(7) 成年後見制度に関する対応状況について (問35)

- 「後見制度の概要について (制度の内容説明)」説明した割合(48.5%)が5割弱と、前回調査(37.8%)から10ポイント以上増加しています。また、「後見制度の詳細について(申し立て方法、経費など)」の説明(27.3%)や「申し立て手続きを支援」(21.2%)といった、より深い支援についても前回調査(8.1%, 8.1%)から10ポイント以上増加しています。



■ 前回調査との比較

問35 成年後見制度に関して令和4年度中(令和元年度中)に対応したか	単位 (%)	
	前回 (n=37)	今回 (n=33)
後見制度の概要について(制度の内容説明)	37.8	48.5
後見制度の詳細について(申し立て方法、経費など)	8.1	27.3
後見人等の業務について(できること、できないこと)	2.7	39.4
申し立て手続きを支援	8.1	21.2
親族等が後見人を受任した後の相談・支援	0.0	9.1
任意後見制度の利用・契約についての支援	0.0	15.2
市長申し立てについての相談・支援	0.0	6.1
関係機関等の紹介	10.8	24.2
その他	8.1	6.1
無回答	54.1	0.0
全体	100.0	100.0

こうふくプラン向日(第 10 次向日市高齢者福祉計画及び第 9 期向日市介護保険事業計画)
策定スケジュール (案)

事 項	時 期	備 考
こうふくプラン向日 (素案)		
○第 1 回策定委員会	令和 5 年 8 月 7 日	ニーズ調査等の結果報告 策定スケジュール
○第 2 回策定委員会	9 月 2 5 日	計画骨子案の検討
○第 3 回策定委員会	1 1 月頃	計画素案の検討
○パブリックコメント	1 2 月頃	(3 0 日間)
こうふくプラン向日 (案)		
○第 4 回策定委員会	令和 6 年 2 月頃	パブリックコメントの結果報告 計画案の報告
こうふくプラン向日の策定 (予定)	令和 6 年 3 月末	策定・公表